
みんなでタイムラインプロジェクト
常総市モデル地区における検討の記録

<参考資料編>

平成29年3月
常総市マイ・タイムライン検討会

参考資料一覧

資料 NO	資料内容
参考資料 1-1	自治区長説明会 配布資料
参考資料 1-2	若宮戸地区班長説明会 配布資料
参考資料 1-3	根新田地区班長説明会 配布資料
参考資料 2-1-1	第 1 回運営会議 配布資料
参考資料 2-1-2	第 1 回運営会議 配席図及び使用した機材・備品
参考資料 2-2-1	第 2 回運営会議 配布資料
参考資料 2-2-2	第 2 回運営会議 配席図及び使用した機材・備品
参考資料 3-1-1	第 1 回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会 記者発表資料
参考資料 3-1-2	第 1 回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会 会議配布資料
参考資料 3-1-3	第 1 回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会 使用した機材・備品及び配席図
参考資料 3-1-4	第 1 回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会 進行表
参考資料 3-1-5	第 1 回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会 スライド
参考資料 3-2-1	第 2 回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会 記者発表資料
参考資料 3-2-2	第 2 回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会 会議配布資料
参考資料 3-2-3	第 2 回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会 使用した機材・備品及び配席図
参考資料 3-2-4	第 2 回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会 進行表
参考資料 3-2-5	第 2 回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会 スライド
参考資料 4-1-1	第 1 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 記者発表資料
参考資料 4-1-2	第 1 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 会議配布資料
参考資料 4-1-3	第 1 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 使用した機材・備品及び配席図
参考資料 4-1-4	第 1 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 進行表
参考資料 4-1-5	第 1 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 スライド
参考資料 4-2-1	第 2 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 記者発表資料
参考資料 4-2-2	第 2 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 会議配布資料
参考資料 4-2-3	第 2 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 使用した機材・備品及び配席図
参考資料 4-2-4	第 2 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 進行表
参考資料 4-2-5	第 2 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 スライド
参考資料 4-3-1	第 3 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 記者発表資料
参考資料 4-3-2	第 3 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 会議配布資料
参考資料 4-3-3	第 3 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 使用した機材・備品及び配席図
参考資料 4-3-4	第 3 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 進行表
参考資料 4-3-5	第 3 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 スライド

参考資料 1-1

自治区長説明会配布資料

～みんなでタイムラインプロジェクト～
マイ・タイムライン検討会自治区長説明会

議 事 次 第

日時：平成28年10月23日（日）

10：00～12：00

場所：常総市役所 石下庁舎 会議室

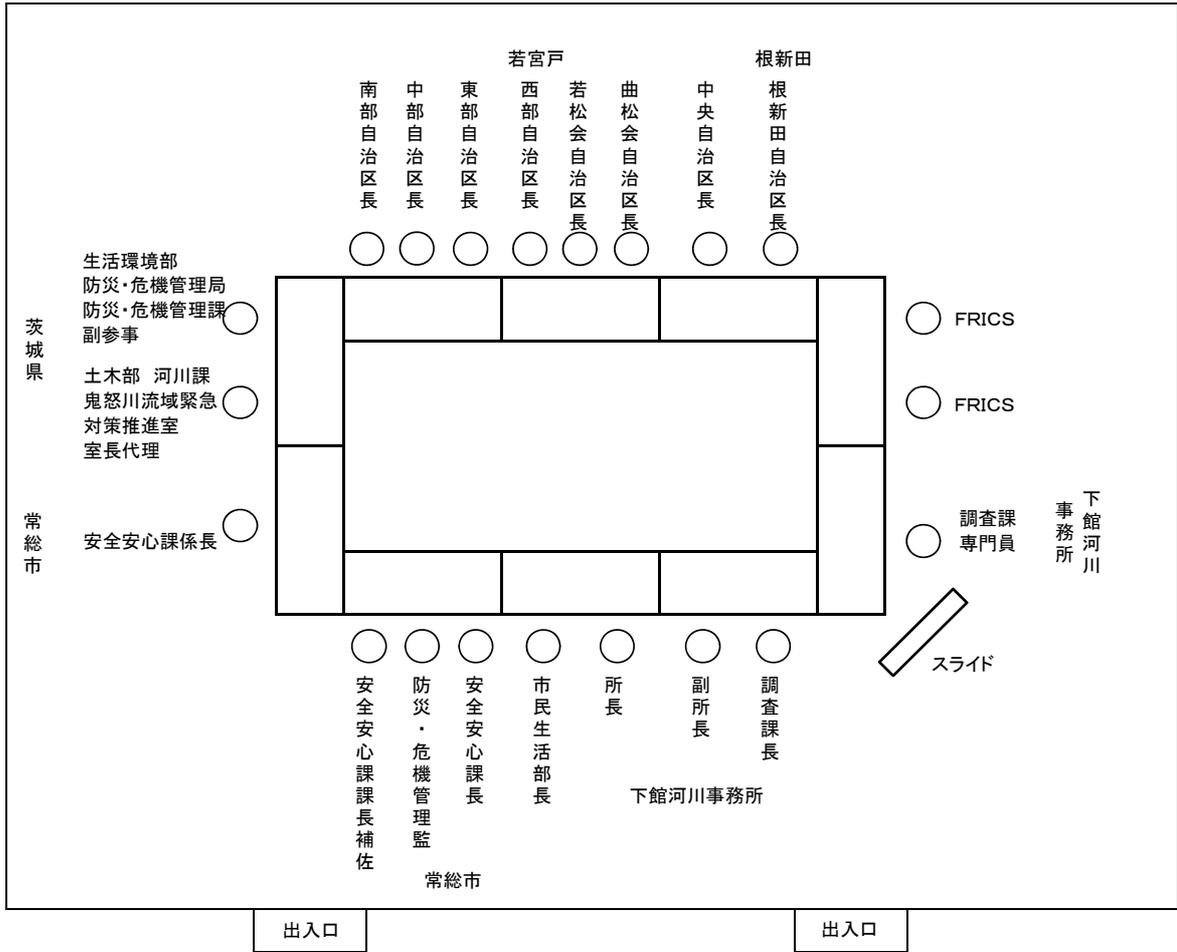
1. 開会
2. 挨拶
常総市市民生活部長
下館河川事務所長
3. 趣旨説明
4. マイ・タイムライン検討会の進め方
5. 意見交換
6. 閉会

みんなでタイムラインプロジェクト 自治区長説明会参加者

機関名	部名・課名	役職	氏名	備考
若宮戸地区	若宮戸南部	自治区長	青柳 清	
	若宮戸中部	自治区長	小林 健治	
	若宮戸東部	自治区長	門井 富男	
	若宮戸西部	自治区長	猪瀬 峰雄	
	若宮戸若松会	自治区長	芦ヶ谷 城	
	若宮戸曲松会	自治区長	佐藤 一也	
	若宮戸中央	自治区長	菊池 進	
根新田地区	根新田	自治区長	鈴木 孝八郎	代理:須加英雄
常総市	市民生活部	部長	須藤 一徳	
	市民生活部安全安心課	課長	斎藤 健司	
	市民生活部安全安心課	防災・危機管理監	溝上 博	
	市民生活部安全安心課	課長補佐	小林 弘	
	市民生活部安全安心課	係長	安田 洋行	
茨城県	生活環境部 防災・危機管理局 防災・危機管理課	副参事	飛田 聡志	
	土木部 河川課鬼怒川 流域緊急対策推進室	室長代理	栗林 俊一	
国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所		所長	里村 真吾	
		副所長	須藤 純一	
	調査課	調査課長	伊藤 克雄	
		専門員	平出 亮輔	

マイ・タイムライン検討会自治区長説明会 配席図

常総市役所 石下庁舎 会議室



学識者のプロフィール

川島宏一

筑波大学システム情報系社会工学域教授

●専門分野

自治体経営、データによる地域課題の解決

●経歴

- 1984.4 国土交通省（建築基準、宅地開発、公共施設整備）（-2003.6）
- 1991.8 インドネシア共和国住宅担当国務大臣府（アドバイザー）（-1992.8）
- 1994.9 北九州市（都市計画局開発部長）（-1997.7）
- 1998.6 世界銀行（上席都市専門官など）（-2006.3）
- 2006.3 佐賀県（最高情報統括監（CIO））（-2011.3）
- 2012.8 （株）公共イノベーション（代表取締役）（-2015.3）
- 2015.4 筑波大学大学院システム情報工学系教授

●委員会等経歴（現在就任中のものから抜粋）

- 2016.2 水戸市都市計画審議会会長
- 2016.4 国土交通省 G空間基本計画に関する官民勉強会委員
- 2016.10 内閣官房 データ流通環境整備検討会オープンデータWG構成員

●常総市との関わり

- 2015 常総市復興ビジョン懇話会委員
- 2015 常総市水害対策検証委員会委員長
- 2016 常総市復興計画策定委員会委員

●検討会に向けてひとこと

2015.9 関東・東北豪雨で甚大な被害を受けた鬼怒川・小貝川地域から「みんなでタイムラインプロジェクト」という日本のこれからの防災活動をリードする取り組みがスタートすることを大変嬉しく思います。関係する地域にお住いの皆様との議論が実り多いものとなるよう貢献したいと考えております。

伊藤哲司

茨城大学 人文学部人文コミュニケーション学科 教授
地球変動適応科学研究機関 機関長

●専門分野

社会心理学、サステイナビリティ学

●経歴

1993. 4 茨城大学人文学部講師

1995 博士（心理学）取得（名古屋大学）

1996. 4 茨城大学人文学部助教授

1998. 5～1999. 2 文部省在外研究員としてベトナム・ハノイ滞在

2006. 4 茨城大学人文学部教授 現在に至る

2014. 9 茨城大学地球変動適応科学研究機関機関長 現在に至る

●委員会等経歴

2016. 3 守谷市まちづくり検討委員会委員

●常総市との関わり

2015 常総市復興ビジョン懇話会アドバイザー

2015 常総市水害対策検証委員会委員

2016 常総市復興計画策定委員会アドバイザー

2015年9月に発生した水害以前は、常総市とはほとんど関わりがありませんでした。この水害の直後に茨城大学で調査団を立ち上げ、自ら団長になり、また学生にも働きかけてボランティア活動を促してきました。2016年9月1日には、常総市の小中学校12校に20名の学生を派遣し、防災ゲーム「クロスロード」を実施し好評を得ました。この災害がきっかけとなった常総市の方たちとの縁を、これからも大事にしていきたいと思っています。

●検討会に向けてひとこと

もともと災害研究の専門家ではないのですが、インド洋大津波、東日本大震災、熊本地震などの被災地を歩いてきました。被災の経験はみな個別的ですが、ということは、これから予想される災害で、個々人の状況に合わせた備えをしておくことはとても重要であります。今回のプロジェクトが画期的なものになるよう、微力ではありますが前向きに取り組ませていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

白川准教授

筑波大学システム情報系（構造エネルギー工学域）准教授

●専門分野

河川工学

●経歴

1998.4 東京大学工学部助手

2003.9 筑波大学機能工学系講師

2010.4 筑波大学システム情報系准教授

●委員会等経歴

2004 国土交通省 河川水辺の国勢調査アドバイザーグループ委員

2005 環境省 公共事業と環境政策のあり方に関する懇談会委員

2009 アジア河川・流域再生ネットワーク技術委員

2013 つくば市上下水道審議会委員

2015 国土交通省 関東地方河川技術懇談会委員

●常総市との関わり

2015 常総市復興ビジョン懇話会委員

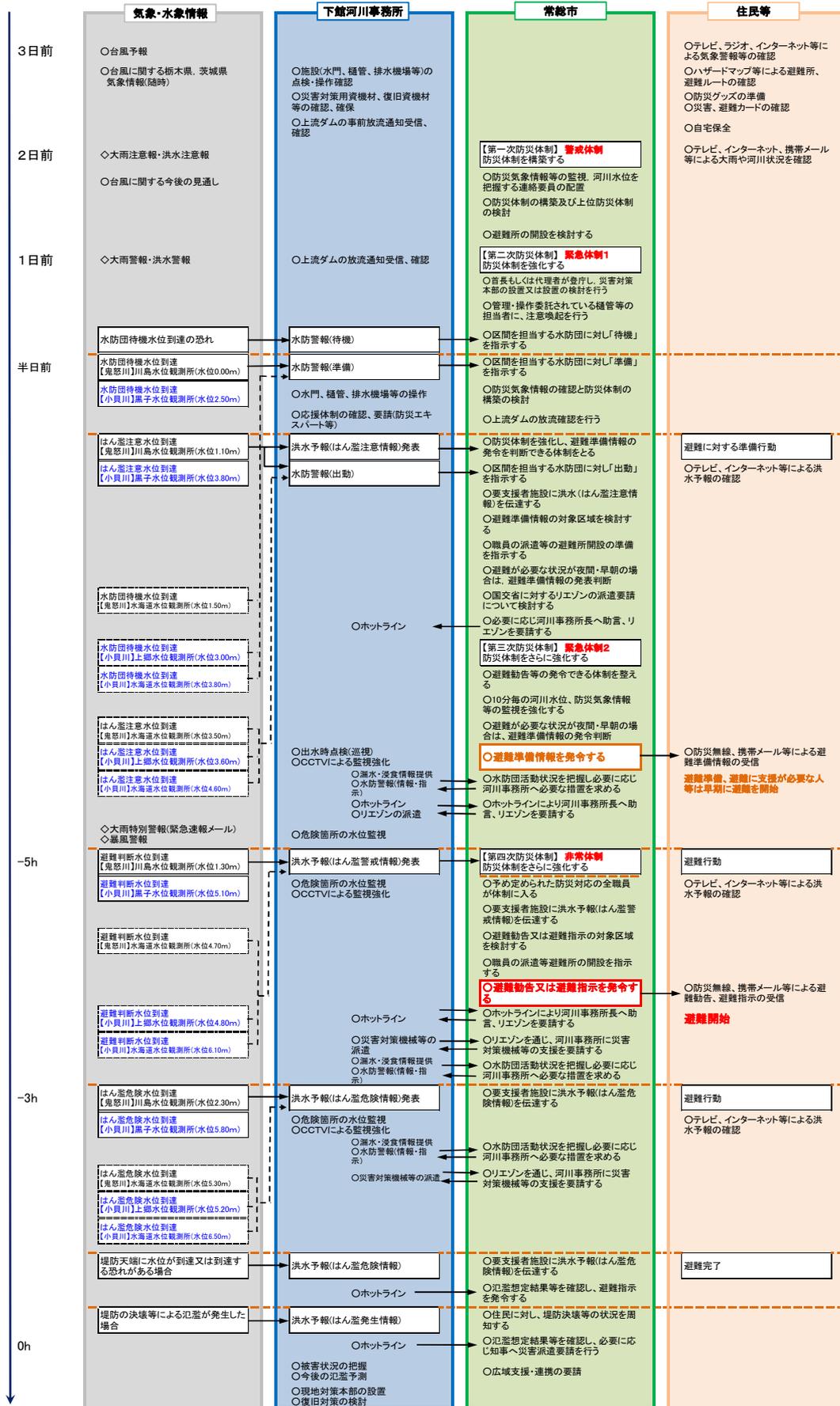
2015 常総市水害対策検証委員会委員

2016 常総市復興計画策定委員会委員

●検討会に向けてひとこと

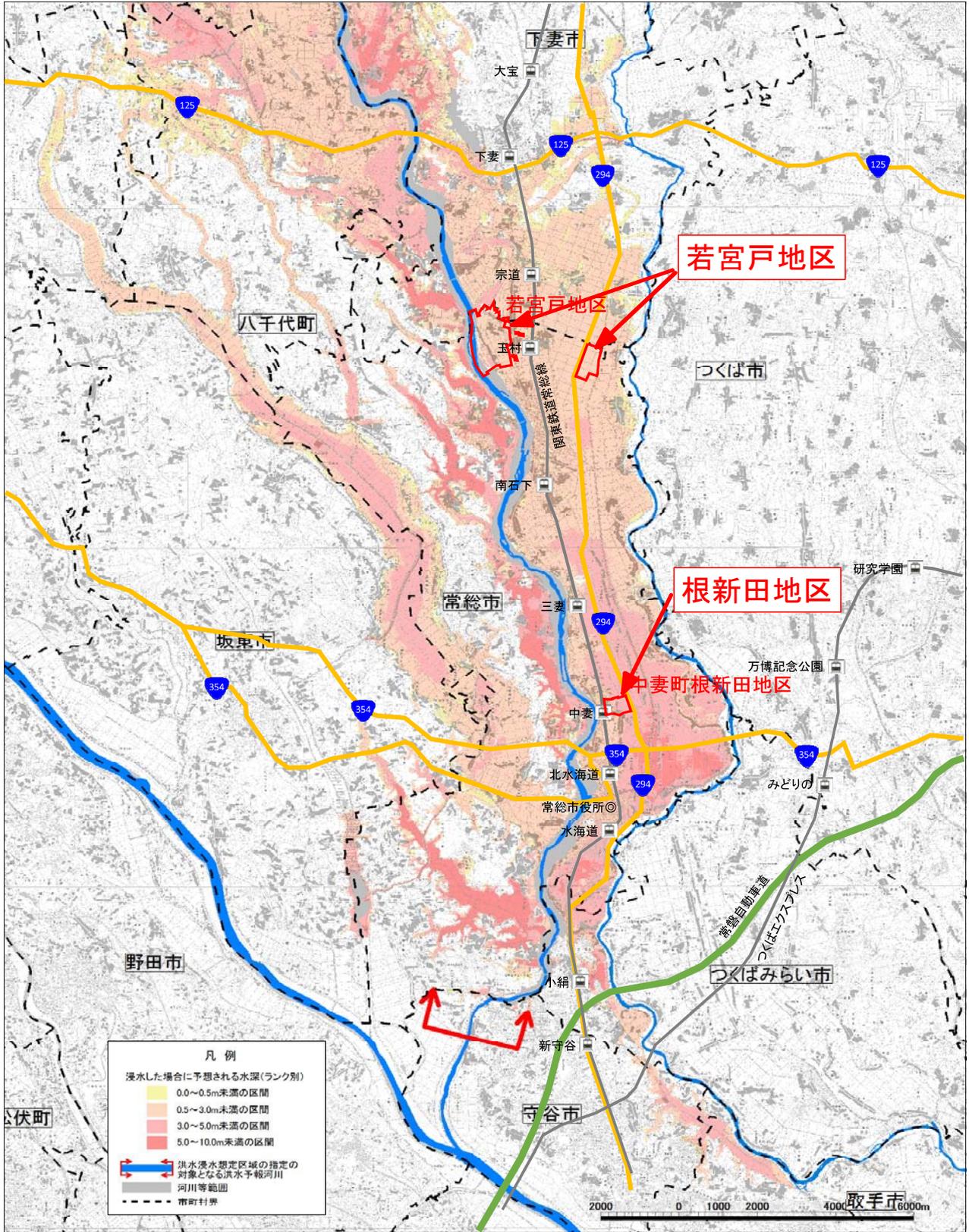
災害発生時に自分の身を守り周りの人を助けるには、ふだんから相手を知ることが重要です。相手とは災害（洪水なら川）であり、助ける人（家族や隣人）であり、自分自身でもあります。たいへんな水害を経験された皆様だからこそ、その貴重な体験に基づいた日本最先端の災害対策を考えることができます。少しでも地域の安全を高めるお手伝いできれば幸いです。

台風による洪水を対象とした避難勧告発令等に着目したタイムライン(防災行動計画)(H28年6月版)
常総市(鬼怒川・小貝川)



※今後の出水や訓練等を通じて見直しを行っていく

モデル地区位置図



参考資料 1-2

若宮戸地区班長説明会配布資料

平成28年11月13日

若宮戸曲松会自治区のみなさまへ

常総市役所 安全安心課

「みんなでタイムラインプロジェクト」第1回検討会の開催について

晩秋の候、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より、市政運営と市民生活の向上に格別のご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、本市及び下館河川事務所では、水防災意識社会の再構築に向けて、市民一人ひとりが、自分自身にあった避難に必要な情報・判断・行動を把握し、適切な避難行動が行えるよう、それぞれの防災行動計画（マイタイムライン）について、取り組むことといたしました。

今回、先進事例地区として、若宮戸地区のみなさまにご協力をいただきたく、ご多忙の折恐縮ではございますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 平成28年11月27日（日） 午前10時00分より
- 2 場 所 玉小学校 体育館
- 3 内 容
 - ・みんなでタイムラインプロジェクトについて
 - ・意見交換
 - ・その他

《問合せ先》

◇安全安心課防災・危機管理室

担当：溝上，小林

TEL：23-2111（内線2201）

記者発表資料

みんなでタイムラインプロジェクトを始動 ～ 住民一人ひとりがそれぞれの環境に合ったタイムラインを検討 ～

市町、県、国で構成する鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会では、逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のため、「みんなでタイムラインプロジェクト」を始動します。

今回は、その先駆的な取り組みとして常総市にモデル地区を選定し、住民一人ひとりが自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、いわば「**自分の逃げ方**」を手に入れることを目的として、市役所のサポートの下で住民一人ひとりがそれぞれの環境に合った**マイ・タイムライン**（別紙1参照）を自ら検討する「**マイ・タイムライン検討会**」（別紙2参照）を設置します。

1. モデル地区（自治区）

常総市若宮戸地区、根新田地区

2. 検討会メンバー

- ・対象自治区の住民
- ・行政機関

常総市、常総警察署、茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部下妻消防署石下分署、常総地方広域市町村圏事務組合消防本部水海道消防署、茨城県、気象庁水戸地方气象台、国土交通省関東地方整備局下館河川事務所

- ・学識者

川島宏一 筑波大学システム情報系社会工学域 教授

伊藤哲司 茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科 教授
 （地球変動適応科学研究機関 機関長）

白川直樹 筑波大学院システム情報系構造エネルギー工学域 准教授

3. 検討会開催予定

11月に第1回マイ・タイムライン検討会を開催予定

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、筑西市記者クラブ、宇都宮市政記者クラブ、取手記者会、筑波研究学園都市記者会、龍ヶ崎記者会、つくば市記者会

問い合わせ先

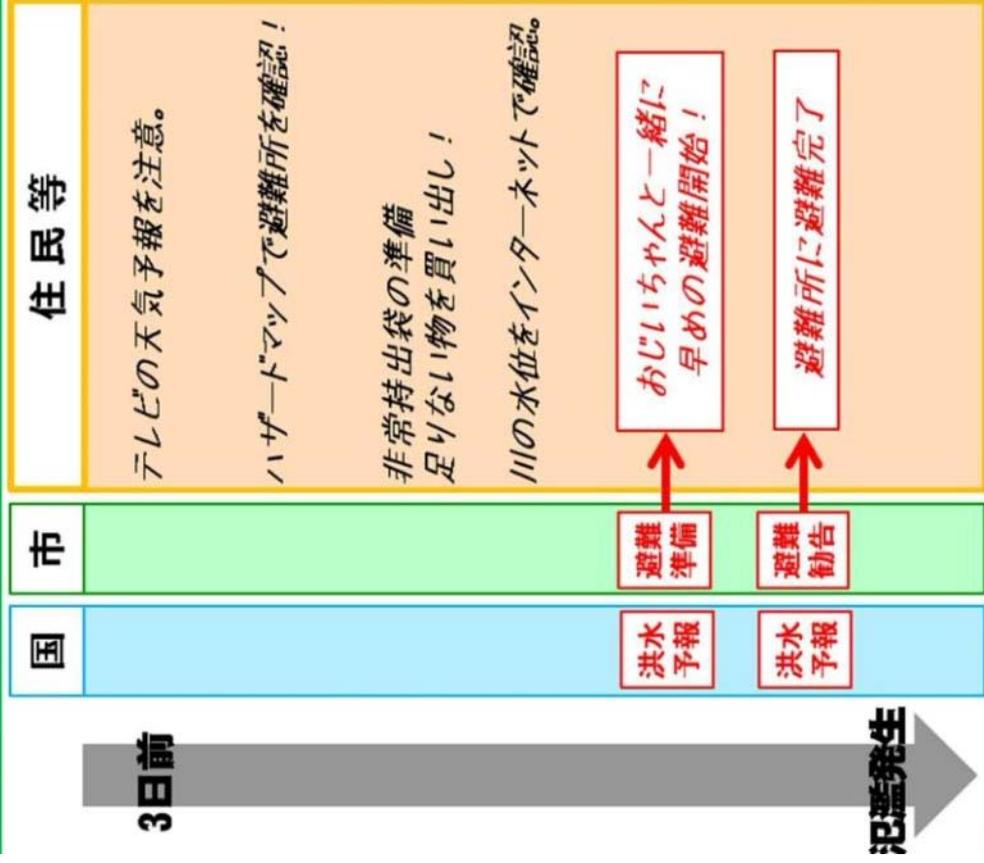
常総市 市民生活部 安全安心課

斎藤課長、溝上危機管理監（TEL：0297-23-2111）

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所

須藤副所長（TEL：0296-25-2161）、伊藤調査課長（TEL：0296-25-2171）

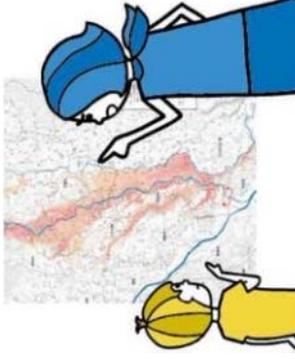
一人ひとりのマイ・タイムライン(イメージ)



マイ・タイムラインの検討の過程で…

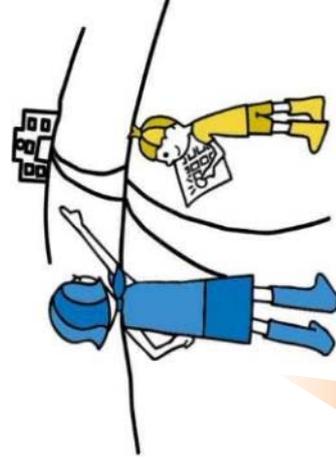
! リスクを認識できる

- ・自分の家が浸水してしまう
- ・避難所まで遠い など



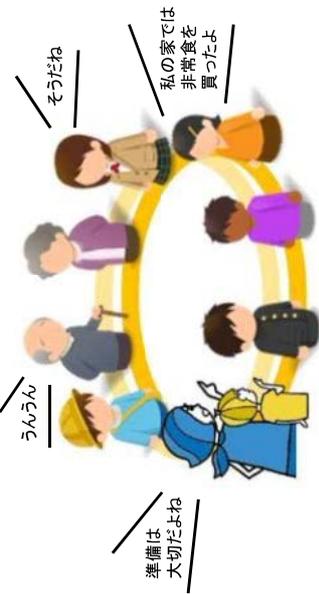
! 逃げるタイミングがわかる

- ・いつ逃げる？
- ・誰と逃げる？
- ・危険な場所をよけて逃げるには？



! コミュニケーションの輪が広がる

- ・検討会での意見交換などで、知り合いになれる
- ・ご近所とのつながりが強く、太くなる



マイ・タイムラインができると…

- !** 災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
- !** 災害時の判断をサポート



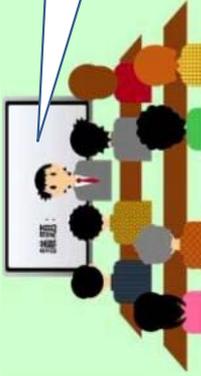
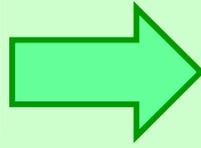
逃げが遅れゼロ

モデル地区の住民、常総市、警察署、消防署、茨城県、気象庁、国土交通省下館河川事務所に加え、各分野の学識者で構成される『マイ・タイムライン検討会』を設置し、住民一人ひとりがそれぞれの環境に合ったタイムラインを自ら検討する取り組みを進めます。

検討会の進め方

ステップ1

自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る

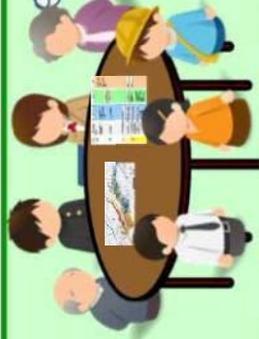
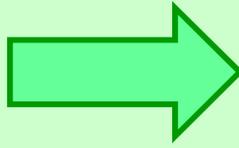


- ・過去の洪水を知る
- ・地形の特徴を知る
- ・水害リスクを知る

自分達の住んでいる地区が浸水するかを知らましよう。

ステップ2

洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る



- ・洪水時に得られる情報とその読み解き方を知る
- ・タイムラインの考え方を知る
- ・洪水時の自らの行動を想定

いつ逃げはじめたらいいのかなあ？

ステップ3

マイ・タイムラインの作成

- ・一人ひとりのタイムラインを作成



これで、逃げるタイミングがわかったわ！

モデル地区

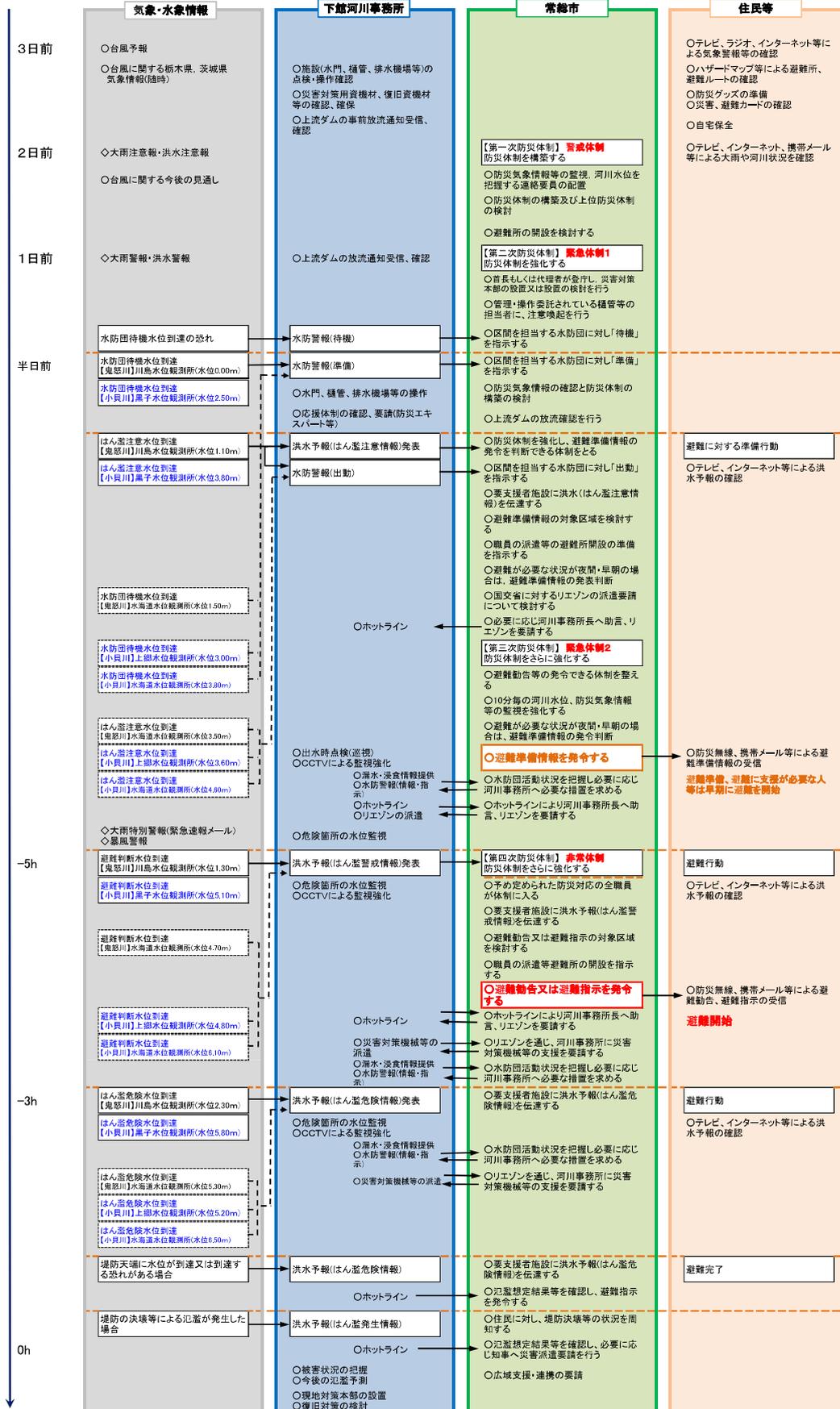
今年度は、若宮戸地区、根新田地区をモデル地区として、検討会を進めます。



学識者

- ・筑波大学システム情報系社会工学科 川島宏一 教授
- ・茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科 地球変動適応科学研究機関 伊藤哲司 教授・機関長
- ・筑波大学院システム情報系構造工ネルギー工学科 白川直樹 准教授

台風による洪水を対象とした避難勧告発令等に着目したタイムライン(防災行動計画)(H28年6月版)
常総市(鬼怒川・小貝川)



※今後の出水や訓練等を通じて見直しを行っていく

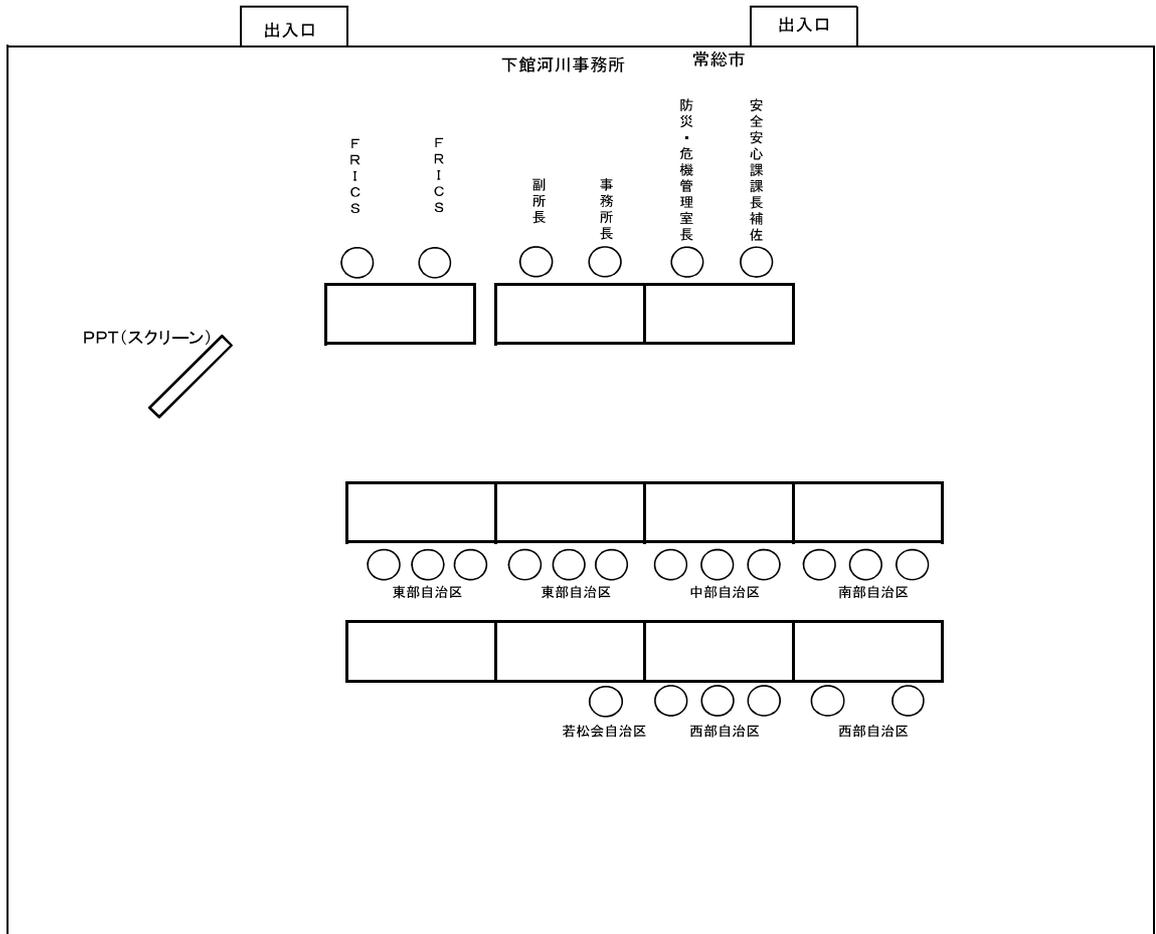
みんなでタイムラインプロジェクト 若宮戸地区班長説明会参加者

機関名	部名・課名	役職	氏名	備考
若宮戸地区	若宮戸南部	自治区長	青柳 清	
		班長	2班	19世帯
	若宮戸中部	自治区長	小林 健治	
		班長	2班	19世帯
	若宮戸東部	自治区長	門井 富男	
		班長	6班	73世帯(班長1名欠席)
	若宮戸西部	自治区長	猪瀬 峰雄	
		班長	4班	66世帯
	若宮戸若松会	自治区長	芦ヶ谷 城	(班長を兼任)
		班長	2班	14世帯(班長1名欠席)
	若宮戸曲松会	自治区長	佐藤 一也	欠席
		班長	1班	欠席 10世帯
	若宮戸中央	自治区長	菊池 進	欠席
		班長	1班	欠席 7世帯
常総市	市民生活部安全安心課	防災・危機管理室長	溝上 博	
	市民生活部安全安心課	課長補佐	小林 弘	
国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所		所長	里村 真吾	
		副所長	須藤 純一	

マイ・タイムライン若宮戸地区班長説明会 配席図

平成28年11月13日(日)9:00~9:30

常総市役所 石下庁舎 会議室



参考資料 1-3

根新田地区班長説明会配布資料

平成28年11月3日

根新田自治区のみなさまへ

常総市役所 安全安心課

「みんなでタイムラインプロジェクト」第1回検討会の開催について

晩秋の候、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より、市政運営と市民生活の向上に格別のご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、当市及び下館河川事務所では、水防災意識社会の再構築に向けて、市民一人ひとりが、自分自身にあった避難に必要な情報・判断・行動を把握し、適切な避難行動が行えるよう、それぞれの防災行動計画（マイタイムライン）について、取り組むことといたしました。

今回、先進事例地区として、根新田地区のみなさまにご協力をいただきたく、ご多忙の折恐縮ではございますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 平成28年11月20日（日） 午前10時00分より
- 2 場 所 根新田公民館
- 3 内 容
 - ・みんなでタイムラインプロジェクトについて
 - ・意見交換
 - ・その他

《問合せ先》

◇安全安心課防災・危機管理室

担当：溝上，小林

TEL：23-2111（内線2201）

記者発表資料

みんなでタイムラインプロジェクトを始動

～ 住民一人ひとりがそれぞれの環境に合ったタイムラインを検討 ～

市町、県、国で構成する鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会では、逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のため、「みんなでタイムラインプロジェクト」を始動します。

今回は、その先駆的な取り組みとして常総市にモデル地区を選定し、住民一人ひとりが自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、いわば「**自分の逃げ方**」を手に入れることを目的として、市役所のサポートの下で住民一人ひとりがそれぞれの環境に合った**マイ・タイムライン**（別紙1参照）を自ら検討する「**マイ・タイムライン検討会**」（別紙2参照）を設置します。

1. モデル地区（自治区）

常総市若宮戸地区、根新田地区

2. 検討会メンバー

- ・対象自治区の住民
- ・行政機関

常総市、常総警察署、茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部下妻消防署石下分署、常総地方広域市町村圏事務組合消防本部水海道消防署、茨城県、気象庁水戸地方气象台、国土交通省関東地方整備局下館河川事務所

- ・学識者

川島宏一 筑波大学システム情報系社会工学域 教授

伊藤哲司 茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科 教授
 （地球変動適応科学研究機関 機関長）

白川直樹 筑波大学院システム情報系構造エネルギー工学域 准教授

3. 検討会開催予定

11月に第1回マイ・タイムライン検討会を開催予定

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、
 栃木県政記者クラブ、筑西市記者クラブ、宇都宮市政記者クラブ、取手記者会
 筑波研究学園都市記者会、龍ヶ崎記者会、つくば市記者会

問い合わせ先

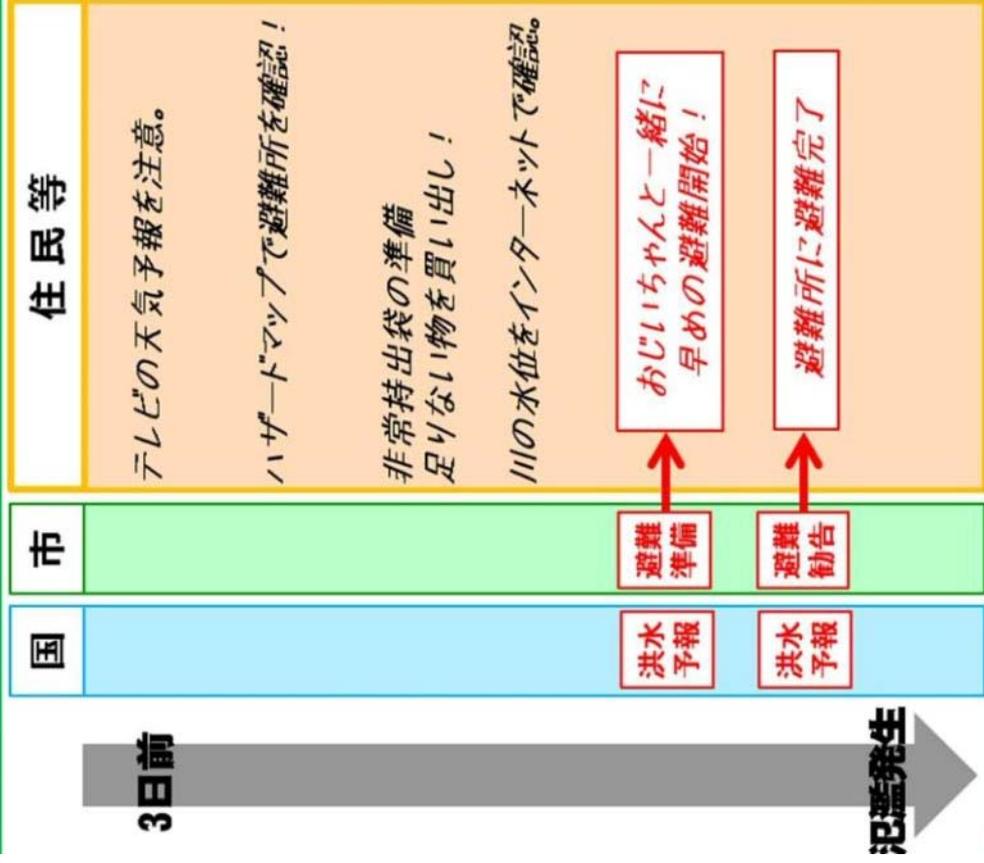
常総市 市民生活部 安全安心課

斎藤課長、溝上危機管理監（TEL：0297-23-2111）

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所

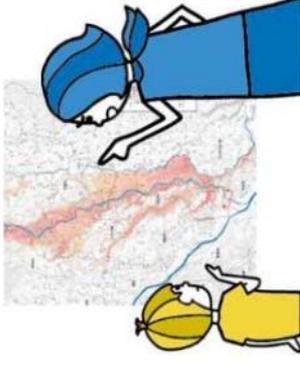
須藤副所長（TEL：0296-25-2161）、伊藤調査課長（TEL：0296-25-2171）

一人ひとりのマイ・タイムライン(イメージ)

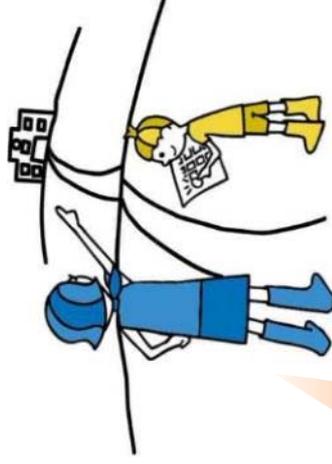


マイ・タイムラインの検討の過程で…

- !** リスクを認識できる
- ・自分の家が浸水してしまう
 - ・避難所まで遠い など

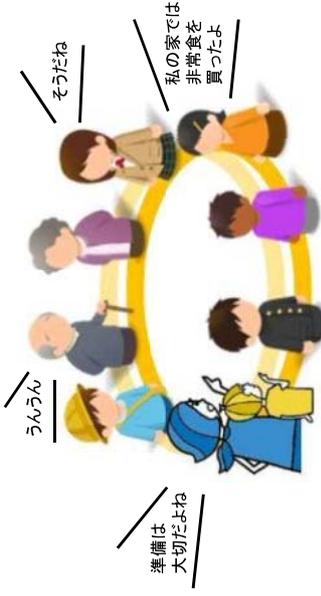


- !** 逃げるタイミングがわかる
- ・いつ逃げる？
 - ・誰と逃げる？
 - ・危険な場所をよけて逃げるには？



- !** コミュニケーションの輪が広がる

- ・検討会での意見交換などで、知り合いになれる
- ・ご近所とのつながりが強く、太くなる



マイ・タイムラインができると…

- !** 災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
- !** 災害時の判断をサポート



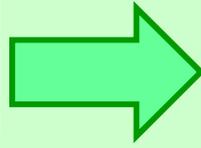
逃げが遅れゼロ

モデル地区の住民、常総市、警察署、消防署、茨城県、気象庁、国土交通省下館河川事務所に加え、各分野の学識者で構成される『マイ・タイムライン検討会』を設置し、住民一人ひとりがそれぞれの環境に合ったタイムラインを自ら検討する取り組みを進めます。

検討会の進め方

ステップ1

自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る

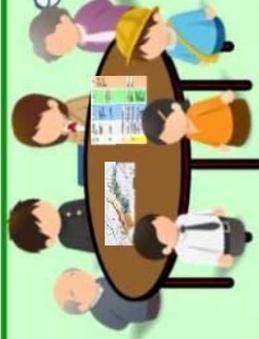
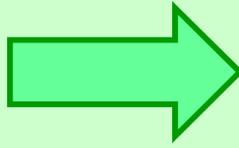


- ・過去の洪水を知る
- ・地形の特徴を知る
- ・水害リスクを知る

講演：自分達の住んでいる地区が浸水するかを知らましよう。

ステップ2

洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る



- ・洪水時に得られる情報とその読み解き方を知る
- ・タイムラインの考え方を知る
- ・洪水時の自らの行動を想定

いつ逃げはじめた方がいいのかなあ？

ステップ3

マイ・タイムラインの作成

- ・一人ひとりのタイムラインを作成



これで、逃げるタイミングがわかったわ！

モデル地区

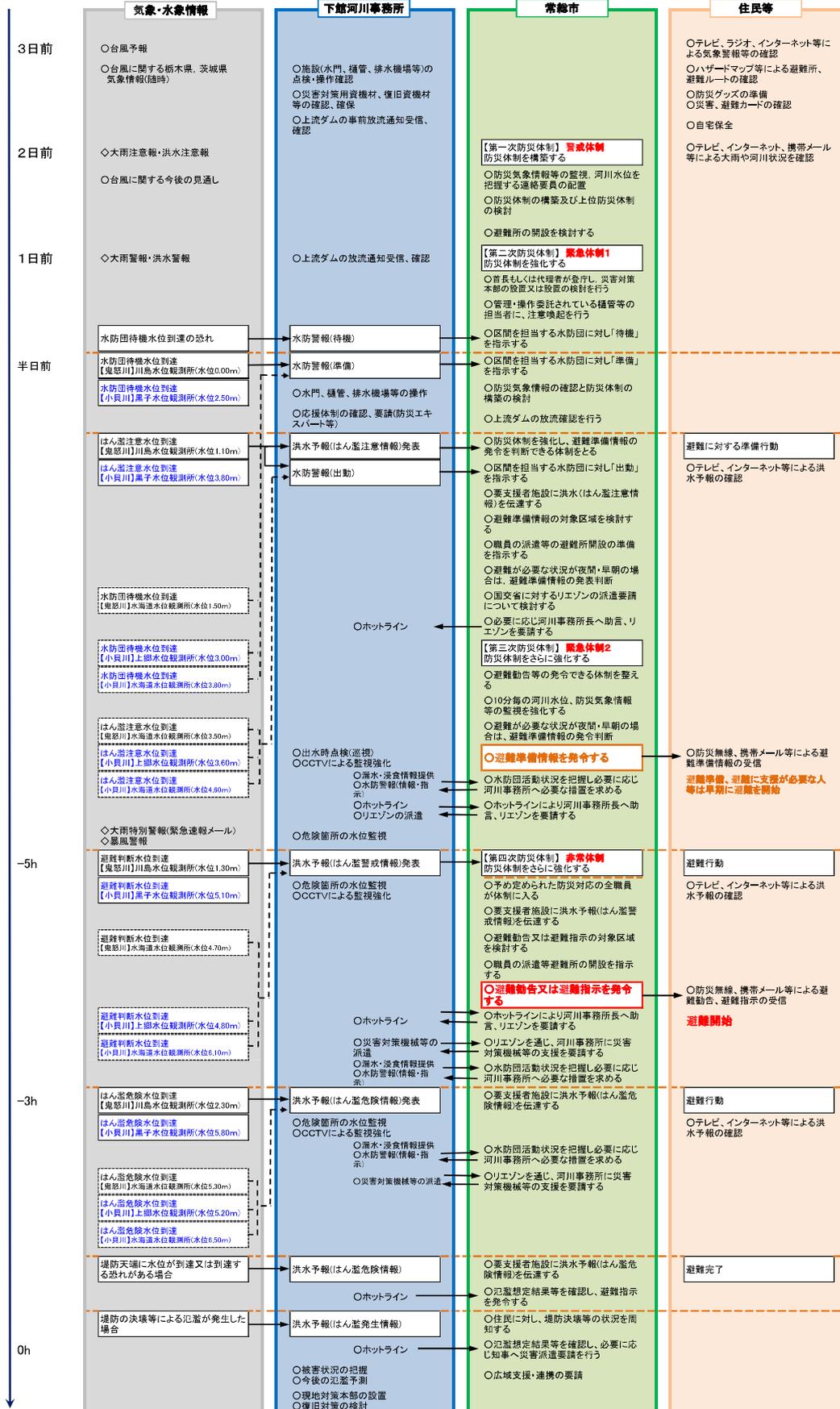
今年度は、若宮戸地区、根新田地区をモデル地区として、検討会を進めます。



学識者

- ・筑波大学システム情報系社会工学域 川島宏一 教授
- ・茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科 地球変動適応科学研究機関 伊藤哲司 教授・機関長
- ・筑波大学院システム情報系構造工ネルギー工学科 白川直樹 准教授

台風による洪水を対象とした避難勧告発令等に着目したタイムライン(防災行動計画)(H28年6月版)
常総市(鬼怒川・小貝川)



※今後の出水や訓練等を通じて見直しを行っていく

根新田自治区長 鈴木孝八郎

1世帯1名の参加についての協力要請(依頼)

(1名以上の参加も可)

〈目的〉 災害時の家族の安全と家財保全

〈概要〉 起きてはならない鬼怒川(小貝川)の決壊が再び発生した場合、根新田地域の家屋は全戸1階が水没する想定がされております。人的被害を含め、家財等の浸水からの保全を確保する為に、個人・家族・地域住民が予知、予見を持って行動を起こす指針(事前対応策)を作り、万全の備えを構築する必要があります。

この度、減災対策協議会(国土交通省、茨城県、鬼怒小貝川下流市町村で作る組織)から、全国に先駆け初となる住民自身が避難行動計画(マイ・タイムライン)を作成し、予測される災害に対する心構えを示唆する施策に、根新田町内会と若宮戸自治区が指定の委託を受けました。(マイ・タイムラインについては資料を参照して下さい)

災害から自身や家族を守る(自助)と同時に、町内会住民の方々の協力(共助)が不可欠ですので、各家庭のご理解とご参加をお願いいたします。

〈事業主体〉 国土交通省、水戸地方气象台、茨城県、消防署、警察署、常総市、有識者(筑波大、茨城大)、その他関係機関

検討会の日程(計3回を予定)

第1回 平成28年11月20日(日)
会場 根新田公民館
時間 午前10:00~12:00

必ずご出席下さい

★以下予定は、第1回検討会にて詳細お知らせ致します。
第2回検討会 平成29年1月29日(日) 常総市役所
第3回検討会 平成29年2月26日(日) 常総市役所

〈対象者〉 根新田地区住民(各戸代表者)

〈備考〉 各検討会は報道機関に公開され、取材、インタビューが想定されます。

参考資料 2-1-1

第1回運営会議配布資料

～みんなでタイムラインプロジェクト～
第1回マイ・タイムライン検討会
運営会議

議 事 次 第

日時：平成28年11月13日（日）

10：00～12：00

場所：常総市役所 石下庁舎 会議室

1. 常総市マイ・タイムライン検討会について
 - (1) 検討会の趣旨
 - (2) 検討会規約（案）及び傍聴時の注意事項
 - (3) 今後の予定

2. マイ・タイムラインノートについて

3. 第1回検討会について
 - (1) 第1回検討会議事次第
 - (2) アンケートへのご協力をお願い
 - (3) 関係機関への調整事項

4. その他
 - (1) 記者発表に関して

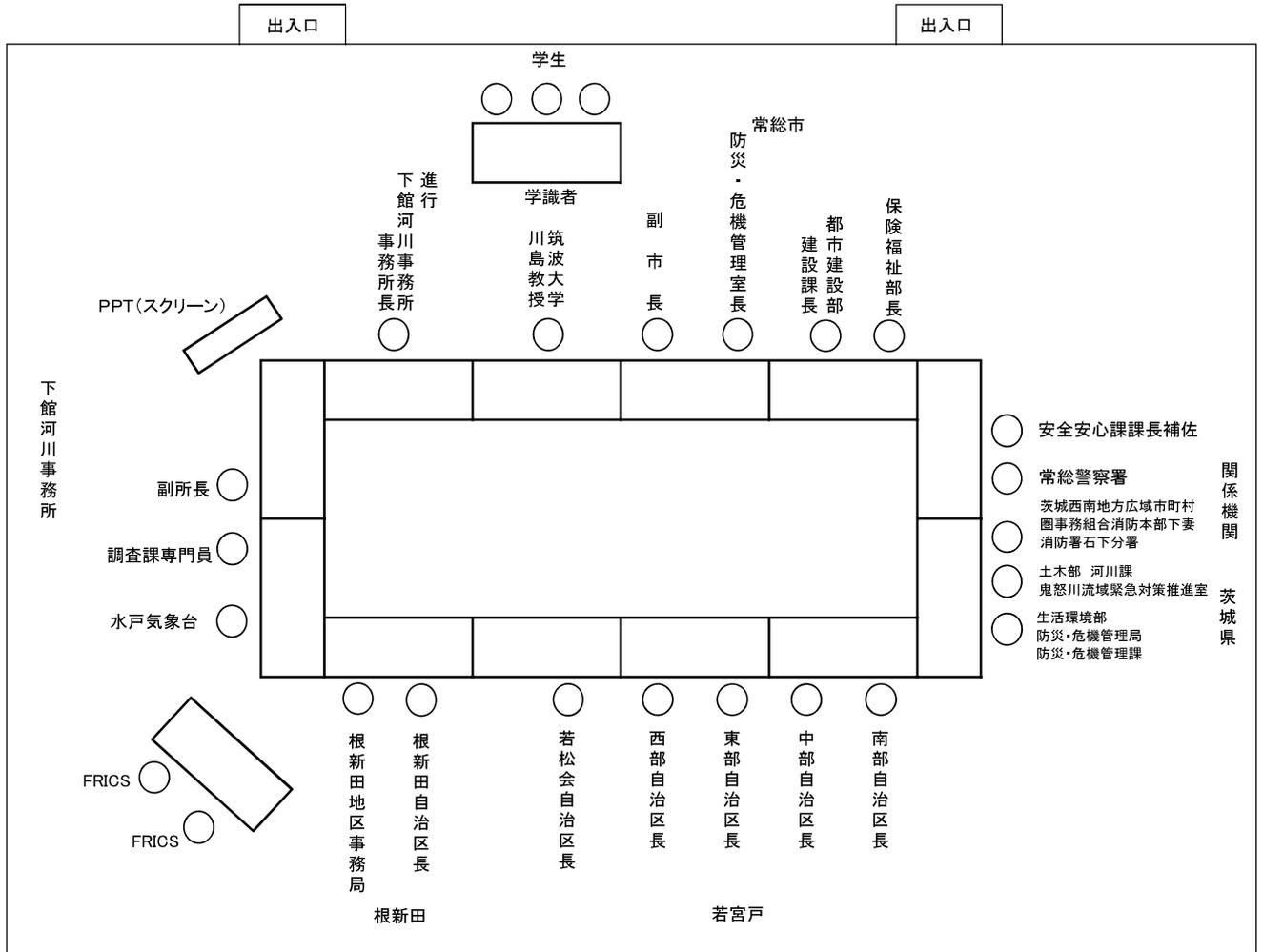
みんなでタイムラインプロジェクト
第1回マイ・タイムライン検討会 運営会議 参加者

機関名	部名・課名	役職	氏名	備考
若宮戸地区	若宮戸南部	自治区長	青柳 清	
	若宮戸中部	自治区長	小林 健治	
	若宮戸東部	自治区長	門井 富男	
	若宮戸西部	自治区長	猪瀬 峰雄	
	若宮戸若松会	自治区長	芦ヶ谷 城	
	若宮戸曲松会	自治区長	佐藤 一也	欠席
	若宮戸中央	自治区長	菊池 進	欠席
根新田地区	根新田	自治区長	鈴木 孝八郎	事務局:須賀英雄
学識者	筑波大学システム情報系社会工学域	教授	川島宏一	学生2名
	茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科	教授	伊藤哲司	欠席
	筑波大学システム情報系構造エネルギー工学域	准教授	白川直樹	欠席 学生1名
常総市	副市長		塩畑 実	
	市民生活部安全安心課	防災・危機管理室長	溝上 博	
	市民生活部安全安心課	課長補佐	小林 弘	
	都市建設部建設課	課長	石塚 茂彦	
	保健福祉部長	部長	石塚 晴代	
常総警察署	警備課長	警部	清水 健吾	
茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部	下妻消防署 石下分署	分署長	栗原 稔	
茨城県	生活環境部 防災・危機管理局 防災・危機管理課	副参事	飛田 聡志	
	土木部 河川課鬼怒川流域緊急対策推進室	係長	皆藤 開平	
水戸気象台		水害対策気象官	金内 正文	
国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所		所長	里村 真吾	
		副所長	須藤 純一	
	調査課	専門員	平出 亮輔	

マイ・タイムライン【第1回運営会議】 配席図

平成28年11月13日(日)10:00~12:00

常総市役所 石下庁舎 会議室



記者発表資料

みんなでタイムラインプロジェクトを始動

～ 住民一人ひとりがそれぞれの環境に合ったタイムラインを検討 ～

市町、県、国で構成する鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会では、逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のため、「みんなでタイムラインプロジェクト」を始動します。

今回は、その先駆的な取り組みとして常総市にモデル地区を選定し、住民一人ひとりが自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、いわば「**自分の逃げ方**」を手に入れることを目的として、市役所のサポートの下で住民一人ひとりがそれぞれの環境に合った**マイ・タイムライン**（別紙1参照）を自ら検討する「**マイ・タイムライン検討会**」（別紙2参照）を設置します。

1. モデル地区（自治区）

常総市若宮戸地区、根新田地区

2. 検討会メンバー

- ・対象自治区の住民
- ・行政機関

常総市、常総警察署、茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部下妻消防署石下分署、常総地方広域市町村圏事務組合消防本部水海道消防署、茨城県、気象庁水戸地方气象台、国土交通省関東地方整備局下館河川事務所

- ・学識者

川島宏一 筑波大学システム情報系社会工学域 教授

伊藤哲司 茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科 教授
 （地球変動適応科学研究機関 機関長）

白川直樹 筑波大学院システム情報系構造エネルギー工学域 准教授

3. 検討会開催予定

11月に第1回マイ・タイムライン検討会を開催予定

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、
 栃木県政記者クラブ、筑西市記者クラブ、宇都宮市政記者クラブ、取手記者会
 筑波研究学園都市記者会、龍ヶ崎記者会、つくば市記者会

問い合わせ先

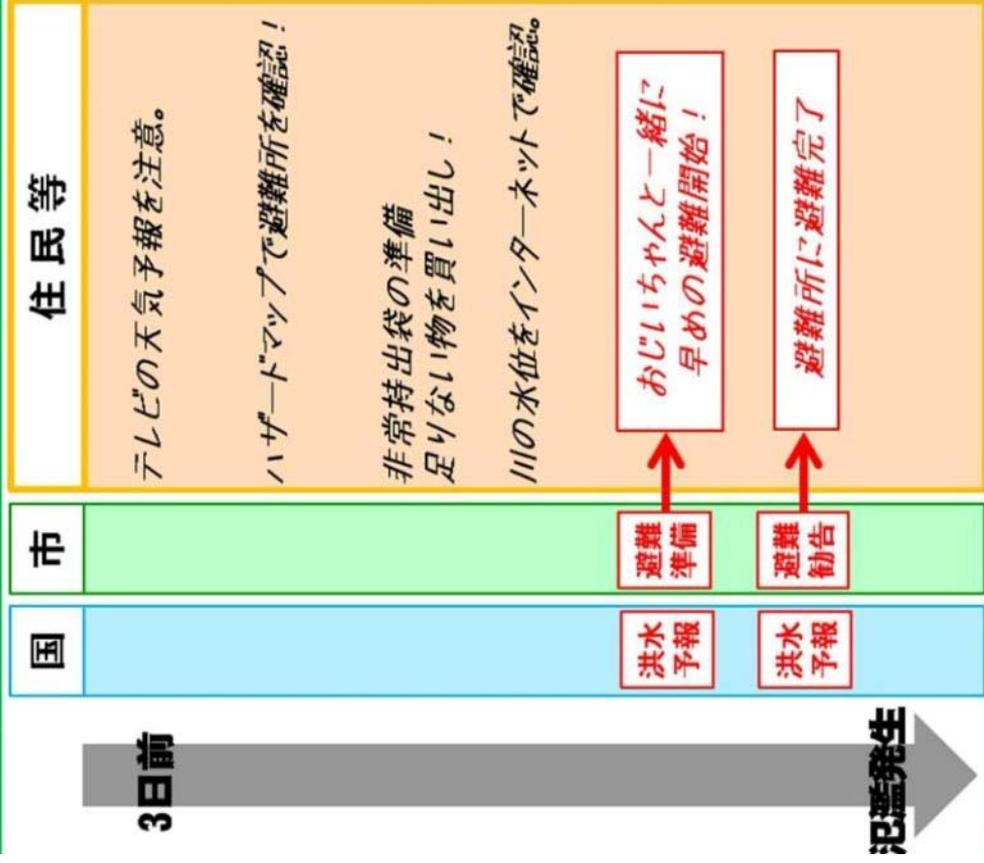
常総市 市民生活部 安全安心課

斎藤課長、溝上危機管理監（TEL：0297-23-2111）

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所

須藤副所長（TEL：0296-25-2161）、伊藤調査課長（TEL：0296-25-2171）

一人ひとりのマイ・タイムライン(イメージ)

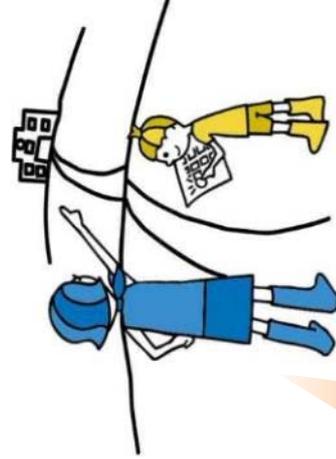


マイ・タイムラインの検討の過程で…

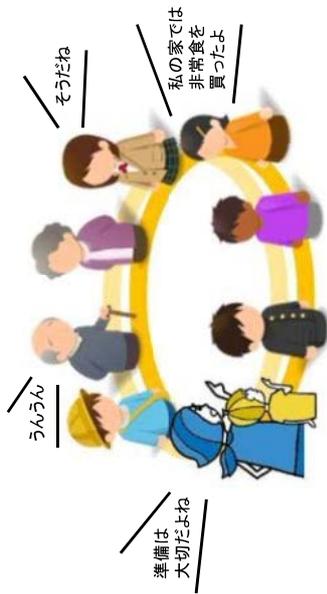
- !** リスクを認識できる
- ・自分の家が浸水してしまう
 - ・避難所まで遠い など



- !** 逃げるタイミングがわかる
- ・いつ逃げる？
 - ・誰と逃げる？
 - ・危険な場所をよけて逃げるには？



- !** コミュニケーションの輪が広がる
- ・検討会での意見交換などで、知り合いになれる
 - ・ご近所とのつながりが強く、太くなる



- !** マイ・タイムラインができると…
- ・災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
 - ・災害時の判断をサポート



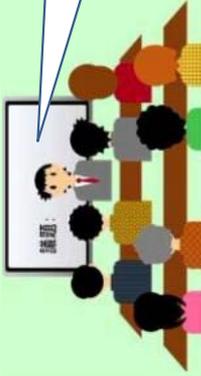
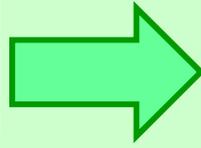
逃げが遅れゼロ

モデル地区の住民、常総市、警察署、消防署、茨城県、気象庁、国土交通省下館河川事務所に加え、各分野の学識者で構成される『マイ・タイムライン検討会』を設置し、住民一人ひとりがそれぞれの環境に合ったタイムラインを自ら検討する取り組みを進めます。

検討会の進め方

ステップ1

自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る

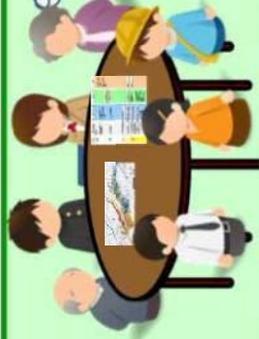
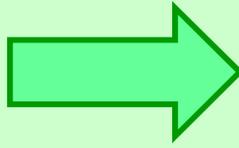


- ・過去の洪水を知る
- ・地形の特徴を知る
- ・水害リスクを知る

講演：自分達の住んでいる地区が浸水するかを知らましよう。

ステップ2

洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る



- ・洪水時に得られる情報とその読み解き方を知る
- ・タイムラインの考え方を知る
- ・洪水時の自らの行動を想定

いつ逃げはじめたらいいのかなあ？

ステップ3

マイ・タイムラインの作成

- ・一人ひとりのタイムラインを作成



これで、逃げるタイミングがわかったわ！

モデル地区

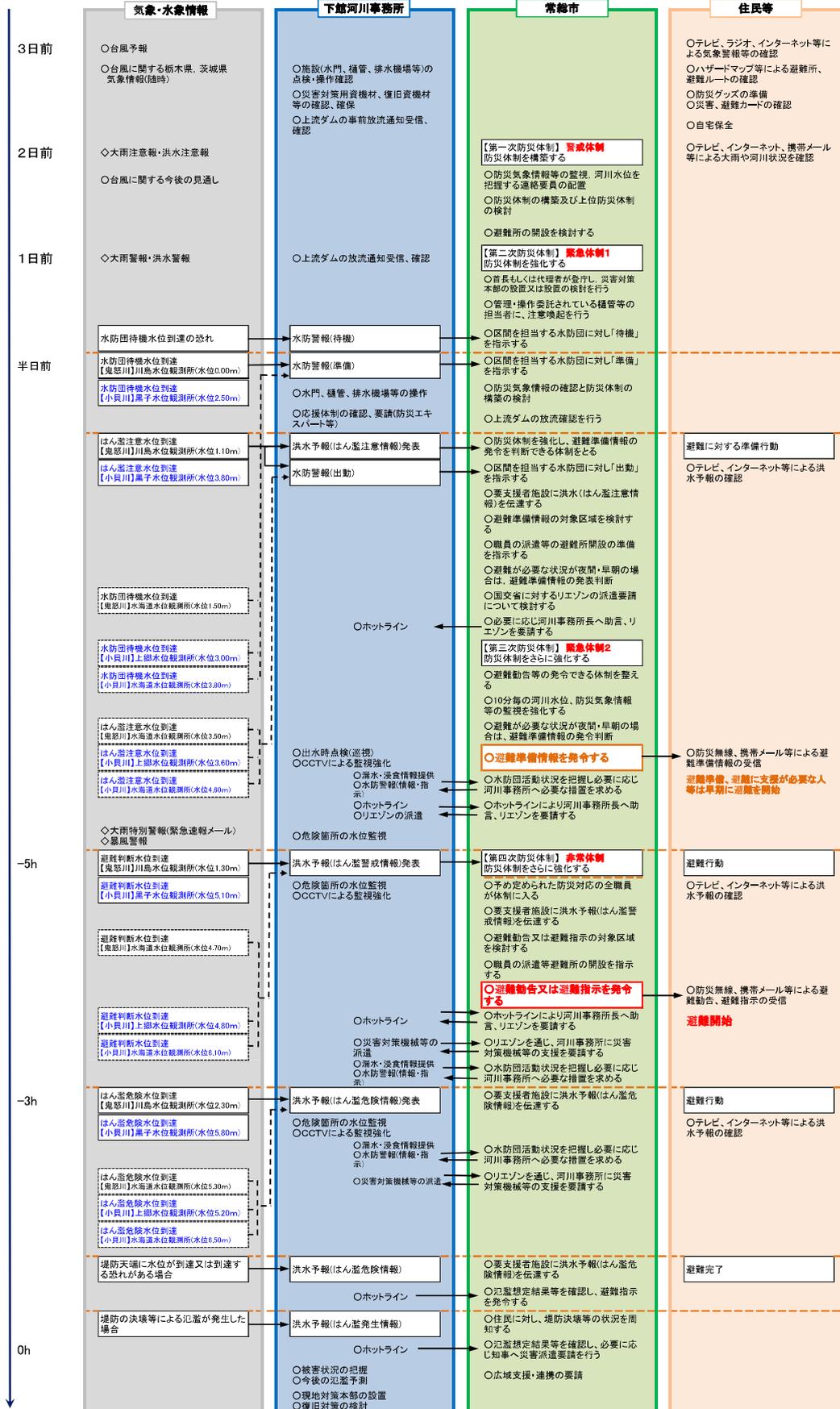
今年度は、若宮戸地区、根新田地区をモデル地区として、検討会を進めます。



学識者

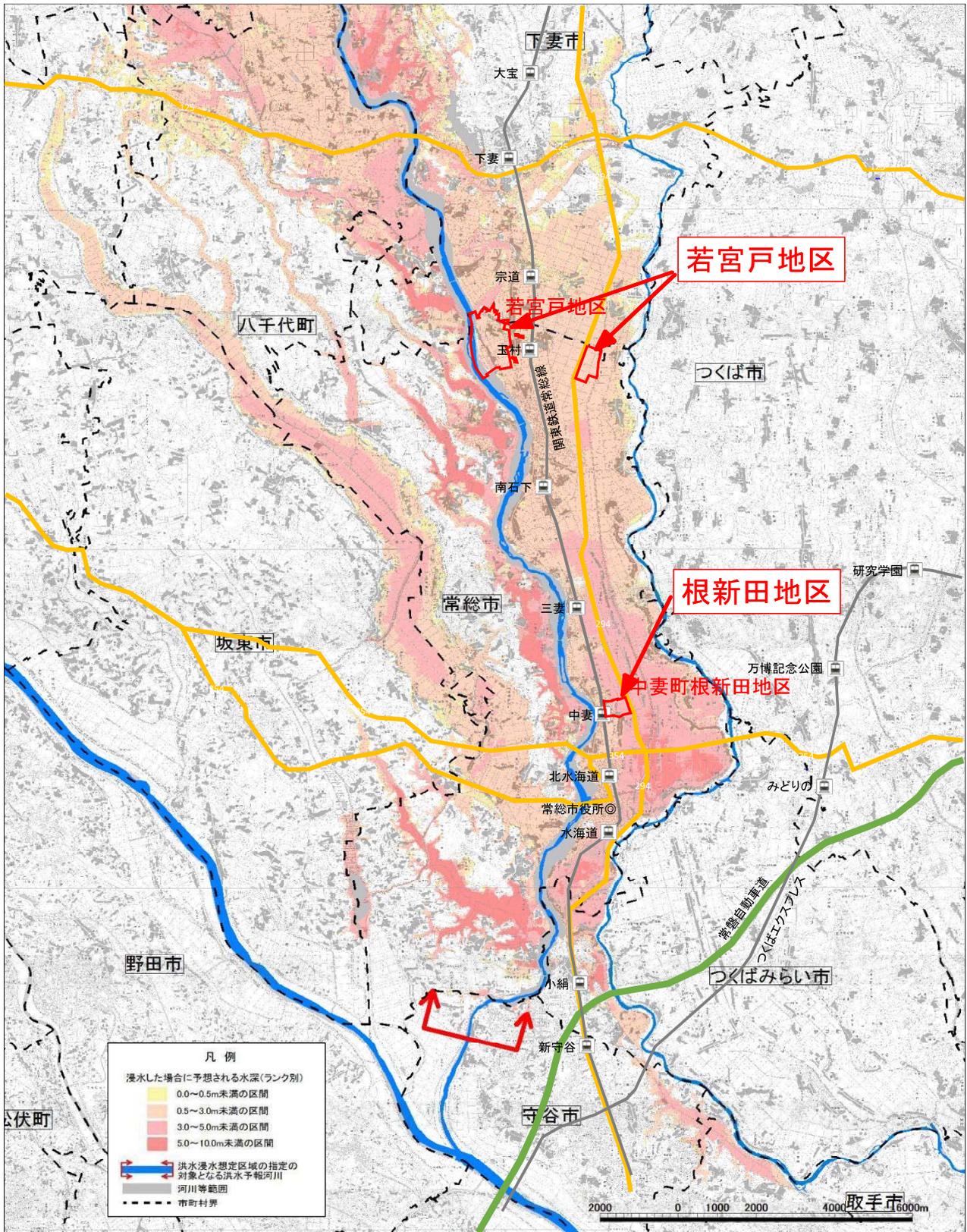
- ・筑波大学システム情報系社会工学域 川島宏一 教授
- ・茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科 地球変動適応科学研究機関 伊藤哲司 教授・機関長
- ・筑波大学院システム情報系構造工ネルギー工学科 白川直樹 准教授

台風による洪水を対象とした避難勧告発令等に着目したタイムライン(防災行動計画)(H28年6月版)
常総市(鬼怒川・小貝川)



※今後の出水や訓練等を通じて見直しを行っていく

モデル地区位置図



学識者のプロフィール

川島宏一

筑波大学システム情報系社会工学域教授

●専門分野

自治体経営、データによる地域課題の解決

●経歴

- 1984. 4 国土交通省（建築基準、宅地開発、公共施設整備）（-2003. 6）
- 1991. 8 インドネシア共和国住宅担当国務大臣府（アドバイザー）（-1992. 8）
- 1994. 9 北九州市（都市計画局開発部長）（-1997. 7）
- 1998. 6 世界銀行（上席都市専門官など）（-2006. 3）
- 2006. 3 佐賀県（最高情報統括監（CIO））（-2011. 3）
- 2012. 8 （株）公共イノベーション（代表取締役）（-2015. 3）
- 2015. 4 筑波大学大学院システム情報工学系教授

●委員会等経歴（現在就任中のものから抜粋）

- 2016. 2 水戸市都市計画審議会会長
- 2016. 4 国土交通省 G 空間基本計画に関する官民勉強会委員
- 2016. 10 内閣官房 データ流通環境整備検討会オープンデータ WG 構成員

●常総市との関わり

- 2015 常総市復興ビジョン懇話会委員
- 2015 常総市水害対策検証委員会委員長
- 2016 常総市復興計画策定委員会委員

●検討会に向けてひとこと

2015. 9 関東・東北豪雨で甚大な被害を受けた鬼怒川・小貝川地域から「みんなでタイムラインプロジェクト」という日本のこれからの防災活動をリードする取り組みがスタートすることを大変嬉しく思います。関係する地域にお住いの皆様との議論が実り多いものとなるよう貢献したいと考えております。

伊藤哲司

茨城大学 人文学部人文コミュニケーション学科 教授
地球変動適応科学研究機関 機関長

●専門分野

社会心理学、サステナビリティ学

●経歴

1993. 4 茨城大学人文学部講師

1995 博士（心理学）取得（名古屋大学）

1996. 4 茨城大学人文学部助教授

1998. 5～1999. 2 文部省在外研究員としてベトナム・ハノイ滞在

2006. 4 茨城大学人文学部教授 現在に至る

2014. 9 茨城大学地球変動適応科学研究機関機関長 現在に至る

●委員会等経歴

2016. 3 守谷市まちづくり検討委員会委員

●常総市との関わり

2015 常総市復興ビジョン懇話会アドバイザー

2015 常総市水害対策検証委員会委員

2016 常総市復興計画策定委員会アドバイザー

2015年9月に発生した水害以前は、常総市とはほとんど関わりがありませんでした。この水害の直後に茨城大学で調査団を立ち上げ、自ら団長になり、また学生にも働きかけてボランティア活動を促してきました。2016年9月1日には、常総市の小中学校12校に20名の学生を派遣し、防災ゲーム「クロスロード」を実施し好評を得ました。この災害がきっかけとなった常総市の方たちとの縁を、これからも大事にしていきたいと思っています。

●検討会に向けてひとこと

もともと災害研究の専門家ではないのですが、インド洋大津波、東日本大震災、熊本地震などの被災地を歩いてきました。被災の経験はみな個別的ですが、ということは、これから予想される災害で、個々人の状況に合わせた備えをしておくことはとても重要であります。今回のプロジェクトが画期的なものになるよう、微力ではありますが前向きに取り組ませていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

白川直樹

筑波大学システム情報系（構造エネルギー工学域）准教授

●専門分野

河川工学

●経歴

1998.4 東京大学工学部助手

2003.9 筑波大学機能工学系講師

2010.4 筑波大学システム情報系准教授

●委員会等経歴

2004 国土交通省 河川水辺の国勢調査アドバイザーグループ委員

2005 環境省 公共事業と環境政策のあり方に関する懇談会委員

2009 アジア河川・流域再生ネットワーク技術委員

2013 つくば市上下水道審議会委員

2015 国土交通省 関東地方河川技術懇談会委員

●常総市との関わり

2015 常総市復興ビジョン懇話会委員

2015 常総市水害対策検証委員会委員

2016 常総市復興計画策定委員会委員

●検討会に向けてひとこと

災害発生時に自分の身を守り周りの人を助けるには、ふだんから相手を知ることが重要です。相手とは災害（洪水なら川）であり、助ける人（家族や隣人）であり、自分自身でもあります。たいへんな水害を経験された皆様だからこそ、その貴重な体験に基づいた日本最先端の災害対策を考えることができます。少しでも地域の安全を高めるお手伝いできれば幸いです。

常総市マイ・タイムライン検討会規約（案）

（名称）

第1条 この会議は、「常総市 マイ・タイムライン検討会」（以下「検討会」という。）と称する。

（目的）

第2条 検討会は、常総市において、住民一人ひとりが 自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、いわば「自分の逃げ方」を手に入れることを目的として、市役所のサポートの下でそれぞれの環境に合ったマイ・タイムラインを自ら検討する場として設置する。

（検討会の構成）

第3条 検討会は、別表1をもって構成する。

2 検討会の運営、進行及び招集は事務局が行う。

3 検討会は、住民一人ひとりが参画し、それぞれの環境に合ったマイ・タイムラインを自ら検討する。

（運営会議の構成）

第4条 検討会に運営会議を置く。

2 運営会議は、別表2をもって構成する。

3 運営会議の運営、進行及び招集は事務局が行う。

4 運営会議は、検討会の円滑な運営のために必要な諸事項等を調整・決定することを目的とする。

（公開・傍聴）

第5条 検討会は、原則として報道機関を通じて公開とする。ただし、内容によっては、運営会議に諮り、非公開とすることができる。

2 運営会議は、原則非公開とする。なお、運営会議の調整の結果を検討会の資料として使用することで公開と見なす。

3 傍聴に関しては、必要な事項を別途定めるものとする。

（検討会資料等の公表）

第6条 検討会で使用した資料等については速やかに公表するものとする。ただし、個人情報等で公表することが適切でない資料等については公表しないものとする。

（事務局）

第7条 検討会及び運営会議の庶務を行うため、事務局を置く。

2 事務局は、常総市、関東地方整備局下館河川事務所で行う。

(モデル地区)

第8条 平成28年度は、モデル地区を若宮戸地区、根新田地区の2箇所とする。

(雑則)

第9条 この規約に定めるもののほか、検討会の議事の手続きその他運営に関し必要な事項については、運営会議で定めるものとする。

(附則)

第10条 本規約は、平成28年11月13日から施行する。

別表 1

住民

若宮戸地区、根新田地区の住民

関係機関

常総市

常総警察署

茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部 下妻消防署 石下分署

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部 水海道消防署

茨城県 生活環境部

茨城県 土木部

気象庁 水戸地方气象台

関東地方整備局 下館河川事務所

学識者

筑波大学システム情報系社会工学域 川島宏一 教授

茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科 伊藤哲司 教授

筑波大学院システム情報系構造エネルギー工学域 白川直樹 准教授

別表 2

住民

若宮戸地区 自治区長

根新田地区 自治区長

関係機関

常総市 市民生活部

常総市 都市建設部

常総市 保健福祉部

常総警察署

茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部 下妻消防署 石下分署

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部 水海道消防署

茨城県 生活環境部 防災・危機管理課

茨城県 土木部 河川課

気象庁 水戸地方气象台

関東地方整備局 下館河川事務所

学識者

筑波大学システム情報系社会工学域 川島宏一 教授

茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科 伊藤哲司 教授

筑波大学院システム情報系構造エネルギー工学域 白川直樹 准教授

傍聴に当たっての注意事項

傍聴に当たっては、以下の注意事項をご確認いただき、遵守してください。

- 当日、建物は他の団体も使用していますので、他団体の迷惑にならないようご協力をお願いします。
- 事務局の指定した場所以外での撮影、取材は、ご遠慮ください。
- 傍聴席でのPC等の使用は、議事や他の傍聴者の迷惑にならない限り可能です。
- 取材に必要となる電源は、各社（各自）にてご用意下さい。
- 携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切り下さい。
- 会場では、発言、私語、談論、拍手等を行わないで下さい。
- プラカードを掲げたり、はちまき、腕章の類を付けたり、ビラ等の配布を行わないで下さい。
- 会場での飲食及び喫煙はご遠慮下さい。
- 事故防止の観点から、取材に当たっては節度ある行動をお願いします。
- 手荷物・貴重品等の管理は各自にてお願いします。
- 会議の円滑な進行のため、係員の誘導、指示に従って下さい。
- 上記の他、会議の進行を妨げたり、会場の秩序を乱す行為をしないで下さい。

これらを遵守していただけない場合には、退席を求めることがあります。

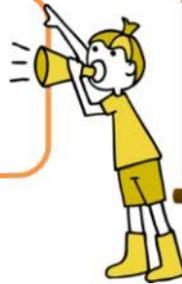
今後の予定

- ◆ 第1回検討会
 - ・根新田地区
日時：11月20日（日）AM10:00～12:00
場所：根新田会館
 - ・若宮戸地区
日時：11月27日（日）AM10:00～12:00
場所：玉小学校体育館
- 第2回運営会議
日時：1月22日（日）AM10:00～12:00
場所：常総市役所 石下庁舎
- ◆ 第2回検討会
 - ・根新田地区
日時：1月29日（日）AM10:00～12:00
場所：常総市役所
 - ・若宮戸地区
日時：2月5日（日）AM 9:00～12:30
場所：玉小学校体育館
- 第3回運営会議
日時：2月12日（日）AM10:00～12:00
場所：根新田会館
- ◆ 第3回検討会
 - ・根新田地区
日時：2月19日（日）AM10:00～12:00
場所：常総市役所

本日のスケジュール

1. 開会
2. 趣旨説明
3. 各機関の取り組み紹介
4. 鬼怒川緊急対策プロジェクトについて
5. 検討会の進め方について
6. 自分たちの住んでいる地区について
7. 意見交換
8. 洪水のリスクについて
9. 意見交換
10. とりまとめ
11. 閉会

逃げおくれのない
地区にしよう！！



第1回検討会
11月20日
10:00~12:00
根新田会館

みんなで意識を高め、
鬼怒川の洪水にそな
えましょう。



「水防災意識社会」の再構築を目指します。

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

第1回マイ・タイムライン検討会に関するアンケートへのご協力をお願い

今後の取組みの参考とさせていただくため、皆様のご意見をお聞かせください。

1. 今回の検討会の内容は理解できましたか。

【地区の特性】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

【過去の洪水から学ぶ】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

【地形の特徴から学ぶ】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

【最近の雨の降り方と傾向】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

【「想定最大規模の雨」で鬼怒川が氾濫したら】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

2. 1. の質問で「分かりにくかった」、「全然分からなかった」と回答した方にお聞きします。特に分からなかった部分に対して、自由なご意見をお聞かせください。

→

3. 本日の検討会に参加して分かったことや気づいたこと、今後どのように役立ちそうか、自由にご意見をお聞かせください。

→

*ご自身のことをお尋ねします。差支えない範囲で、以下についてご回答ください

■お名前 () ■お住まい (地区 自治会)

■ご年齢 (10代未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上)

■ご職業 ()

■家族構成 ()人 ※ペットを含まない人数を記入願います。

曾祖父・曾祖母 祖父・祖父母 父・母 子供(中学生以上)

子供(中学生未満) 乳幼児 ペット ()

■車の有無 有 ()台 無

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

2016.11.13

関係機関への調整事項について

第1回検討会時には、住民の方に向けて関係機関の挨拶の時間を設ける予定です。1～2分程度の短い時間ではありますが、挨拶に合わせて各機関の取組状況の紹介等も実施していただければと考えております。配布資料、スライド等のご利用を希望される機関については、事前にご登録をお願いします。

なお、根新田地区の第1回検討会が11月20日を予定しておりますので、

締切り：11月16日まで

に、資料をメール等で送付いただければありがたいです。

よろしく申し上げます。

○送付・問合せ先

下館河川事務所 調査課 平出

TEL：0296-25-2171



記者発表資料

みんなでタイムラインプロジェクトが本格始動

～ モデル地区の常総市根新田地区において第1回目の検討会を開催します ～

市町、県、国で構成する鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会が、逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動に向けて準備を進めてきた「みんなでタイムラインプロジェクト」が本格始動します。

今年度モデル地区として選定した常総市根新田地区において、**地区の住民が参画して一人ひとりの環境にあったマイ・タイムラインを自ら検討・作成する「第1回 常総市マイ・タイムライン検討会（根新田地区）」**を開催します。

1. 対象地区

常総市根新田地区

2. 開催日時

平成28年11月20日(日) 10:00～12:00

3. 開催場所

茨城県常総市中妻町 根新田会館

開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線中妻駅 徒歩10分(別添地図参照)

4. 議事(予定)

自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る

5. 公開等

- ・検討会は、報道機関を通じて公開いたします。
- ・カメラ撮り等は可能です。
- ・その他、取材に関する詳細は、別添資料をご覧ください。

※ もう一つのモデル地区(若宮戸地区)では27日に開催予定です。後日、あらためてお知らせします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、
栃木県政記者クラブ、筑西市記者クラブ、宇都宮市政記者クラブ、取手記者会
筑波研究学園都市記者会、龍ヶ崎記者会、つくば市記者会

問い合わせ先

常総市 市民生活部 安全安心課

斎藤課長、溝上危機管理監 (TEL: 0297-23-2111)

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所

須藤副所長 (TEL: 0296-25-2161)、伊藤調査課長 (TEL: 0296-25-2171)

第1回 常総市マイ・タイムライン検討会（根新田地区）の 開催について（報道の方へ）

標記検討会について下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

記

1. 開催日時

平成28年11月20日（日） 10:00～12:00（予定）

2. 開催場所

茨城県常総市中妻町 根新田会館

開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線中妻駅 徒歩10分（別添地図参照）

3. 会議の公開

- 会議は、報道機関を通じて公開いたします。
- カメラ撮り等は可能です。

4. 報道関係者の受付

- 受付日時 平成28年11月20日（日） 9:30～10:00まで
- 受付場所 茨城県常総市中妻町 根新田会館前
- 事前の登録が必要です。別添登録様式にご記入の上、
平成28年11月17日（木）12:00までに、様式の送付先に送ってください。
- 当日、受付にて必要事項を記入の後、係員の指示により会場へ入場をお願いします。
- スペースが限られているため、机や椅子が不足する事態もあり得ますが、ご理解ください。
- 当日は、受付にて「受付証」をお渡ししますので着用をお願いします。なお、お帰りの際に係員へ返却下さい。

5. 取材に当たっての注意事項

取材に当たっては、以下の注意事項をご確認いただき、その遵守へのご協力をお願いします。

- 事務局の指定した場所以外での撮影、取材は、ご遠慮ください。
- 傍聴席でのPC等の使用は、議事や他の傍聴者の迷惑にならない限り可能です。
- 取材に必要な電源は、各社（各自）にてご用意下さい。
- 携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切り下さい。
- 会場では、発言、私語、談論、拍手等を行わないで下さい。
- プラカードを掲げたり、はちまき、腕章の類を付けたり、ビラ等の配布を行わないで下さい。
- 会場での飲食及び喫煙はご遠慮下さい。
- 事故防止の観点から、取材に当たっては節度ある行動をお願いします。
- 手荷物・貴重品等の管理は各自にてお願いします。
- 会議の円滑な進行のため、係員の誘導、指示に従って下さい。
- 上記の他、会議の進行を妨げたり、会場の秩序を乱す行為をしないで下さい。

■茨城県常総市中妻町 根新田会館

最寄り駅：関東鉄道常総線中妻駅 徒歩10分です。

※駐車場の台数には限りがありますので、来場の際はできるだけ公共交通機関をご利用下さい。



YAHOO! JAPAN 地図 <http://map.yahoo.co.jp/> より

案内図

事前登録書

平成28年11月20日（日）の「第1回 常総市マイ・タイムライン検討会（根新田地区）」につきまして、取材を希望される報道機関におかれましては、事前に登録をお願いします。

開催場所は、一般的な自治区の会館となります。駐車台数が非常に少なく限りがあるため、見学をご遠慮いただく場合があります。来場の際はできるだけ公共交通機関をご利用下さい。

FAX送信期限：平成28年11月17日（木）12：00まで

1. 報道機関名 _____

2. 氏名等

ご氏名 (代表者のみ)	連絡先 (電話番号)	メールアドレス	人数 (代表者含む)	車台数

3. 送付先 FAX：0296-25-3019

4. 事前登録に関する問合せ先

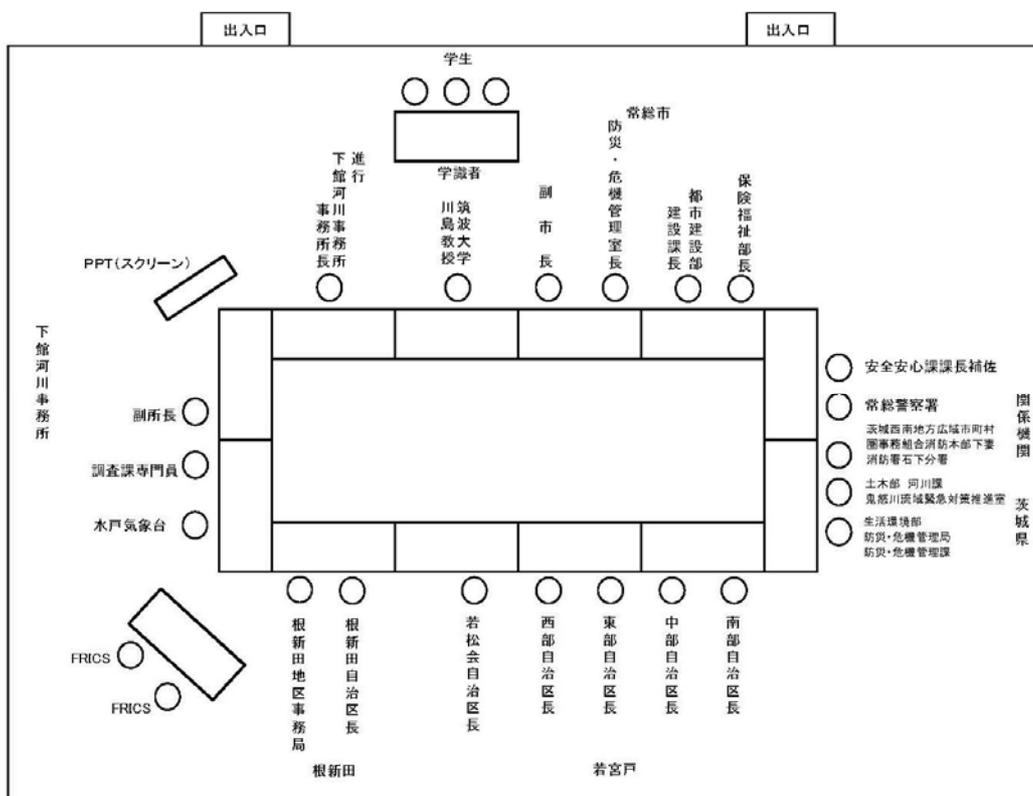
国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所 調査課長 伊藤 克雄

TEL：0296-25-2171

参考資料 2-1-2

第1回運営会議配席図及び使用した機材・備品

■配席図：



■使用した機材および備品：

映像・音響機材			
音響機器一式	スクリーン	プロジェクター	ノートパソコン
マイク	延長コード		
備品			
三角プレート	レーザーポインター	ホワイトボード	机・椅子

参考資料 2-2-1

第 2 回運営会議配布資料

～みんなでタイムラインプロジェクト～
第2回マイ・タイムライン検討会
運営会議

議 事 次 第

日時：平成29年1月22日（日）

10：00～12：00

場所：常総市役所 石下庁舎 会議室

1. 第1回検討会の振り返りについて
2. 第2、3回検討会について
 - (1) 第2、3回検討会議事次第
 - (2) 検討会の進め方
 - (3) アンケートへのご協力をお願い
3. 今後について
 - (1) グループ討論の進め方の打合せについて
 - (2) マニュアルの作成のご協力をお願い
4. その他
 - (1) 記者発表に関して

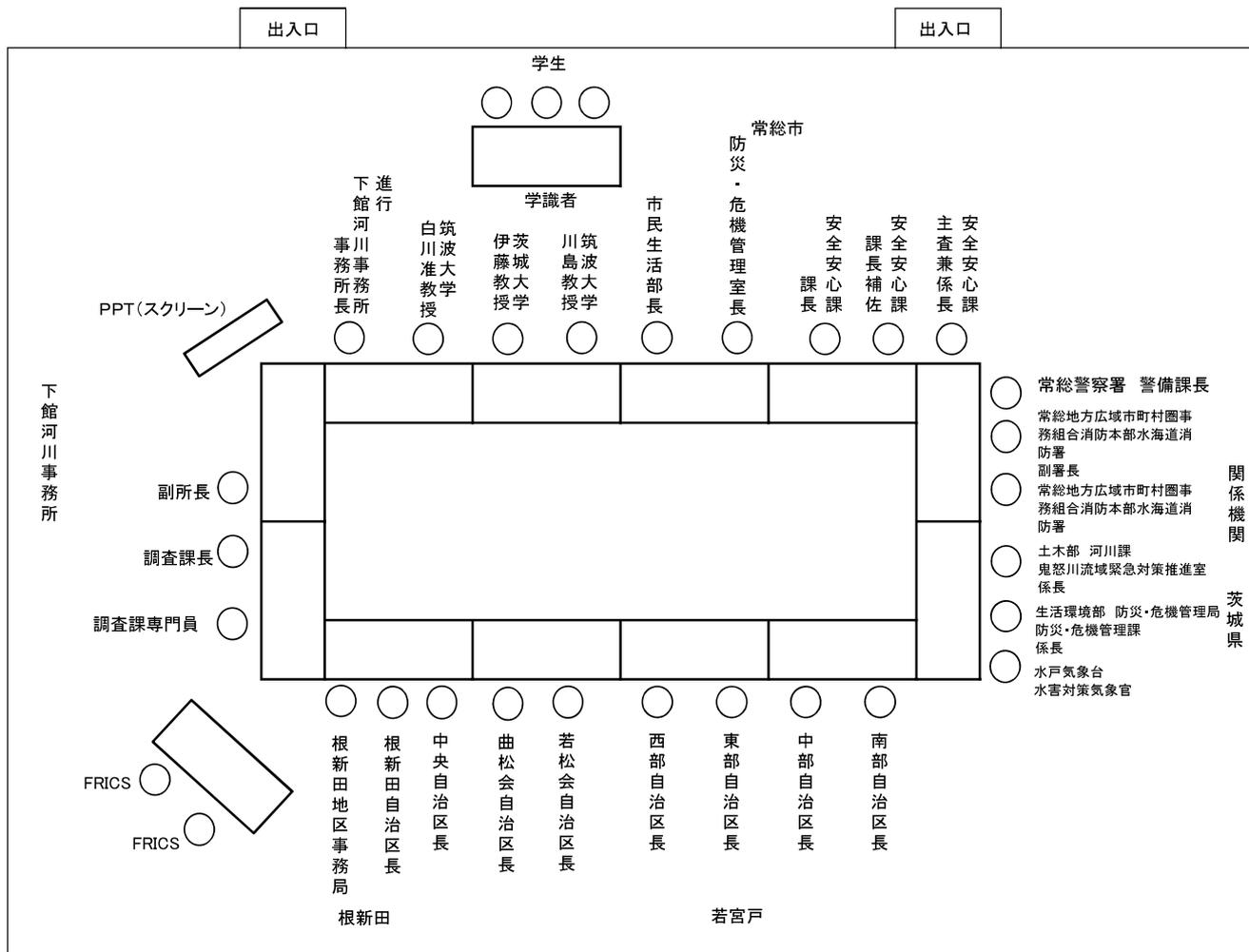
みんなでタイムラインプロジェクト
第2回マイ・タイムライン検討会 運営会議 参加者

機関名	部名・課名	役職	氏名	備考
若宮戸地区	若宮戸南部	自治区長	青柳 清	
	若宮戸中部	自治区長	小林 健治	
	若宮戸東部	自治区長	門井 富男	
	若宮戸西部	自治区長	猪瀬 峰雄	
	若宮戸若松会	自治区長	芦ヶ谷 城	
	若宮戸曲松会	自治区長	佐藤 一也	
	若宮戸中央	自治区長	菊池 進	
根新田地区	根新田	自治区長	鈴木 孝八郎	事務局:須賀英雄
学識者	筑波大学システム情報系社会工学域	教授	川島宏一	学生(1人)
	茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科	教授	伊藤哲司	学生(1人)
	筑波大学システム情報系構造エネルギー工学域	准教授	白川直樹	学生(1人)
常総市	市民生活部長	部長	須藤 一徳	
	市民生活部安全安心課	課長	斎藤 健司	
	市民生活部安全安心課	防災・危機管理室長	溝上 博	
	市民生活部安全安心課	課長補佐	小林 弘	
	市民生活部安全安心課	主査兼係長	安田 洋行	
常総警察署	警備課長	警部	清水 健吾	
常総地方広域市町村圏事務組合消防本部	水海道消防署	副署長	山田 修	
	水海道消防署北出張所	所長	渡辺 和彦	
茨城県	生活環境部 防災・危機管理局 防災・危機管理課	係長	小林 毅史	
	土木部 河川課鬼怒川流域緊急対策推進室	係長	皆藤 開平	
水戸气象台		水害対策気象官	金内 正文	
国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所		所長	里村 真吾	
		副所長	須藤 純一	
	調査課	調査課長	伊藤 克雄	
		専門員	平出 亮輔	

マイ・タイムライン【第2回運営会議】 配席図

平成29年1月22日(日)10:00~12:00

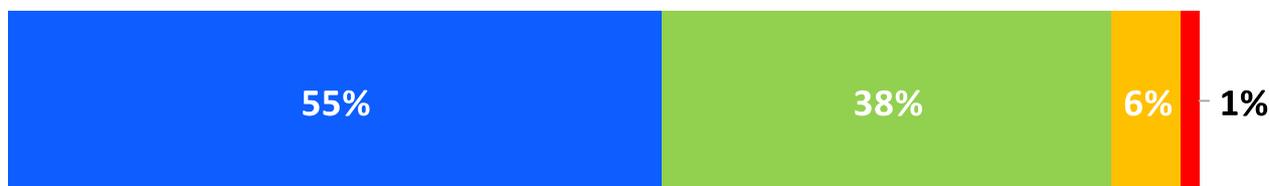
常総市役所 石下庁舎 会議室



第1回根新田地区検討会アンケート集計結果（総数 70 名）

1. 今回の検討会の内容は理解できましたか。

図1 地区の特性



■ 理解できた ■ 概ね理解できた ■ 分かりにくかった ■ 全然分からなかった

理解度では、理解できたと回答した方が、55%と最も多い。概ね理解できたと回答した方を合わせると9割以上を超えた。検討会の内容5項目の中では、最も理解度が高かった項目の1つである。

図2 過去の洪水から学ぶ



■ 理解できた ■ 概ね理解できた ■ 分かりにくかった ■ 全然分からなかった

概ね理解できたと回答した方が、53%と最も多い。続いて、理解できたの割合が37%となった。理解できた、概ね理解できたを合計すると、9割となるが、概ね理解できたと分かりにくかったの割合が高く、検討会の内容5項目の中では、理解度が低かった項目である。

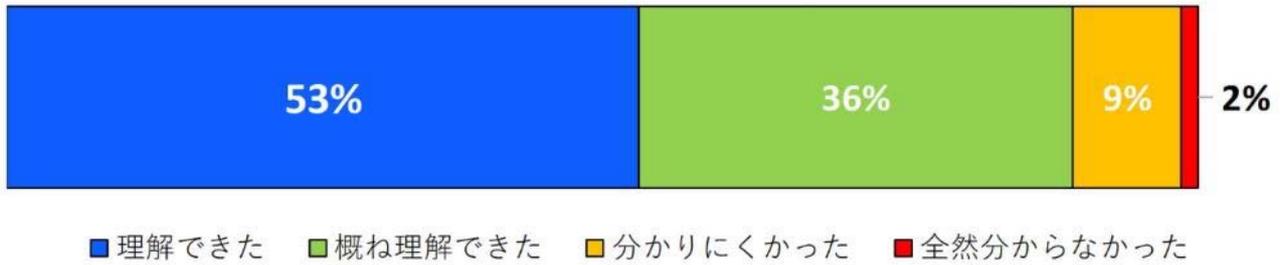
図3 地形の特徴から学ぶ



■ 理解できた ■ 概ね理解できた ■ 分かりにくかった ■ 全然分からなかった

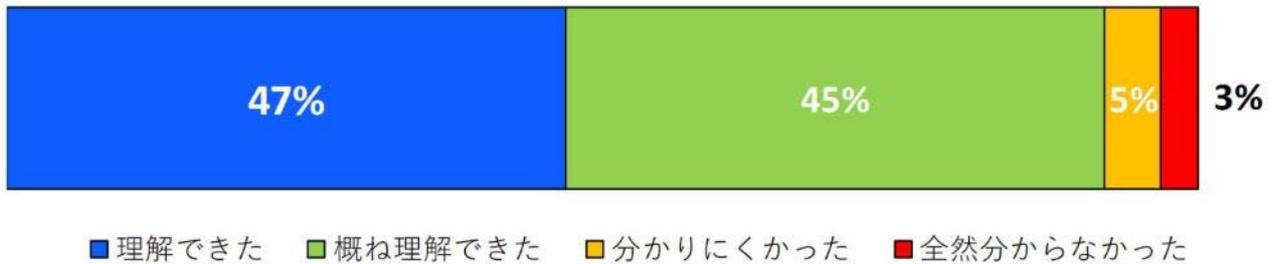
理解できたの割合が、54%と最も高く、続いて概ね理解できたが39%となった。理解できた、概ね理解できたを合計すると、9割以上となり、検討会の内容5項目の中では、「地区の特徴」と並んで、理解度の高い項目であった。

図4 最近の雨の降り方と傾向



理解できたの割合が、53%と最も高く、次いで概ね理解できたの割合が36%と高い。ただし、分かりにくかったと全然分からなかったの割合の合計は11%となり、理解できた方と理解できなかった方に開きがあった。

図5 「想定最大規模の雨」で鬼怒川が氾濫したら



理解できたの割合は47%、概ね理解できたの割合が45%となった。理解できた、概ね理解できたを合計すると、92%となった。

2. 1の質問で「分かりにくかった」、「全然分からなかった」と回答した方の意見。

- 早口でわかりにくい (20代・男性)

3. 本日の検討会に参加して分かったことや気づいたこと、今後どのように役立ちそうか。

- 地域の特性が良く理解出来、今後の生活の上で役立つと思う。(60代・女性)
- 決壊してから浸水時間がどの位かかるかで避難の準備の仕方が変わってくる事がわかった。(50代・女性)
- 地形の特徴 (60代・女性)
- 地域の洪水に対するリスクの程度を理解できました。あらためて、リスクの高い地域に住んでいると感じました。(40代・男性)
- もうすこし専門的ではない説明もしてほしいかったです。自宅避難で過ごしてましたので、避難ありきでの話にはちょっと！(50代・女性)
- 地区の特性、洪水になった時の地区の想定される状況が確認できた (浸水時間、到達時間) 高齢者

世帯、日中高齢者のみの場合の避難方法 身障者等の避難について病院の受入れ先とか、身障者用トイレのある避難場所などについては早く対応してほしい。(50代・女性)

- 地区の地形 (50代・男性)
- 土地の高低がわかった (70代以上・女性)
- 低い土地なんだと思いました。(30代・男性)
- "浸水継続時間と下流で堤防決壊したときの到達時間を知ることができたことが有意義だった。市役所の方から世帯数等の報告がありましたが、独居老人宅の件数も押えておければと思います。(50代・男性)
- 密に連絡する事 (60代・男性)

第1回若宮戸地区検討会アンケート集計結果(総数 61名)

1. 今回の検討会の内容は理解できましたか。

図1 地区の特性



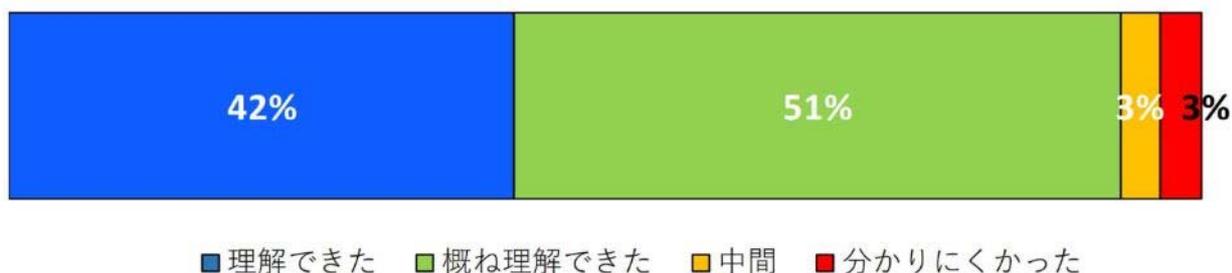
理解度では、概ね理解できたと回答した方が、56%と最も多い。続いて、理解できたと回答した割合が39%となった。概ね理解できたと回答した方を合わせると95%となる。

図2 過去の洪水から学ぶ



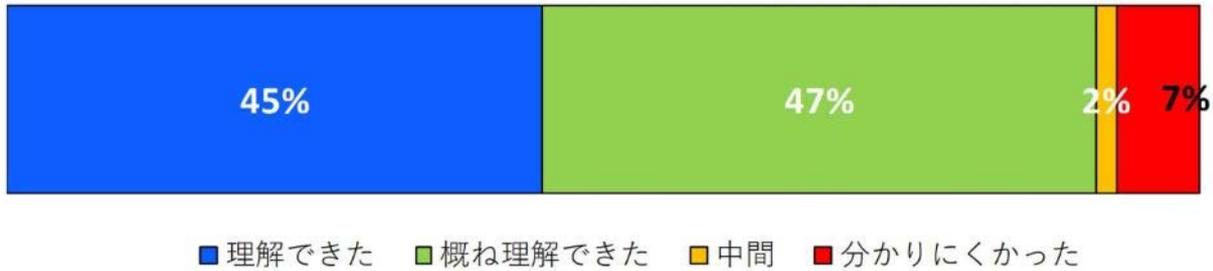
概ね理解できたと回答した方が、60%と最も多い。続いて、理解できたと回答した割合が28%となった。理解できた、概ね理解できたを合計すると、9割弱となる。一方、理解できたと回答した割合は3割弱、分かりにくかったの割合が10%と高く、検討会の内容5項目の中では、理解度が低かった項目であった。

図3 地形の特徴から学ぶ



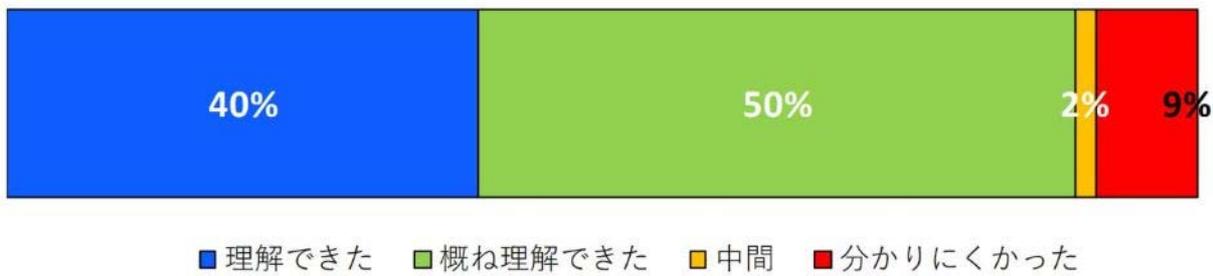
概ね理解できたと回答した割合が、51%と最も高く、続いて理解できたと回答した割合が42%となった。理解できた、概ね理解できたと回答した方を合計すると、93%となった。分かりにくかったの割合も低く、検討会の内容5項目の中では、理解度の高い項目であった。

図4 最近の雨の降り方と傾向



概ね理解できたの割合が、47%と最も高く、次いで理解できたの割合が45%と高い。分かりにくかったの割合は7%であるが、検討会の内容5項目の中では、理解できたの割合が最も高く、理解度の高い項目の1つであった。

図5 「想定最大規模の雨」で鬼怒川が氾濫したら



概ね理解できたの割合は50%、理解できたの割合が40%となった。理解できた、概ね理解できたを合計すると、90%となるが、分かりにくかったの割合も9%と比較的高くなった。

2. 1の質問で「分かりにくかった」、「全然分からなかった」と回答した方の意見。

- 気象警報や避難情報をこまめに収集、確認する。(60代・男性)
- 説明が要領を得ない→勉強不足(国交省) (60代・男性)
- 洪水の時の対策 (40代・女性)
- 地元の人々と他地域から引越して来られた人々とは理解度が違うと思いますので、その差を埋める説明も必要かと思います。(70代以上・男性)
- 地図で場所が判りにくい(23k付近では?) 高低差も? (60代・男性)
- 時間が短く内容理解できなかった点がある (60代・男性)
- 資料の説明が短時間で理解できないまま進行していた。高齢者は頭の回転がおそいので! (70代以上・男性)
- 時間がたりなく、理解不足と感じた (50代・男性)
- 概ね理解は出来ましたが、地形図他参考資料が小さすぎてもう少しこまかくしてほしいです。地形Y.Pなど専門用語ではなくだれでもわかりやすく説明してほしいです。(匿名)

3. 本日の検討会に参加して分かったことや気づいたこと、今後どのように役立ちそうか。

- 若宮戸の地形の高低差による水流が分かれば避難経路も判断しやすいかなと思う (60代・男性)
- 常総市でも私達の住んでいる土地は高い。でも上流で破堤した場合の避難方法の考え方。
(60代・男性)
- 常総市防災無線が聞きとりにくい。もっとハッキリ判る無線に取り替えてほしい。(70代以上・男性)
- 水の流れを知る事で避難場所の選びが出来ることでした (60代・女性)
- 嫁いでこちらに越してきて10年以上になりますが、やはり、今回の水害で、地形について、知っておかないといけないなあとつくづく感じております。このように、意見交換する場を与えて頂けるとありがたいと思います。次回も是非参加して地域のことをもっとよく勉強させていただきたいと思っております。司会者さんのお話しもよくわかり、進め方も上手なので、あっという間の2時間でした。ご苦労様でした。次回もよろしくお願ひします。あと次は暖房対策も願ひします (40代・女性)
- 大変わかりやすかった。司会進行の方が丁寧でよかったです。自治会規模で避難を考えねばいけないと痛感しています。動けない人をどうするか、もっと具体的に話せればと思います。(50代・女性)
- もっと質問の時間を取るべき!! (60代・男性)
- 河川事務所のHPでのシミュレーションはぜひ参考にしたいと思います (40代・女性)
- 今回の様子をホームページ等にアップしてほしい (動画で!) (40代・男性)
- 避難する場所の地形など理解して行動しないと時間のロスになって避難がむずかしくなる
(50代・女性)
- 今後逃げる場所等検討したい (40代・匿名)
- マイタイムラインの必要性は理解しましたが、常総市からの被害情報や避難情報のソフト面をさらに強化してほしい。(簡便的かつ詳細に) 水害にあった際、被害情報等の情報収集に友人等の情報交換を行って大分役に立ちました。これを常総市から行うことでもっと沢山の人間に情報共有が出来たと思ひました。(例:LINEアプリのタイムラインに情報を出す等) (匿名)
- 地形の特徴も分かり高い所、低い所がわかりました。(知らずに逃げた千代川で本当に良かった。)
(60代・匿名)
- 地形的にわからず千代川の方に子供の〇〇で (70代以上・男性)
- 過去の状況は概ね説明より理解できたが、今後考えられる災害地の想定を知りたい。(60代・男性)
- 水の逆流もある事 (60代・男性)
- 若宮戸地区の水害状況等が多少理解できた! (60代・男性)
- 地域の地形。大雨の時の対策について勉強になった。今後の避難時の参考にして準備していきたいと思ひます。(50代・男性)
- 本日の検討会の事を家族の人に話し、自分がわかっているのではなく、家族全員で話をする事が大事だと思ひます。(40代・男性)
- 地形の高低差などがわかりました。(70代以上・男性)
- 災害に対しては、自助・共助・公助が必要である。本日参加した人たちは、災害に対し意識を持っている人たちでしょうから、今後は地元に戻ってその人たちで共助を進めていくべきと考える。
(50代・男性)

- 自分たちだけでなく、この様な型での検討会は良いと思った。講師の先生方のお話しかなかった。
(70代以上・男性)
- 上流の洪水では、にげる事がわかりました (匿名)
- 昨年の自分家の被災との経験を、今後に生かしていければと思います。(40代・女性)
- 非常に良かった (70代以上・男性)
- 住民の人の意見等の市の対応の悪さが目立った。自分たちの理解、行動が一番大事だが、市の指示等も必要 (しっかりとした) だと思う。(40代・男性)
- 早めにハザードマップをつくって欲しい (50代・匿名)
- 大変良い勉強になった。(70代以上・女性)

グループリーダー及びサポートメンバー（事務局・学生）の皆様へ

★ グループ別の意見交換の時間は、ノートに記載してもらうことよりも、他の方の意見を聞いて考えていただくことが重要です。

■ 心得

安心の場づくり

- 中立の立場でいる
- 人の話を積極的に聞き、他のメンバーも意見が言えるような場をつくる
- 個人と個人の発言が攻撃されたり、無視されたりすることのないように保護する。

対話の促進

- 参加意欲を引き出す
- 発言者が偏らないように配慮する
- 住民同士の話し合いを促す
- 意見の相違を歓迎する
- みんなで議論することで、知識・経験・創造力が一層増すことを強調する

収束支援

- 住民の発言を記録し、整理し、要約する。
- 住民間の意見の相違を方向転換し、活用して、共通の利益にするように努める。

今後の予定

◆第2回検討会

- ・根新田地区
日 時：1月29日（日）AM10:00～12:00
場 所：常総市役所
- ・若宮戸地区
日 時：2月5日（日）AM 9:00～12:30
場 所：常総市立玉小学校

◆第3回検討会

- ・根新田地区
日 時：2月19日（日）AM10:00～12:00
場 所：常総市役所

記者発表資料

みんなでタイムラインプロジェクトが前進

～ 常総市根新田地区において、住民が自分自身の避難行動を自ら検討 ～

市町、県、国で構成する鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会では、「みんなでタイムラインプロジェクト」を進めています。

このたび、モデル地区の一つである常総市根新田地区において、第2回マイ・タイムライン検討会を開催します。この検討会では、いよいよ、地区の住民一人ひとりが、**自分自身の避難行動を自ら検討**します。

1. 対象地区

常総市根新田地区

2. 開催日時

平成29年1月29日(日) 10:00～12:00

3. 開催場所

茨城県常総市水海道諏訪町3222-3 常総市役所 議会棟2階 大会議室
 開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線水海道駅 徒歩10分(別添地図参照)

4. 議事(予定)

・「洪水時の自らの行動を想定」など

5. 公開等

- ・検討会は、報道機関を通じて公開いたします。
- ・カメラ撮り等は可能です。
- ・その他、取材に関する詳細は、別添資料をご覧ください。

※ もう一つのモデル地区(若宮戸地区)では2月5日に開催予定です。後日、あらためてお知らせします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、
 栃木県政記者クラブ、筑西市記者クラブ、宇都宮市政記者クラブ、取手記者会
 筑波研究学園都市記者会、龍ヶ崎記者会、つくば市記者会

問い合わせ先

常総市 市民生活部 安全安心課
 斎藤課長、溝上危機管理監 (TEL: 0297-23-2111)
 国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所
 須藤副所長 (TEL: 0296-25-2161)、伊藤調査課長 (TEL: 0296-25-2171)

第2回 常総市マイ・タイムライン検討会（根新田地区）の 開催について（報道の方へ）

標記検討会について下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

記

1. 開催日時

平成29年1月29日（日） 10:00～12:00（予定）

2. 開催場所

茨城県常総市水海道諏訪町3222-3 常総市役所 議会棟2階 大会議室
開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線水海道駅 徒歩10分（別添地図参照）

3. 検討会の公開

- 検討会は、報道機関を通じて公開いたします。
- カメラ撮り等は可能です。

4. 報道関係者の受付

- 受付日時 平成29年1月29日（日） 9:30～10:00まで
- 受付場所 茨城県常総市水海道諏訪町3222-3 常総市役所 議会棟2階 大会議室
- 事前の登録が必要です。別添登録様式にご記入の上、
平成29年1月26日（木）12:00までに、様式の送付先に送ってください。
- 当日、受付にて必要事項を記入の後、係員の指示により会場へ入場をお願いします。
- スペースが限られているため、机や椅子が不足する事態もあり得ますが、ご理解ください。
- 当日は、受付にて「受付証」をお渡ししますので着用をお願いします。なお、お帰りの際に係員へ返却下さい。

5. 取材に当たっての注意事項

取材に当たっては、以下の注意事項をご確認いただき、その遵守へのご協力をお願いします。

- 事務局の指定した場所以外での撮影、取材は、ご遠慮ください。
- 傍聴席でのPC等の使用は、議事や他の傍聴者の迷惑にならない限り可能です。
- 取材に必要な電源は、各社（各自）にてご用意下さい。
- 携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切り下さい。
- 会場では、発言、私語、談論、拍手等を行わないで下さい。
- プラカードを掲げたり、はちまき、腕章の類を付けたり、ビラ等の配布を行わないで下さい。
- 会場での飲食及び喫煙はご遠慮下さい。
- 事故防止の観点から、取材に当たっては節度ある行動をお願いします。
- 手荷物・貴重品等の管理は各自にてお願いします。
- 会議の円滑な進行のため、係員の誘導、指示に従って下さい。
- 上記の他、会議の進行を妨げたり、会場の秩序を乱す行為をしないで下さい。

■茨城県常総市水海道諏訪町3-2-2-3 常総市役所 議会棟2階 大会議室

最寄り駅：関東鉄道常総線水海道駅 徒歩10分です。



案内図

事前登録書

平成29年1月29日（日）の「第2回 常総市マイ・タイムライン検討会（根新田地区）」につきまして、取材を希望される報道機関におかれましては、事前に登録をお願いします。

FAX送信期限：平成29年1月26日（木）12：00まで

1. 報道機関名 _____

2. 氏名等

ご氏名 (代表者のみ)	連絡先 (電話番号)	メールアドレス	人数 (代表者含む)	車台数

3. 送付先 FAX：0296-25-3019

4. 事前登録に関する問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所 調査課長 伊藤 克雄

TEL：0296-25-2171



国土交通省関東地方整備局
気象庁・国土地理院
茨城県 龍ヶ崎市
下妻市
常総市
取手市
つくば市
守谷市
筑西市
つくばみらい市
八千代町

記者発表資料

みんなでタイムラインプロジェクト 住民一人ひとりのマイ・タイムラインが完成 ～ 常総市若宮戸地区において第2回検討会を開催します ～

市町、県、国で構成する鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会では、「みんなでタイムラインプロジェクト」を進めています。
このたび、モデル地区の一つである常総市若宮戸地区において、第2回マイ・タイムライン検討会を開催します。この検討会では、いよいよ、**マイ・タイムラインが完成**します。
全国ではじめて、住民一人ひとりがそれぞれの環境に合ったタイムラインを持つ自治会が誕生します。

1. 対象地区

常総市若宮戸地区

2. 開催日時

平成29年2月5日(日) 9:00～12:30

3. 開催場所

茨城県常総市若宮戸794番地 常総市立玉小学校

開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線玉村駅 徒歩10分(別添地図参照)

4. 議事(予定)

・「マイ・タイムラインの作成」など

5. 公開等

- ・検討会は、報道機関を通じて公開いたします。
- ・カメラ撮り等は可能です。
- ・その他、取材に関する詳細は、別添資料をご覧ください。

※ もう一つのモデル地区(根新田地区)の第3回検討会は2月19日に開催予定です。後日、お知らせします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、
栃木県政記者クラブ、筑西市記者クラブ、宇都宮市政記者クラブ、取手記者会
筑波研究学園都市記者会、龍ヶ崎記者会、つくば市記者会

問い合わせ先

常総市 市民生活部 安全安心課

斎藤課長、溝上危機管理監 (TEL: 0297-23-2111)

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所

須藤副所長 (TEL: 0296-25-2161)、伊藤調査課長 (TEL: 0296-25-2171)

第2回 常総市マイ・タイムライン検討会（若宮戸地区）の 開催について（報道の方へ）

標記検討会について下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

記

1. 開催日時

平成29年2月5日（日） 9:00～12:30（予定）

2. 開催場所

茨城県常総市若宮戸794番地 常総市立玉小学校

開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線玉村駅 徒歩10分（別添地図参照）

3. 検討会の公開

- 検討会は、報道機関を通じて公開いたします。
- カメラ撮り等は可能です。

4. 報道関係者の受付

- 受付日時 平成29年2月5日（日） 8:30～9:00まで
- 受付場所 茨城県常総市若宮戸794番地 常総市立玉小学校
- 事前の登録が必要です。別添登録様式にご記入の上、
平成29年2月2日（木）12:00までに、様式の送付先に送ってください。
- 当日、受付にて必要事項を記入の後、係員の指示により会場へ入場をお願いします。
- スペースが限られているため、机や椅子が不足する事態もあり得ますが、ご理解ください。
- 当日は、受付にて「受付証」をお渡ししますので着用をお願いします。なお、お帰りの際に係員へ返却下さい。

5. 取材に当たっての注意事項

取材に当たっては、以下の注意事項をご確認いただき、その遵守へのご協力をお願いします。

- 事務局の指定した場所以外での撮影、取材は、ご遠慮ください。
- 傍聴席でのPC等の使用は、議事や他の傍聴者の迷惑にならない限り可能です。
- 取材に必要な電源は、各社（各自）にてご用意下さい。
- 携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切り下さい。
- 会場では、発言、私語、談論、拍手等を行わないで下さい。
- プラカードを掲げたり、はちまき、腕章の類を付けたり、ビラ等の配布を行わないで下さい。
- 会場での飲食及び喫煙はご遠慮下さい。
- 事故防止の観点から、取材に当たっては節度ある行動をお願いします。
- 手荷物・貴重品等の管理は各自にてお願いします。
- 会議の円滑な進行のため、係員の誘導、指示に従って下さい。
- 上記の他、会議の進行を妨げたり、会場の秩序を乱す行為をしないで下さい。

■茨城県常総市若宮戸794番地 常総市立玉小学校

最寄り駅：関東鉄道常総線玉村駅 徒歩10分です。



YAHOO! JAPAN 地図 <http://map.yahoo.co.jp/> より

案内図

事前登録書

平成29年2月5日（日）の「第2回 常総市マイ・タイムライン検討会（若宮戸地区）」につきまして、取材を希望される報道機関におかれましては、事前に登録をお願いします。

FAX送信期限：平成29年2月2日（木）12：00まで

1. 報道機関名 _____

2. 氏名等

ご氏名 (代表者のみ)	連絡先 (電話番号)	メールアドレス	人数 (代表者含む)	車台数

3. 送付先 FAX：0296-25-3019

4. 事前登録に関する問合せ先

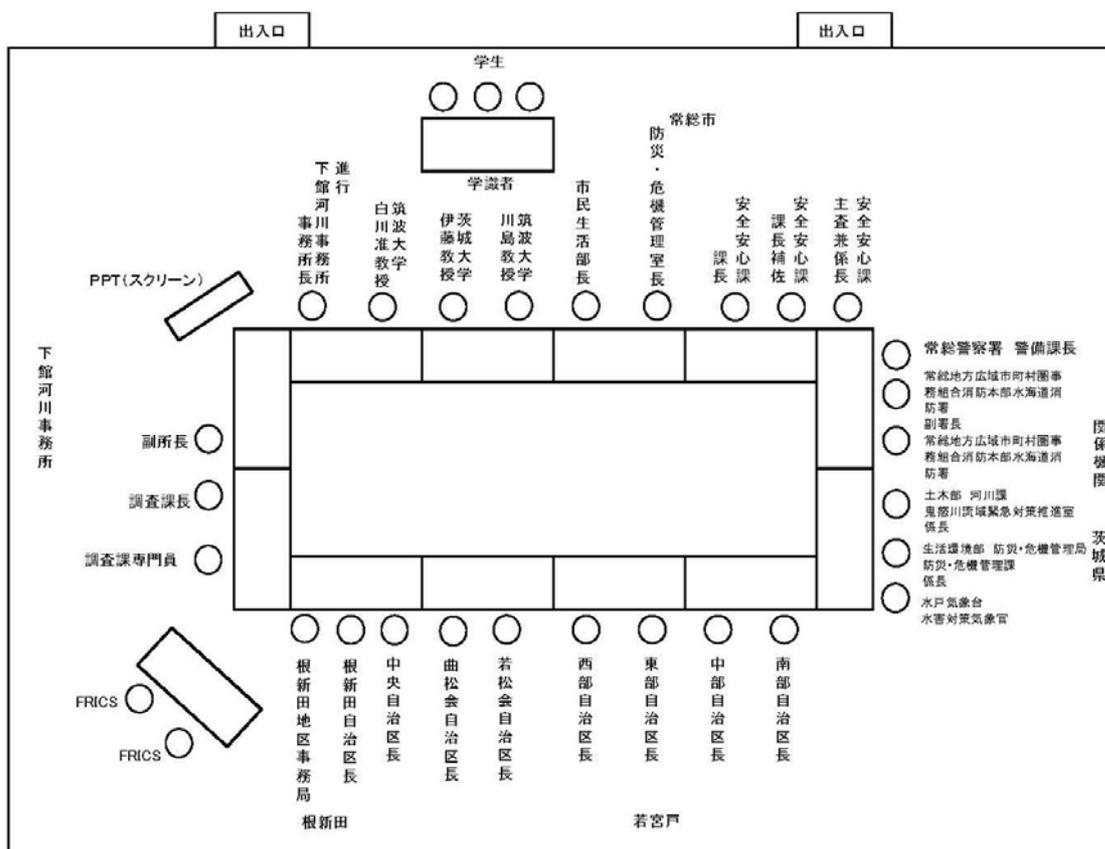
国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所 調査課長 伊藤 克雄

TEL：0296-25-2171

参考資料 2-2-2

第2回運営会議配席図及び使用した機材・備品

■配席図：



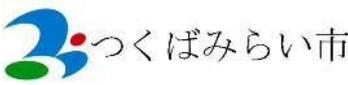
■使用した機材および備品：

映像・音響機材			
音響機器一式	スクリーン	プロジェクター	ノートパソコン
マイク	延長コード		
備品			
三角プレート	レーザーポインター	ホワイトボード	机・椅子

参考資料 3-1-1

第1回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会

記者発表資料



国土交通省関東地方整備局
気象庁・国土地理院
茨城県 龍ヶ崎市
下妻市 常総市
取手市 つくば市
守谷市 筑西市
つくばみらい市 八千代町

記者発表資料

みんなでタイムラインプロジェクトが加速

～ モデル地区の常総市若宮戸地区でも検討会を開催します ～

市町、県、国で構成する鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会では、「みんなでタイムラインプロジェクト」を進めているところですが、このたび、2地区目の検討が始まり、プロジェクトが加速します。

今年度モデル地区として選定した常総市若宮戸地区において、**地区の住民が参画して一人ひとりの環境にあったマイ・タイムラインを自ら検討・作成する「第1回 常総市マイ・タイムライン検討会（若宮戸地区）」**を開催します。

1. 対象地区

常総市若宮戸地区

2. 開催日時

平成28年11月27日(日) 10:00～12:00

3. 開催場所

茨城県常総市若宮戸794番地 常総市立玉小学校

開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線玉村駅 徒歩10分(別添地図参照)

4. 議事(予定)

自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る

5. 公開等

- ・検討会は、報道機関を通じて公開いたします。
- ・カメラ撮り等は可能です。
- ・その他、取材に関する詳細は、別添資料をご覧ください。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、
栃木県政記者クラブ、筑西市記者クラブ、宇都宮市政記者クラブ、取手記者会
筑波研究学園都市記者会、龍ヶ崎記者会、つくば市記者会

問い合わせ先

常総市 市民生活部 安全安心課

斎藤課長、溝上危機管理監 (TEL: 0297-23-2111)

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所

須藤副所長 (TEL: 0296-25-2161)、伊藤調査課長 (TEL: 0296-25-2171)

第1回 常総市マイ・タイムライン検討会（若宮戸地区）の 開催について（報道の方へ）

標記検討会について下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

記

1. 開催日時

平成28年11月27日（日） 10:00～12:00（予定）

2. 開催場所

茨城県常総市若宮戸794番地 常総市立玉小学校

開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線玉村駅 徒歩10分（別添地図参照）

3. 会議の公開

- 会議は、報道機関を通じて公開いたします。
- カメラ撮り等は可能です。

4. 報道関係者の受付

- 受付日時 平成28年11月27日（日） 9:30～10:00まで
- 受付場所 茨城県常総市若宮戸794番地 常総市立玉小学校
- 事前の登録が必要です。別添登録様式にご記入の上、
平成28年11月24日（木）12:00までに、様式の送付先に送ってください。
- 当日、受付にて必要事項を記入の後、係員の指示により会場へ入場をお願いします。
- スペースが限られているため、机や椅子が不足する事態もあり得ますが、ご理解ください。
- 当日は、受付にて「受付証」をお渡ししますので着用をお願いします。なお、お帰りの際に係員へ返却下さい。

5. 取材に当たっての注意事項

取材に当たっては、以下の注意事項をご確認いただき、その遵守へのご協力をお願いします。

- 事務局の指定した場所以外での撮影、取材は、ご遠慮ください。
- 傍聴席でのPC等の使用は、議事や他の傍聴者の迷惑にならない限り可能です。
- 取材に必要な電源は、各社（各自）にてご用意下さい。
- 携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切り下さい。
- 会場では、発言、私語、談論、拍手等を行わないで下さい。
- プラカードを掲げたり、はちまき、腕章の類を付けたり、ビラ等の配布を行わないで下さい。
- 会場での飲食及び喫煙はご遠慮下さい。
- 事故防止の観点から、取材に当たっては節度ある行動をお願いします。
- 手荷物・貴重品等の管理は各自にてお願いします。
- 会議の円滑な進行のため、係員の誘導、指示に従って下さい。
- 上記の他、会議の進行を妨げたり、会場の秩序を乱す行為をしないで下さい。

■茨城県常総市若宮戸794番地 常総市立玉小学校

最寄り駅：関東鉄道常総線玉村駅 徒歩10分です。

※駐車場の台数には限りがありますので、来場の際はできるだけ公共交通機関をご利用下さい。



YAHOO! JAPAN 地図 <http://map.yahoo.co.jp/> より

案内図

事前登録書

平成28年11月27日(日)の「第1回 常総市マイ・タイムライン検討会(若宮戸地区)」につきまして、取材を希望される報道機関におかれましては、事前に登録をお願いします。

開催場所は、常総市立玉小学校となります。駐車台数に限りがあるため、見学をご遠慮いただく場合があります。来場の際はできるだけ公共交通機関をご利用下さい。

FAX送信期限：平成28年11月24日(木) 12:00まで

1. 報道機関名 _____

2. 氏名等

ご氏名 (代表者のみ)	連絡先 (電話番号)	メールアドレス	人数 (代表者含む)	車台数

3. 送付先 FAX：0296-25-3019

4. 事前登録に関する問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所 調査課長 伊藤 克雄

TEL：0296-25-2171

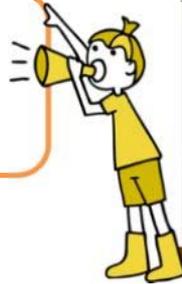
参考資料 3-1-2

第1回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会

会議配布資料

1. 開会
2. 各機関紹介
3. 趣旨説明
4. 鬼怒川緊急対策プロジェクトについて
5. 検討会の進め方について

逃げおくれのない
地区にしよう！！



第1回検討会
11月27日
10:00~12:00
常総市立玉小学校

休憩

6. 自分たちの住んでいる地区について

意見交換

7. 洪水のリスクについて

意見交換

みんなで意識を高め、鬼怒川の洪水にそなえましょう。

8. とりまとめ

9. 閉会



「水防災意識社会」の再構築を目指します。

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

みんなでタイムラインプロジェクト

第1回マイ・タイムライン検討会 若宮戸地区検討会 参加者

資料2

機関名	部名・課名	役職	氏名	備考
若宮戸地区	若宮戸南部	自治区	住民	自治区長 青柳 清
	若宮戸中部	自治区	住民	自治区長 小林 健治
	若宮戸東部	自治区	住民	自治区長 門井 富男
	若宮戸西部	自治区	住民	自治区長 猪瀬 峰雄
	若宮戸若松会	自治区	住民	自治区長 芦ヶ谷 城
	若宮戸曲松会	自治区	住民	自治区長 佐藤 一也
	若宮戸中央	自治区	住民	自治区長 菊池 進
学識者	筑波大学システム情報系社会工学域	教授	川島宏一	
	茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科	教授	伊藤哲司	欠席（学生3名）
	筑波大学システム情報系構造エネルギー工学域	准教授	白川直樹	（学生3名）
常総市	市長		神達 岳志	
	市民生活部	部長	須藤 一徳	
	市民生活部安全安心課	課長	斎藤 健司	
	市民生活部安全安心課	防災・危機管理室長	溝上 博	
	市民生活部安全安心課	課長補佐	小林 弘	
	市民生活部安全安心課	係長	安田 洋行	
	都市建設部	課長	石塚 茂彦	
常総警察署	警備課	課長	清水 健吾	
茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部	下妻消防署 石下分署	分署長	栗原 稔	
茨城県	生活環境部 防災・危機管理局 防災・危機管理課	副参事	飛田 聡志	
	土木部 河川課鬼怒川流域緊急対策推進室	室長代理	栗林 俊一	
水戸気象台		水害対策気象官	金内 正文	
国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所		所長	里村 真吾	
		副所長	須藤 純一	
	調査課	調査課長	伊藤 克雄	
		専門員	平出 亮輔	

常総市マイ・タイムライン検討会規約（案）

（名称）

第1条 この会議は、「常総市 マイ・タイムライン検討会」（以下「検討会」という。）と称する。

（目的）

第2条 検討会は、常総市において、住民一人ひとりが 自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、いわば「自分の逃げ方」を手に入れることを目的として、市役所のサポートの下でそれぞれの環境に合ったマイ・タイムラインを自ら検討する場として設置する。

（検討会の構成）

第3条 検討会は、別表1をもって構成する。

2 検討会の運営、進行及び招集は事務局が行う。

3 検討会は、住民一人ひとりが参画し、それぞれの環境に合ったマイ・タイムラインを自ら検討する。

（運営会議の構成）

第4条 検討会に運営会議を置く。

2 運営会議は、別表2をもって構成する。

3 運営会議の運営、進行及び招集は事務局が行う。

4 運営会議は、検討会の円滑な運営のために必要な諸事項等を調整・決定することを目的とする。

（公開・傍聴）

第5条 検討会は、原則として報道機関を通じて公開とする。ただし、内容によっては、運営会議に諮り、非公開とすることができる。

2 運営会議は、原則非公開とする。なお、運営会議の調整の結果を検討会の資料として使用することで公開と見なす。

3 傍聴に関しては、必要な事項を別途定めるものとする。

（検討会資料等の公表）

第6条 検討会で使用した資料等については速やかに公表するものとする。ただし、個人情報等で公表することが適切でない資料等については公表しないものとする。

（事務局）

第7条 検討会及び運営会議の庶務を行うため、事務局を置く。

2 事務局は、常総市、関東地方整備局下館河川事務所で行う。

(モデル地区)

第8条 平成28年度は、モデル地区を若宮戸地区、根新田地区の2箇所とする。

(雑則)

第9条 この規約に定めるもののほか、検討会の議事の手続きその他運営に関し必要な事項については、運営会議で定めるものとする。

(附則)

第10条 本規約は、平成28年11月13日から施行する。

別表 1

住民

若宮戸地区、根新田地区の住民

関係機関

常総市

常総警察署

茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部 下妻消防署 石下分署

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部 水海道消防署

茨城県 生活環境部

茨城県 土木部

気象庁 水戸地方气象台

関東地方整備局 下館河川事務所

学識者

筑波大学システム情報系社会工学域 川島宏一 教授

茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科 伊藤哲司 教授

筑波大学院システム情報系構造エネルギー工学域 白川直樹 准教授

別表 2

住民

若宮戸地区 自治区長

根新田地区 自治区長

関係機関

常総市 市民生活部

常総市 都市建設部

常総市 保健福祉部

常総警察署

茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部 下妻消防署 石下分署

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部 水海道消防署

茨城県 生活環境部 防災・危機管理課

茨城県 土木部 河川課

気象庁 水戸地方气象台

関東地方整備局 下館河川事務所

学識者

筑波大学システム情報系社会工学域 川島宏一 教授

茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科 伊藤哲司 教授

筑波大学院システム情報系構造エネルギー工学域 白川直樹 准教授

学識者のプロフィール

川島宏一

筑波大学システム情報系社会工学域教授

●専門分野

自治体経営、データによる地域課題の解決

●経歴

- 1984.4 国土交通省（建築基準、宅地開発、公共施設整備）（-2003.6）
- 1991.8 インドネシア共和国住宅担当国務大臣府（アドバイザー）（-1992.8）
- 1994.9 北九州市（都市計画局開発部長）（-1997.7）
- 1998.6 世界銀行（上席都市専門官など）（-2006.3）
- 2006.3 佐賀県（最高情報統括監（CIO））（-2011.3）
- 2012.8 （株）公共イノベーション（代表取締役）（-2015.3）
- 2015.4 筑波大学大学院システム情報工学系教授

●委員会等経歴（現在就任中のものから抜粋）

- 2016.2 水戸市都市計画審議会会長
- 2016.4 国土交通省 G空間基本計画に関する官民勉強会委員
- 2016.10 内閣官房 データ流通環境整備検討会オープンデータ WG 構成員

●常総市との関わり

- 2015 常総市復興ビジョン懇話会委員
- 2015 常総市水害対策検証委員会委員長
- 2016 常総市復興計画策定委員会委員

●検討会に向けてひとこと

2015.9 関東・東北豪雨で甚大な被害を受けた鬼怒川・小貝川地域から「みんなでタイムラインプロジェクト」という日本のこれからの防災活動をリードする取り組みがスタートすることを大変嬉しく思います。関係する地域にお住いの皆様との議論が実り多いものとなるよう貢献したいと考えております。

伊藤哲司

茨城大学 人文学部人文コミュニケーション学科 教授
地球変動適応科学研究機関 機関長

●専門分野

社会心理学、サステナビリティ学

●経歴

1993. 4 茨城大学人文学部講師

1995 博士（心理学）取得（名古屋大学）

1996. 4 茨城大学人文学部助教授

1998. 5～1999. 2 文部省在外研究員としてベトナム・ハノイ滞在

2006. 4 茨城大学人文学部教授 現在に至る

2014. 9 茨城大学地球変動適応科学研究機関機関長 現在に至る

●委員会等経歴

2016. 3 守谷市まちづくり検討委員会委員

●常総市との関わり

2015 常総市復興ビジョン懇話会アドバイザー

2015 常総市水害対策検証委員会委員

2016 常総市復興計画策定委員会アドバイザー

2015年9月に発生した水害以前は、常総市とはほとんど関わりがありませんでした。この水害の直後に茨城大学で調査団を立ち上げ、自ら団長になり、また学生にも働きかけてボランティア活動を促してきました。2016年9月1日には、常総市の小中学校12校に20名の学生を派遣し、防災ゲーム「クロスロード」を実施し好評を得ました。この災害がきっかけとなった常総市の方たちとの縁を、これからも大事にしていきたいと思っています。

●検討会に向けてひとこと

もともと災害研究の専門家ではないのですが、インド洋大津波、東日本大震災、熊本地震などの被災地を歩いてきました。被災の経験はみな個別的ですが、ということは、これから予想される災害で、個々人の状況に合わせた備えをしておくことはとても重要であります。今回のプロジェクトが画期的なものになるよう、微力ではありますが前向きに取り組ませていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

白川直樹

筑波大学システム情報系（構造エネルギー工学域）准教授

●専門分野

河川工学

●経歴

- 1998.4 東京大学工学部助手
- 2003.9 筑波大学機能工学系講師
- 2010.4 筑波大学システム情報系准教授

●委員会等経歴

- 2004 国土交通省 河川水辺の国勢調査アドバイザーグループ委員
- 2005 環境省 公共事業と環境政策のあり方に関する懇談会委員
- 2009 アジア河川・流域再生ネットワーク技術委員
- 2013 つくば市上下水道審議会委員
- 2015 国土交通省 関東地方河川技術懇談会委員

●常総市との関わり

- 2015 常総市復興ビジョン懇話会委員
- 2015 常総市水害対策検証委員会委員
- 2016 常総市復興計画策定委員会委員

●検討会に向けてひとこと

災害発生時に自分の身を守り周りの人を助けるには、ふだんから相手を知ることが重要です。相手とは災害（洪水なら川）であり、助ける人（家族や隣人）であり、自分自身でもあります。たいへんな水害を経験された皆様だからこそ、その貴重な体験に基づいた日本最先端の災害対策を考えることができます。少しでも地域の安全を高めるお手伝いできれば幸いです。

各機関挨拶 参考資料

水戸地方気象台について

みんなでタイムラインプロジェクト

水戸地方気象台

かねうち まさふみ

水害対策気象官 金内 正文

水戸市金町1-4-6

029-224-1106

kaneuchi@met.kishou.go.jp

気象庁「防災情報」のページ

防災情報

気象

- ▶ [気象警報・注意報](#)
- ▶ [気象情報](#)
- ▶ [台風情報](#)
- ▶ [指定河川洪水予報](#)
- ▶ [土砂災害警戒情報](#)
- ▶ [土砂災害警戒判定メッシュ情報](#)
- ▶ [竜巻注意情報](#)
- ▶ [レーダー・ナウキャスト\(降水・雷・竜巻\)](#)
- ▶ [高解像度降水ナウキャスト](#)
- ▶ [解析雨量・降水短時間予報](#)

地震・津波

- ▶ [津波警報・注意報、津波情報、津波予報](#)
- ▶ [地震情報](#)
- ▶ [推計震度分布図](#)
- ▶ [長周期地震動に関する観測情報](#)
- ▶ [東海地震関連情報](#)

火山

- ▶ [噴火警報・予報 表/図](#)
- ▶ [火山の状況に関する解説情報](#)
- ▶ [噴火速報](#)
- ▶ [降灰予報](#)
- ▶ [火山現象に関する海上警報](#)
- ▶ [火山ガス予報](#)

海洋

- ▶ [海上警報](#)
- ▶ [海上予報/地方海上分布予報](#)
- ▶ [沿岸波浪 実況図/予想図](#)
- ▶ [潮位観測情報](#)
- ▶ [波浪観測情報](#)

天気予報など

- ▶ [天気予報/分布予報/時系列予報](#)
- ▶ [天気図\(実況・予想\)](#)
- ▶ [週間天気予報](#)
- ▶ [異常天候早期警戒情報](#)
- ▶ [季節予報](#)

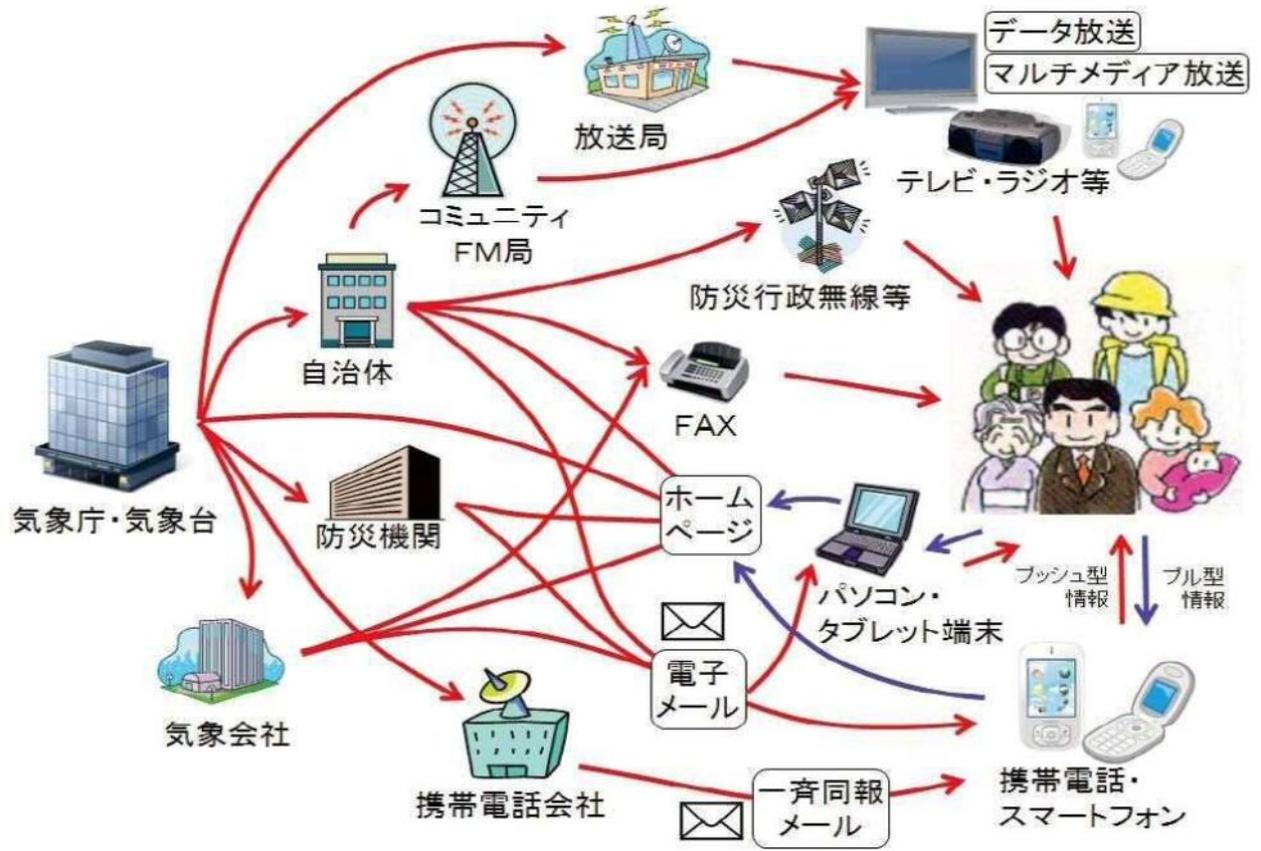
気象に関する観測情報

- ▶ [気象衛星 30分ごと/2.5分ごと](#)
- ▶ [アメダス 地図形式/表形式](#)
- ▶ [推計気象分布](#)
- ▶ [空港の気象](#)
- ▶ [ウィンドプロファイラ\(上空の風\)](#)

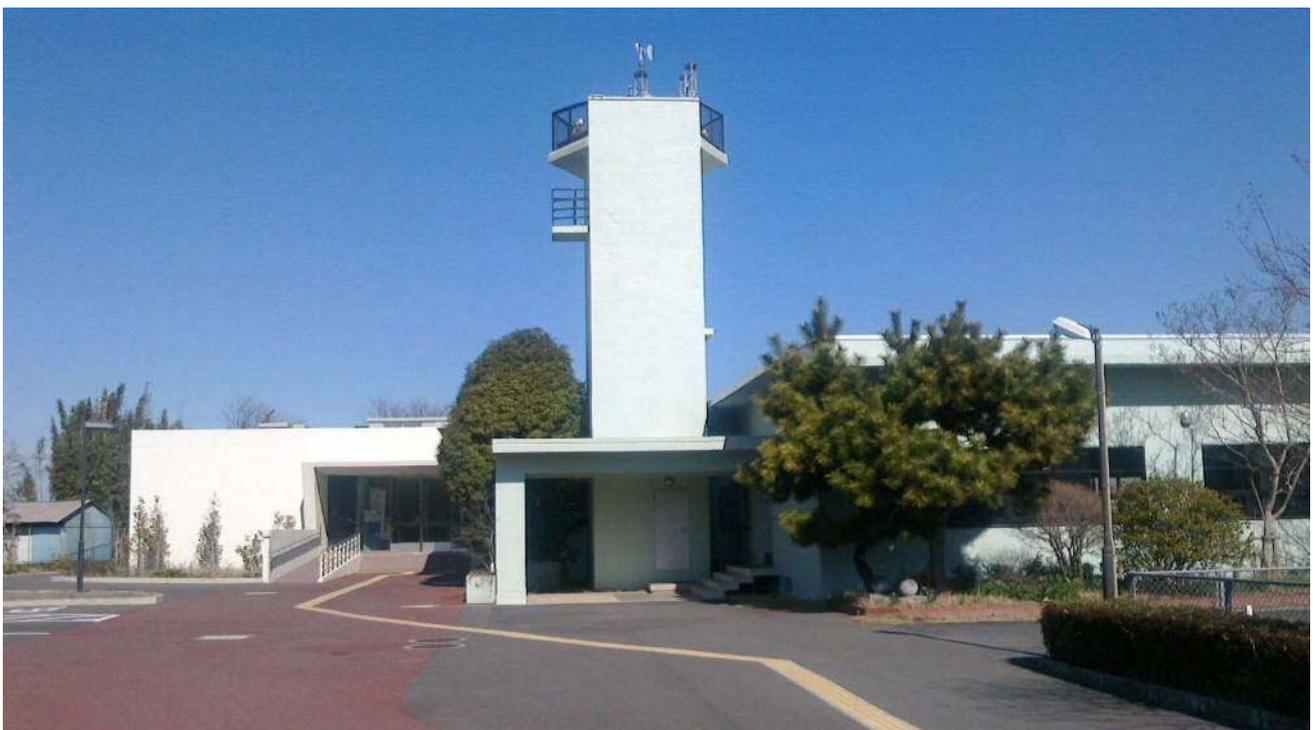
生活に役立つ情報

- ▶ [黄砂情報 実況図/予測図](#)
- ▶ [紫外線情報](#)

・ [気象情報サイトマップ\(更新頻度別\)](#)



住民への防災気象情報の伝達手段の例



水戸地方気象台

入場無料

お天気フェア2016

きょうだい
気象台ってどんなところ？

気象庁マスコットキャラクター「はれるん」



てんき よほう
天気予報を作るところを
見てみよう！



だつまき ほうせい じっけん
電巻発生の実験
をやってみよう！

日時：平成28年 8 月 6 日 (土)

10時から16時まで
(受付：～15時30分)

場所：水戸地方気象台
(水戸市金町1-4-6)

○気象台への交通
徒歩・・・水戸駅（北口）から約25分
バス・・・南町3丁目下車約7分
※公共交通機関をご利用下さい。



問い合わせ先：水戸地方気象台
(TEL: 029-224-1107)

水戸地方気象台

主催：水戸地方気象台 共催：地磁気観測所
協力：日立市天気相談所、一般社団法人 日本気象予報士会
後援：一般財団法人 日本気象協会





出前講座（防災講演会）

（平成28年6月24日 日立市坂下地区コミュニティ推進会）



出前講座（避難訓練）

平成27年9月3日 城里町立七会小学校



出前講座（夏休み気象講座）

（平成28年8月2日～3日 ひたちなか市立中央図書館）

第1回マイ・タイムライン検討会に関するアンケートへのご協力をお願い

今後の取組みの参考とさせていただくため、皆様のご意見をお聞かせください。

1. 今回の検討会の内容は理解できましたか。

【地区の特性】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

【過去の洪水から学ぶ】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

【地形の特徴から学ぶ】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

【最近の雨の降り方と傾向】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

【「想定最大規模の雨」で鬼怒川が氾濫したら】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

2. 1. の質問で「分かりにくかった」、「全然分からなかった」と回答した方にお聞きします。特に分からなかった部分に対して、自由なご意見をお聞かせください。

→

3. 本日の検討会に参加して分かったことや気づいたこと、今後どのように役立ちそうか、自由にご意見をお聞かせください。

→

*ご自身のことをお尋ねします。差支えない範囲で、以下についてご回答ください

- お名前 () ■お住まい (地区 自治会)
- ご年齢 (10代未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上)
- ご職業 ()
- 家族構成 ()人 ※ペットを含まない人数を記入願います。
- 曾祖父・曾祖母 祖父・祖母 父・母 子供(中学生以上)
- 子供(中学生未満) 乳幼児 ペット ()
- 車の有無 有 ()台 無

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

◆第2回検討会

日 時：2月5日（日）AM9：00～12：30

場 所：常総市立玉小学校体育館

マイ・タイムライン ノート

名前

河川名	鬼 怒 川
地区名	
自治会名	
続柄	名 前

家族全員を記入しましょう。



みんなでタイムラインプロジェクト

目次

各段階のテーマ	項目	ページ
【STEP 1】 ・自分たちの住んでいる 地区の洪水リスクを知る	はじめに	1
	1.地区の特性	2~3
	2.過去の洪水から学ぶ	4~5
	3.地形の特徴から学ぶ	6~9
	4.最近の雨の降り方と傾向	10~11
	5.「想定最大規模の雨」で 鬼怒川が氾濫したら	12~21
【STEP 2】 ・洪水時に得られる 情報を知る ・タイムラインの 考え方を知る	6.洪水時に得られる情報と読み 解き方	22~25
	7.タイムラインの考え方	26~29
	8.洪水時の自らの行動を想定	30~37
【STEP 3】 ・マイ・タイムラインの作成	9.マイ・タイムラインの作成	38~40

はじめに

STEP 1

■平成27年9月関東・東北豪雨の振り返り

あなたの行動を振り返っておきましょう。



①避難しましたか？

- 避難した
- 避難しようとしたが、できなかった
- 避難しなかった

②どこに避難しましたか？

③避難場所へ到着したのはいつですか？

また、家から避難所までどのくらいの時間がかかりました？

9月__日__時頃 かった時間_____分

④避難の準備を開始してから家を出るまでどのくらいの時間がかかりましたか？

_____時間_____分

⑤避難のきっかけは？

⑥避難に関して、平成27年9月関東・東北豪雨を経験して、覚えておきたいこと、学んだことや工夫したことがあれば、メモしておきましょう。

家財について・・・

1. 地区の特性

知る

■人口・高齢者の割合

メモ

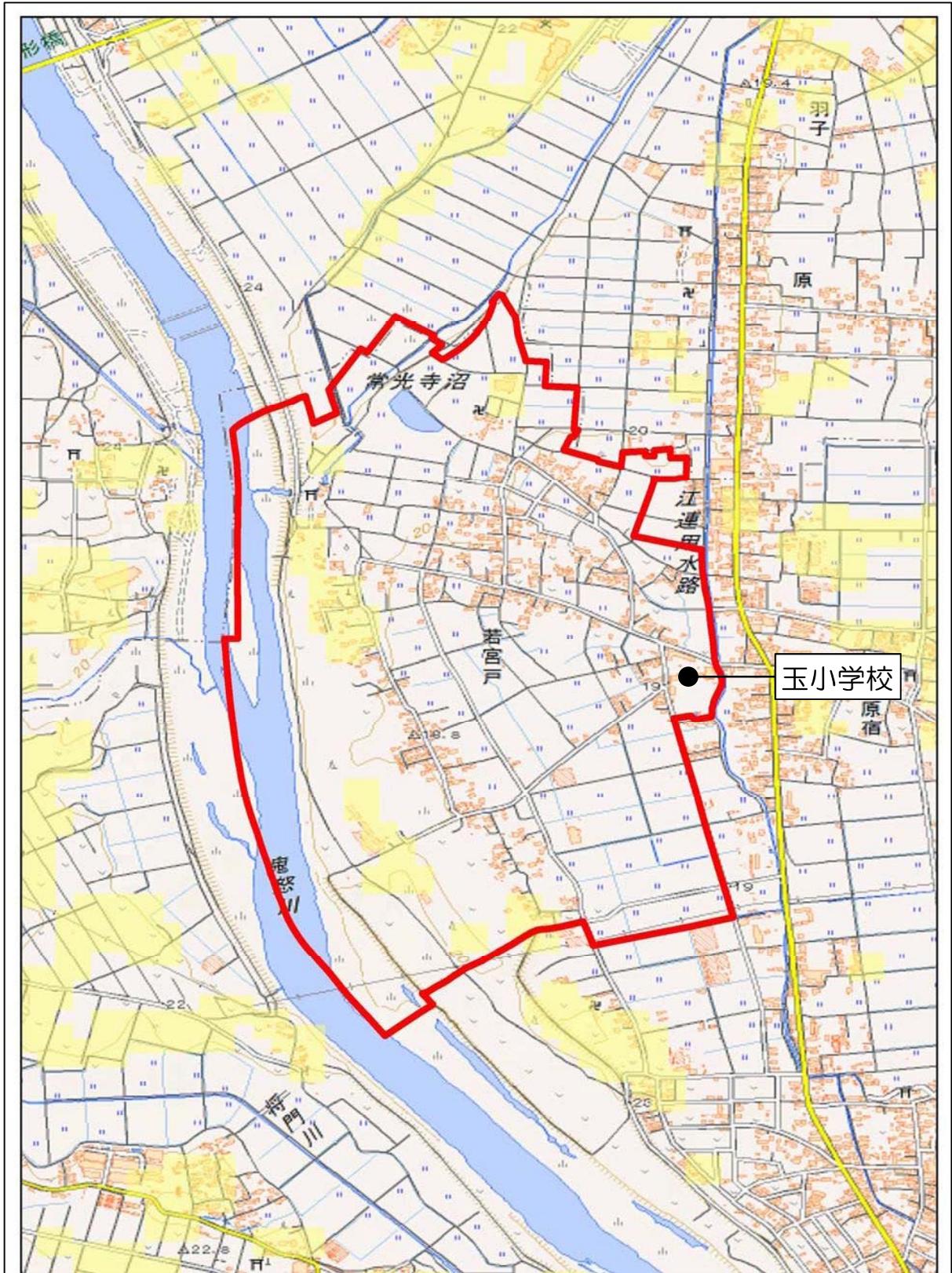
常総市の人口：	世帯数：
常総市の65歳以上人口の割合：	%
常総市の外国人人口の割合	：
	%
地区の人口：	世帯数：
地区の65歳以上人口の割合：	%
地区の外国人人口の割合	：
	%

■地区の位置・自宅の位置

図面1で、自宅の位置に○印を付けましょう。



気づく



出典：地理院地図 <https://maps.gsi.go.jp>

2.過去の洪水から学ぶ

知る

キーワード

堤防決壊

いっすい
溢水

■ 鬼怒川・小貝川で堤防が決壊した場所

平成27年9月関東・東北豪雨以前にも堤防が決壊しています。
同時に複数の地点で決壊することもあります。

鬼怒川	常総市 高野	昭和13年7月
	さくら市 大中	昭和13年9月
	真岡市 大道泉	昭和24年9月
	さくら市 大中	昭和24年9月
	宇都宮市 下小倉町	昭和24年9月

小貝川	つくばみらい市 押砂	昭和2年9月
	龍ヶ崎市 大留町	昭和10年9月
	下妻市 柳原	昭和13年7月
	龍ヶ崎市 小通幸谷町	昭和16年7月
	取手市 大留	昭和25年9月
	龍ヶ崎市 大留町	昭和56年8月
	筑西市 赤浜	昭和61年8月
	常総市 本豊田	昭和61年8月



(市町村は、現在の市町村名で表示しています)

■ 平成27年9月 関東・東北豪雨の浸水範囲

常総市上三坂地先の堤防決壊や若宮戸地先の溢水等により、常総市の約1/3の面積に相当する約40km²が浸水しました。



みんなでタイムラインプロジェクト

STEP 1

◇過去の洪水について他に知っていることがあれば、メモしておきましょう。

メモ

気づく

3.地形の特徴から学ぶ

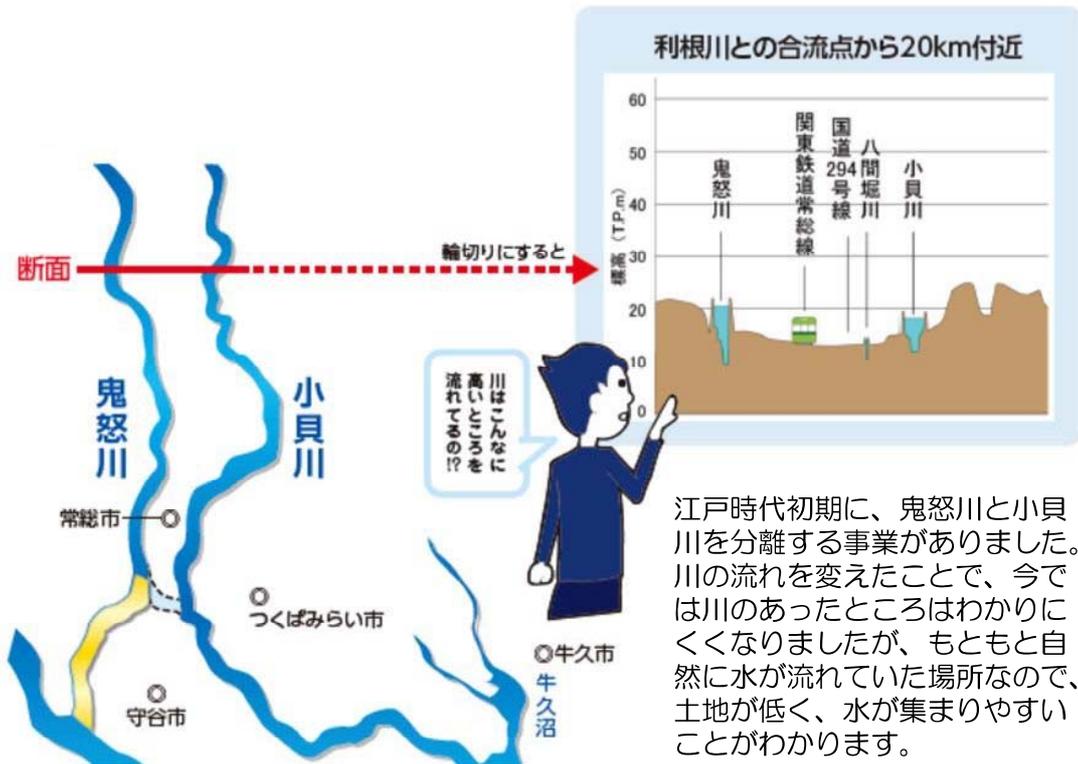
知る

キーワード

低い土地

旧河道

■ 鬼怒川と小貝川が流れる常総市



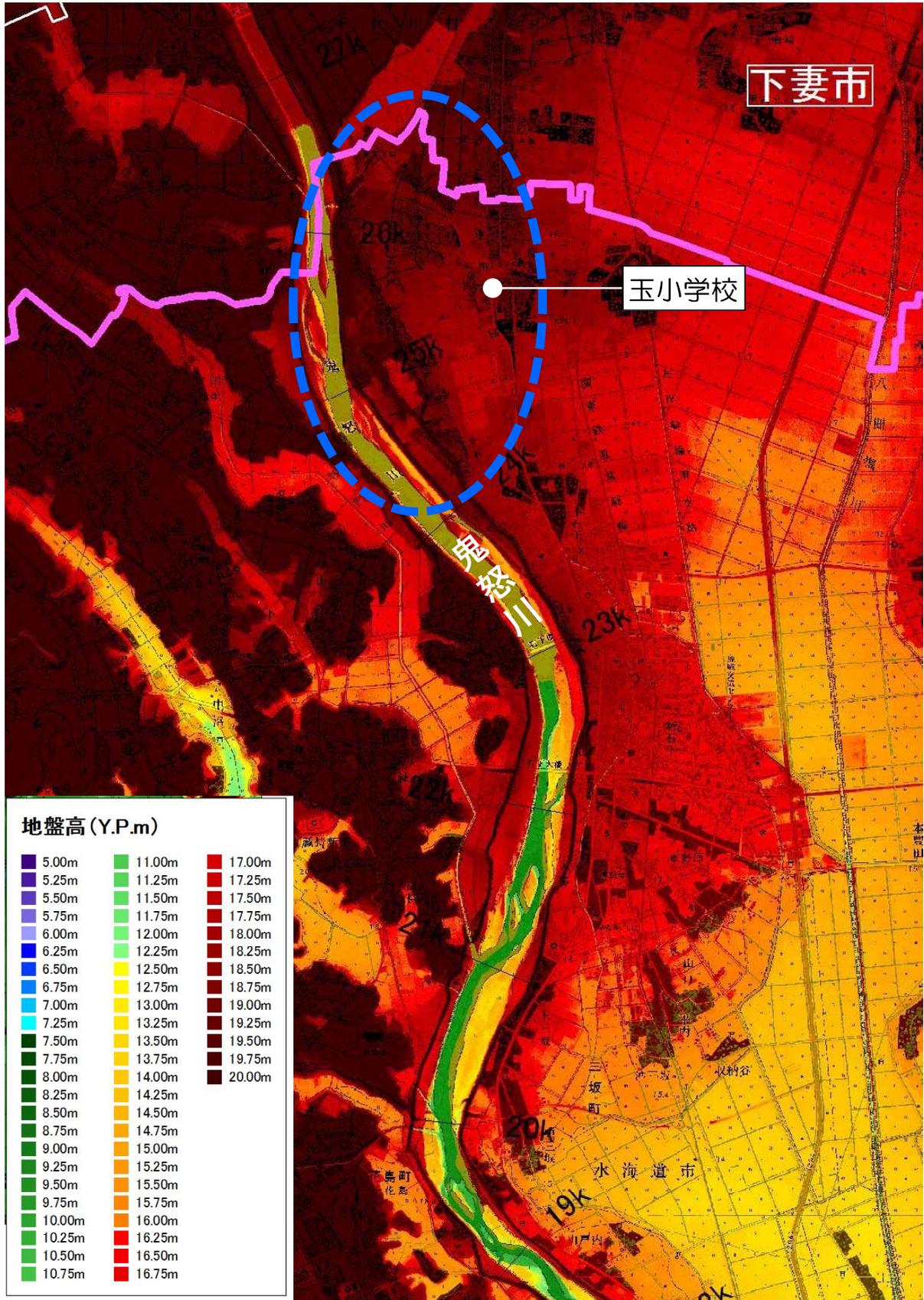
■ 地形（標高図）

周辺と比べて標高の低い場所は、水が集まりやすく、氾濫した場合、水位が高くなったり、流速が早くなりやすい場所です。

水は高いところから低いところへ流れます。図面2で確認しましょう。



メモ

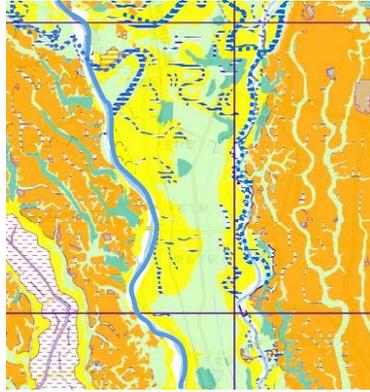




もっと詳しく知りたい

■ 地形（治水地形分類図） 出典：地理院地図 (<https://maps.gsi.go.jp>)

昔、川が流れていた場所（旧河道）は、土地が低く、水が集まりやすいため注意が必要です。



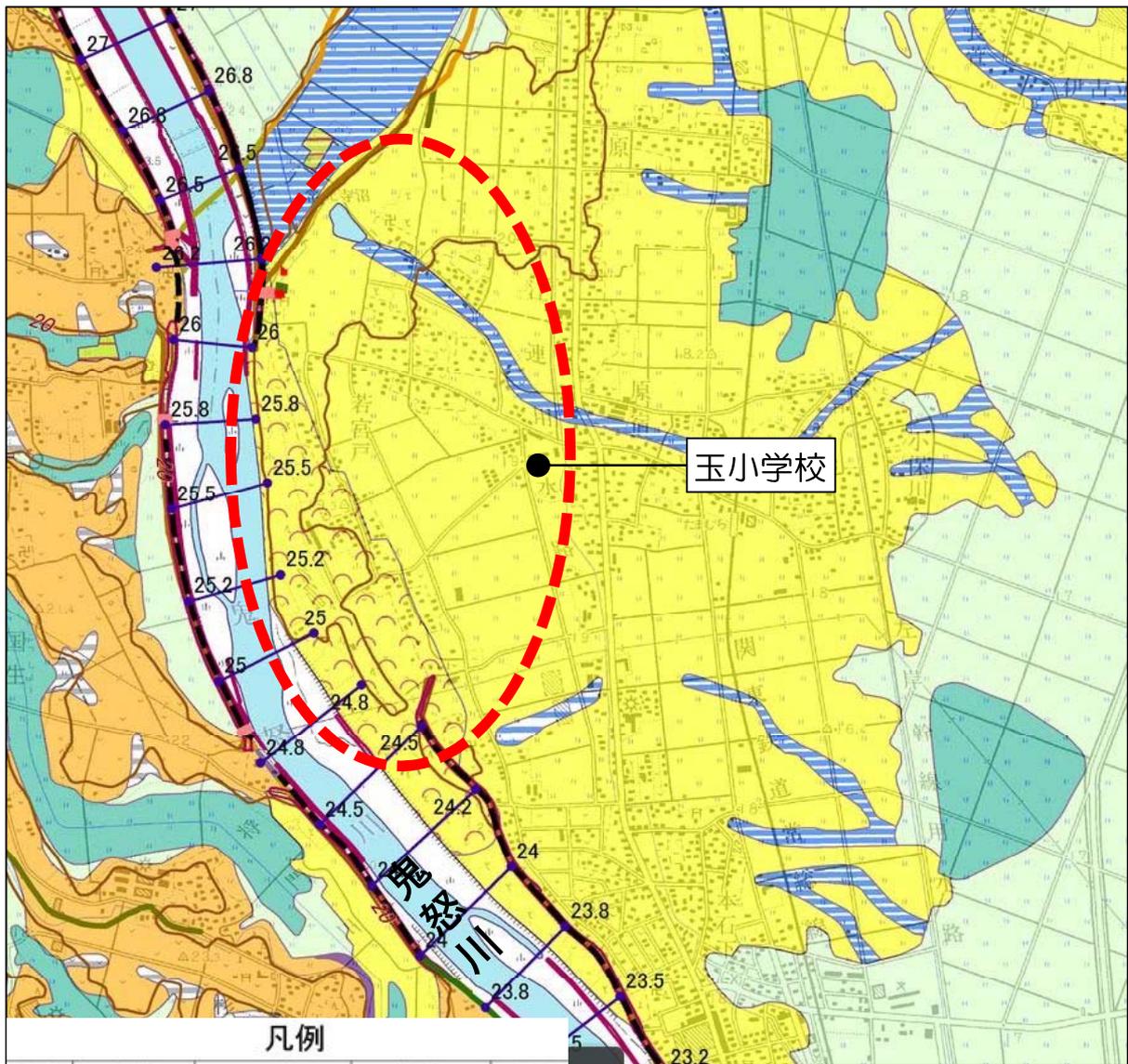
凡例

大分類	中分類	小分類	細分類	記号
山地				
台地・段丘		段丘面		
		崖（段丘崖）		
		浅い谷		
低地	山麓堆積地形			
		扇状地		
		氾濫平野		
		氾濫平野	後背湿地	
		扇状地	微高地（自然堤防）	
		氾濫平野	旧河道	
			旧河道（明瞭）	
			旧河道（不明瞭）	
		落堀		
砂州・砂丘				



図面3で確認しましょう。

気づく



凡例

大分類	中分類	小分類	細分類	記号
山地				
台地・段丘		段丘面		
		崖(段丘崖)		
		浅い谷		
低地	山麓堆積地形			
	扇状地			
	氾濫平野			
	氾濫平野		後背湿地	
	扇状地、 氾濫平野	微高地(自然堤防)		
		旧河道	旧河道(明瞭)	
	旧河道(不明瞭)			
		落堀		
	砂州・砂丘			

出典：地理院地図 <https://maps.gsi.go.jp>

4.最近の雨の降り方と傾向

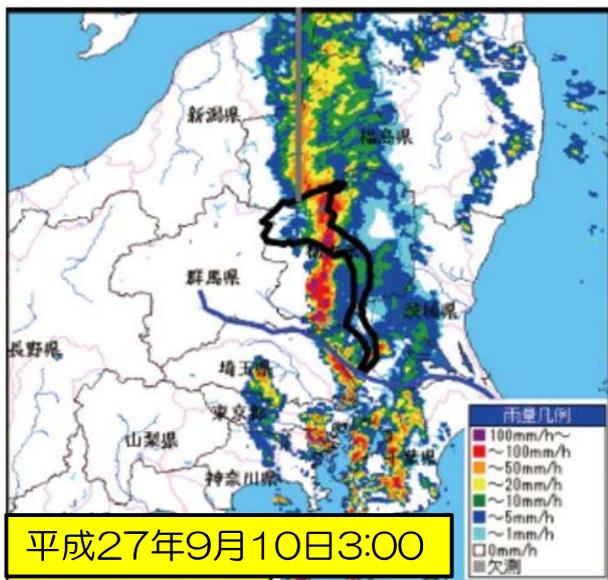
STEP 1

知る

キーワード 線状降水帯 集中豪雨

■洪水をもたらす線状降水帯

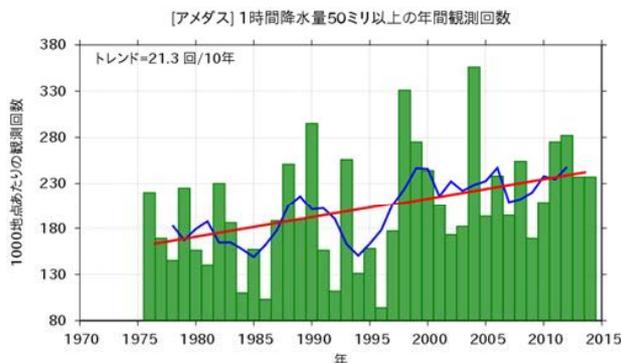
平成27年9月の関東・東北豪雨では、鬼怒川流域上に線状降水帯が発生し、洪水をもたらしました。



出典：「平成27年9月関東・東北豪雨」に係る洪水被害及び復旧状況等について

■頻発する集中豪雨

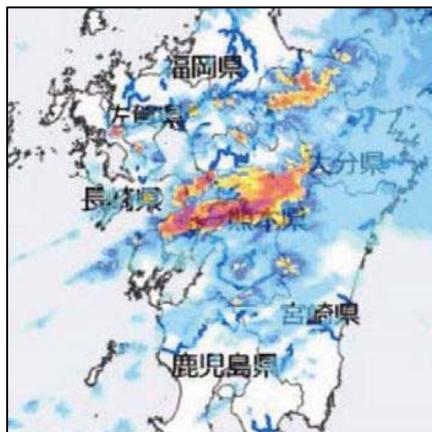
1時間降水量50mm以上の発生回数は年々増加しています。



出典：気象庁資料

■梅雨前線による大雨（熊本）

平成28年6月19日から23日にかけての大雨は、熊本県甲佐町で1時間に150mmの雨を降らせました。



出典：川の防災情報



もっと詳しく知りたい

■ 雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	人の受ける イメージ	人への影響	車に 乗っていて
10以上20未満 やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね 返りで足元がぬ れる	
20以上30未満 強い雨	どしゃ降り	傘をさしてい てもぬれる	ワイパーを早く しても見づらい
30以上50未満 激しい雨	バケツをひっくり 返した様に降る		高速走行時 車輪と路面の間 に水膜が生じて ブレーキが効か なくなる
50以上80未満 非常に 激しい雨	滝のように降る (ゴーゴーと降り 続く)	傘は全く役に立 たなくなる。	車の運転は危険
80以上 猛烈な雨	息苦しくなるよう な圧迫感がある。 恐怖を感じる		

出典：気象庁リーフレット「雨と風（雨と風の階級表）」を加工して作成

メモ

気づく

5. 「想定最大規模の雨」で鬼怒川が氾濫したら

知る

キーワード

浸水深

浸水継続時間

流速

家屋倒壊

到達時間

■ 想定最大規模の雨とは？

考えられる最大規模の雨です。鬼怒川では石井地点流域に、72時間総雨量669mmの雨を想定しています。

■ 洪水浸水想定区域図

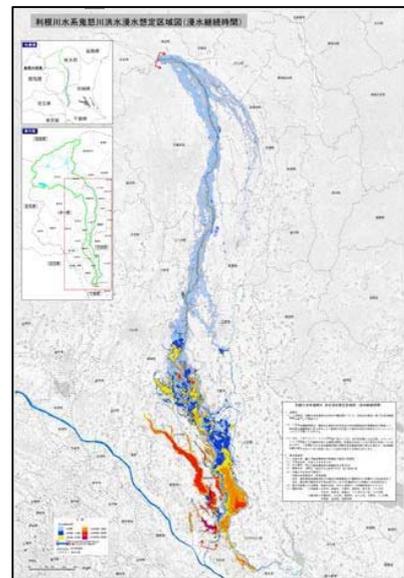
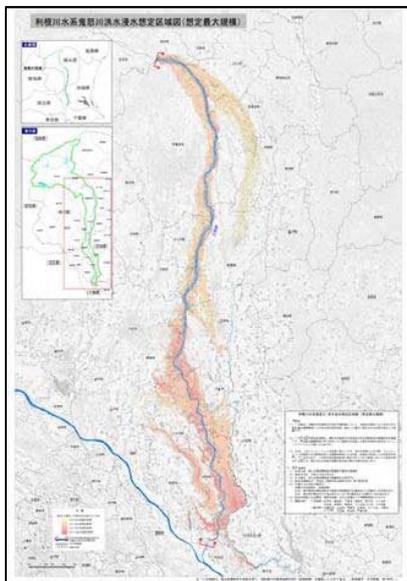
想定最大規模の雨が降って、堤防が決壊した場合の、氾濫水が広がる範囲や浸水深、浸水継続時間等をシミュレーションにより想定した図です。

○ 浸水範囲及び浸水深

どこまで水が広がるか、またその時の最大の深さを示した図です。

○ 浸水継続時間

氾濫してきた水が引くまでに、どのくらいの時間がかかるかを示した図です。



◆ 浸水深と建物の高さの関係



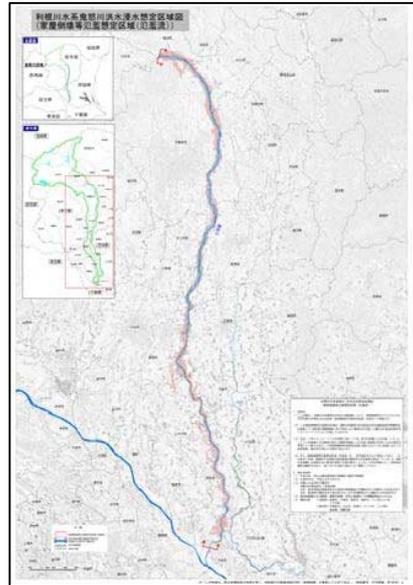
出典：下館河川事務所HP
(<http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate00003.html>)

○家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）

氾濫した水が、家などの建物を壊したりする可能性のある範囲を示した図です。

この区域では、立ち退き避難の判断が必要になります。

出典：下館河川事務所HP
(<http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate00003.html>)



図面4～6で確認しましょう。

◇あなたの住んでいる場所の浸水深は？

_____（図面4で確認しましょう）

◇あなたの住んでいる場所の浸水継続時間は？

_____（図面5で確認しましょう）

◇あなたの住んでいる場所は家屋倒壊等氾濫想定区域ですか？

はい いいえ （図面6で確認しましょう）



もっと詳しく知りたい

■流速

氾濫水が非常に強い流れで押し寄せてきます。

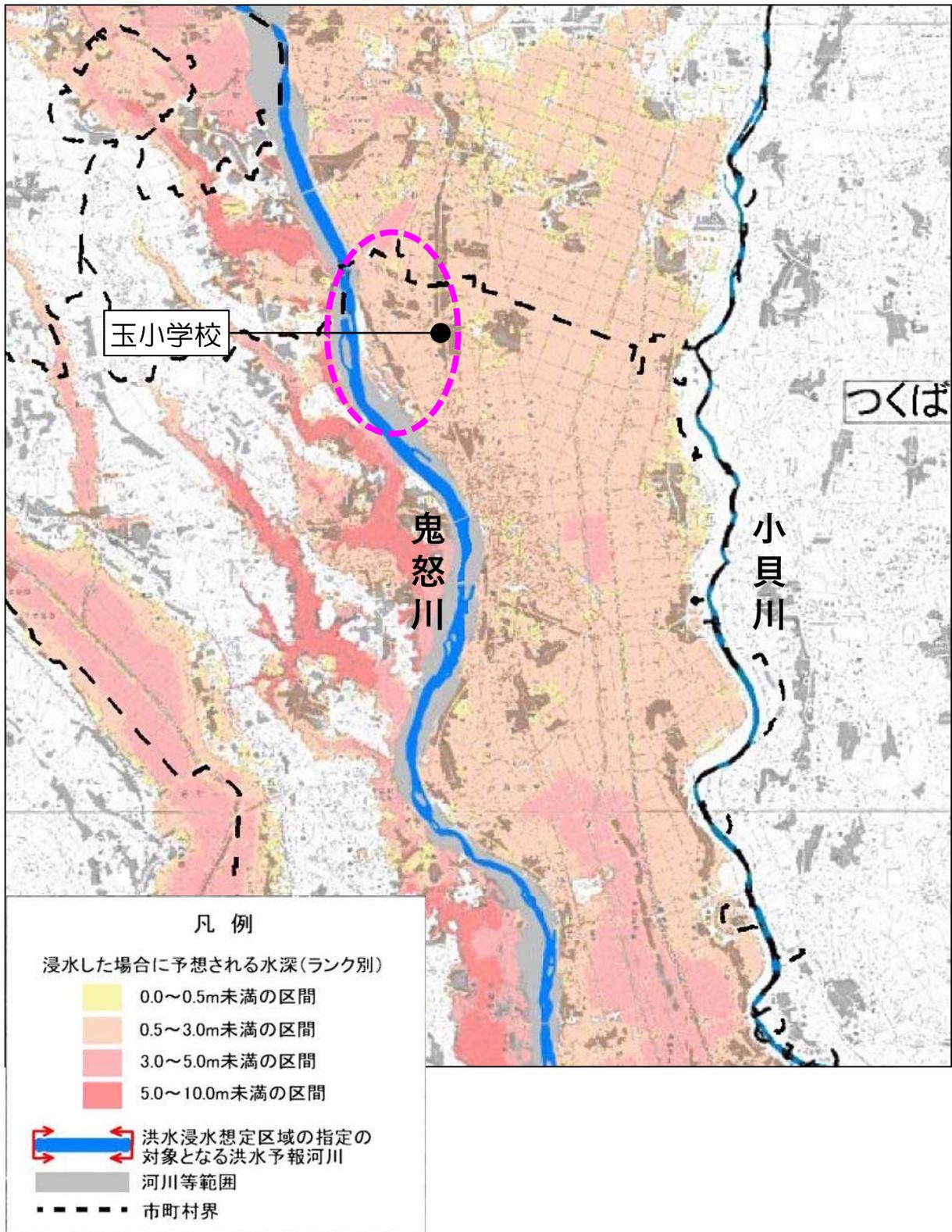


提供：鬼怒川堤防調査委員会
(近隣住民の方から提供)

洪水浸水想定区域図 (最大浸水深)

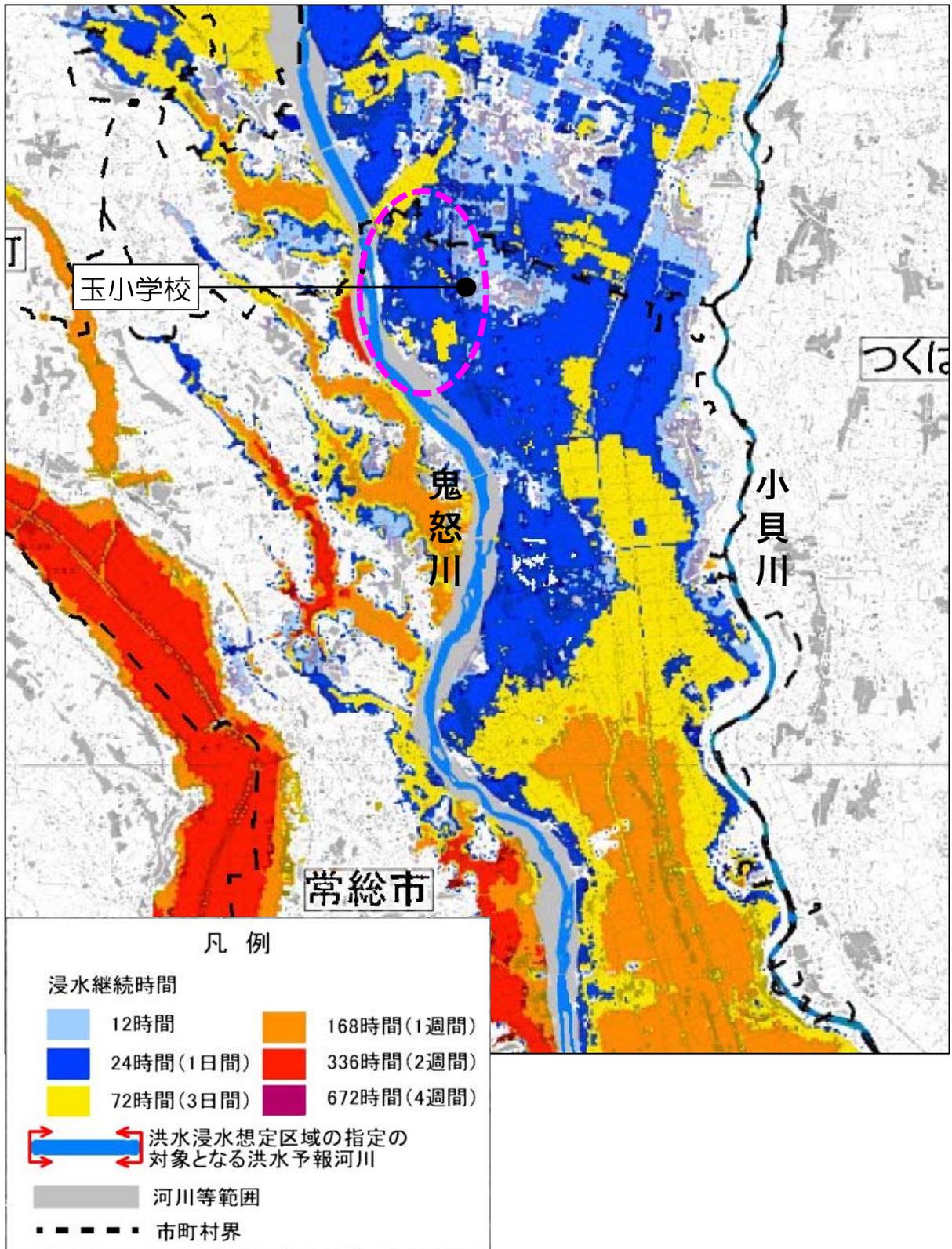
若宮戸地区

【図面4】



出典：下館河川事務所HP http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index010.html

みんなでタイムラインプロジェクト

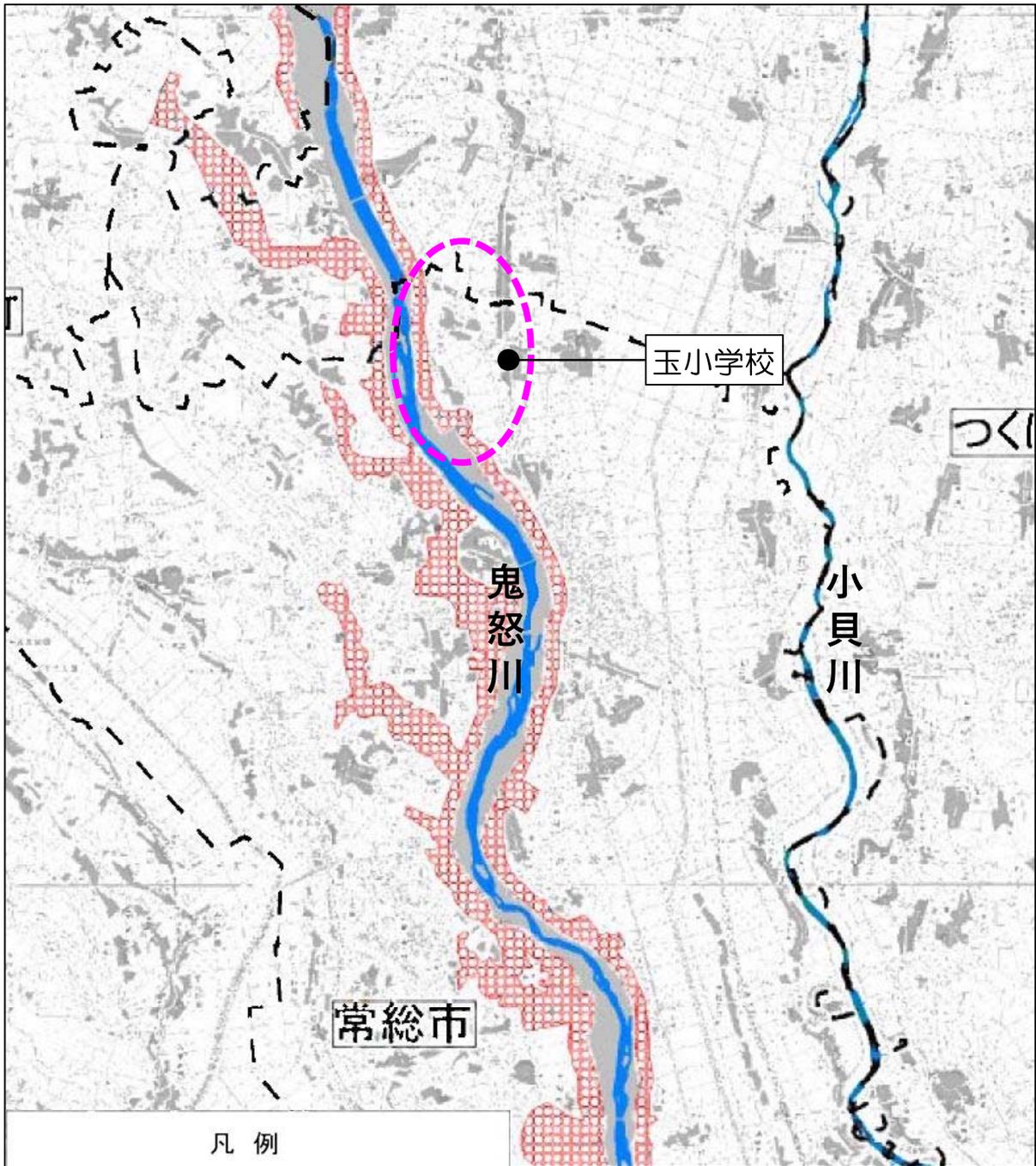


出典：下館河川事務所HP http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index010.html

洪水浸水想定区域図
(家屋倒壊等氾濫想定区域/氾濫流)

若宮戸地区

【図面6】



凡例

-  家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
-  洪水浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川
-  河川等範囲
-  市町村界

出典：下館河川事務所HP http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index010.html

みんなでタイムラインプロジェクト



もっと詳しく知りたい

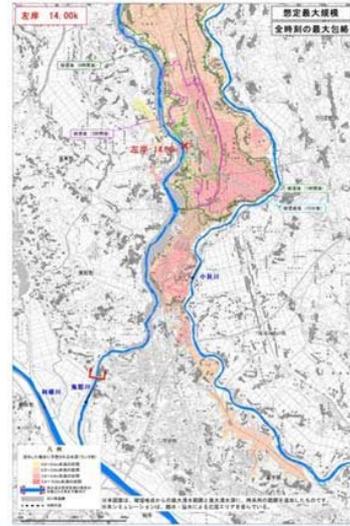
■ 氾濫水の到達時間（氾濫シミュレーション）

<http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate00241.html>

パソコンで、[下館河川事務所HP](#)にアクセスすると、想定破堤点毎の氾濫シミュレーションの結果を見ることができます。



任意の
地点を
クリック



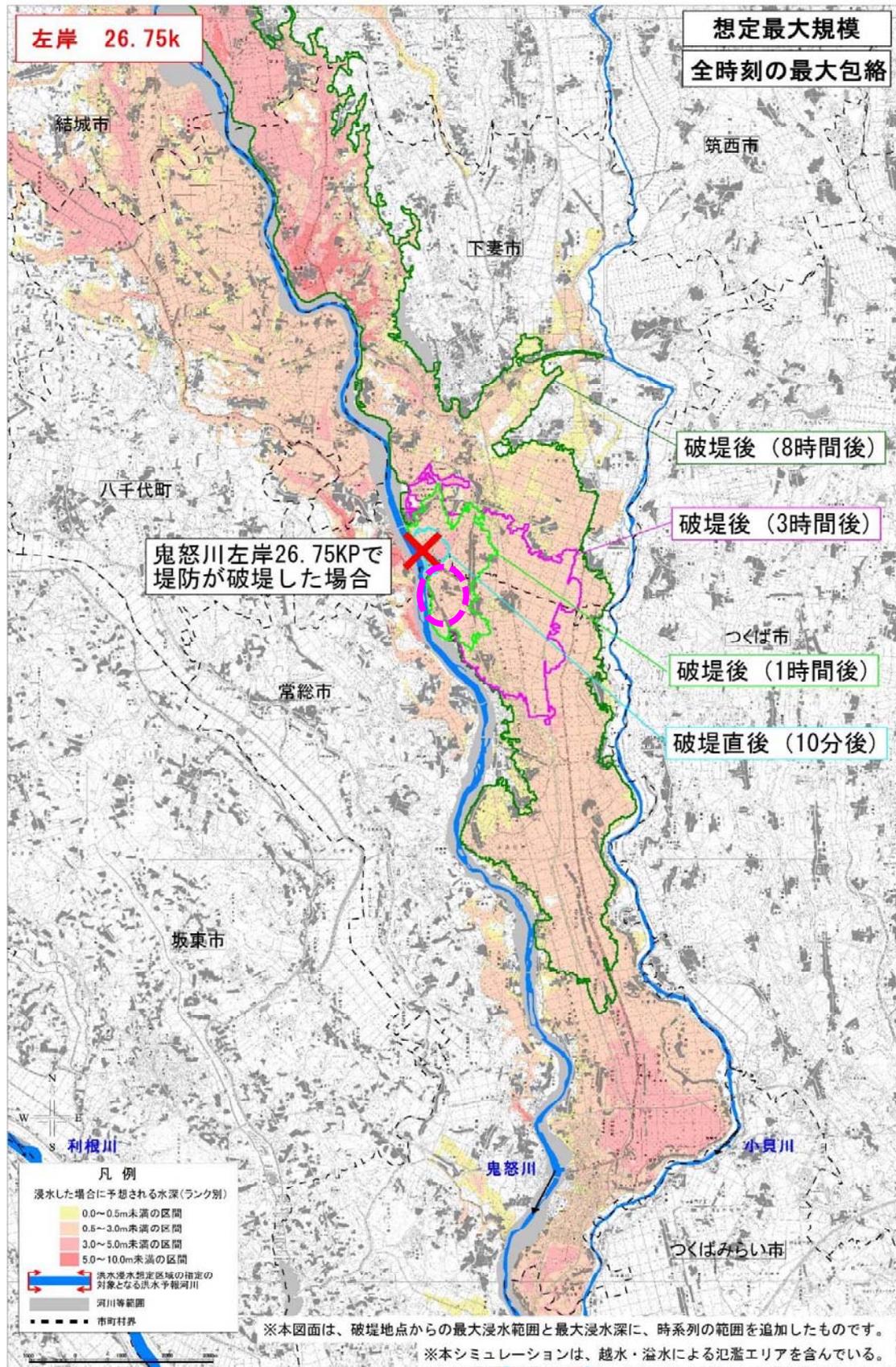
自宅の近くの堤防が決壊すると、氾濫水がただちに到達します。自宅から離れた場所で決壊しても、氾濫水は街の中を流れて到達する場合があります。図面7～9で到達時間を確認しましょう。

メモ

当該地区の近傍で堤防決壊したときの到達時間

若宮戸地区

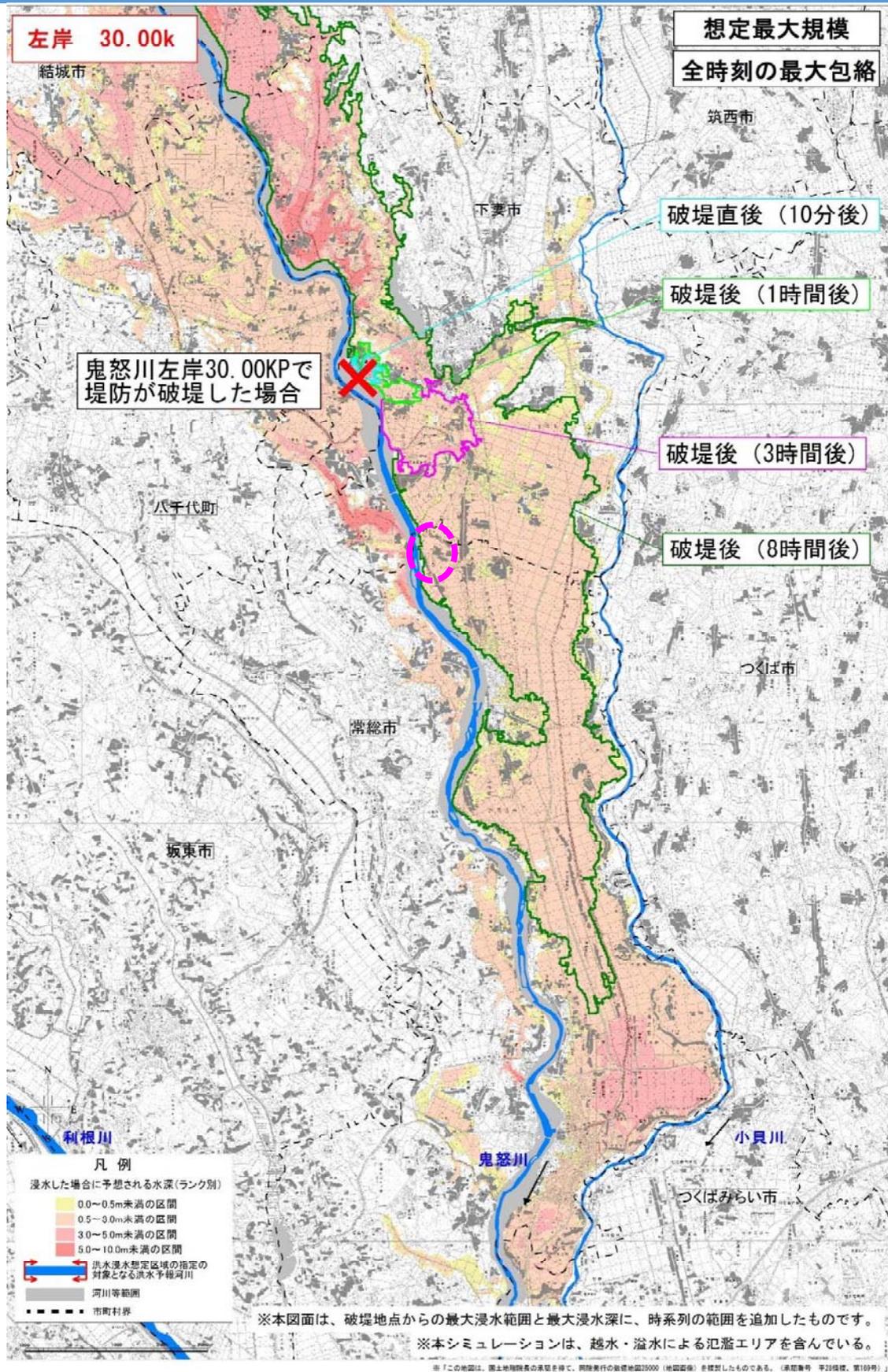
【図面7】



当該地区の上流で堤防決壊したときの到達時間

若宮戸地区

【図面8】

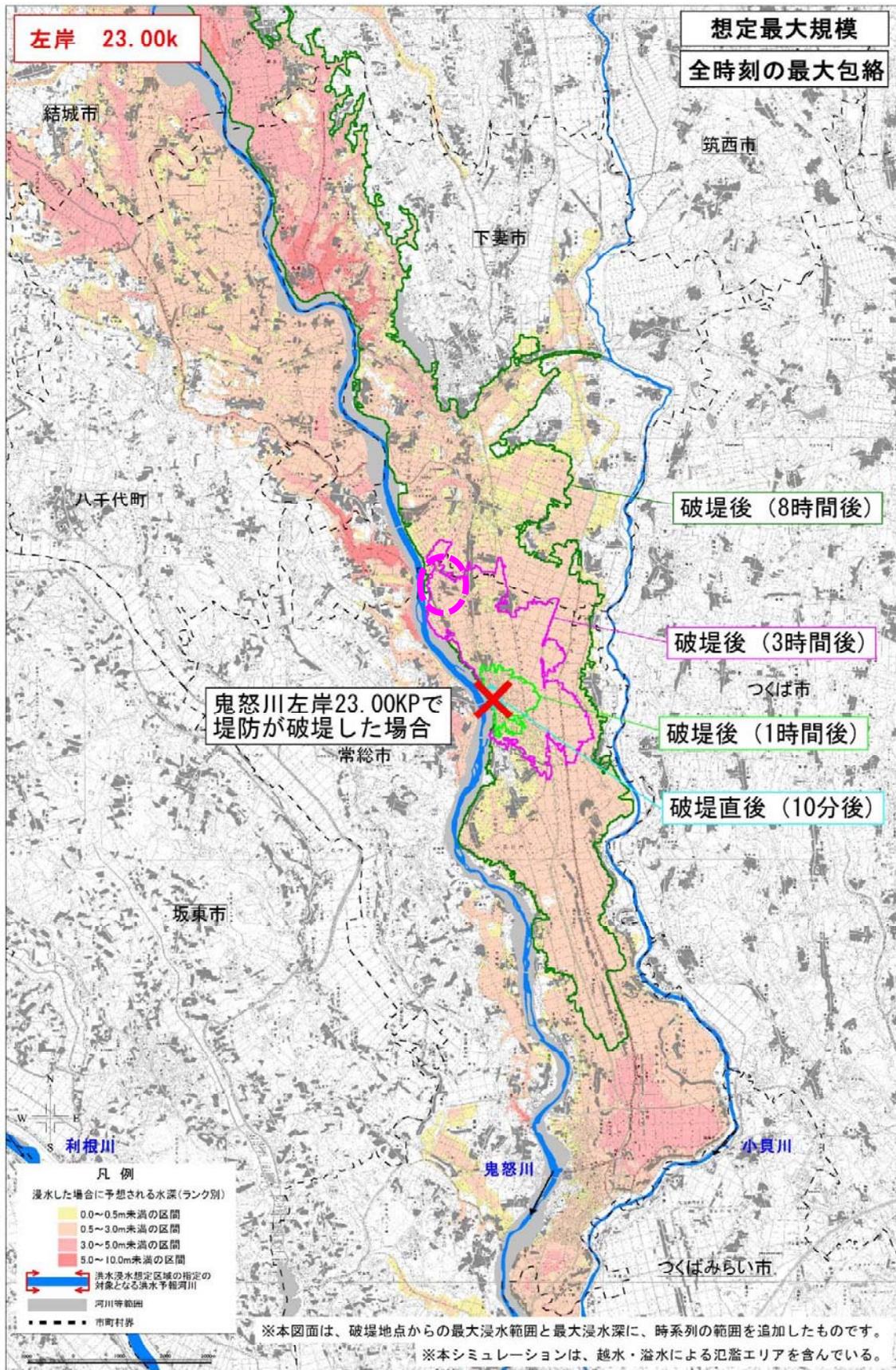


みんなでタイムラインプロジェクト

当該地区の下流で堤防決壊したときの到達時間

若宮戸地区

【図面9】



みんなでタイムラインプロジェクト

気づく

考える

6.洪水時に得られる情報と読み解き方

知る

キーワード

台風の情報

雨量

川の水位

避難情報

■避難行動を判断する時に有効な情報

洪水時に得られる情報は、台風、雨、川、避難と様々です。これらは、時々刻々と変化します。洪水時は、最新の情報を集めて的確に判断しましょう。

	情報	気をつけるポイント
台風発生	台風に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・台風の大きさ ・台風の強さ ・台風の進路
	雨に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・雨量 ・雨の降っている地域(川の上流) ・今後の見通し
水位上昇	川に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの川の水位 ・上流の川の水位(今後の見通し) ・はん濫の発生
	避難に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急) ・避難所の開設情報
緊急時		<ul style="list-style-type: none"> ・交通の状況

■情報を知る手段

洪水時は、テレビ、パソコン、スマートフォン、携帯電話など様々な手段で情報を収集することができます。

	情報	情報を知る主な手段
台風発生	台風に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビの天気予報 ・気象庁のホームページ
	雨に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビの天気予報 ・気象庁のホームページ
水位上昇	川に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビのデータ放送 ・河川事務所のホームページ、SNS
	避難に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページ、SNS ・市の防災メール配信サービス
緊急時		<ul style="list-style-type: none"> ・県のホームページ、SNS ・交通機関のホームページ、SNS

ホームページは普段から見て、慣れておきましょう。



みんなでタイムラインプロジェクト



もっと詳しく知りたい

■台風に関する情報

気象庁ホームページ	http://www.jma.go.jp/jp/typh/
-----------	---

テレビの天気予報や、パソコン、スマートフォン・携帯電話で、気象庁のホームページにアクセスすれば、**台風の位置や強さ、今後の台風の進路や暴風域等**を確認できます。

■雨に関する情報

川の防災情報ホームページ	http://www.river.go.jp/
気象庁ホームページ	http://www.jma.go.jp/
下館河川事務所ホームページ	http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index001.html
雨量・水位情報 テレフォンサービス	電話：0296(25)2180

パソコン、スマートフォン・携帯電話で、**川の防災情報ホームページ、気象庁ホームページ**にアクセスするか、**NHK総合テレビのデータ放送**を見ると、雨量観測所のリアルタイム情報、レーダ雨量(XRAIN)情報を見ることができます。雨量観測所のリアルタイム情報は、**下館河川事務所ホームページ**でも確認できます。

雨量・水位情報テレフォンサービスでは、雨量観測所の過去1時間の雨量・累計雨量を確認できます。

■気象に関する警報・注意報

気象庁ホームページ	http://www.jma.go.jp/jp/warn/
-----------	---

気象庁ホームページにアクセスすれば、警報・注意報の発表状況や、注意警戒すべき期間、ピーク時間、雨量の予想などを確認できます。

「大雨特別警報」は台風や集中豪雨により数十年に一度の降水量となる大雨が予想される場合などに発表します。「大雨特別警報」が発表されたら、ただちに地元市町村の避難情報を確認の上、適切な行動をとってください。

メモ



もっと詳しく知りたい

■川に関する状況

川の防災情報ホームページ	http://www.river.go.jp/
下館河川事務所ホームページ	http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index001.html
雨量・水位情報 テレフォンサービス	電話：0296(25)2180

パソコン、スマートフォン・携帯電話で、川の防災情報ホームページ、下館河川事務所ホームページにアクセスすると、水位観測所のリアルタイム情報、河川の洪水予報を確認できます。NHK総合テレビのデータ放送、雨量・水位情報テレフォンサービスでも、水位観測所のリアルタイム情報を確認できます。

パソコン、スマートフォン・携帯電話で、下館河川事務所ホームページにアクセスすると、鬼怒川のライブ映像を見ることができます。

川が危険な状態ときは、緊急速報メールが配信されます。
詳しくは、こちら。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000913.html



URL : <http://www.river.go.jp/>

水位	内容
氾濫危険水位	河川が氾濫する恐れのある水位
避難判断水位	避難情報発表の目安となる水位
氾濫注意水位	河川の氾濫の発生を注意する水位
水防団待機水位	水防団が待機する目安となる水位

水位観測所では、避難行動の参考となる様々な基準水位が定められています。



URL : http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index017.html



もっと詳しく知りたい

■避難に関する情報

常総市ホームページ	http://www.city.joso.lg.jp/
茨城県ホームページ	http://www.pref.ibaraki.jp/
日本道路交通情報センターホームページ	http://www.jartic.or.jp/

常総市からの避難情報（避難準備情報、避難勧告、避難指示）は、**防災行政無線、市防災メール、広報車**で発信されます。

パソコン、スマートフォン・携帯電話で、**常総市ホームページ・ツイッター・フェイスブック、茨城県ホームページ**にアクセスしても確認できます。

パソコン、スマートフォン・携帯電話で、**常総市ホームページ、茨城県ホームページ、日本道路交通情報センターホームページ**にアクセスすると交通情報が確認できます。



出典：日本道路交通情報センター

メモ

気づく

7. タイムラインの考え方

知る

キーワード

タイムライン

川の水位

■ タイムラインとは

防災行動の「何時」「何を」「誰が」が明確になります。

○次何をするか ○今何をすべきか ○誰の動きにつながるか

3日前



半日前



5時間前



3時間前



はん濫発生

※写真はイメージです

行動の例

テレビの天気予報を注意。

1週間分の薬を病院に受け取りに行く。



ハザードマップで避難場所、避難手段を確認

川の水位をインターネットで確認

通行止め情報がないかインターネットで確認



川の水位をインターネットで確認

テレビで洪水予報の確認

市内の指定避難所への開始を判断

市内の指定避難所への避難を完了

足下気をつけて



■平常時の役割

- 現状が明確になり、課題を抽出できます
- 地域をつなぐコミュニケーションツールになります

！リスクを認識できる

- ・自分の家が浸水してしまう
- ・避難所まで遠い など



！逃げるタイミングがわかる

- ・いつ逃げる？
- ・誰と逃げる？
- ・危険な場所をさけて逃げるには？



！コミュニケーションの輪が広がる

- ・検討会での意見交換などで、知り合いになれる
- ・ご近所とのつながりが強く、太くなる



■災害時の役割

- 災害時の防災行動のチェックリストになり、対応の漏れを防止できます

！行動をチェック

- ・避難に必要なものを確認できる
- ・安全な避難経路を確認できる

あれももって
いかなきゃ



！判断をサポート

- ・落ち着いて冷静な行動がとれる

おちついて



実践や訓練で検証し、継続的に見直すことでタイムラインが進化します。
継続的にタイムラインを見直していくことにより、防災力が向上します。

気づく



もっと詳しく知りたい

■タイムライン使用時の心得

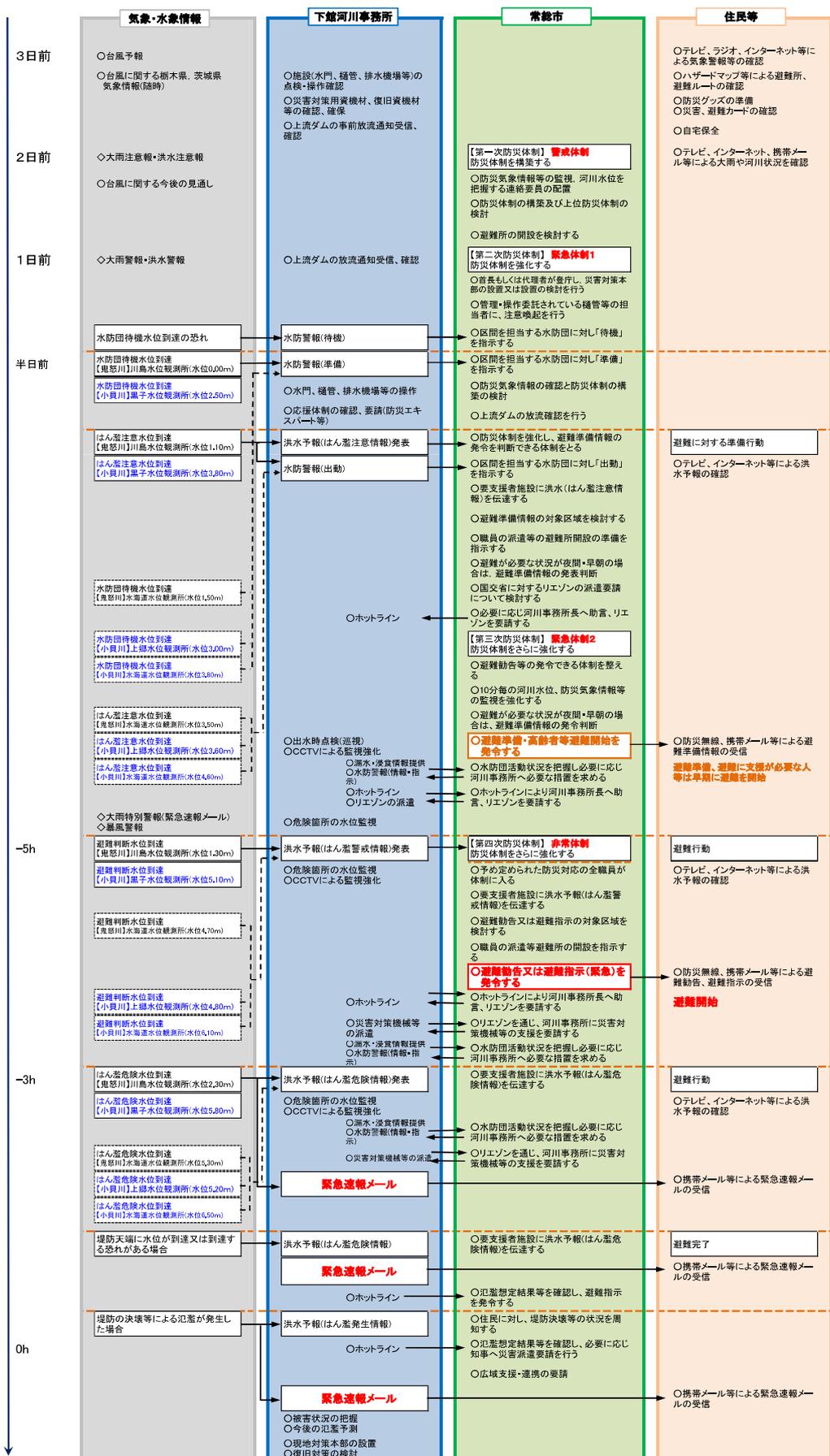
マイ・タイムラインを作成すると、自分と家族がとるべき防災行動の「何時」が明確になりますが、次の点に注意しておく必要があります。

- 注意1：台風が進み方、雨の降り方、川の水位の上がり方は洪水毎に異なります。マイ・タイムラインで想定したとおりに進行するわけではありません。
- 注意2：同様に、氾濫した際の浸水深や浸水継続時間も洪水毎に異なります。マイ・タイムラインの検討に当たって想定したとおりに氾濫するわけではありません。
- 注意3：気象警報、洪水予報、避難情報等は実際の気象や河川の状況に応じて発表・発令されるため、マイ・タイムライン上の時間と一致しないことがあります。
- 注意4：マイ・タイムライン上の時間は、時計のように進むわけではありません。例えば、タイムライン上で氾濫発生が3時間前となっても、水防団（消防団）の水防活動等によって進行を遅らせることができ、結果として3時間経っても氾濫に至らない場合も想定されます。

そのため、実際の洪水においてマイ・タイムラインを使用する際には、次の心得を踏まえて行動してください。

- 心得1：マイ・タイムラインで定めた「何時」は、あくまで行動の目安として認識する。
- 心得2：洪水時はテレビやパソコンなどで、台風の進路、降雨の状況、河川の水位、気象警報や避難情報等をこまめに収集・確認する。
- 心得3：収集・確認した情報をもとに、マイ・タイムラインを参考にして、臨機応変に防災行動の実行を判断する。

台風による洪水を対象とした避難勧告発令等に着目したタイムライン(防災行動計画)(H28年6月版)
常総市(鬼怒川・小貝川)



※今後の出水や訓練等を通じて見直しを行っていく
※本資料は、常総市タイムライン(H28年6月版)に一部情報を追加しています。

8.洪水時の自らの行動を想定

知る

キーワード

避難の方法

屋内安全確保

指定避難所

高台へ移動

広域避難



避難行動を想定する前に、家族のことを整理しましょう。

名前	年齢	必需品	昼の居場所	備考
例)防災太郎		血圧を下げる薬	デイサービス	足をけがしている

- ・自動車の有無 : 有()
- ・親戚など避難を受け入れてくれる場所の有無: 有()
- ・ペットの有無 : 有()

■避難の方法

避難の方法	概要	留意点
自宅に残る (屋内安全確保)	自宅などその場にとどまり、安全を確保すること	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅が平屋の場合は、浸水深が50cm(床上浸水)を越えないこと ・自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域内ではないこと ・浸水継続時間が長い場合は、食料、水、常用薬等の準備をしておくこと
市の指定避難所へ移動	市が指定する近傍の避難所へ移動し、安全を確保すること	<ul style="list-style-type: none"> ・指定避難所が平屋の場合は、浸水深が50cm(床上浸水)を越えないこと ・指定避難所が家屋倒壊等氾濫想定区域内ではないこと ・浸水継続時間が長い場合は、常用薬等の必需品を準備しておくこと (事前に洪水ハザードマップで指定避難所の場所を確認)
市内の高台へ移動	市内の浸水想定区域外などへ移動し、安全を確保すること	<ul style="list-style-type: none"> ・避難経路の浸水深を確認すること ・移動手段と移動経路を確認し、適切な行動をとること ・食料、水、常用薬等の必需品を準備しておくこと (高台へ移動する前に通行止め状況や渋滞状況を確認)
隣接市町へ移動 (広域避難)	隣接市町の浸水想定区域外などへ移動し、安全を確保すること	<ul style="list-style-type: none"> ・避難経路の浸水深を確認すること ・移動手段と移動経路を確認し、適切な行動をとること ・食料、水、常用薬等の必需品を準備しておくこと (隣接市町村のハザードマップで避難場所を確認)



一言で避難と言っても、いろいろな方法があります。留意点を理解し、いざと言うときに最適な方法を判断できるようにしましょう。

みんなでタイムラインプロジェクト

知る

キーワード

避難場所

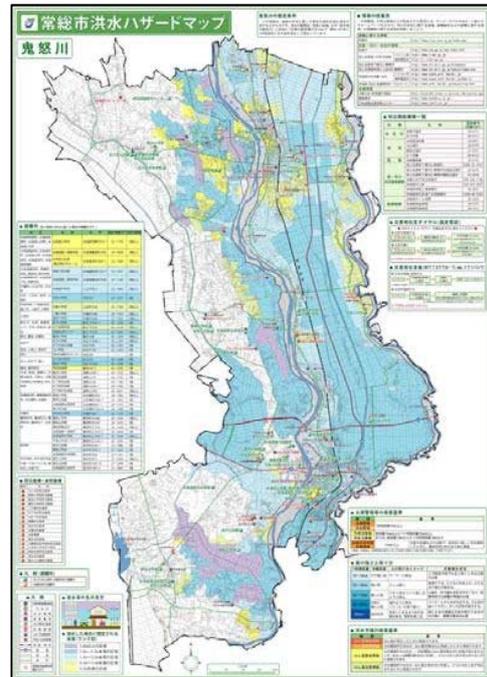
隣接市町村のハザードマップ

■ 我が街の
洪水ハザードマップ

市町村が配布した洪水ハザードマップを見ると、地区毎の避難所を確認できます。



図面10で確認しましょう。



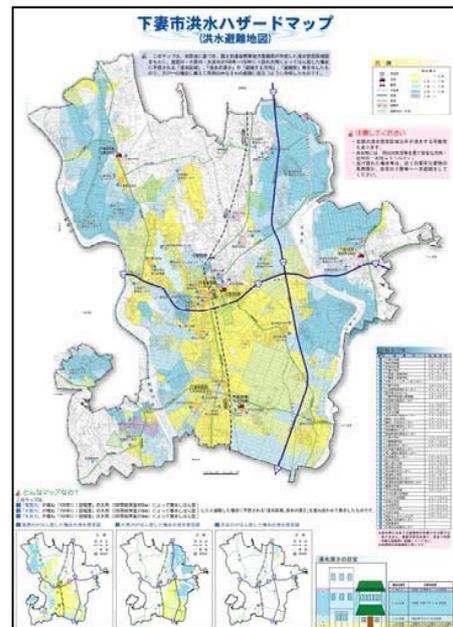
もっと詳しく知りたい

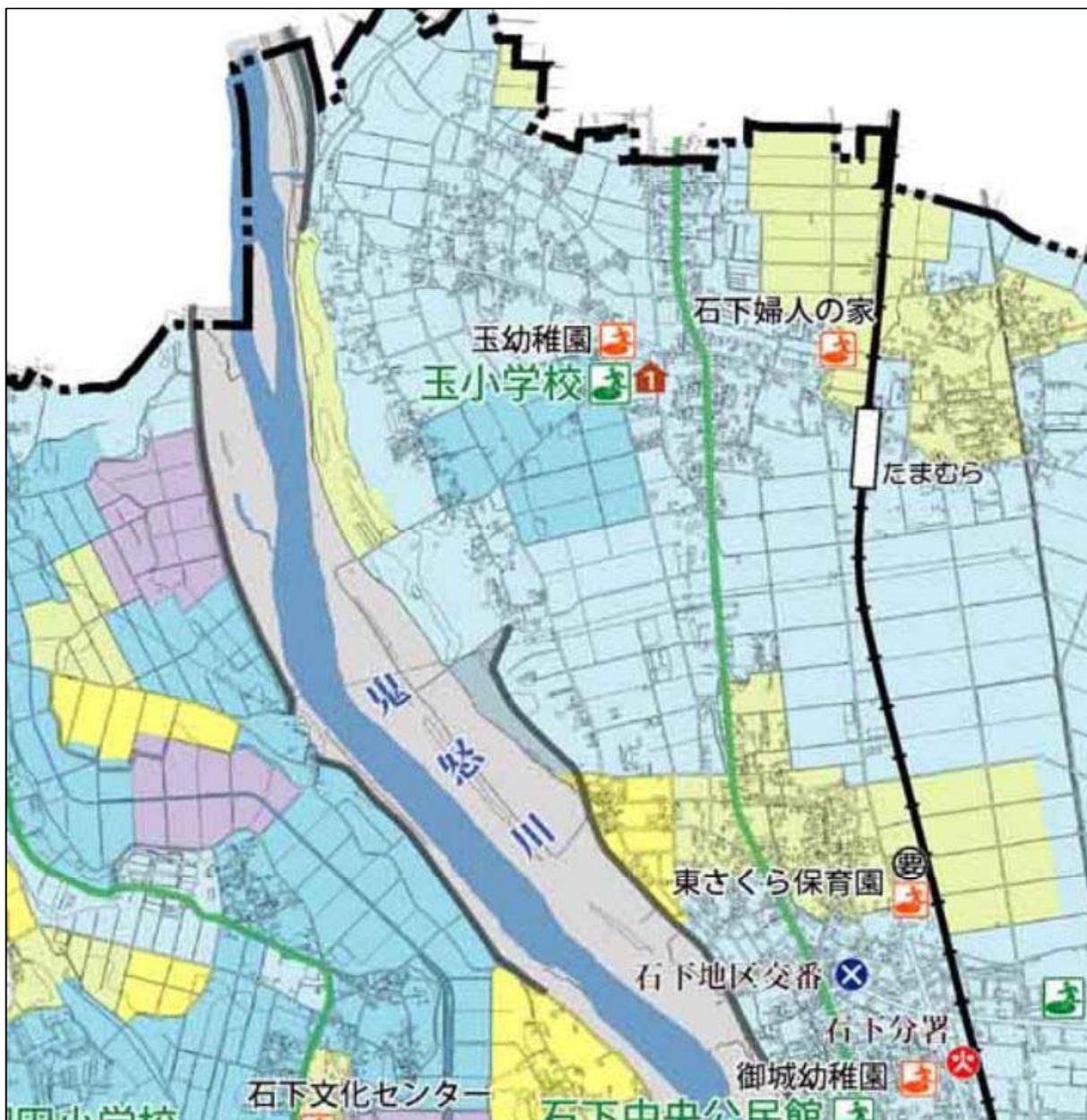
■ 隣接市町村の
洪水ハザードマップ

近くに、適切な避難場所が無い場合は、隣接する市町村の避難所も確認してみましょう。

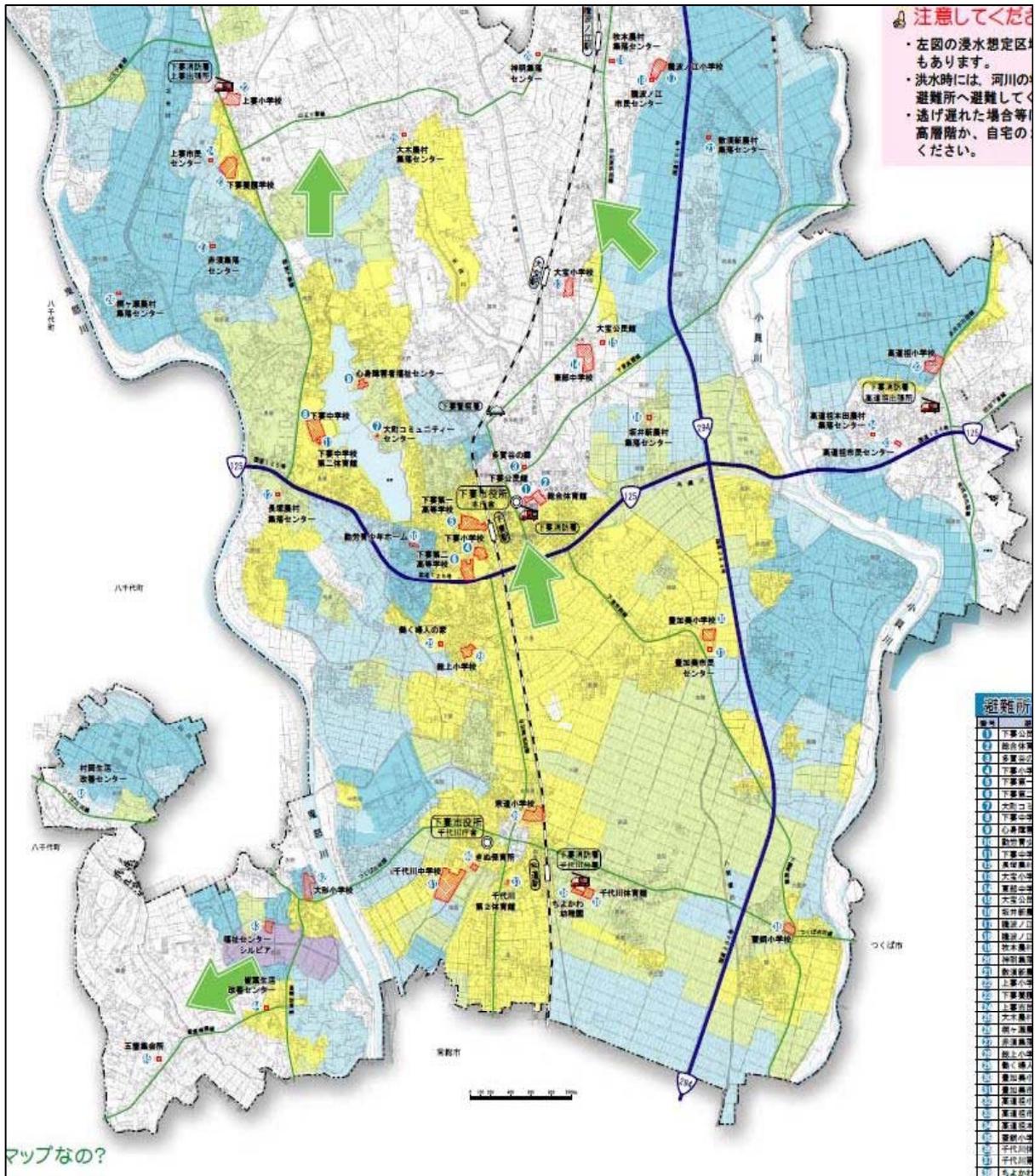


図面11で確認しましょう。





出典：常総市HP
<http://www.city.joso.lg.jp/jumin/anzen/bosai/1419917075752.html>



出典：下妻市HP <http://www.city.shimotsuma.lg.jp/page/page000048.html>

みんなでタイムラインプロジェクト

■避難の方法



避難の方法と必要となる準備を記入してみましょう。早めの避難の完了を目指しましょう。

避難の方法	場所 又は 住所	手段	① 避難を完了 したい時刻	② 移動に 要する時間	要する準備
(例1) 指定の避難所	〇〇小学校	徒歩	3時間前	30分	持ち出し品 戸締り ・ ・
(例2) 遠くの親戚	△△市	自家用車	4時間前	60分	祖父の薬 戸締り ・ ・
自宅					
指定 避難所					
市内の高台					
遠くの 親戚					
その他 (職場など)					

気づく

みんなでタイムラインプロジェクト

 もっと詳しく知りたい

■ 避難所への移動手段

洪水時の移動手段の原則は、徒歩

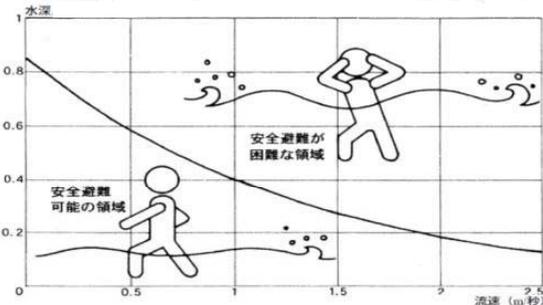
移動手段 参考速度	長 所	短 所
<p>徒歩</p> <p>成人:4km/h 高齢者3km/h</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 車が入れない場所でも移動できる • 緊急時の対処が他の手段に比べ対応しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> • 避難所まで遠い場合や雨の中を歩くのは、高齢者や子供が大変 
<p>自家用車</p> <p>40km/h</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者や子供を連れて避難する場合に有効 • 徒歩に比べて、移動速度が速い • 雨に濡れずに避難ができる 	<ul style="list-style-type: none"> • 水に浸かると動かなる恐れがある • 渋滞にはまる恐れがある • 避難所に駐車場がない場合がある • 緊急車両の通行の妨げになる恐れがある 
<p>公共交通機関</p> <p>電車：80km/h バス：40km/h</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 一度に多くの人を輸送できる 	<ul style="list-style-type: none"> • 決まった運行場所・運行時間のため、各自の避難したいタイミングなどと折り合わない恐れがある • 避難所に直接たどり着けない

■ 洪水時の避難の危険性

【実験データ】

浸水深が0.5m（大人の膝）程度で、氾濫流速が0.7m/s程度でも避難は困難となります。

イラスト出典：常総市ハザードマップ避難時の心得



出典：水害ハザードマップ作成の手引き

【洪水氾濫時の移動困難事例】

平成24年7月九州北部豪雨での沖端川の堤防決壊で氾濫流により移動が困難となっている。

水深は、ガードレールとほぼ同じ高さに氾濫水の水面があることから0.5m～0.6mと推算される。



出典：水害ハザードマップ作成の手引き



もっと詳しく知りたい

■洪水時の避難の危険性

【氾濫水は濁っている】

氾濫水は、茶色く濁っており、水路と道路の境や、ふたが開いているマンホールの穴は、見えません。

やむを得ず水の中を移動するときは、棒で足下を確認しながら移動しましょう。



出典：水害ハザードマップ作成の手引き

【平成27年9月関東・東北豪雨時の氾濫流の流速】

鬼怒川決壊地点近傍では、非常に速い流速が発生していました。



提供：鬼怒川堤防調査委員会
(近隣住民の方から提供)

メモ

9. マイタイムラインの作成

知る

キーワード

情報収集

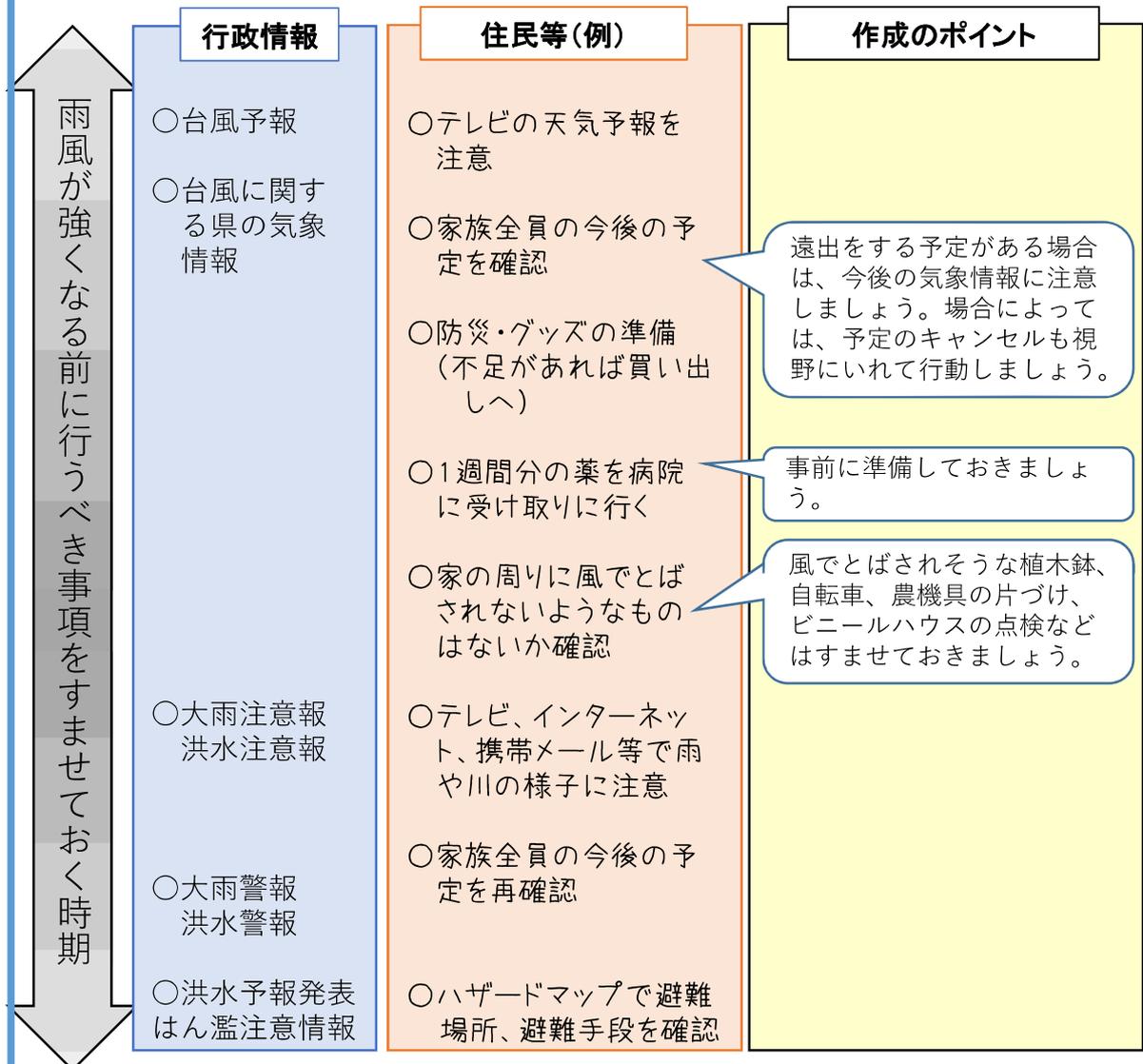
家族との連絡

避難場所

避難方法

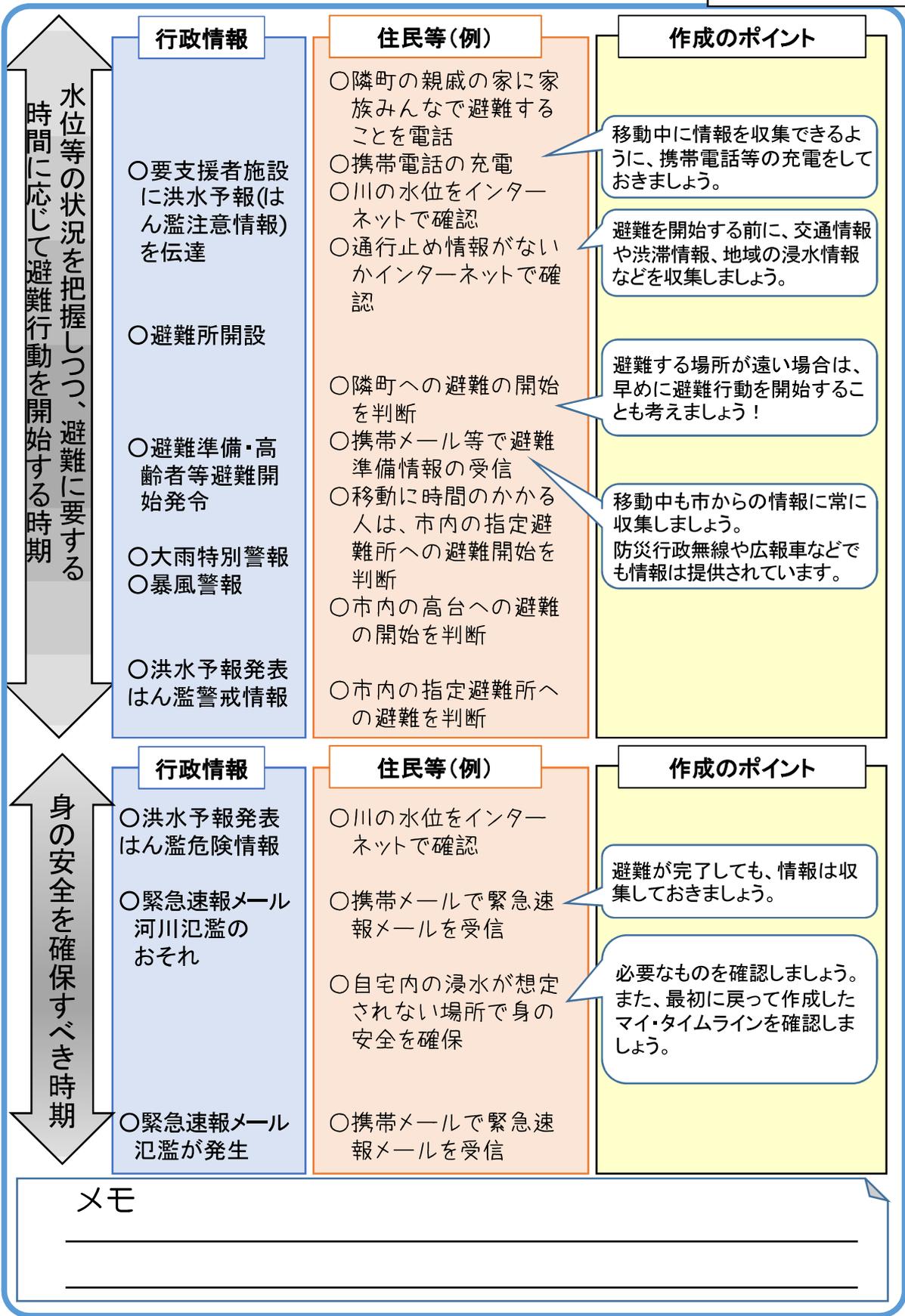
■ マイ・タイムライン作成のポイント

以下のポイントに留意して、あなたのマイ・タイムラインを作成しましょう。



メモ

STEP3



避難のタイミングの整理



34ページで書いた時間を参考に整理していきましょう。
一番下の①から時間をさかしてみましょう。

避難の場所 要する準備 ③ 避難場所へ移動を開始する時刻 時間前 (①+②) ② 要する時間 (移動時間) ① 避難を完了したい時刻 時間前			
--	--	--	--

マイ・タイムラインについて

- ① **マイ・タイムラインとは**
「マイ・タイムライン」は住民一人ひとりのタイムラインであり、台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるものです。
時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また判断のサポートツールとして、効果を発揮するものと考えています。
しかしながら洪水は自然現象であるため、マイ・タイムラインがあれば常に安全ということではなく、その都度、台風・降雨・河川の状況等を考慮して判断しなければならぬことにも留意しておく必要があります。マイ・タイムラインに盛り込まれたどの防災行動で台風・降雨・河川の状況等が把握できるのかを知っておくことも重要です。
このたび、まずは常総市の若宮戸地区と根新田地区をモデル地区として、一人ひとりの住民に参加いただく「常総市マイ・タイムライン検討会」を設置し、鬼怒川の水位上昇を対象にマイ・タイムラインの検討を進めます。検討の過程で、住民一人ひとりが、自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、マイ・タイムライン作成時には、いわば「自分の逃げ方」を手に入れられるように取り組んでいくこととしています。
 - ② **マイ・タイムラインノートとは**
マイ・タイムラインの検討は、住民一人ひとりに配付する「マイ・タイムライン ノート」に沿って行います。ノートは、地形の特徴や過去の洪水といった自宅周辺のリスク、洪水発生時に得られる情報などのマイ・タイムラインの検討に当たって抑えておくべき情報を「知る」ことから始め、そこから「気づく」ことや自分自身に置き換えて「考える」ことを記入していくことで、洪水発生時に自分自身がとるべき防災行動を整理する形で編集していきます。そして、整理した防災行動を時系列的にとりまとめることによって、最終的に一人ひとりのマイ・タイムラインが作成できることとなります。
ノートは以下の3つの考え方で構成しています。
- I. 「知る」：マイ・タイムラインの検討に当たって抑えておくべき情報を記載しており、検討会で解説します。メモ欄には、初めて知ったことや驚いたこと、大切だと思ったことを記入してください。
 - II. 「気づく」：「知る」を通じて得られた知識やメモした事柄を踏まえ、感じたことを記入してください。検討会での意見交換により、理解を深めます。
 - III. 「考える」：「知る」や「気づく」を踏まえ、自分自身の自宅の状況や家族の構成に置き換えて、安全に避難するために必要と考えることを記入してください。
- ③ **マイ・タイムラインノートの作成後**
今回検討するマイ・タイムラインは基礎的なものであり、例えば、洪水が発生する時間帯によってはさらに早めの避難が必要になるなど、実際の洪水時を想定した応用動作が想定されます。今後、家族や地域で話し合うなどし、防災行動を追加していくことも考えられます。またマイ・タイムラインは、一度作ったらおしまいというものではなく、自分自身の置かれている環境の変化に応じて変更していくことが望ましいと考えられます。例えば、家族が増えたとき、勤務先や学校が変わったときなど、あらためてノートを見直して、必要な防災行動を整理していくことが望ましいと考えられます。
来たるべき洪水に備えて、マイ・タイムラインを活用し、逃げ遅れゼロに向けてさらなる地域の取り組みが積み重ねられることを期待しています。

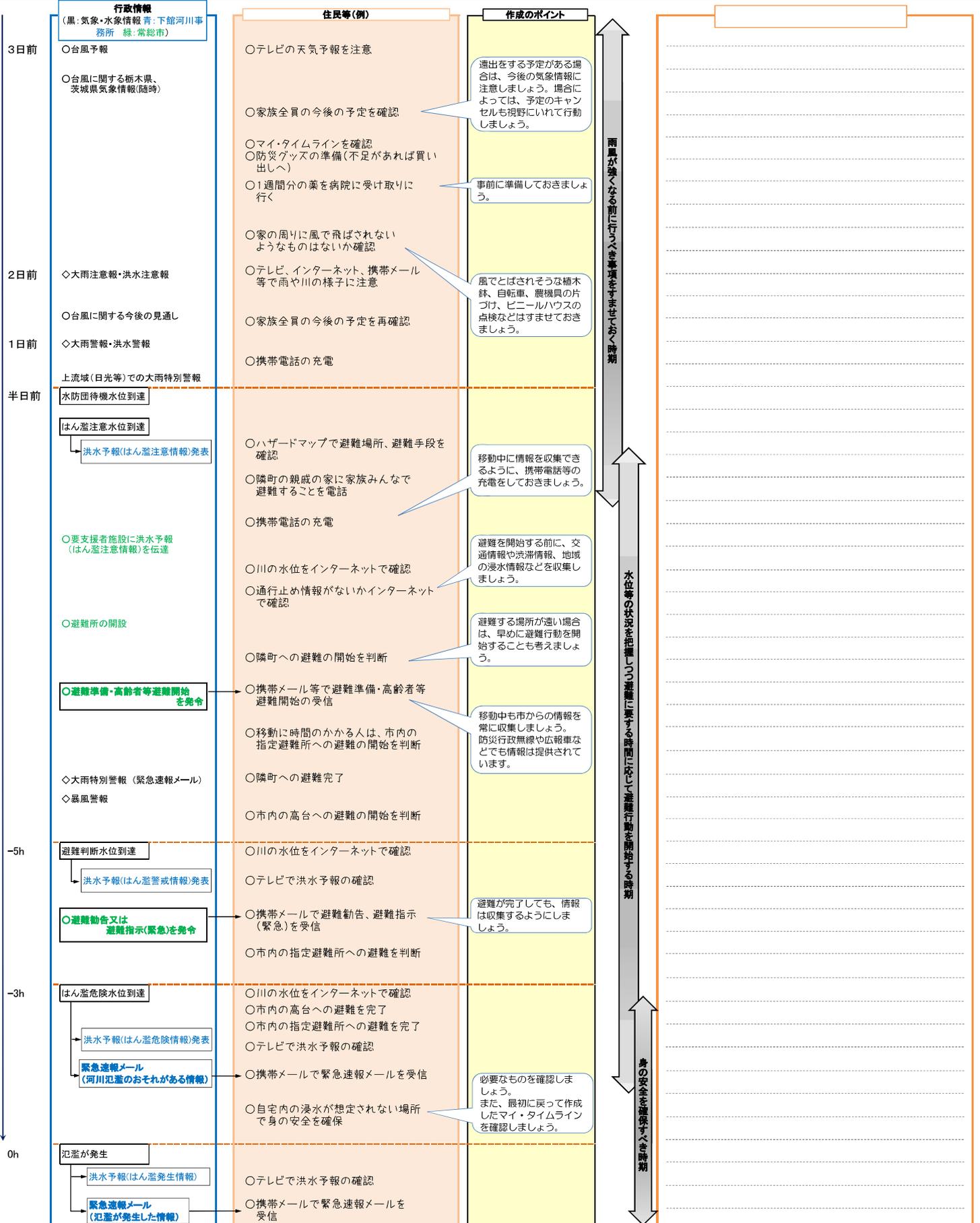
平成28年11月13日

常総市マイ・タイムライン検討会 運営会議

平成28年11月

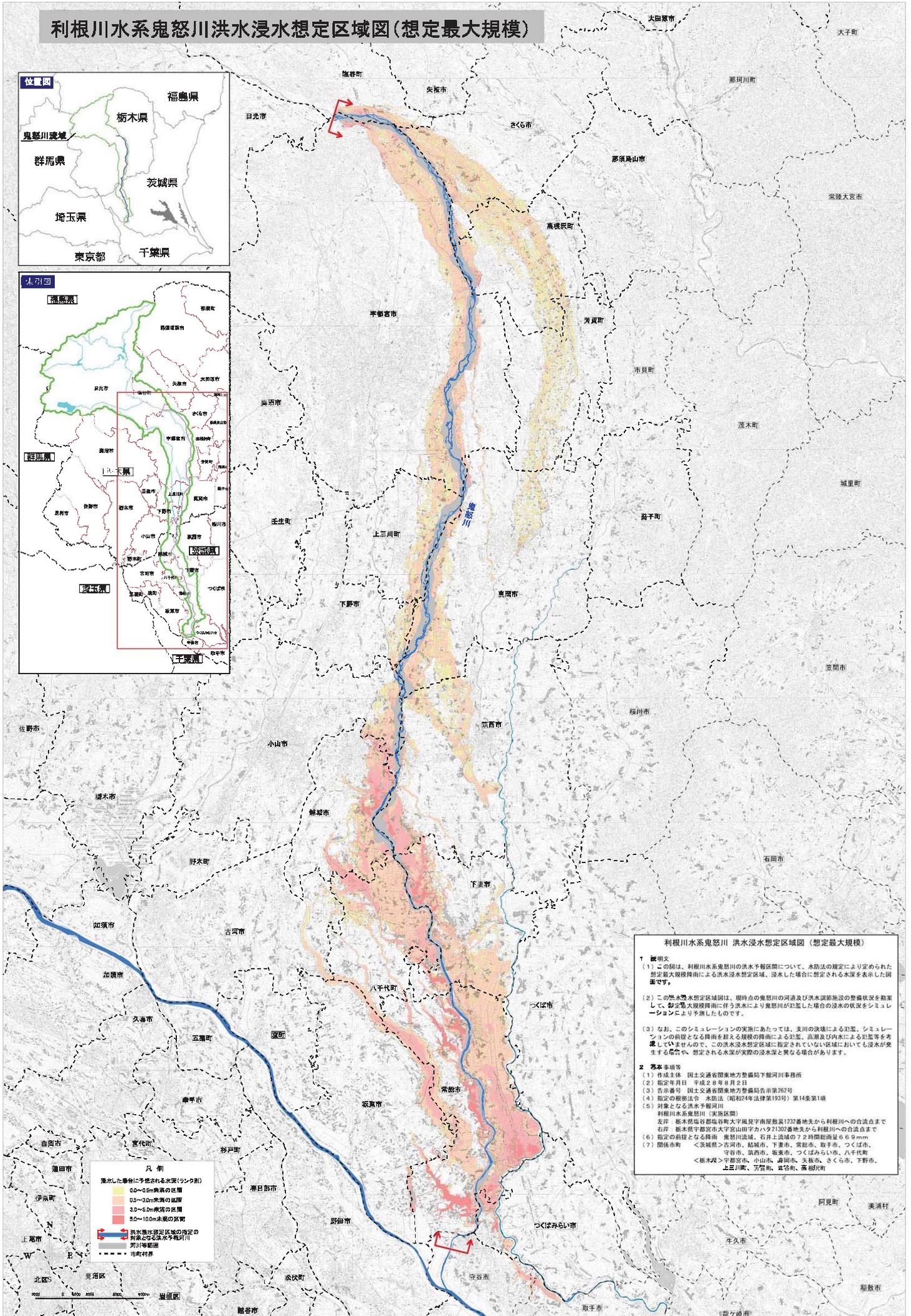
常総市マイ・タイムライン検討会 運営会議

みんなでタイムラインプロジェクト



參考資料

利根川水系鬼怒川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



利根川水系鬼怒川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

1 説明文

(1) この図は、利根川水系鬼怒川の洪水予報区間について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、現時点の鬼怒川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により鬼怒川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前段となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合は、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 国土交通省関東地方整備局下館河川事務所
 (2) 指定年月日 平成28年8月2日
 (3) 告示番号 国土交通省関東地方整備局告示第262号
 (4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第183号)第14条第1項
 (5) 対象となる洪水予報区間
 利根川水系鬼怒川(実施区間)
 左岸 栃木県塩谷郡塩谷町大字風見字南原敷集122番地先から利根川への合流点まで
 右岸 栃木県宇都宮市大字荒山田平カク97130番地先から利根川への合流点まで
 (6) 指定の前段となる降雨 鬼怒川流域、右岸上流域の7.2時間総雨量6.9mm
 (7) 関係市町
 <茨城県>古河市、結城市、下妻市、常総市、取手市、つくば市、つくばみらい市
 <埼玉県>平塚市、羽生市、坂東市、つくばみらい市、八千代町
 <栃木県>宇都宮市、小山市、美濃市、矢板市、さくら市、下野市、上三川町、芳賀町、益谷町、渡辺町

凡例

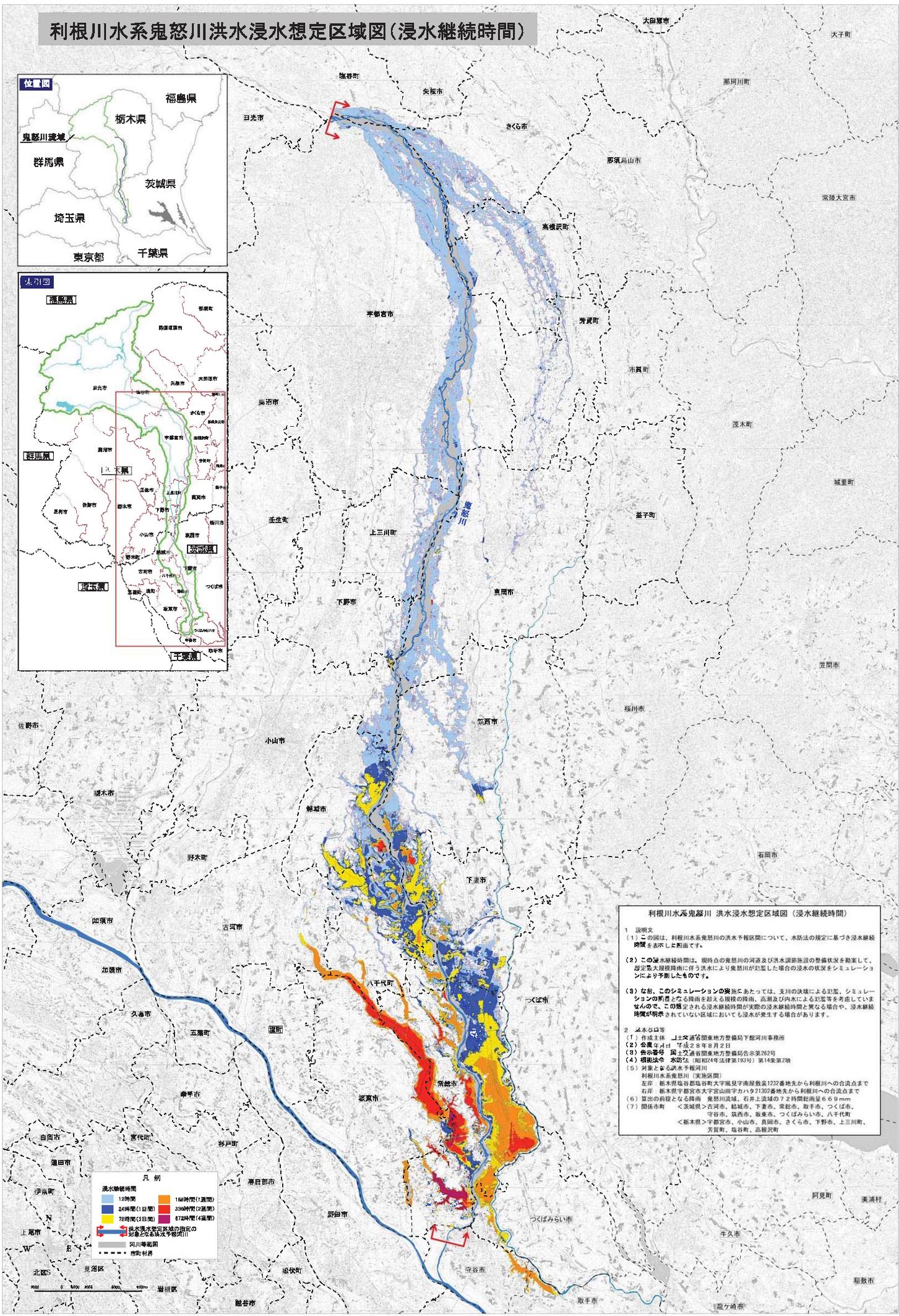
浸水した場合に予想される水深(ランク別)

- 0.0~0.9m未満の水深
- 1.0~2.9m未満の水深
- 3.0~4.9m未満の水深
- 5.0~10.0m未満の水深

洪水浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報区間
 男川等副流
 市町村界

※「この地図は、国土地理院長の承認を得て、民間発行の数値地図25000(地図関係)を複製したものである。(承認番号 平28情概、第189号)」

利根川水系鬼怒川洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)



利根川水系鬼怒川 洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)

1 説明文

(1) この図は、利根川水系鬼怒川の洪水予報区域について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示し、概図です。

(2) この浸水継続時間は、現時点の鬼怒川の河況及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により鬼怒川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの精度となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2 基本情報等

(1) 作成主体 国土交通省関東地方整備局下館河川事務所

(2) 作成年月日 平成28年8月2日

(3) 報告書番号 国土交通省関東地方整備局報告第262号

(4) 根拠法令等 水防法(昭和44年法律193号)第14条第2項

(5) 対象となる洪水予報河川 利根川水系鬼怒川(実施区域)

右岸 栃木県塩谷郡塩谷町大字鬼怒宇南屋敷表1232番地先から利根川への合流点まで
 左岸 栃木県宇都宮市大字宮山由字カハタ2130番地先から利根川への合流点まで

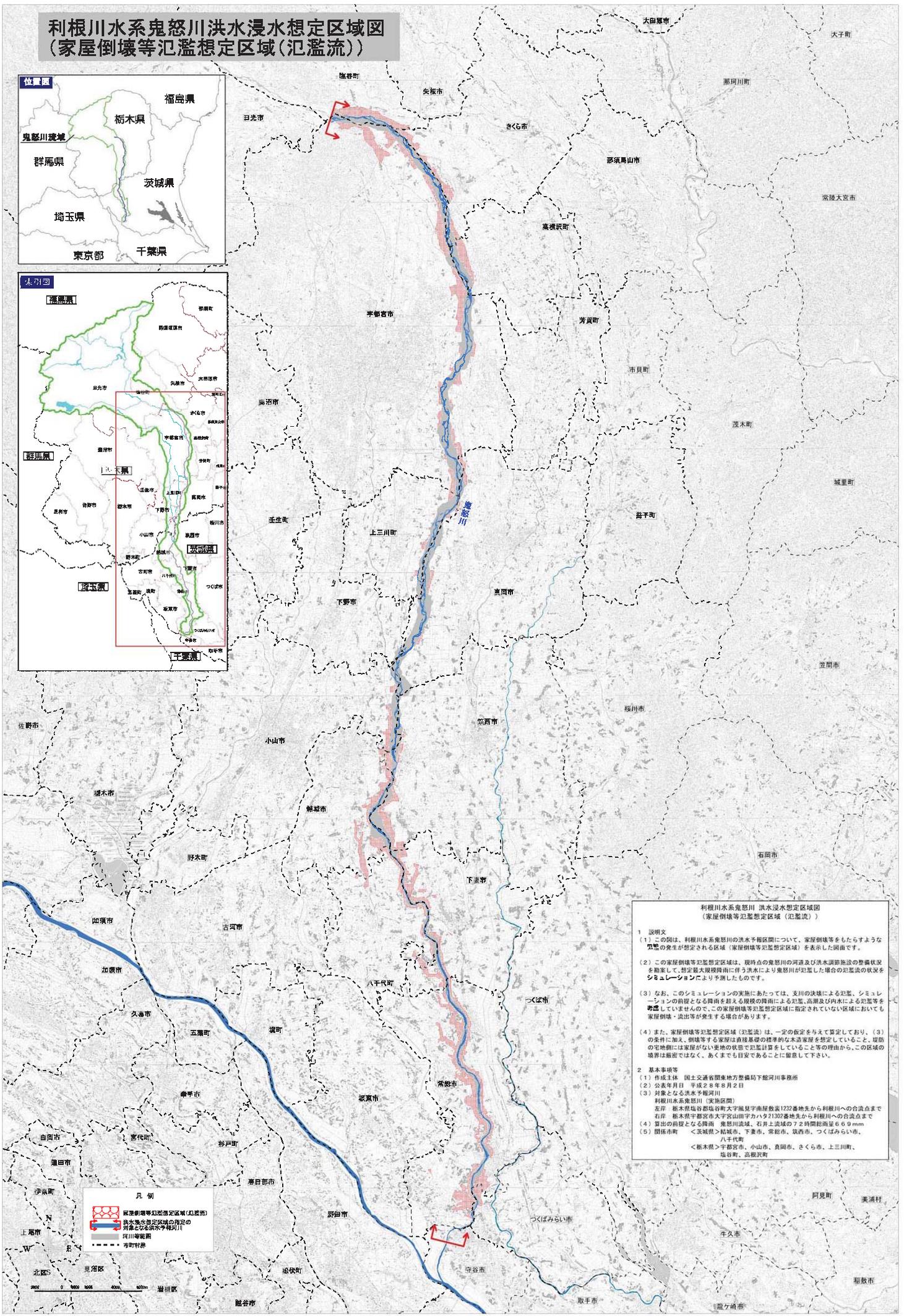
(6) 算出の前段となる降雨 鬼怒川流域、石井上流域の72時間総雨量6.9mm

(7) 関係市町 <茨城県>古河市、結城市、下妻市、常陸市、取手市、つくば市、守谷市、茨西市、取手市、つくばみらい市、八千代町 <栃木県>宇都宮市、小山市、真岡市、さくら市、下野市、上三川町、芳賀町、塩谷町、高橋沢町



※「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図2500C(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平28情概、第169号)」

利根川水系鬼怒川洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))



利根川水系鬼怒川 洪水浸水想定区域図
(家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))

1 説明文

- この図は、利根川水系鬼怒川の洪水予報区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
- この家屋倒壊等氾濫想定区域は、現時点の鬼怒川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により鬼怒川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- なお、このシミュレーションの実態にあつては、支川の状況による氾濫、シミュレーションの前段となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
- また、家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)は、一定の仮定をたてて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。

2 基本事項等

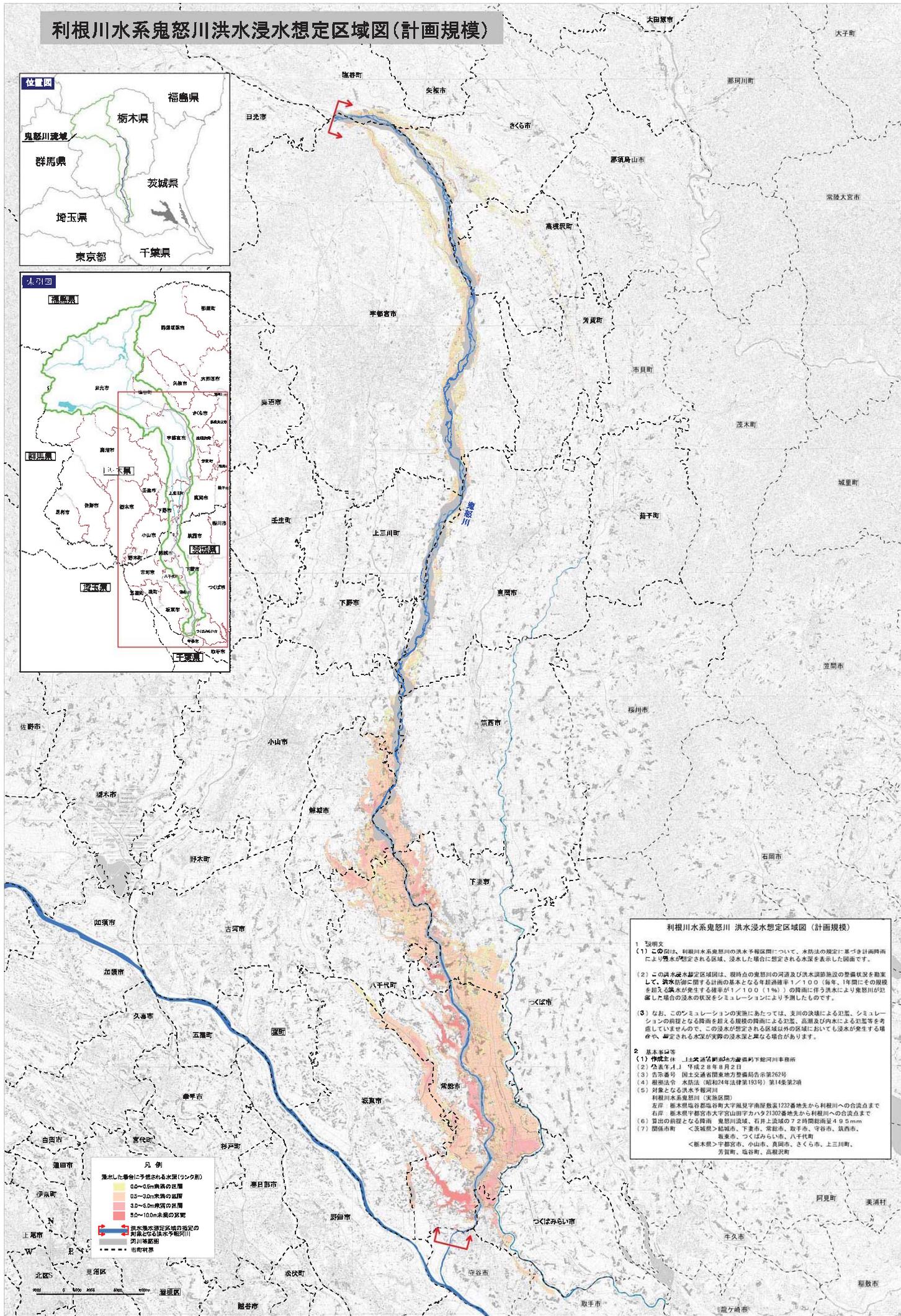
- 作成主体 国土交通省関東地方整備局下野河川事務所
- 公表年月日 平成28年8月2日
- 対象となる洪水予報河川
利根川水系鬼怒川(実施区間)
左岸 栃木県塩谷郡塩谷町大字鬼怒見字南屋敷表1232番地先から利根川への合流点まで
右岸 栃木県宇都宮市大字宮山字カハタ21302番地先から利根川への合流点まで
- 算出の前段となる降雨 鬼怒川流域、右岸上流域の72時間総雨量66.9mm
- 関係市町 <茨城県> 稲城市、下妻市、常総市、取手市、つくばみらい市、八千代町
<栃木県> 宇都宮市、小山市、真岡市、さくら市、上三川町、塩谷町、高根沢町

凡 例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 利根川水系鬼怒川の指定区域(利根川水系鬼怒川)
- 河川等範囲
- 市町村界

※「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図2500C(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平28情保、第169号)」

利根川水系鬼怒川洪水浸水想定区域図(計画規模)



利根川水系鬼怒川 洪水浸水想定区域図(計画規模)

1 説明文

(1) この図は、利根川水系鬼怒川の洪水予報区域について、水防法の規定に基づき計画降雨により洪水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、現時点の鬼怒川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる年間超過降雨率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水により鬼怒川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 国土交通省関東地方整備局下総河川事務所

(2) 発表年月日 平成28年9月2日

(3) 告示番号 国土交通省関東地方整備局告示第26号

(4) 根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項

(5) 対象となる洪水予報河川

利根川水系鬼怒川(実施区域)

左岸: 栃木県佐野市大字黒野宇南屋敷122番地先から利根川への合流点まで

右岸: 栃木県宇都宮市大字宮山田字カハタ21302番地先から利根川への合流点まで

(6) 算出の前提となる降雨 鬼怒川流域、石井上流域の72時間総雨量49.5mm

(7) 関係市町 <茨城県> 結城市、下田市、常総市、取手市、守谷市、筑西市、
<栃木県> 宇都宮市、小山市、真田市、さくら市、上三川町、
芳賀町、塩谷町、高槻沢町

※「この地図は、国土地理院の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図図像)を複製したものである。(承認番号 平28信標 第169号)」

下妻市洪水ハザードマップ

(洪水避難地図)

このマップは、水防法に基づき、国土交通省関東地方整備局が作成した浸水想定区域図をもとに、鬼怒川・小貝川・大谷川が100年～150年に1回の大雨によってはん濫した場合に予想される「浸水区域」、「浸水の深さ」や「避難する方向」、「避難所」等を示したもので、万が一の場合に備えて市民のみなさんの避難に役立つように作成したものです。

凡例

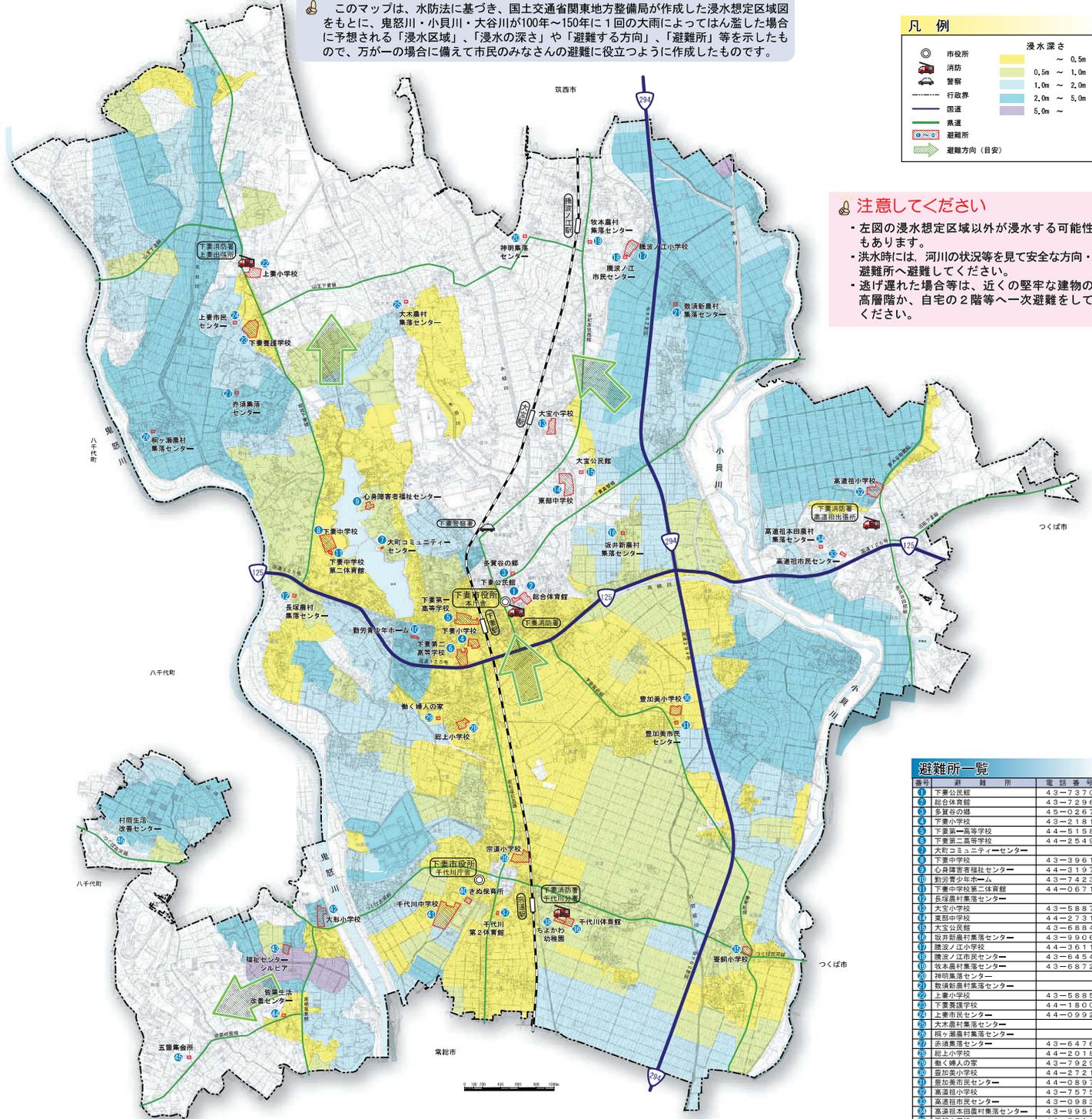
- 市役所
- 消防
- 警察
- 行政界
- 国道
- 県道
- 避難所
- 避難方向(目安)

浸水深さ

- ～ 0.5m
- 0.5m ～ 1.0m
- 1.0m ～ 2.0m
- 2.0m ～ 5.0m
- 5.0m ～

注意してください

- 左図の浸水想定区域以外が浸水する可能性もあります。
- 洪水時には、河川の状況等を見て安全な方向・避難所へ避難してください。
- 逃げ遅れた場合等は、近くの堅牢な建物の高層階が、自宅の2階等へ二次避難をしてください。



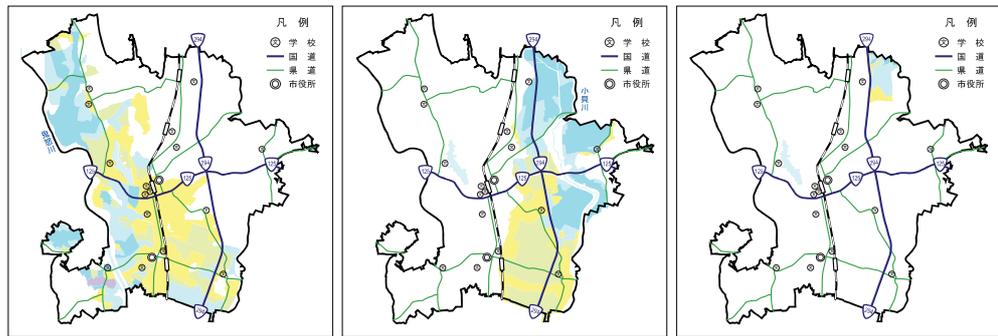
避難所一覧

番号	避難所	電話番号
1	下妻公民館	43-7370
2	総合体育館	43-7296
3	多摩の湯	43-0267
4	下妻小学校	43-2181
5	下妻第一高等学校	44-8158
6	下妻第二高等学校	44-2549
7	大町コミュニティセンター	43-3961
8	心身障害者福祉センター	44-3197
9	勤労青少年ホーム	43-7423
10	下妻中学校第二体育館	44-0671
11	長塚小学校	43-5887
12	東郡中学校	44-2731
13	大宮公民館	43-6884
14	坂井新農村集落センター	43-9906
15	磯波ノ江小学校	44-3611
16	磯波ノ江市民センター	43-6454
17	後北農村集落センター	43-6872
18	神明集落センター	43-5887
19	総瀬前農村集落センター	43-5885
20	下妻養護学校	44-1800
21	上妻市民センター	44-0992
22	大木農村集落センター	43-6476
23	関ヶ原農村集落センター	44-2018
24	超上小学校	43-7929
25	働く婦人の家	44-2721
26	豊加美小学校	44-0397
27	豊加美市民センター	43-6454
28	高瀬小学校	43-5757
29	高瀬市民センター	43-0983
30	高瀬祖本田農村集落センター	43-9955
31	聖蹟小学校	43-5791
32	千代川体育館	44-0277
33	千代川第二体育館	43-5885
34	ちよかわ幼稚園	44-3919
35	宗道小学校	44-3933
36	心身障害者センター	44-2049
37	千代川中学校	44-2614
38	大形小学校	45-0220
39	福祉センターシルビア	45-0220
40	暮らし改善センター	
41	五箇集会所	
42	村岡生活改善センター	

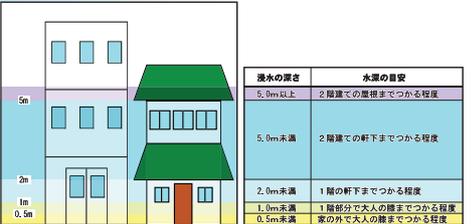
どんなマップなの？

このマップは、
 1 「鬼怒川」が概ね「100年に1回程度」の大雨（3日間総雨量402mm）によって増水しはん濫したと過程した場合に予想される「浸水区域、浸水の深さ」を重ね合わせて表示したものです。
 2 「小貝川」が概ね「150年に1回程度」の大雨（3日間総雨量318mm）によって増水しはん濫したと過程した場合に予想される「浸水区域、浸水の深さ」を重ね合わせて表示したものです。
 3 「大谷川」が概ね「150年に1回程度」の大雨（3日間総雨量318mm）によって増水しはん濫したと過程した場合に予想される「浸水区域、浸水の深さ」を重ね合わせて表示したものです。

- 1 鬼怒川がはん濫した場合の浸水想定図
- 2 小貝川がはん濫した場合の浸水想定図
- 3 大谷川がはん濫した場合の浸水想定図



浸水深さの目安

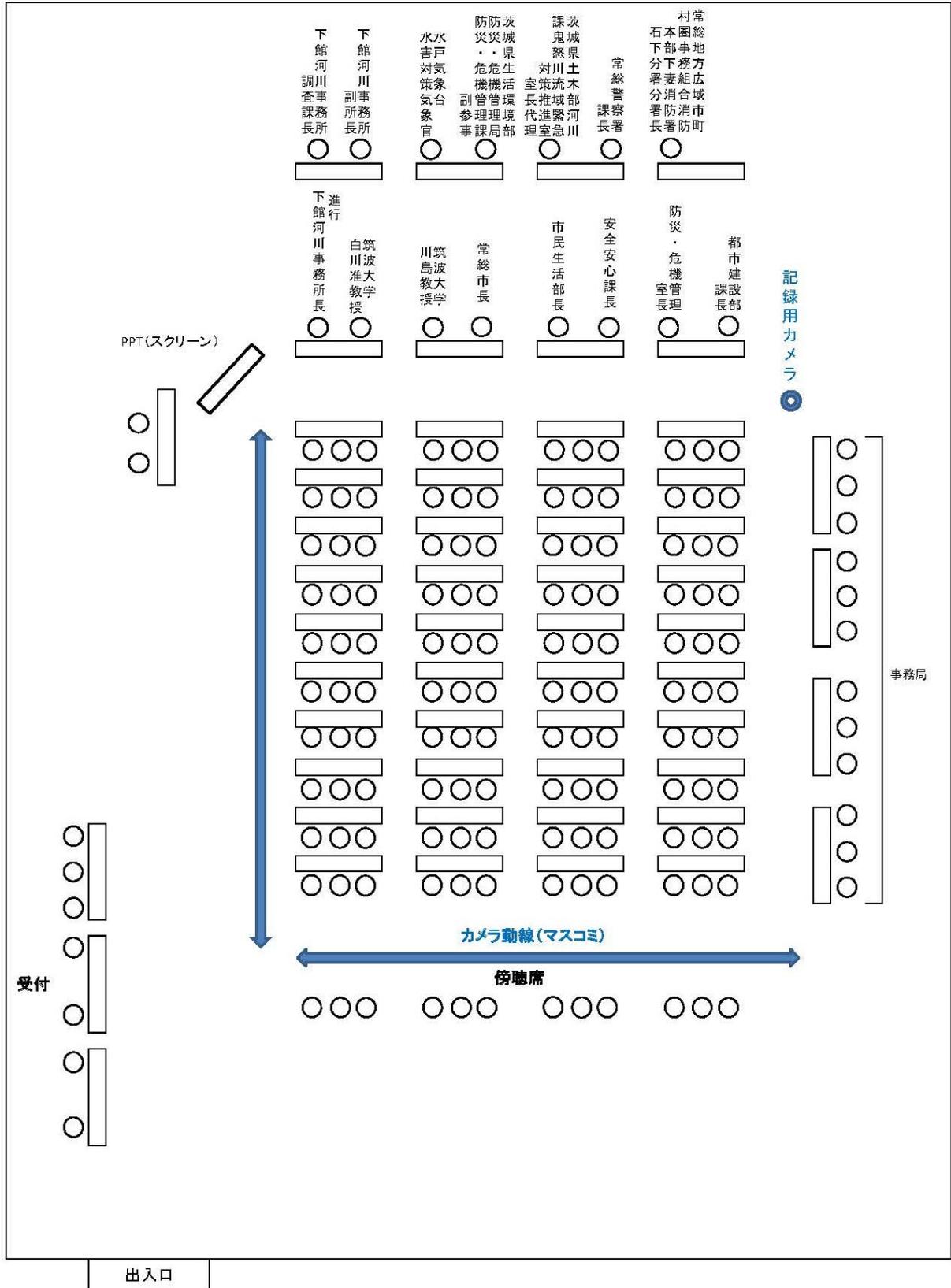


参考資料 3-1-3

第1回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会

使用した機材・備品及び配席図

■配席図：



■使用した機材および備品：

映像・音響機材			
音響機器一式	スクリーン	プロジェクター	ノートパソコン
マイク	延長コード		
備品			
ボールペン	サインペン	名札（4種類）	ポップスタンド
三角プレート	指し棒	レーザーポインター	三角コーン
ホワイトボード	机・椅子	スリッパ	ジェットヒーター

参考資料 3-1-4

第1回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会 進行表

■進行表

<第1回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会>

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:00	1. 開会	里村事務所長	スライド2 会議名表示	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、定刻になりましたので、ただいまより、常総市マイ・タイムライン検討会（若宮戸地区）第一回検討会を始めます。 • 進行を務めます、国土交通省下館河川事務所長の里村です。よろしくお願います。 • 開会に先立ちまして、神達岳志・常総市長より、ご挨拶をお願いします。
10:02	市長挨拶	神達常総市長	スライド3 常総市長名	<ul style="list-style-type: none"> • ご挨拶
10:05	2. 各機関紹介	里村事務所長	スライド4～16	<ul style="list-style-type: none"> • ありがとうございます。 • 続きまして、今回の検討会に参加しています関係機関を順に紹介させていただきます。 • まず、常総市です。洪水時には、水防活動を行う消防団への指示を行います。また、住民への避難勧告等、住民の皆様へ避難の情報を伝えます。 • 常総市市民生活部長の須藤です。常総市からは、安全安心課長の斉藤、防災・危機管理室長の溝上、都市建設部からは建設課長の石塚が参加しております。よろしくお願います。 • 続きまして茨城県です。県内全体の防災情報を取りまとめるとともに、鬼怒川に流れ込む八間堀川の管理や水位情報の提供などを行います。 • 茨城県生活環境部防災・危機管理局 防災・危機管理課の飛田です。よろしくおねがいします。 • 鬼怒川流域緊急対策推進室の栗林です。よろしくおねがいします。 • 続きまして警察署です。洪水時には通行規制や空き巣対策などを行います。 • 常総警察署警備課の清水です。よろしくおねがいします。 • 続きまして消防署です。洪水時にはレスキューなどを行います。 • 下妻消防署石下分署長の栗原です。よろしくおねがいします。 • 続きまして水戸地方気象台です。皆さんはテレビで天気予報をご覧になっているかと思いますが、その元の情報を提供しています。洪水時には台風情報などを提供します。 • 水戸地方気象台の金内です。資料5にご用意した紹介の資料にも載っていますが、出前講座なども行っています。よろしくおねがいします。 • 最後に、下館河川事務所です。鬼怒川と小貝川の管理を行っています。本日は私の他に、副所長の須藤と調査課長の伊藤が参加しております。よろしくお願います。
		須藤 市民生活部長		
		里村事務所長		
		飛田副参事		
		栗林室長代理		
		里村事務所長		
		清水警備課長		
		里村事務所長		
		栗原分署長		
		里村事務所長		
		金内 水害気象対策官		
		里村事務所長		

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
	2. 各機関紹介	里村事務所長 川島先生 里村事務所長 白川先生 里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ここまで、関係機関の紹介でした。続きまして、学識者の先生方をご紹介します。お手元の資料4にプロフィールをまとめておきますので、ご覧ください。まずは、筑波大学の川島先生です。一言、ご専門と研究内容などご紹介いただければと思います。 ご挨拶＋自己紹介 ありがとうございます。 続きまして、筑波大学の白川先生です。一言お願いします。 ご挨拶＋自己紹介 ありがとうございます。 そして、もう一方、茨城大学の伊藤先生にもご参加いただきます。ご専門は心理学ですが、本日は都合がつかず、ご欠席されています。 この3名の先生方から、専門的な視点からアドバイスをいただくこととさせていただきます。 また、あちらに座っていますが、先生方の研究室から学生の方も来てくれます。 皆さん、ありがとうございます。 この検討会では、このメンバーで皆さんのマイ・タイムライン作りを支援したいと思います。 検討会の過程で質問などが出てきましたら、気軽にお声掛けください。 それでは、早速、検討会を進めてまいります。初めに、趣旨説明を、常総市の須藤・市民生活部長からお願いたします。
10:20 ～ 10:30	3. 趣旨説明	須藤 市民生活部長	スライド 16～21 常総市 タイムライン マイタイムライン 検討会	<ul style="list-style-type: none"> みなでタイムラインプロジェクトについて説明します。 タイムラインとは、台風が来る3日前からカウントダウンをし、洪水に先手を打って対応するため のツール。常総市では今年の梅雨前に作成。(常総市のタイムラインをスライドに投影) これまで、国土交通省や県などの関係機関と訓練を行うなどして情報共有や連携を確認してきたが、 行政間の連携と、避難のための情報伝達が主な部分であった。 このたび、「マイ・タイムライン」ということで、住民の皆様一人ひとりの部分を具体的に検討して いただくこととした。「マイ・タイムラインとは」スライド投影 (先ほど、市長の挨拶にもあったとおり、全国初の取り組み。市内また全国へと広げてモデルにし ていきたい。) このマイ・タイムラインの検討の過程では、住民の方々の洪水時のリスクの認識や、逃げるタイミ ングがわかり、さらにみなさんでの意見交換により、地域のコミュニケーションの輪が広がると期 待している。 今回の、マイ・タイムラインの検討では、若宮戸地区と根新田地区の2地区をモデル地区として、 学識者や関係する機関の方々に参加していただき、①洪水のリスクを知る②タイムラインの考え 方を知る③マイ・タイムラインの作成 という3つのステップでマイ・タイムラインを作成するもの。 (「マイ・タイムライン検討会」スライド投影) この若宮戸地区では、今日を含め今年度中に2回の検討会を開催する予定。 今回の第1回目がステップ1、次の第2回目でステップ2、ステップ3の内容を行います。 次に洪水が起こった時には逃げ遅れゼロにできるよう、この検討会を通じて「自分の逃げ方」を得 ていただきたいと考えている。 今回の検討会で行ったことは、他のモデルになる。そのため、アンケートなどにもご協力をいただ く。よろしくお願いたします。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:20 ～ 10:30	3. 趣旨説明	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまの趣旨に沿って進めてまいりたいと思いますが、ご質問はございますでしょうか？ >>>質疑；確認<<< ・ありがとうございます。そのあたり、検討会を進める過程で具体的な話も出てくると思います。 ・よろしいでしょうか。ありがとうございます。 ・「三十六計逃げるに如かず」ということわざもあります。 ・今、須藤部長からありましたとおり、この2回の検討会を通じて「自分の逃げ方」を会得することを目指します。 ・「マイ・タイムライン」ということで、台風が来る3日前から、自分の家では、うちの家族は、どんな準備をして待ち構えるのか、どんなタイピングで逃げるのか、それを皆さんお一人お一人の家族構成や避難所までの距離など、それぞれの状況に応じて整理をしていきたいと考えています。 ・続きまして下館河川事務所から、昨年の関東・東北豪雨の振り返りと現在実施している鬼怒川緊急対策プロジェクトについて、報告してください。
10:30 ～ 10:40	4. 鬼怒川緊急対策プロジェクトについて	須藤副所長	スライド21 お手元のパンプを ご覧ください	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな雨。鬼怒川は高い水位が続き、満身創痍。4,300名の方が救助された。 ・ハード・ソフトを一体的に進める鬼怒川緊急対策プロジェクトが始動。 ・これまでに決壊した上三坂の堤防は完成。大規模溢水の若戸では昨年の洪水の水位+50cmの盛りが完了。その他も順次、用地買収をしながら実施中。 ・堤防整備と河道掘削で平成32年度までに再度災害防止を図る。 ・ありがとうございます。何かご質問はございますでしょうか？ >>>質疑；確認<<< ・よろしければ、これからいよいよマイ・タイムラインづくりに入ります。
10:40 ～ 10:50	5. 検討会の進め方について	里村事務所長	スライド 22～25 お手元のノート マイタイムライン について	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに、検討会の進め方を説明します。 ・マイ・タイムラインの検討は、お手元のクリアファイル「マイ・タイムライン ノート」に沿って行います。 ・ノートをめくって頂き、目次をご覧ください。マイ・タイムラインの検討は3つのSTEPで行います。 ・ここ若戸では、本日1回目の検討会でSTEP1、第2回目の検討会でSTEP2、STEP3を進むことを想定しています。 ・STEP1は「自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る」です。 ・その後、年明けになります。STEP2「洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る」、STEP3「マイ・タイムラインの作成」へと進んでまいります。 ・ノートの最後のページ41ページをお開きください。「マイ・タイムラインについて」というページがあります。ここでは、マイ・タイムラインの取扱説明書のようなことが書かれています。②の「ノートとは」のところに、3つの考え方を書いてあります。ノートという名のとおり、皆さんご自身で書き込んでいただきますが、3つのポイントに沿って書き込んでいただきます。 ・I「知る」・・・マイ・タイムラインの検討に当たって抑えておくべき情報を記載しており、検討会で解説します。メモ欄には、初めて知ったことや驚いたこと、大切だと思ったことを記入してください。 ・II「気づく」・・・「知る」を通じて得られた知識やメモした事例を踏まえ、感じたことを記入してください。検討会での意見交換により、理解を深めます。 ・III「考える」・・・「知る」や「気づく」を踏まえ、自分自身の自宅の状況や家族の構成に置き換えて、安全に避難するために必要と考えることを記入してください。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:40 ～ 10:50	5. 検討会の進め方について	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> 第2回目の検討会でマイ・タイムラインの作成をしていただきましたら、今後のマニュアル作りの参考にさせていただいたために、いったん回収させていただきました。その後、事務局から郵送にてお返しする形をとらせていただく予定です。 なお、このノートには、ご家族の構成などを書き込んでいただきましたので、個人情報に当たる事項も含まれます。個人情報の取り扱いには十分に注意し、この「みんなでタイムラインプロジェクト」関連の目的以外には使用いたしませんので、ご協力をお願いいたします。 ここまで、検討の進め方(3STEP)と、ノートの構成についてお話ししました。 ご質問はございますか? >>>質疑;確認<<< いよいよ具体的な検討に入ることとなりますが、その前に休憩を入れましょう。 この時計で11時(当日の状況により変更あり)までの休憩とします。11時には再開しますのでよろしくお願ひします。
10:50 ～ 11:00	(休憩) 10分間	里村事務所長	スライド26 休憩	<ul style="list-style-type: none"> 再開2分前に外の人を中に誘導する。 1分前に外に人がいない、いるを須藤技副へ連絡。再開時に外に人いる場合は、少し待つため。
11:00 ～ 11:10		里村事務所長	PDFノート 拡大して投影	<ul style="list-style-type: none"> それでは、具体的にSTEP1へ進んでまいります。 先ほども申し上げたとおり、STEP1は「自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る」です。今日の残りの時間で、若宮戸地区の洪水リスクを知っていただきます。 孫子曰く「彼を知り己を知れば、百戦して殆うからず」敵を知り自分を知るならば、絶対に負ける心配はない〜と。まずは、己を知っていただきます。
11:10 ～ 11:25	6. 自分たちの住んでいる地区について	里村事務所長	PDFノート 拡大して投影	<ul style="list-style-type: none"> ではまず、ノートの目次で言いますと「はじめに」と「地区の特性」。ノートの3ページまでになります。 常総市の溝上防災・危機管理室長にお願ひします。 まずは、1ページから進めます。昨年の洪水のときの『ご自身』の行動をふりかえりましょう。なお、もし時間があれば、余白にご家族の行動を記載しましょう。 ①～⑥まで思い出しながら記入してみてください。 ①避難しましたか? 昨年、避難したか、しようとしたけどできなかったか、しなかったか、選んでください。 ②どこに避難しましたか? 避難された場所を書いてください。 ③避難場所へ到着したのはいつですか? また、家から避難場所までどのくらいの時間がかかりましたか? それぞれご記入ください。 ④避難の準備を開始してから家を出るまでどのくらいの時間がかかりましたか? ⑤避難のきっかけは何でしたか? ⑥避難に関して、覚えておきたいこと、学んだこと、工夫したことなどがあればメモしておいてください。そして、ここでは「命を守る」を念頭に「身体避難」を考えてきましたが、家財について、何か覚えておきたいことなどあれば、メモしておいてください。 続いて、2ページの「地区の特性」へ移ります。常総市全体や若宮戸地区の人口などについてお話しします。書き込んでください。 常総市の人口は〇〇人。世帯数は〇〇世帯、若宮戸地区の人口は〇〇人、世帯数は〇〇世帯。常総市の外国人人口の割合は〇〇%です。ちなみに人数は〇〇人です。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
11:10 ～ 11:25	6. 自分たちの 住んでいる地 区について	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ここまで、地区の特性、ご自宅の場所などを見てまいります。 ・2ページに「気づく」というオレレンジの色の枠があります。感想や気づいたことなど、書き込んでみましょう。 ・ありがとうございます。 ・地区のことはご存知のことばかりでしたでしょうか？再認識されたことはありますか？ ・では、ここで「はじめに」、「地区の特性」と進めてまいります。お気づきの点など、ご発言をお願ひしたいと思います。 ・むしろ、「昔から住んでいてこんなこと知っている」ということがあればご紹介いただければと思います。 ・では、ここで「はじめに」、「地区の特性」と進めてまいります。お気づきの点など、ご発言をお願ひしたいと思います。 ・むしろ、「昔から住んでいてこんなこと知っている」ということがあればご紹介いただければと思います。 ・では続きまして、洪水について話を進めてまいります。 ・ノートの目次で言いますと「過去の洪水から学ぶ」から「想定最大規模の雨」で鬼怒川が氾濫したら」までです。 ・伊藤調査課長お願ひします。
11:25 ～ 11:30	7. 洪水のリス クについて	伊藤課長		<ul style="list-style-type: none"> ・ノートに沿って説明
11:30 ～ 11:35		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・過去の洪水、地形、最近の雨の降り方そして想定される最大規模というお話でした。 ・少し難しい部分もあったかと思えます。ご質問はございますか？ ・白川先生、ご専門の立場から、なにか補足がございましたら、お願ひします。
		白川先生		<ul style="list-style-type: none"> ・ノートの見方、ポイント等の補足
11:35 ～ 11:55	意見交換	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・これは、再認識されたことも多いのではないのでしょうか？ ・どなたか感想をお願ひしたいのですが。びっくりしたことなくでも結構です。メモされたことを少しご紹介いただければ。 >>> 質疑；確認<<< ・休憩前に鬼怒川緊急対策プロジェクトの話がありました。あれで堤防ができればもう安心と思つてらっしゃいませんか？今年、熊本では150ミリ降っています。去年より大きな雨が降らないとは言えない状況です。 >>> 質疑；確認<<< ・先生方から何かございますでしょうか？ ・関係機関から何かございますでしょうか？ >>> 質疑；確認<<<

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
11:55 ～ 12:00	8. とりまとめ	里村事務所長	スライド28 とりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・それでは、時間も近づいてきましたので、とりまとめに入りたいと思います。 ・今日は、 <ul style="list-style-type: none"> ①須藤部長から趣旨説明 ③関東・東北豪雨の振り返りと鬼怒川緊急対策プロジェクト ・そして、私からノートの取り扱い説明をさせていただいた後に、休憩をはさんで、具体的なマイ・タイムラインの検討を開始しました。 ①溝上危機管理室長から地区の特徴など（こんなご意見もありました） ②事務所から洪水のリスク等について（こんなご意見もありました） ・全体を通じて、何かございますか？ ・先生方から一言ずつお願いします？ <ul style="list-style-type: none"> ・これで「已を知ること」ができたと思います。 ・次回は、「彼を知ること」すなわち、迫ってくる台風や雨、水位を知る予定です。 ・それまでの間にご疑問が出てきた場合には、市役所や下館河川事務所にご遠慮なくお尋ねください。
	閉会		スライド29 今後の予定 スライド30 アンケートの協力	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、これで第一回の検討会を終わります。 ・みなさま、長い時間ありがとうございました。 ・次回は、2月5日に本日と同じこの玉小学校の体育館で行う予定であります。詳しくは、年明けにご案内申し上げます。 ・今後の検討に役立てたいので、アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。お手数ですが、受付をしたところに回収ボックスを設置しておりますので、アンケートを入れてください。合わせて、お貸ししている筆記用具、名札、スリッパ等もお願いいたします。

参考資料 3-1-5

第1回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会スライド

携帯電話やスマートフォンをお持ちの方は、
会場内では**マナーモード**に切り替え、
通話はお控えください。

お手元の**名札**に名前を書いてください。

～みんなでタイムラインプロジェクト～
第1回 マイ・タイムライン検討会
若宮戸地区

平成28年11月27日
常総市立玉小学校

開 会

神達 岳志 常総市長

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

各機関紹介

常総市

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

各機関紹介

茨城県

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

各機関紹介

常総警察署

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

各機関紹介

下妻消防署 石下分署

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

各機関紹介

水戸地方気象台

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

各機関紹介

下館河川事務所

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

各機関紹介

筑波大学
システム情報系社会工学域

川島 宏一 教授

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

各機関紹介

筑波大学

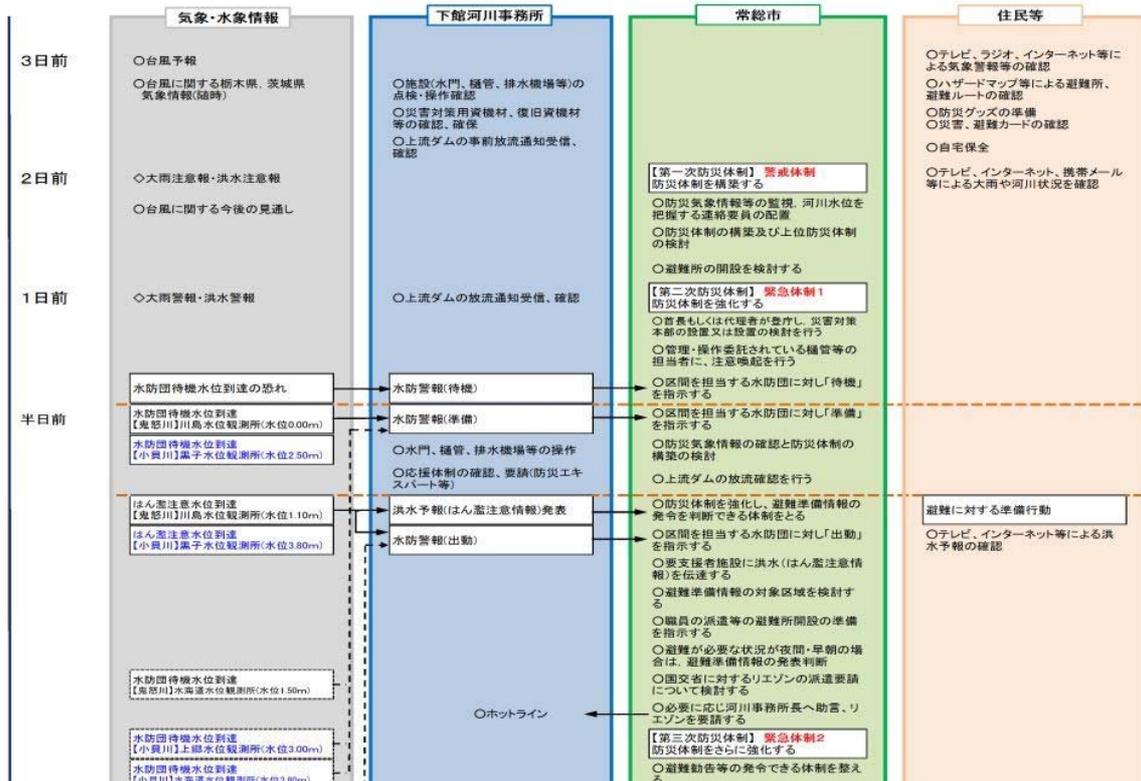
システム情報系構造エネルギー工学域

白川 直樹 准教授

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

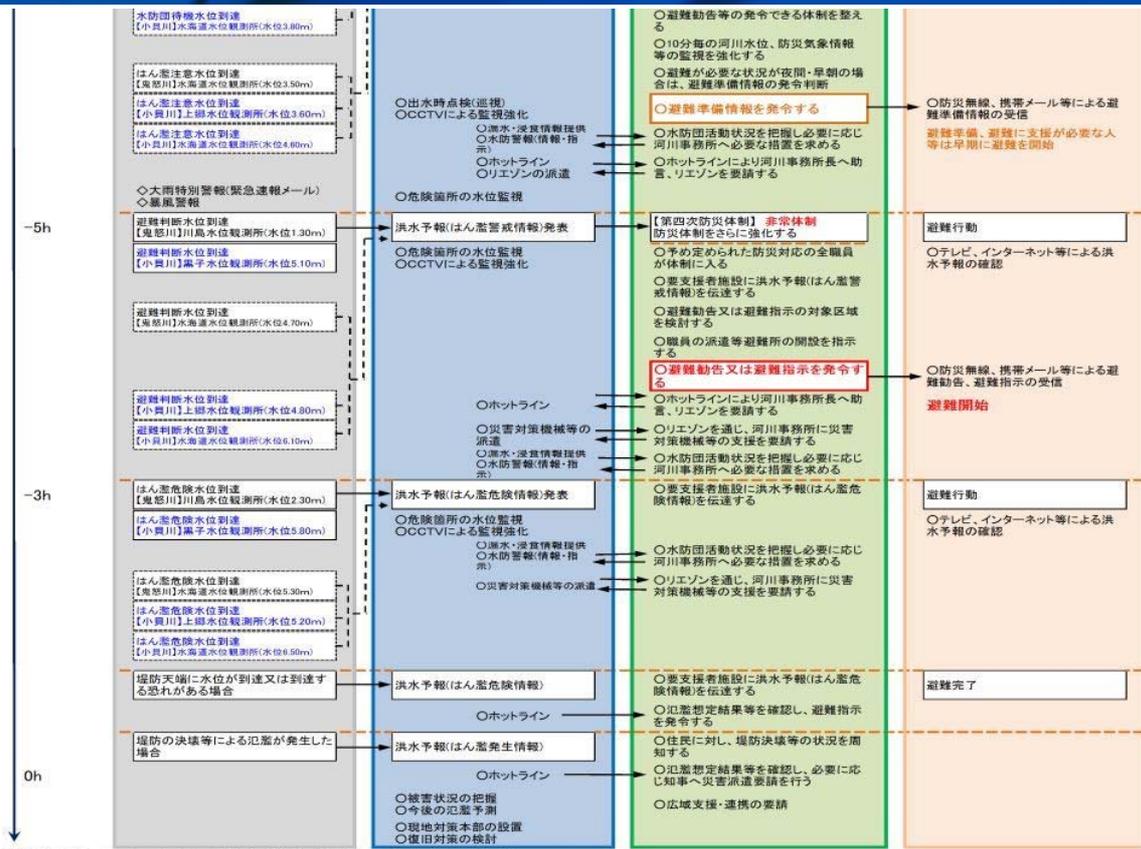
常総市 タイムライン

台風による洪水を対象とした避難勧告発令等に着目したタイムライン(防災行動計画)(H28年6月版)
常総市(鬼怒川・小貝川)



鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

常総市 タイムライン



鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

マイ・タイムラインとは…

一人ひとりのマイ・タイムライン(イメージ)

国	市	住民等
3日前		テレビの天気予報を注意。 ハザードマップで避難所を確認! 非常持出袋の準備 足りない物を買出し! 川の水位をインターネットで確認。
洪水予報	避難準備	おじいちゃんと一緒に 早めの避難開始!
洪水予報	避難勧告	避難所に避難完了
氾濫発生		

マイ・タイムラインの検討の過程で…

- 1. 危険を察知する**
 - 自分の家が浸水してしまう
 - 避難所まで遠い など
- 2. 逃げたい気持ちが募る**
 - いつ逃げる?
 - 誰と逃げる?
 - 危険な場所をよけて逃げるには?
- 3. コミュニティの輪が広がる**
 - 検討会での意見交換などで、知り合いになれる
 - ご近所とのつながりが強く、太くなる

マイ・タイムラインができると…

災害発生時、避難行動マニュアルで決めた順番を止らずに、自分の家や避難所まで安全に避難できる。

逃げ遅れゼロ

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

常総市のモデル地区におけるマイ・タイムライン検討会

モデル地区の住民、常総市、警察署、消防署、茨城県、気象庁、国土交通省下館河川事務所に加え、各分野の学識者で構成される『マイ・タイムライン検討会』を設置し、住民一人ひとりがそれぞれの環境に合ったタイムラインを自ら検討する取り組みを進めます。

検討会の進め方

ステップ1 自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る

- 過去の洪水を知る
- 地形の特徴を知る
- 水害リスクを知る



自分達の住んでいる地区が浸水するかを知らしましょう。

ステップ2 洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る

- 洪水時に得られる情報とその読み解き方を知る
- タイムラインの考え方を知る
- 洪水時の自らの行動を想定



いつ逃げはじめたらいいのかなあ？

ステップ3 マイ・タイムラインの作成

- 一人ひとりのタイムラインを作成



住民一人ひとりが
自分自身の行動を記入



これで、逃げる
タイミングが
わかったわ！

モデル地区

今年度は、**若宮戸地区**、**根新田地区**をモデル地区として、検討会を進めます。



学識者

- 筑波大学システム情報系社会工学域
川島宏一 教授
- 茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科
地球変動適応科学研究機関
伊藤哲司 教授・機関長
- 筑波大学院システム情報系構造エネルギー工学域
白川直樹 准教授

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

鬼怒川緊急対策プロジェクトの報告

お手元の

「鬼怒川緊急対策プロジェクト」の
パンフレットとチラシをご覧ください

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

お手元の 「マイ・タイムラインノート」をご覧ください

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

マイ・タイムラインノートについて

▶ マイ・タイムラインノートについて

マイ・タイムラインの検討は、住民一人ひとりに配付する「マイ・タイムライン ノート」に沿って行います。ノートは、地形の特徴や過去の洪水といった自宅周辺のリスク、洪水発生時に得られる情報などのマイ・タイムラインの検討に当たって抑えておくべき情報を「知る」ことから始め、そこから「気づく」ことや自分自身に置き換えて「考える」ことを記入していくことで、洪水発生時に自分自身がとるべき防災行動を整理する形で編集しています。そして、整理した防災行動を時系列的にとりまとめることによって、最終的に一人ひとりのマイ・タイムラインが作成できることとなります。

ノートは以下の3つの考え方で構成しています。

知る

マイ・タイムラインの検討に当たって抑えておくべき情報を記載しており、検討会で解説します。メモ欄には、初めて知ったことや驚いたこと、大切だと思ったことを記入してください。

気づく

「知る」を通じて得られた知識やメモした事柄を踏まえ、感じたことを記入してください。検討会での意見交換により、理解を深めます。

考える

「知る」や「気づく」を踏まえ、自分自身の自宅の状況や家族の構成に置き換えて、安全に避難するために必要と考えることを記入してください。

休憩

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

検討会の進め方について

お手元の

「マイ・タイムラインノート」をご覧

ください

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

とりまとめ

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

今後の予定

◆第2回検討会

日 時：2月5日（日）AM9：00～12：30

場 所：常総市立玉小学校体育館

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

アンケートへのご協力をお願いします。

回収ボックスを受付に準備しておりますので、記入後のアンケート用紙を入れてください。

貸出ししているスリッパ、筆記用具、名札も合わせて返却お願いします。

『マイ・タイムラインノート』は、次回検討会にお持ち下さい。

参考資料 3-2-1

第2回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会

記者発表資料

記者発表資料

みんなでタイムラインプロジェクト 住民一人ひとりのマイ・タイムラインが完成 ～ 常総市若宮戸地区において第2回検討会を開催します ～

市町、県、国で構成する鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会では、「みんなでタイムラインプロジェクト」を進めています。
 このたび、モデル地区の一つである常総市若宮戸地区において、第2回マイ・タイムライン検討会を開催します。この検討会では、いよいよ、**マイ・タイムラインが完成**します。
 全国ではじめて、住民一人ひとりがそれぞれの環境に合ったタイムラインを持つ自治会が誕生します。

1. 対象地区

常総市若宮戸地区

2. 開催日時

平成29年2月5日(日) 9:00～12:30

3. 開催場所

茨城県常総市若宮戸794番地 常総市立玉小学校

開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線玉村駅 徒歩10分(別添地図参照)

4. 議事(予定)

・「マイ・タイムラインの作成」など

5. 公開等

- ・検討会は、報道機関を通じて公開いたします。
- ・カメラ撮り等は可能です。
- ・その他、取材に関する詳細は、別添資料をご覧ください。

※ もう一つのモデル地区(根新田地区)の第3回検討会は2月19日に開催予定です。後日、お知らせします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、
 栃木県政記者クラブ、筑西市記者クラブ、宇都宮市政記者クラブ、取手記者会
 筑波研究学園都市記者会、龍ヶ崎記者会、つくば市記者会

問い合わせ先

常総市 市民生活部 安全安心課

斎藤課長、溝上危機管理監 (TEL: 0297-23-2111)

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所

須藤副所長 (TEL: 0296-25-2161)、伊藤調査課長 (TEL: 0296-25-2171)

第2回 常総市マイ・タイムライン検討会（若宮戸地区）の 開催について（報道の方へ）

標記検討会について下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

記

1. 開催日時

平成29年2月5日（日） 9:00～12:30（予定）

2. 開催場所

茨城県常総市若宮戸794番地 常総市立玉小学校

開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線玉村駅 徒歩10分（別添地図参照）

3. 検討会の公開

- 検討会は、報道機関を通じて公開いたします。
- カメラ撮り等は可能です。

4. 報道関係者の受付

- 受付日時 平成29年2月5日（日） 8:30～9:00まで
- 受付場所 茨城県常総市若宮戸794番地 常総市立玉小学校
- 事前の登録が必要です。別添登録様式にご記入の上、
平成29年2月2日（木）12:00までに、様式の送付先に送ってください。
- 当日、受付にて必要事項を記入の後、係員の指示により会場へ入場をお願いします。
- スペースが限られているため、机や椅子が不足する事態もあり得ますが、ご理解ください。
- 当日は、受付にて「受付証」をお渡ししますので着用をお願いします。なお、お帰りの際に係員へ返却下さい。

5. 取材に当たっての注意事項

取材に当たっては、以下の注意事項をご確認いただき、その遵守へのご協力をお願いします。

- 事務局の指定した場所以外での撮影、取材は、ご遠慮ください。
- 傍聴席でのPC等の使用は、議事や他の傍聴者の迷惑にならない限り可能です。
- 取材に必要な電源は、各社（各自）にてご用意下さい。
- 携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切り下さい。
- 会場では、発言、私語、談論、拍手等を行わないで下さい。
- プラカードを掲げたり、はちまき、腕章の類を付けたり、ビラ等の配布を行わないで下さい。
- 会場での飲食及び喫煙はご遠慮下さい。
- 事故防止の観点から、取材に当たっては節度ある行動をお願いします。
- 手荷物・貴重品等の管理は各自にてお願いします。
- 会議の円滑な進行のため、係員の誘導、指示に従って下さい。
- 上記の他、会議の進行を妨げたり、会場の秩序を乱す行為をしないで下さい。

■茨城県常総市若宮戸794番地 常総市立玉小学校

最寄り駅：関東鉄道常総線玉村駅 徒歩10分です。



YAHOO! JAPAN 地図 <http://map.yahoo.co.jp/> より

案内図

事前登録書

平成29年2月5日（日）の「第2回 常総市マイ・タイムライン検討会（若宮戸地区）」につきまして、取材を希望される報道機関におかれましては、事前に登録をお願いします。

FAX送信期限：平成29年2月2日（木）12：00まで

1. 報道機関名 _____

2. 氏名等

ご氏名 (代表者のみ)	連絡先 (電話番号)	メールアドレス	人数 (代表者含む)	車台数

3. 送付先 FAX：0296-25-3019

4. 事前登録に関する問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所 調査課長 伊藤 克雄

TEL：0296-25-2171

参考資料 3-2-2

第2回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会

会議配布資料

本日のスケジュール

資料1

1. 開会
2. 本日の進め方
3. 前回のおさらい
4. 洪水時に得られる情報と読み解き方について
5. タイムラインの考え方について

休 憩

6. 洪水時の自らの行動を想定について

意見交換

全体発表

休 憩

7. マイ・タイムラインの作成

意見交換

全体発表

8. とりまとめ

9. 閉会

逃げおくれ
のない地区に
しよう！！



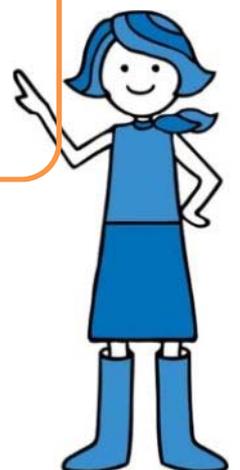
第2回検討会

2月5日

9:00~12:30

常総市立玉小学校

みんなで意識を
高め、鬼怒川の
洪水にそなえま
しょう。



「水防災意識社会」の再構築を目指します。

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

みんなでタイムラインプロジェクト

第2回マイ・タイムライン検討会 若宮戸地区検討会 参加者

資料2

機関名	部名・課名	役職	氏名	備考
若宮戸地区	若宮戸南部	自治区長	青柳 清	
	若宮戸中部	自治区長	小林 健治	
	若宮戸東部	自治区長	門井 富男	
	若宮戸西部	自治区長	猪瀬 峰雄	
	若宮戸若松会	自治区長	芦ヶ谷 城	
	若宮戸曲松会	自治区長	佐藤 一也	
	若宮戸中央	自治区長	菊池 進	
学識者	筑波大学システム情報系社会工学域	教授	川島宏一	
	茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科	教授	伊藤哲司	学生(1人)
	筑波大学システム情報系構造エネルギー工学域	准教授	白川直樹	学生(2人)
常総市	市長		神達 岳志	
	市民生活部	部長	須藤 一徳	
	市民生活部安全安心課	課長	斎藤 健司	
	市民生活部安全安心課	課長補佐	小林 弘	
	市民生活部安全安心課	主査兼係長	安田 洋行	
	市民生活部安全安心課	主事	草間裕介	
常総警察署	警備課	課長	清水 健吾	
茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部	下妻消防署 石下分署	分署長	栗原 稔	
茨城県	生活環境部 防災・危機管理局 防災・危機管理課	係長	小林 毅史	
	土木部 河川課鬼怒川流域緊急対策推進室	室長代理	栗林 俊一	
水戸气象台		防災管理官	渡辺 徹	
国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所		所長	里村 真吾	
		副所長	須藤 純一	
	調査課	調査課長	伊藤 克雄	
		専門員	平出 亮輔	

第2回マイ・タイムライン検討会に関するアンケートへのご協力をお願い

今後の取組みの参考とさせていただくため、皆様のご意見をお聞かせください。

1. 今回の検討会の内容は理解できましたか。

【洪水時に得られる情報と読み解き方】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

【タイムラインの考え方】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

【洪水時の自らの行動を想定】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

【マイ・タイムラインの作成】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

2. 1. の質問で「分かりにくかった」、「全然分からなかった」と回答した方にお聞きします。特に分からなかった部分に対して、自由なご意見をお聞かせください。

→ { }

3. 本日の検討会に参加して分かったことや気づいたこと、今後どのように役立ちそうか、自由にご意見をお聞かせください。

→ { }

4. 第1回検討会に参加された方にお聞きします。

前回の検討会后におこなったことをお聞かせください。(複数回答有り)

自宅でノートを見返した 家族で話し合った 近所の方と話し合った

ノートに記載されている参考資料等をパソコン等で自ら確認した

市役所または河川事務所に問い合わせた その他

→ { }

5. 第1回検討会に参加された方にお聞きします。

配布されたノート以外で、欲しい資料や情報等がありましたら、お聞かせください

→ { }

6. 2回の検討会を通してのご感想をお聞かせ下さい。

- 今後の役に立つ内容だった 少し難しかったが、参考になった
 役に立つ内容ではなかった

その他、感想を自由にご記載ください。

→ {

7. この検討会を通じて感じた気持ちに近いものを選んでください（ちょうどよいと思われた場合はチェック不要）（複数回答有り）

- 検討会の回数が多すぎる 検討会の回数が少なすぎる
 検討会の時間が長すぎる 検討会の時間が短すぎる
 検討会の説明が難しすぎる 検討会の説明が易しすぎる
 グループ討議の人数が多すぎる グループ討議の人数が少なすぎる
 ノートの内容が多すぎる ノートの内容が少なすぎる
 ノートの内容が難しすぎる ノートの内容が易しすぎる
 自分で記載する項目が多すぎる 自分で記載する項目が少なすぎる
 もう洪水について考えたくない これからも洪水について考えていきたい。

その他、感想を自由にご記載ください。

→ {

*ご自身のことをお尋ねします。差支えない範囲で、以下についてご回答ください

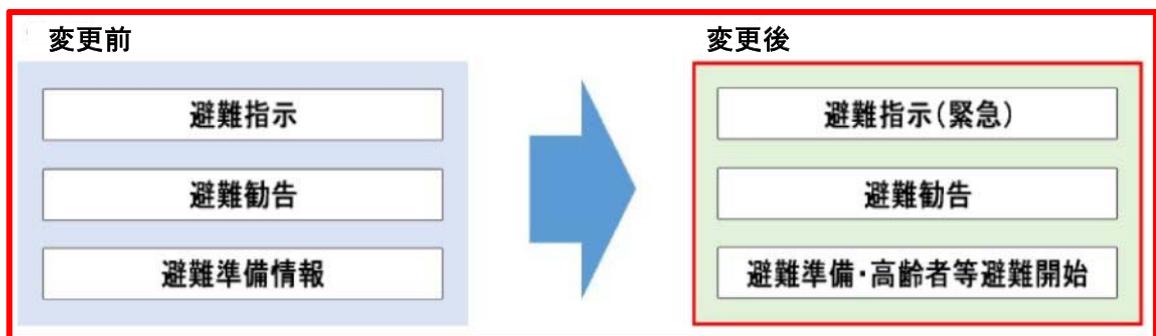
- お名前 () ■お住まい (地区 自治会)
■ご年齢 (10代未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上)
■ご職業 ()
■家族構成 ()人 ※ペットを含まない人数を記入願います。
 曾祖父・曾祖母 祖父・祖母 父・母 子供 (中学生以上)
 子供 (中学生未満) 乳幼児 ペット ()
■車の有無 有 ()台 無

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

平成29年2月5日

避難準備情報等の名称変更に伴うノートの修正のお願い

平成28年12月26日に内閣府より、避難準備情報等の名称変更が以下のように公表されました。



本検討会で使用されていますマイ・タイムラインノートにつきましても、修正が必要な箇所がありますので、お手数ですが、修正をお願いいたします。

<修正が必要な箇所>

- ① 22 ページ
- ② 29 ページ
- ③ 39 ページ
- ④ 最後のページ (A3 折り込み) のマイ・タイムライン

※次頁以降に修正が必要な箇所を赤枠で示していますので、参考にしてください。

STEP 2

6. 洪水時に得られる情報と読み解き方

知る

キーワード

台風の情報

雨量

川の水位

避難情報

■ 避難行動を判断する時に有効な情報

洪水時に得られる情報は、台風、雨、川、避難と様々です。これらは、時々刻々と変化します。洪水時は、最新の情報を集めて的確に判断しましょう。

	情報	気をつけるポイント
台風発生	台風に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台風の大きさ ・ 台風の強さ ・ 台風の進路
水位上昇	雨に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨量 ・ 雨の降っている地域（川の上流） ・ 今後の見通し
	川に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近くの川の水位 ・ 上流の川の水位（今後の見通し） ・ はん濫の発生
緊急時	避難に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難準備情報、避難勧告、避難指示 ・ 避難所の開設情報 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の状況

■ 情報を知る手段

洪水時は、テレビ、パソコン、スマートフォン、携帯電話など様々な手段で情報を収集することができます。

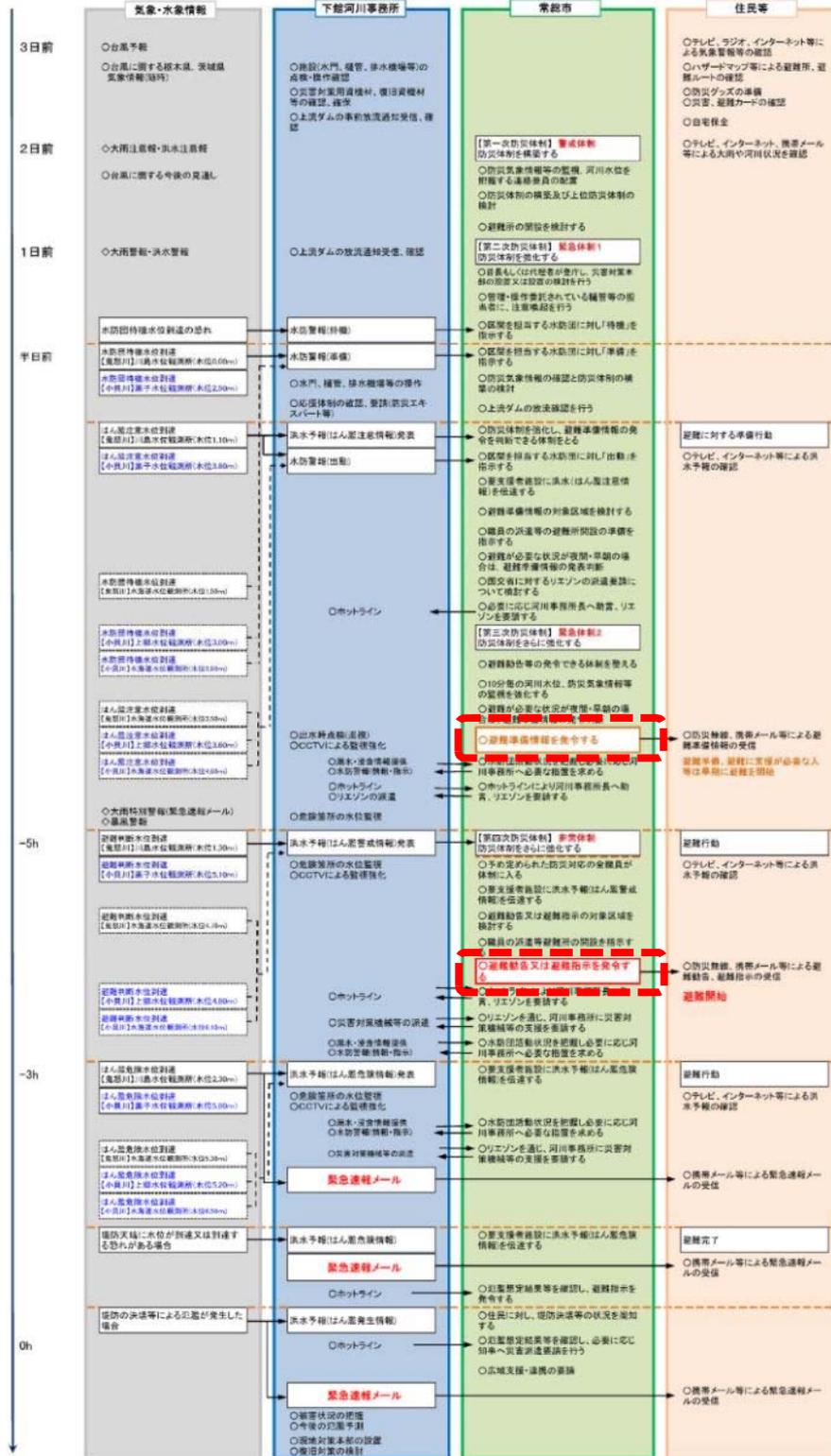
	情報	情報を知る主な手段
台風発生	台風に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビの天気予報 ・ 気象庁のホームページ
水位上昇	雨に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビの天気予報 ・ 気象庁のホームページ
	川に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビのデータ放送 ・ 河川事務所のホームページ、SNS
緊急時	避難に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市のホームページ、SNS ・ 市の防災メール配信サービス <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県のホームページ、SNS ・ 交通機関のホームページ、SNS

ホームページは普段から見て、慣れておきましょう。



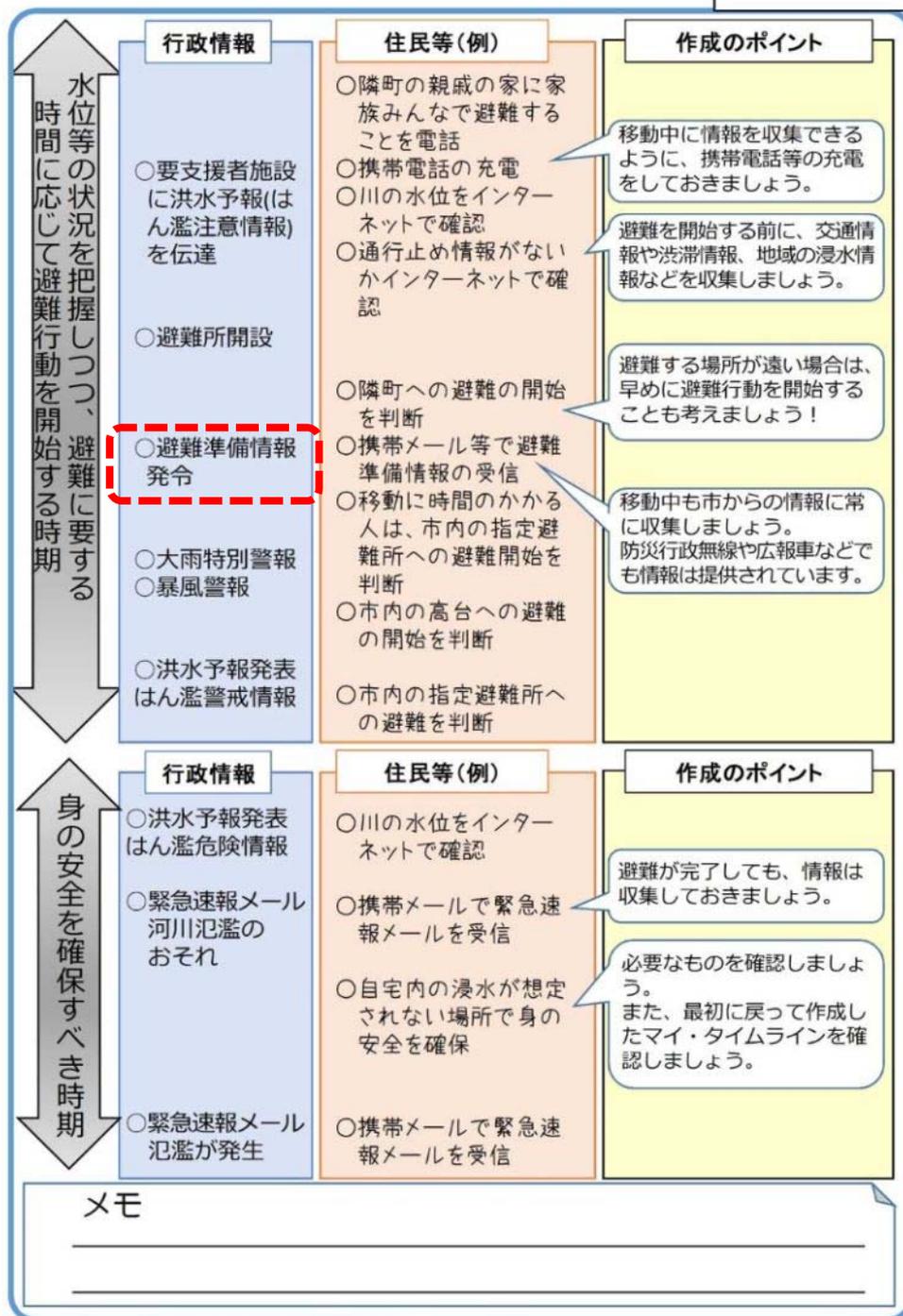
みんなでタイムラインプロジェクト

台風による洪水を対象とした避難勧告発令等に着目したタイムライン(防災行動計画)(H28年6月版)
常総市(鬼怒川・小貝川)



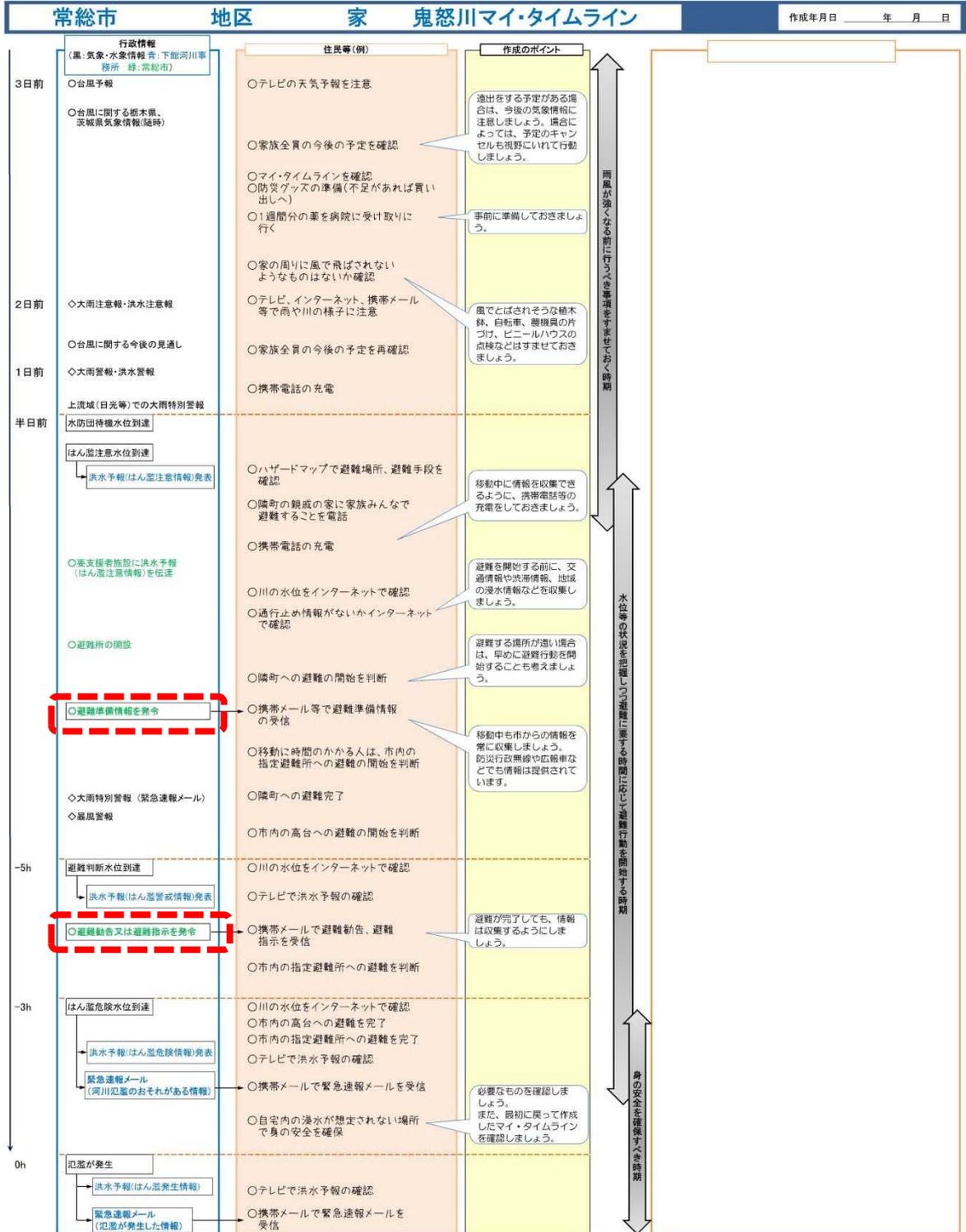
※今後の出水や訓練等を通じて見直しを行っていく

STEP 3



みんなでタイムラインプロジェクト

④最後のページ（A3折り込み）のマイ・タイムライン



■避難の方法



避難の方法と必要となる準備を記入してみましょう。早めの避難の完了を目指しましょう。

避難の方法	場 所 又は 住 所	手段	① 避難を完了 したい時刻	② 移動に 要する時間	要する準備
(例1) 指定の避難所	〇〇小学校	徒歩	3時間前	30分	持ち出し品 戸締り ・ ・
(例2) 遠くの親戚	△△市	自家用車	4時間前	60分	祖父の薬 戸締り ・ ・
自宅					
指定 避難所					
市内の高台					
遠くの 親戚					
その他 (職場など)					

気づく


 もっと詳しく知りたい

■避難所への移動手段

洪水時の移動手段の原則は、徒歩

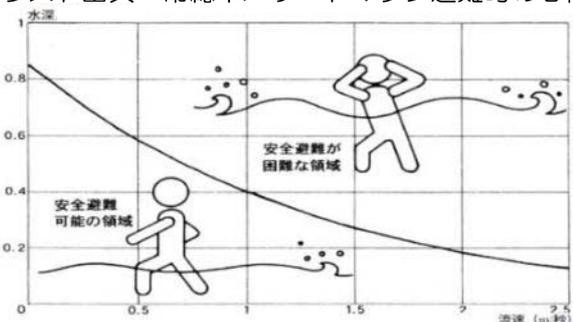
移動手段 参考速度	長 所	短 所
徒歩 成人:4km/h 高齢者3km/h	<ul style="list-style-type: none"> 車が入れない場所でも移動できる 緊急時の対処が他の手段に比べ対応しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所まで遠い場合や雨の中を歩くのは、高齢者や子供が大変 
自家用車 40km/h	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や子供を連れて避難する場合に有効 徒歩に比べて、移動速度が速い 雨に濡れずに避難ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 水に浸かると動かなる恐れがある 渋滞にはまる恐れがある 避難所に駐車場がない場合がある 緊急車両の通行の妨げになる恐れがある 
公共交通機関 電車：80km/h バス：40km/h	<ul style="list-style-type: none"> 一度に多くの人を輸送できる 	<ul style="list-style-type: none"> 決まった運行場所・運行時間のため、各自の避難したいタイミングなどと折り合わない恐れがある 避難所に直接たどり着けない

■洪水時の避難の危険性

【実験データ】

浸水深が0.5m（大人の膝）程度で、氾濫流速が0.7m/s程度でも避難は困難となります。

イラスト出典：常総市ハザードマップ避難時の心得



出典：水害ハザードマップ作成の手引き

【洪水氾濫時の移動困難事例】

平成24年7月九州北部豪雨での沖端川の堤防決壊で氾濫流により移動が困難となっている。

水深は、ガードレールとほぼ同じ高さに氾濫水の水面があることから0.5m～0.6mと推算される。



出典：水害ハザードマップ作成の手引き

■避難のタイミングの整理



34ページで書いた時間を参考に整理していきましょう。
一番下の①から時間をさかのぼってかいてみましょう。

(例1) 避難の場所

要する準備	
・持ち出し品	
・戸締まり	
・	
・	
	分

③ 避難場所へ移動を開始する時刻	<input type="text" value="4"/>	時間前 (①+②)
↑	② 要する時間 (移動時間)	<input type="text" value="30"/> 分
	① 避難を完了したい時刻	<input type="text" value="3"/> 時間前

(例2) 避難の場所

要する準備	
・祖父の薬	
・戸締まり	
・	
・	

③ 避難場所へ移動を開始する時刻	<input type="text" value="5"/>	時間前 (①+②)
↑	② 要する時間 (移動時間)	<input type="text" value="60"/> 分
	① 避難を完了したい時刻	<input type="text" value="4"/> 時間前

避難の場所

要する準備	
・	
・	
・	
・	

③ 避難場所へ移動を開始する時刻	<input type="text"/>	時間前 (①+②)
↑	② 要する時間 (移動時間)	<input type="text"/> 分
	① 避難を完了したい時刻	<input type="text"/> 時間前

避難の場所

要する準備	
・	
・	
・	
・	

③ 避難場所へ移動を開始する時刻	<input type="text"/>	時間前 (①+②)
↑	② 要する時間 (移動時間)	<input type="text"/> 分
	① 避難を完了したい時刻	<input type="text"/> 時間前

■避難のタイミングの整理



34ページで書いた時間を参考に整理していきましょう。
一番下の①から時間をさかのぼってかいてみましょう。

避難の場所 <input type="text"/>	
要する準備	
<ul style="list-style-type: none"> • • • • 	
③ 避難場所へ移動 を開始する時刻	<input type="text"/> 時間前 (①+②)
↑	② 要する時間 (移動時間) <input type="text"/> 分
① 避難を完了 したい時刻	<input type="text"/> 時間前

避難の場所 <input type="text"/>	
要する準備	
<ul style="list-style-type: none"> • • • • 	
③ 避難場所へ移動 を開始する時刻	<input type="text"/> 時間前 (①+②)
↑	② 要する時間 (移動時間) <input type="text"/> 分
① 避難を完了 したい時刻	<input type="text"/> 時間前

避難の場所 <input type="text"/>	
要する準備	
<ul style="list-style-type: none"> • • • • 	
③ 避難場所へ移動 を開始する時刻	<input type="text"/> 時間前 (①+②)
↑	② 要する時間 (移動時間) <input type="text"/> 分
① 避難を完了 したい時刻	<input type="text"/> 時間前

避難の場所 <input type="text"/>	
要する準備	
<ul style="list-style-type: none"> • • • • 	
③ 避難場所へ移動 を開始する時刻	<input type="text"/> 時間前 (①+②)
↑	② 要する時間 (移動時間) <input type="text"/> 分
① 避難を完了 したい時刻	<input type="text"/> 時間前

マイ・タイムラインについて

① マイ・タイムラインとは

「マイ・タイムライン」は住民一人ひとりのタイムラインであり、台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるものです。

時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また判断のサポートツールとして、効果を発揮するものと考えています。

しかしながら洪水は自然現象であるため、マイ・タイムラインがあれば常に安全ということではなく、その都度、台風・降雨・河川の状況等を考慮して判断しなければならないことにも留意しておく必要があります。マイ・タイムラインに盛り込まれたどの防災行動で台風・降雨・河川の状況等が把握できるのかを知っておくことも重要です。

このたび、まずは常総市の若宮戸地区と根新田地区をモデル地区として、一人ひとりの住民に参加いただく「常総市マイ・タイムライン検討会」を設置し、鬼怒川の水位上昇を対象にマイ・タイムラインの検討を進めます。検討の過程で、住民一人ひとりが、自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、マイ・タイムライン作成時には、いわば「自分の逃げ方」を手に入れられるように取り組んでいくこととしています。

② マイ・タイムラインノートとは

マイ・タイムラインの検討は、住民一人ひとりに配付する「マイ・タイムライン ノート」に沿って行います。ノートは、地形の特徴や過去の洪水といった自宅周辺のリスク、洪水発生時に得られる情報などのマイ・タイムラインの検討に当たって抑えておくべき情報を「知る」ことから始め、そこから「気づく」ことや自分自身に置き換えて「考える」ことを記入していくことで、洪水発生時に自分自身がとるべき防災行動を整理する形で編集しています。そして、整理した防災行動を時系列的にとりまとめることによって、最終的に一人ひとりのマイ・タイムラインが作成できることとなります。

ノートは以下の3つの考え方で構成しています。

- I. 「知る」：マイ・タイムラインの検討に当たって抑えておくべき情報を記載しており、検討会で解説します。メモ欄には、初めて知ったことや驚いたこと、大切だと思ったことを記入してください。
- II. 「気づく」：「知る」を通じて得られた知識やメモした事柄を踏まえ、感じたことを記入してください。検討会での意見交換により、理解を深めます。
- III. 「考える」：「知る」や「気づく」を踏まえ、自分自身の自宅の状況や家族の構成に置き換えて、安全に避難するために必要と考えることを記入してください。

③ マイ・タイムラインノートの作成後

今回検討するマイ・タイムラインは基礎的なものであり、例えば、洪水が発生する時間帯によってはさらに早めの避難が必要になるなど、実際の洪水時を想定した応用動作が想定されます。今後、家族や地域で話し合うなどし、防災行動を追加していくことも考えられます。

またマイ・タイムラインは、一度作ったらおしまいというものではなく、自分自身の置かれている環境の変化に応じて変更していくことが望ましいと考えられます。例えば、家族が増えたとき、勤務先や学校が変わったときなど、あらためてノートを見直して、必要な防災行動を整理していくことが望ましいと考えられます。

来たるべき洪水に備えて、マイ・タイムラインを活用し、逃げ遅れゼロに向けてさらなる地域の取り組みが積み重ねられることを期待しています。

平成28年11月13日

常総市マイ・タイムライン検討会 運営会議

	行政情報 (黒: 気象・水象情報 青: 下館河川事務所 緑: 常総市)	住民等(例)	作成のポイント	
3日前	<ul style="list-style-type: none"> ○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認 ○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電 	<ul style="list-style-type: none"> 遺出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。 風でとばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などはずませておきましょう。 	
2日前	<ul style="list-style-type: none"> ◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し 	<ul style="list-style-type: none"> ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣の町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣の町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断 	<ul style="list-style-type: none"> 移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。 	
1日前	<ul style="list-style-type: none"> ◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報 	<ul style="list-style-type: none"> ○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断 	<ul style="list-style-type: none"> 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。 	
半日前	<ul style="list-style-type: none"> 水防回待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報 	<ul style="list-style-type: none"> ○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断 	<ul style="list-style-type: none"> 必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。 	
-5h	<ul style="list-style-type: none"> 避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令 	<ul style="list-style-type: none"> ○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保 	<ul style="list-style-type: none"> 必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。 	
-3h	<ul style="list-style-type: none"> はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報) 	<ul style="list-style-type: none"> ○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保 	<ul style="list-style-type: none"> 必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。 	
0h	<ul style="list-style-type: none"> 氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報) 	<ul style="list-style-type: none"> ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 	<ul style="list-style-type: none"> 必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。 	

雨風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期

水位等の状況を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

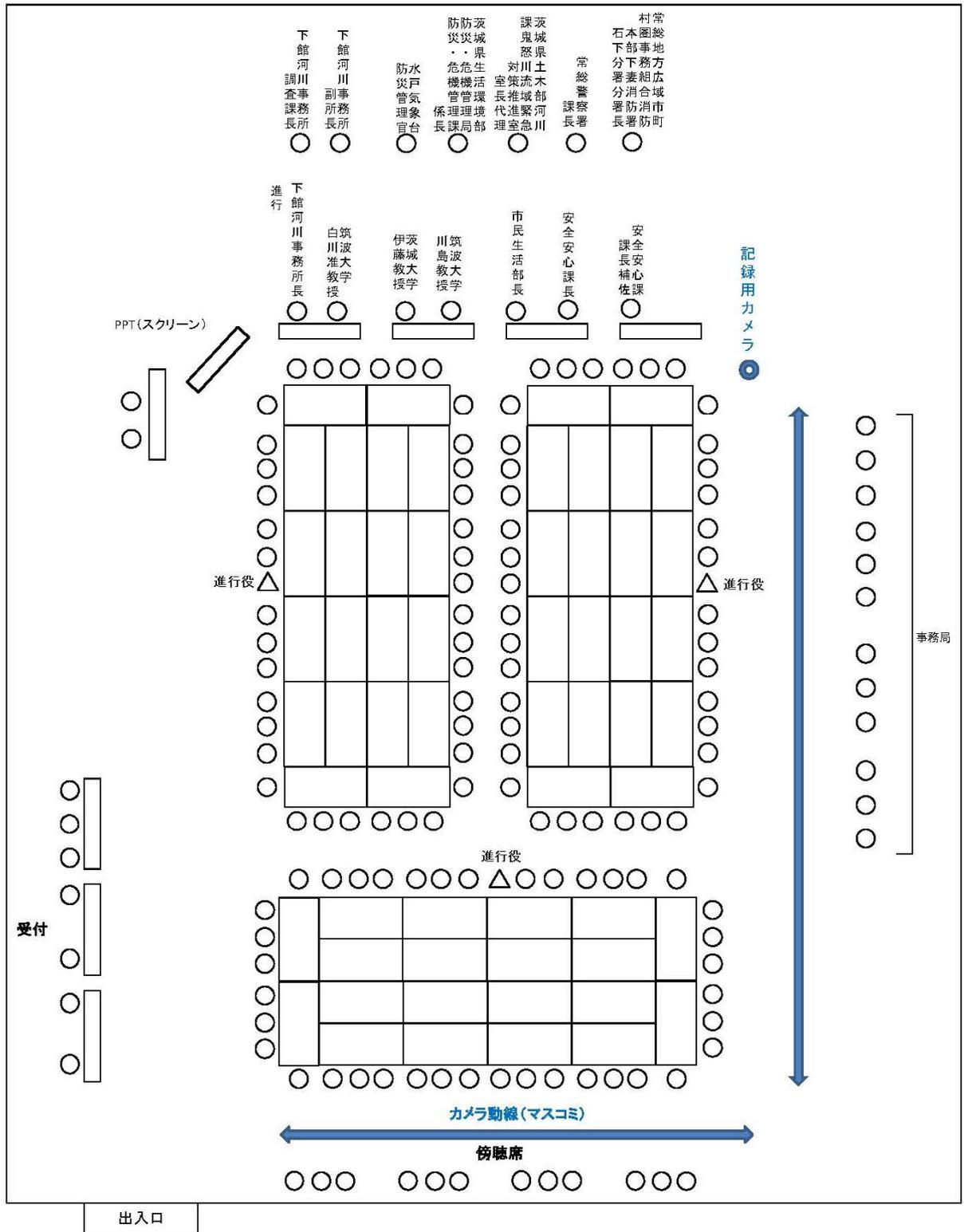
身の安全を確保すべき時期

参考資料 3-2-3

第2回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会

使用した機材・備品及び配席図

■ : 配席図



■使用した機材および備品：

映像・音響機材			
音響機器一式	スクリーン	プロジェクター	ノートパソコン
マイク	延長コード		
備品			
ボールペン	サインペン	名札（4種類）	ポップスタンド
三角プレート	指し棒	レーザーポインター	三角コーン
ホワイトボード	机・椅子	スリッパ	ジェットヒーター

参考資料 3-2-4

第 2 回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会 進行表

■進行表

<第2回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会>

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
9:00	1. 開会	里村事務所長	スライド2 会議名表示	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、定刻になりましたので、ただいまより、常総市マイ・タイムライン検討会（若宮戸地区）第2回検討会を始めます。 • 進行を務めます、国土交通省下館河川事務所長の里村です。よろしく申し上げます。 • お配りしている「本日のスケジュール」に沿って進めてまいります。 • まず、1. 開会ということで、須藤部長にご挨拶をお願いします。 • ご挨拶
9:02	挨拶	須藤部長	スライド3 常総市長名	<ul style="list-style-type: none"> • ありがとうございます。 • それでは、本日の進め方をご説明いたします。
9:05	議事進行	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> • もう一度、「本日のスケジュール」をご覧ください。現在、「2. 本日の進め方」です。 • このあと、「3. 前回のおさらい」へ進んでまいります。前回11月27日から少し間が空いています（し、本日はじめて参加された方もおられます）ので、ざっとおさらいをしたいと思います。 • その後、マイ・タイムラインノートに沿って、「洪水時に得られる情報と読み解き方」、「タイムラインの考え方」と前回同様に進めていく予定です。 • そして、休憩を挟んで、皆さんに「洪水時の自らの行動を想定」していただき、再度休憩をはさんで、いよいよ「マイ・タイムラインの作成」へと進みます。 • 本日は、3つのグループに分かれて座っていただいています。「洪水時の自らの行動を想定」と「マイ・タイムラインの作成」では、グループごとに意見交換をしていただき、理解を深めていただく予定です。また、各グループの様子を共有する「全体発表」も行いたいと思います。 • 最後に、本日の流れを振り返って、お開きの予定です。
～ 9:10	2. 本日の進め方	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> • また、一つお願いがございます。 • 第1回目の検討会でもご説明しましたが、このマイ・タイムライン検討会は、全国でも初めての取組で、この若宮戸と根新田の2地区をモデル地区として行っています。今後、この検討会を市内のみならず流域、さらには全国へ展開していくため、皆様がマイ・タイムラインを作られた後に、皆様のノートを一旦お借りしたいと思います。 • 本日、検討会が終わった後に、ご自宅マイ・タイムラインを完成させていただき、机の上においてある茶色の封筒で事務局へお送りいただきしたいと思います。茶色の封筒の中には、もう一つ封筒が入っています。こちらは、事務局からの返信用封筒です。宛名に、ご自宅のご住所を書いて、同封願います。 • お忙しいところを恐縮ですが、2月12日までにポストへ投函していただきたくお願いいたします。 • 皆様のノートを参考に、全国へ広げるための「マニュアル・手引き書」を作りたいと思っております。よい「マニュアル」よい「手引き書」になるように、皆様のご協力をお願いします。 • それでは、早速、「前回のおさらい」に進みたいと思います。常総市 斎藤課長、お願いします。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
9:10 ～ 9:12	3. これまでの おさらい	斉藤課長		<ul style="list-style-type: none"> ・よろしくお願ひします。 ・ノートの目次を開いてください。 ・前回は、STEP1を進めてまいりました。 ・1ページを開いて下さい。「はじめに」では、昨年の洪水時の行動を振り返っていただきました。 ・2ページを開いて下さい。「地区の特性」では、常総市全体とこの根新田地区の人口構成や世帯数などを皆さんと共有しました。 ・4ページを開いて下さい。「過去の洪水から学ぶ」では、常総市が鬼怒川・小貝川による洪水の常襲地帯であることを、5ページでは「地形の特徴から学ぶ」で、鬼怒川と小貝川の水面の高さと常総市の地盤の低さ、治水地形分類図でこの地域の地質的な成り立ちを確認していただきました。 ・そして、10ページでは、「最近の雨の降り方と傾向」で、近年、雨の降り方が激しくなってきたことを知っていただきました。 ・最後に、12ページの「想定最大規模の雨で鬼怒川が氾濫したら」ということで、浸水想定区域図、深さだけでなく、水が引くまでの時間や家屋倒壊の可能性がある箇所などいろいろな図がありましたが、この浸水想定区域図を見ていただきました。また、氾濫シミュレーションの結果から、ご自身の近くの堤防が決壊した場合はもちろん、上流や下流で氾濫しても、水が回り込んでくることを知っていただきました。 ・前回検討会ではアンケートにご協力いただきました。ありがとうございました。アンケート結果では、ご参加いただいた方の多くにご理解いただけただけですが、「資料の説明が短時間で理解に苦労した」等のご指摘もいただきましたので、今回は、各グループに事務局メンバーがサポートしますので、そのあたりも配慮してまいりたいと思います。 ・最後に、前回お配りしたノートにミスプリントがありました。2箇所修正をお願いします。前の画面で修正箇所を表示します。 ・まずは、4ページです。鬼怒川・小貝川で堤防が決壊した場所、右側の表の上から3番目に下館市と記載してありますが、下妻市の間違いです。修正をお願いします。もう一点、10ページの右下に熊本の大雨の文章があります。ここに熊本県佐用町と記載してありますが、甲佐町（こうさまち）の間違いです。失礼しました。お手数ですが、修正をお願いします。
9:12 ～ 9:14		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・ここで、私から数点ご報告があります。 ・前回検討会で、ノートの9ページにありますが若宮戸地区の治水地形分類図の作成時期を教えてくださいというお話がありました。国土地理院に確認しましたところ、平成23年に調査したものであり、背景の地形図は昭和40年以降の形状であるとの回答をいただきましたので、この場を借りて報告いたします。 ・また、前回検討会の「過去の洪水から学ぶ」のところ、昭和13年の鬼怒川の常総市と小貝川の下妻市は同じ日に発生したのか確認してほしいというお話がありました。利根川百年史などの文献を調べてみましたところ、昭和13年は6月から7月にかけて鬼怒川、小貝川で浸水被害があったことが確認できましたが、同じ日かは確認できませんでした。 ・昭和24年に若宮戸が越水しているというお話がありました。昭和24年も同様に浸水被害が頻発していたことは確認できましたが、具体的な地名まで記載されている文献はみつけませんでした。 ・この検討会をおして、文献に載っていないことも共有できるということ、まさに検討会の意義だと思ひます。貴重なご意見ありがとうございました。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
9:14 ～ 9:15		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> • ここまでが、前回のやさしいです。皆様から何かございますでしょうか？ • 前回参加された際の感想でも結構です。いかがでしょうか？ • ありがとうございます。よろしいですか。 • 前回申し上げました。古の中国の兵法家である孫子曰く「彼を知り己を知れば、百戦して殆うからず」敵を知り自分を知るならば、絶対には負ける心配はない〜と。前回の検討会で己を知っていたださしました。いよいよステップ2です。彼・敵を知る〜今回の敵は台風であり、雨であり、川の水位です。これらから逃げ切るために、どのような情報を、どうやって得ればよいのでしょうか？そのあたりを見たいと思います。 • それでは、伊藤課長、お願いします。 • よろしくお願いします。 • それでは、ノートの22ページをご覧ください。6. 洪水時に得られる情報と読み解き方です。 • 前回同様、初めて知ったことや大切だと思ったことは、ノートに○をつけたり、メモ欄、ここでは、少し小さいですが、23ページの下です。にメモをしておいてください。 • さて、ここでは、洪水時にどのような情報が得られるのか、どのようにして知ることができるのか、どのように役に立つのか、確認していきたいと思えます。
9:15 ～ 9:20	4. 洪水時に得られる情報と読み解き方	伊藤課長	ノートP22	<ul style="list-style-type: none"> • 22ページには、同じような表が上下2つ書いてあります。 • まず上段からですが、この表には「避難するためにはどんな情報を知ればいいのか?」、「時々刻々と変化する中で何を気にすればいいのか?」を時間軸に沿ってまとめています。 • イメージしていただくと、台風が遠く太平洋で発生しまして、その後近づいてくると雨が降り出し、その雨が集まって川の水位が上がります、そして危険度が上がってくると避難する、という流れになります。端的に申し上げると、その順、つまり、台風、雨、川、避難の順に情報をとっていた方がいいということです。表ではそれを縦に並べています。そして、右側にその際のポイント、その際特にチェックしてほしい情報、例えば、ここ常総のお天気だけでなく、上流の宇都宮や日光のお天気も気にしてほしいといったことをまとめています。 • そして、下段の表には、その情報をどこで得られるか、主な手段を紹介しています。 • また、次ページ以降の「もっと詳しく知りたい」ところにホームページのアドレスなど、より具体的な入手先を、まとめています。 • 今日、ご自宅に戻られたあとにでも、どの情報が見やすいか一度ご覧いただければよいと思います。平常時に確認しておくことで、いざというときにもすぐにチェックできると思います。知りたい雨量が、知りたい水位が、画面のどこに表示されているのか、ここに書いてあるのはあくまで最初の画面です。常総のデータはどうか、日光のデータはどうか、普段から慣れさせておくことが重要です。 • なお、最近では、ケーブレルテレビの情報も充実していますし、テレビ局のアプリや気象情報サービスなどもあります。 • ここで紹介したものを以外にも情報の入手は可能です。 • ここまでで感じたこと、感想などがあれば、25ページの気づく欄に記入をお願いします。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
9:20 ～ 9:25	質問	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。洪水時に得られる情報と読み解き方でした。 ・本当は、画面の見方など、詳しくできればよいのですが、実際のもををご覧いただいた方がよいと思いますので、ご自宅に帰られてから、ぜひ、ご覧ください。そして、見方がわからないなどあれば、河川事務所や市役所にお聞きいただいてもよいですが、地区の中で教えあうといったことも大切かもしれませんね。 ・何かご質問やここが分からなかったなどありますでしょうか？
9:25 ～ 9:30	5. タイムライ ンの考え方	斎藤課長	ノート P 26～P 29	<ul style="list-style-type: none"> >>> 質疑；確認<<< ・さあ、これで「彼を知る」方法も知っていただけたと思います。あとは、この「彼」と「己」を知る情報をうまく使えば、「百戦して殆うからず」の状態になります。 ・それでは、先に進めてまいります。斎藤課長、説明をお願いします。 ・続いて、ノートの26ページをご覧下さい。7. タイムラインの考え方です。 ・「タイムライン」は聞きなれない言葉かもしれませんが、日本語では時間軸とでも訳せばよろしいでしょうか。その言葉どおり、洪水の発生に備えて、時系列的に防災行動を整理したものを言います。 ・26ページにイメージを示しました。一番下が氾濫の発生時点です。ここをゼロ時として、そこから上に、3時間前、5時間前と上に行くほど時間がさかのぼります。氾濫発生の前、どんな時間でどんな準備をするのか、時系列で整理したものです。 ・ここには写真も貼ってありますので、イメージしながらご覧ください。例えば、3日前。台風が発生して関東地方に向かってくるぞ～というときには天気予報を注意し、時間が進んで、いよいよ明日上陸～や関東・東北豪雨の時のような大雨が降り出した～というときには半日前です。ハザードマップの再確認をしたり、さきほどのインターネットを見て情報収集したりします。そして、いよいよ川の水位が上がります、あと3時間であふれるぐらいいにまで高くなる時には、避難を完了しておく～といった具合です。 ・27ページに移ります。 ・タイムラインには平常時と災害時、2つの役割があります。 ・平常時の役割としては、この検討会を通じて皆さんがまさに体験されていることです。 ・まずは、自分たちの住んでいる地域のリスクを認識できます。STEP 1 で皆さんにもやっていただきました。 ・また、人によって避難の速さや距離が異なりますが、自分の逃げるタイミングがわかります。 ・そして、このあと皆さんにやっていただきましたが、意見交換をすることで、ご近所の輪がより強く、太くなります。 ・一方、災害時には、作成したタイムラインがチェックリストになり、対応の漏れを防ぐことができます。また、今この行動に踏み切っているのか？と迷ったときには、判断をサポートする心強いツールにもなります。 ・タイムラインは最初から完璧なものを作ることは難しいと思います。むしろ、作ってみて、それを実際の洪水時に利用したり、訓練で使用したりして、どんどん追加・改訂し、強化していくものだと考えています。そして、それが防災力向上につながります。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
9:25 ～ 9:30	5. タイムライ ンの考え方	斉藤課長	ノート P 2 6 ～ P 2 9	<ul style="list-style-type: none"> このようなタイムラインですが、注意しなければならぬ点もあります。 次の 28 ページには、タイムライン使用時の注意点と心得を記載しています。 まず、注意ですが、茶色の文字で 4 点記載しています。いろいろ書いてはありますが、要は、「洪水は自然現象なので、タイムラインに記載された事項が、タイムラインで想定したとおりに進行するとは限らない」ということを書いておきます。 皆さん「当たり前のことだ」と思われるかもしれませんが、これをつかりと認識しておくことにより、よりの確かな防災行動が実施できます。 次に、青字でタイムラインを使う上での心得として 3 項目を書いておきます。 あくまで行動の目安であるということ、こまめな情報収集が必要ということ、そして、その情報をもとに臨機応変な対応をすることです。 大事なポイントですので、ご自宅へ帰られてから、もう一度確認しておいてください。 最後になりますが、29 ページに、現在、常総市で使っているタイムラインを掲載しています。 このタイムラインで緑色の常総市の欄ですが、-5h の少し上に茶色で「避難準備情報を発令する」とあり、昨年未改称されました。また、-3h の少し上に赤字で「避難勧告又は避難指示を発令する」となっています。この「避難指示」は「避難指示（緊急）」に改称されています。本日は、資料 4 に修正内容と修正箇所を示していますので、ご自宅で確認して修正してください。 以上で説明を終わります。
9:30 ～ 9:35		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ありがとうございます。 タイムラインについて、イメージが把握したうえでうまく活用することが大切です。 とですね。そして、その短所を把握したうえでうまく活用することが大切です。 ご質問等がありましたら、お願いします。 >>> 質疑；確認<<< そして、いよいよ洪水発生時のご自身の行動を想定していただきますが、ここで休憩を入れます。9 時 40 分から再開しますので、ご協力をお願いします。
9:35 ～ 9:40	(休憩) (5 分間)			
9:40 ～ 9:52	6. 洪水時の自 らの行動を想 定	里村事務所長	ノート P 3 0	<ul style="list-style-type: none"> それでは、ノートの 30 ページの「洪水時の自らの行動を想定」にはいります。ここでは、最初に資料の説明を行い、その後グループで意見交換をしながら進めていきたいと思えます。 まずは、説明です。斎藤課長、お願いいたします。 それでは、ノートの 30 ページです。「8. 洪水時の自らの行動を想定」ということで、いざというときにご自身が、ご家族が、どのような行動をとるべきなのか、また、それにはどんな準備が必要なのか、考えていきたいと思えます。 まずは、上の表です。ご家族のそれぞれで避難時にポイントとなることを整理したいと思えます。後ほど、グループワークで記入の時間をとりますので、まずは説明させていただきます。 左から、お名前、年齢とあり、次に「必需品」という欄があります。避難所などでは水や食料などは手に入ると思えます。ただし、例えば、ここに例として書いている「血圧の薬」なんかは毎日飲まれると思えますが、避難所では手に入りません。毎日使っておられるもの、避難所ですぐに困るものなんかを記入してください。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
9:40 ～ 9:52	6. 洪水時の自らの行動を想定	斎藤課長	ノートP30	<ul style="list-style-type: none"> ・次に、「屋の居場所」欄ですが、例に書いている「デイスサービス」や、職場・学校など、ご自宅以外で長くおられる場所を記入してください。 ・その他、注意すべき点などがあれば、備考に記入してください。 ・そして、表の下ですが、車をお持ちの方は「有」にチェックし、隣のカッコに台数や乗れる人数などをメモしておきましょう。また、水害時の避難先として受け入れてくれる場所があるか、ペットの有無などもメモしておきましょう。 ・このページの下端には避難の方法をまとめています。一口に「避難」と言っても実はいろいろなパターンが考えられます。 ・一つ目は、自宅などその場にとどまって安全を確保する方法です。これを「屋内安全確保」と呼びます。家の2階などで洪水をやり過ごすということですね。この方法をとる場合の留意点は、ご自宅付近の浸水深を見て、浸水しない場所があるか、また、倒壊が想定される区域ではないか、確認しておく必要があります。そして、浸水継続時間をチェックし、それに堪えられる食料や水、常備薬などを蓄えておく必要があります。 ・ここで、常備薬となっていますが、常備薬の間違いです。訂正をお願いします。 ・二つ目は、市の指定している近傍の避難所へ移動して安全を確保する方法です。若宮戸では、玉小学校になりますね。ここでも、避難所について、一つ目のご自宅を確認したことと同じ項目、浸水深や倒壊、継続時間などを確認しておくことも重要です。 ・三つ目は、市内の高台など浸水想定区域外へ移動する方法です。7ページの標高図を見てみると、飯沼地区の飯沼小学校や石下総合体育館に行くのか、お隣の下妻へ行くのかということでしょうか。この方法をとる場合の留意点は、そこまでの避難経路の浸水深を確認しておくことが必要です。また、移動する手段と経路を事前に決めておくことが必要です。移動中に通行止めが発生したり、渋滞の恐れもあるので、リアルタイムで状況を確認できるようにすることも大切です。なお、指定の避難所ではありませんので、その場所に移動してからも、食料や水が無いことも考えられます。自分で準備する必要があります。 ・最後、四つ目は、隣接市町の浸水想定区域外への避難です。こちらも、避難経路や手段を確認し、事前に決めておく必要があります。移動中の通行止めや渋滞に注意することや、食料・水についても同様です。隣接市町のハザードマップも確認しておきたいですね。 ・次のページから、常総市と、隣接する下妻市のハザードマップを載せています。 ・ありがとうございました。ここで一旦切りましょう。 ・避難にも4つのパターンがあるということです。それぞれ、特徴がありますね。 >>> 質疑；確認<<< ・それでは、続きを進めてまいります。先ほどの4パターンの避難を、ご自身にあてはめてみましょう。 ・斎藤課長、お願いいたします。
	里村事務所長			

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
9:40 ～ 9:52	6. 洪水時の自らの行動を想定	斉藤課長	ノート P 3 4	<ul style="list-style-type: none"> ・34 ページに移ります。これは、今回、差し替えとなっております。本日お配りした 34 ページをご覧ください。「避難の方法」となっています。 ・4 パターンそれぞれに特徴がありました。その特徴を踏まえうえで、避難所へ逃げるときにはどうすべきか、遠くへ逃げるときにはどうか、などについて、考えていきたいと思えます。 ・表に例が 2 つ書いてあります。 ・まず、上の例 1 は「指定の避難所」へ逃げるパターンです。 ・左から順に見ていきますと、「場所または住所」に〇〇小学校となっております。若宮戸では玉小学校です。 ・「手段」は移動手段です。例では徒歩となっております。 ・そして、「①避難を完了したい時刻」です。これは、避難場所へたどり着いておきたい、言い換えると逃げ切っておきたい時刻です。例では 3 時間前となっております。氾濫発生は 3 時間前には、安全な所へたどり着いておきたいということですね。 ・次の「②移動に要する時間」は、自宅から避難場所まで移動するのにかかる時間です。例では 30 分となっております。〇〇小学校まで歩いて 30 分～ということですね。 ・最後に「要する準備」ですが、例では、持ち出しと戸締まりが書いてあります。必要な準備を忘れると、避難開始のタイミングが遅れることにもなります。必要な準備を書き出しておく欄です。 ・さあ、イメージできましたでしょうか？同様に、二つ目の例を見ていきます。 ・二つ目の例 2 は「遠くの親戚」を頼る想定です。△△市に住んでいる親戚の家が高台なので、そこから逃げる～というイメージです。手段は自家用車、余裕をもって行動したい～ということですね。 ・間前には完了したいとなっております。移動時間は 60 分となっておりますね。 ・それでは、皆さんにも同じように考えていただくこととなりますが、その前に、もう少し、避難に関する参考情報をみておきたいと思えます。
9:52 ～ 9:54		斉藤課長	ノート P 3 5～3 6 ビデオ放映	<ul style="list-style-type: none"> ・まず 35 ページの上段です。避難所への移動手段として、徒歩、自家用車、公共交通機関のそれぞれについて、長所と短所をまとめています。 ・次に下段ですが、氾濫が発生してからの避難が危険であることを示しています。大人の膝ぐらいの深さで浸水しますと、歩行が困難になります。また、車もエンジンがストップするなど危険です。また、次のページでは、氾濫の水が濁っているため、側溝などに足をとられる場合があります。やむを得ず移動する場合は、棒などで足下を確認しながら移動しましょう。 ・ここで、関東・東北豪雨の時の三坂での様子が撮影されたビデオをご覧ください。上三坂の住民の方からご提供いただいたものです。 ・2 5 秒間のビデオ放映 ・まだ決壊していない状態ですが、こんなに水が流れています。この状態で歩いて逃げるのは危険です。 ・決壊した後は水かさも増します。 ・これは決壊箇所のすぐ近くですが、氾濫後の移動が危険だということはおわかりいただけると思います。そのため、氾濫が始まる前に、避難を完了させておくことが大切です。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
9:54 ～ 10:00		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。映像もすごかったですね。説明でもありませんが、氾濫が始まる前に避難を完了させておくことが大切ですね。そのために、このマイ・タイムラインで自身の避難のタイミング～氾濫が発生した道で棒をついて歩かなくても良いように、先手先手で避難できるようなタイミングを見つめましょう。 ・ここまです。何かご質問はございますでしょうか？ ・>>質疑；確認<<< ・それでは、この30ページ、34ページへの記入から、グループワークとします。 ・30ページは、必需品でしたね。 ・34ページは、逃げ方です。もう一度見ておくと、 ・左から <ul style="list-style-type: none"> 「場所または住所」は逃げる先 「手段」は移動手段 「①避難を完了したい時刻」は、逃げ切っておきたい時刻、さきほど映像でみていただいた、道に水が流れている状態になるどのくらい前に、安全なところへたどりついておきたいか？ということ です。 「②移動に要する時間」は、自宅からその場所まで移動するのにかかる時間で、最後の「要する準備」は、逃げるのに必要な準備を書き出しておく欄です。 ・なお、この記入は、例えば、昼か夜か、休日か平日か、などによって考え方が変わってくる場合もあるかと思いますが。まずは、もつとも逃げやすい、シンプルなこと、例えば、明るいとご自宅からどう逃げるかを想定していただきたいと思えます。その上で、逃げにくい条件になった時は、それにあわせて逃げ方を修正し、別の段に記載していただければと思います。 ・追加で用紙が必要な方は、スタッフにおっしゃってください。 ・各グループには、この検討会の前に行った運営会議において、市から進行役として3名の方を推薦をさせていただき、各自治区長から了解を得て、進行役のグループリーダーをお願いしております。また、各グループにはスタッフも混ざっております。お気軽にお声がけをいただき、進めていただければと思います。私と学識者の先生方は、適宜、周りをまわっていますので、ご相談いただいても結構です。 ・時間は、10時30分までを予定しています。 ・それでは、初めください。グループリーダーの皆さん、お願いします。
10:00 ～ 10:30	意見交換	グループリーダー		<ul style="list-style-type: none"> ・10時25分メドで、里村事務所長から「あと5分である」旨を周知。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:30 ～ 10:44	全体発表	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・10時35分になりましたので、グループワークを終了します。ありがとうございます。 ・それでは、各グループの状況を共有していただきたいと思ひます。各グループ内で、「30ページの必需品」と「34ページの避難行動」という2回の意見交換を行っていただひたいと思ひます。 ・各グループの「代表必需品」と「代表避難行動」をグループリーダーに紹介していただきます。代表の事柄は、大切だと思ひたもの、おもしろいと思ひたもの、一番多かつたもの、どんなものでも結構です。グループリーダーの独断と偏見を決めていただひたい結構です。それでは、●グループからお願ひします。 <<各グループ発表>> ・ありがとうございます。他にも何かございますか？ どうしてもこれは共有しておきたいというものがあれば、手を上げていただひたいと思ひます。 <<意見発表・質疑等>> 各機関で何かご意見やご感想はありますか？ それでは、学識者の先生方から何かありますか。
10:44 ～ 10:50		白川先生 伊藤先生 川島先生		ご意見
10:50 ～ 11:00	休憩（10分）			
11:00 ～ 11:05	7. マイ・タイムラインの作成	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、いよいよ「マイ・タイムラインの作成」にはいります。先ほど想定していただひたい「洪水時の自らの行動」を時間軸に沿って整理していきたくと思ひます。 ・最初に、避難のタイムリグを整理したいと思ひます。本日、差し替えをお配りした40ページをお開きください。40ページはA3の大判ページになっています。この40ページを引き出し、先ほど書いた34ページとあわせて開いてください（やってみせる）。 ・それでは、説明に入っていきます伊藤調査課長お願ひします。 ・40ページは、先ほど書いていただひたい34ページの「洪水時の自らの行動」を、時間軸に沿って整理するためのペーパーになっています。 ・40ページには、4分割で同じ区が書かれています。このうち、上の2つ、黄色く塗つたものは例です。左側の例1は、避難の場所が「〇〇小学校」となっています。これは、34ページの上の例（例1）に対応します。 ・この例1は、34ページの「①避難を完了したい時刻」が3時間前となっています。これは、氾濫が発生する3時間前までは〇〇小学校へたどり着いておきたいということでしたね。この「①避難を完了したい時刻」が、40ページでいう一番下、同じ「①避難を完了したい時刻」の欄に書いてあります。 ・そして、34ページの「②移動に要する時間」の30分は、同様に、下から2番目の「②移動に要する時間」のところに書いてあります。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
11:00 ～ 11:05		伊藤課長	スクリーンに P34とP40を 投影	<ul style="list-style-type: none"> これは、氾濫が発生する3時間前には〇〇小学校へ着いておきたいが、歩いて30分かかるといこと。となると、家を出る時刻はいつになるかということで、①と②の時間を足して3時間前となるのですが、少し余裕を見て4時間前と書いています。これが、下から3番目の「③避難場所へ避難を開始する時刻」です。 そして、その上に「要する準備」を書き写します。「持ち出し品」と「戸締り」ですね。これで例1の整理ができました。 同様に、例2も見てください。 例2は遠くの親戚でした。一番下の「①避難を完了したい時刻」が4時間前になっています。 そして、「②移動に要する時間」は60分ということで、「③避難場所への避難を開始する時刻」は5時間前となっています。 要する準備は、祖父の薬と戸締りですね。 このように、40ページでは、34ページに書き出したことを、下から順に、時間をさかのぼって書き込んでいきます。
		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ありがとうございます。 いかがでしょうか？ご質問などございましたらお願いします。 <p><質疑></p> <ul style="list-style-type: none"> それでは、記入してみてください。スタッフやグループの方と相談していただいで結構です。10分間をめぐらせていただきたいと思います。
11:05 ～ 11:15	40ページ記入時間			各自記入 事務局サポーター
11:15 ～ 11:25	7. マイ・タイムラインの作成	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> できましたか？それでは、いよいよ、今整理した防災行動とタイムラインをタイムラインに書き込んでいきたいと思えます。今書いていただいた40ページと、本日配布した記入用のマイ・タイムラインをお開きください。 それでは、伊藤調査課長、説明をお願いします。
		伊藤課長	スクリーンに 記入用タイムラインを 投影	<ul style="list-style-type: none"> まずは、マイ・タイムラインを説明しましょう。 ノートの後ろにもついています。本日、線が入ったものをお配りしています。これが、皆さんの避難行動を書き込むマイ・タイムラインです。29ページにあつた、行政のタイムラインを基に作っています。29ページと同じように、上から下へ時間が流れ、一番下が氾濫発生です。29ページでは、台風や雨、川などの自然がグレー、河川事務所が青、市役所が緑と分けて細かく書いています。ですが、ここでは、その全てをまとめ、また、行政内部のやりとりなどは省いて、住民の皆様が触れるものだけに絞って、一番左にまとめています。 そして、真ん中に例や作成のポイント、グレーの矢印なんかがあり、一番右に空白の欄があります。この空白の欄に、皆さんの避難行動を書き込んでいくこととなります。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
11:15 ～ 11:25	伊藤課長			<ul style="list-style-type: none"> • それでは、40ページに整理した逃げ方からマイ・タイムラインを作っていきましょう。例1の「指定の避難所へ逃げる」という逃げ方を使って実際に書き込んでみたいと思います。ここでも下から順番に考えていきます。 • まず、「①避難を完了したい時刻」を書き込みます。40ページでは3時間前でした。書き込むのは一番右になります。左の時間軸で-3hとなるあたりに、書き込みます。「〇〇小学校への避難完了」と書き込みます。 • 次に、40ページの「③避難場所へ避難を開始する時刻」です。例1では、4時間前でした。左の時間軸で-4hとなりますが、4はありませんので、-5hと-3hの間あたりに、書き込みます。「〇〇小学校への避難開始」と書き込みます。 • そして大切なのは、その時の左端、行政からの情報です。-5hと-3hの間には「避難勧告又は避難指示」とあります。この避難指示は、今回の名称変更で「避難指示（緊急）」と変わっていきませんが、これらは市役所から発令される避難の情報です。そのため、市役所からの情報に注意が必要ということ です。 • 25ページにもありましたが、市役所からの避難情報は、防災行政無線、市防災メール、広報車で発信されます。また、常総市のホームページやツイッター、フェイスブック、茨城県のホームページでも見ることができます。 • 次に、40ページの「要する準備」ですがここでは2つ書いてあります。「持ち出し品」と「戸締り」ですね。市役所の避難勧告を確認したら、すぐに自宅から避難できるように、これらを済ませておきましょう。例えば、「戸締り」については、逃げだす玄関と周囲の様子を確認するための自分がいる部屋の窓以外は、済ませておく方がよいと思います。二階、倉庫や離れの鍵などが考えられます。避難勧告を聞いてからこれらを確認していると10分や15分の時間が過ぎてしまいます。家の大きさなどにもよりますが、例えば、1時間前の-5hには始めておくことが考えられますので、-5hのとところに「戸締りの確認（倉庫も忘れずに!）」と書き込んでみます。 • そして同様に、-5hの時に行政の情報は何か？と左端を見ますと、「避難判断水位到達」と書いてあります。これは、河川事務所のホームページです。この若宮戸地区の鬼怒川は、筑西市にある「川島」という水位観測所をチェックしておくことになります。 • この水位観測所のデータを河川事務所のホームページで確認しておき、避難判断水位に到達したら、戸締りの確認を始め、並行して常総市のホームページをチェックし、避難勧告が発令されれば、自宅を出て避難を開始するという流れになります。 • このように、要する準備のそれぞれについて、後手にならないよう準備できるタイミングを記入し、いでしょう。 • 同様に例2も書き込んでみます。 • 例2は遠くの親戚でした。 • まず、「①避難を完了したい時刻」が4時間前です。先ほど、「〇〇小学校への避難開始」と書いたあたりですね。「遠くの親戚への避難完了」と書き込みます。 • 次に、「③避難場所へ避難を開始する時刻」は、5時間前でした。左の時間軸で-5hとなります。先ほど、「戸締りの確認（倉庫も忘れずに!）」と書いたあたりですね。ここに、「遠くの親戚への避難開始」と書き込みます。行政の情報は、「避難判断水位到達」ですね。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
11:15 ～ 11:25		伊藤課長	スクリーンに P40と記入用タ イムラインを投影	<ul style="list-style-type: none"> • そして、「要する準備」ですが、ここでは「祖父の薬」と「戸締り」ですね。「戸締り」から考えますが、例1と同様に考えると1時間前の-6hにしましょう。「戸締りの確認(倉庫も忘れずに!)」ですね。そして、「祖父の薬」ですが、これは、お医者さんで処方箋をもらって、薬局でもらわな いとつけません。そのため、犯監発生前の〜とか避難開始前〜でははなく、雨風が強くなる前に、 お医者さんや薬局も普通に空いているときに、準備しておく必要があります。3日前と2日前の間 ぐらいい書いておきます。 • 40ページからマイ・タイムラインを作る方法の説明は以上です。
11:25 ～ 11:33		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> • ありがとうございます。イメージできましたでしょうか？それでは、早速、それぞれでマイ・タ イムラインの作成をお願いします。スタッフやグループの方と相談していただいで結構です。ご記 入いただいた後で、グループ内で意見交換をしていただきます。記入と意見交換をあわせて、15 分程度を予定しています。それでは、始めてください。
	マイ・タイムラ インの記入			<ul style="list-style-type: none"> • 8分程度経過時点で、声掛け マイ・タイムラインの意見交換
		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> • そろそろ、書けましたでしょうか？各グループで意見交換を始められそうでしょうか？それでは、 グループリーダーさんよろしくお願いたします。まだ書いている方は書きながら結構です。
11:33 ～ 11:40	意見交換	グループリーダー		<ul style="list-style-type: none"> • 意見交換
11:40 ～ 11:41		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> • ありがとうございます。ここで、もう一度、全体の説明を行いたいと思います。今書き込んでい ただいたマイ・タイムラインを充実させる考え方です。先ほどの例では、例1は、指定避難所の○ 小学校へ逃げる逃げ方、例2は、遠くの親戚を頼る逃げ方でした。皆さんは、これらが別々の人 を想定したものと考えられたかもしれません。実は、この例を作るときは、同じ人を想定してい ました。どうということでしょうか？では、伊藤調査課長に説明をお願いしましょう。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
11:41 ～ 11:45		伊藤課長	P 30を投影	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。説明します。 ・今朝、「洪水時の自らの行動を想定」の中で、斎藤課長から4パターンの逃げ方について説明があったと思います。ノートでいうと30ページです。先ほど作成した例1は、指定避難所の〇〇小学校です。30ページの表でいうと上から2つ目のパターン。同じく例2は、遠くの親戚です。4つ目、一番下のパターンです。 ・「タイムラインの考え方」で注意の話がありました。洪水は自然現象なのでタイムラインのとおりに行うとは限りません。逃げ道は、一本よりも二本、二本よりも三本の方が、逃げ切れる確率が高くなります。一つ目の逃げ道が閉ざされても、次の逃げ道があれば、逃げ切れるかもしれません。 ・例1と例2で具体的に説明します。ある人が、私は「遠くの親戚を頼る」と例2で整理をしていたとします。しかし、アクシデントで5hの避難開始が遅れてしまったとします。逃げ始めようとしていたら避難勧告が発令してしまい、4hに進んでしまった状態です。このとき、そのまま急いで逃げるのか、それとも、次の逃げ道として、指定避難所の〇〇小学校へ逃げるのか、これは例1に乗り換えるということになります。そんな判断ができるようになります。 ・そう考えると、例1でも例2でも「要する準備」となっていた「戸締り」については、共通です。で、6hの1つだけ書いておくというふうに、書き込んだ防災行動を調整することができます。 ・このように、一度防災行動を並べた後に「調整」を行うことで、より防災力が向上します。 ・調整の観点をもう一つ申し上げます。マイ・タイムラインの、今、皆さんに書き込んでいただいた欄の一つ左にグレーの矢印があります。この矢印は3つあり、それぞれ下から、「身の安全を確保すべき時期」、「水位等の状況を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期」、「雨風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期」となっています。ご自身の記入した防災行動が、どのよう行動かを確認していただき、調整してみてください。例えば、要する準備が外出を伴うものであれば、一番上の矢印の間に行うことが望ましいです。もし二つ目の矢印にかかっていた場合は、もう少し早めの時間に移動させるといった形になります。 ・そのほか、マイ・タイムライン作成のポイントをもう一つ左の黄色い欄に吹き出しで書いてあります。これも参考に考えてみましょう。 ・以上です。
11:45 ～ 11:50	マイ・タイムラインの充実	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・いかがでしょうか？少し応用編でした。一気にするのは難しいかもしれませんが、その場合は、ひとつずつやってみましょう。タイムラインの良いところは、続けられれば続けるほど、考えれば考えるほど、防災力が向上するところです。今日ですべてをやりたい必要はありません。では、今の説明を踏まえて、マイ・タイムラインを充実させましょう。グループで意見交換もお願いします。 ・5分程度経過時点で、声掛け マイ・タイムラインの意見交換

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
11:50 ～ 12:00		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・そろそろ、書けましたでしょうか？各グループで意見交換を始められそうでしょうか？それでは、グループリーダーさんよろしくお願いたします。まだ書いている方は書きながら結構です。
	意見交換	グループリーダー		<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換
12:00 ～ 12:25	全体発表	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。それでは、各グループのグループワークを共有したいと思います。各グループからお一人、マイ・タイムラインをお見せいただきたいと思います。そして、グループリーダーさんから、グループでの意見交換で出てきた意見などを共有していきたいと思えます。それでは、よろしくお願いたします。
				<p>(各グループ5分×3グループ)</p> <p>※まずは、マイ・タイムラインを一つ見せてもらう。それを画面で表示、里村が、それを確認しながら作成者にインタビュ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気にしたポイントはありますか？ ・避難の手段は、車ですか？徒歩ですか？ ・どなたと逃げるおつもりですか？ ・なにか、昨年の関東・東北豪雨の体験を踏まえて工夫したことなどありますか？ <p>※ここまで、2分で。</p> <p>※その後、グループリーダーへバトタッチし、3分程度で2度の意見交換内容を共有。</p>
		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。もう一度、皆さんに拍手をお願いします。 ・関係機関からご発言はありますか？ ・それでは、学識者の先生方からお一人ずつ講評をいただきます。
		白川先生 伊藤先生 川島先生		<ul style="list-style-type: none"> ・講評
12:25 ～ 12:30	8. とりまとめ	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・長時間お疲れ様でした。最後の議題のとりまとめです。資料3のアンケートを記入しながらお聞きください。 ・今日は、①斎藤課長から前回のおさらいを ②事務所から洪水時に得られる情報と読み解き方、そして ③斎藤課長からタイムラインの考え方について 説明をいただいた後に、休憩をはさんで、グループに分かれて、④洪水時の自らの行動を想定について、意見交換をしていただき、最後にマイ・タイムラインを作成していただきました。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
11:50 ～ 12:00		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ ということ、今日は、逃げ方を考えることができました。あとは、これをどのタイミングで、どんな時に、実行するのかを考えていただき、ご自身に合ったタイムライン作成していただきました。これを機会に、日頃から防災に対する意識を高めていただき、いざというときに困らないような行動と判断を身につけておきましょう。 ・ 最後にもう一度、ノートをお借りする件について、お願いさせていただきます。 ・ 第1回目の検討会でもご説明しましたが、このマイ・タイムライン検討会は、全国でも初めての取組で、この若宮戸と根新田の2地区をモデル地区として行っています。今後、この検討会を市内のみならず流域、さらには全国へ展開していくため、皆様がマイ・タイムラインを作られた後に、皆様のノートを一旦お借りしたいと思います。 ・ 本日、検討会が終わった後に、ご自宅でマイ・タイムラインを完成させていただき、机の上においてある茶色の封筒で事務局へお送りいただきたいと思っております。茶色の封筒の中には、もう一つ封筒が入っています。こちらは、事務局からの返信用封筒です。宛名に、ご自宅のご住所を書いて、同封願います。 ・ お忙しいところを恐縮ですが、2月12日までにポストへ投函していただきたくお願いいたします。 ・ 皆様のノートを参考に、全国へ広げるための「マニュアル・手引き書」を作りたいと思っております。よい「マニュアル」よい「手引き書」になるように、皆様のご協力をお願いいたします。
	閉会	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2回にわたり、ありがとうございました。 ・ でもこれで終わりというわけではありません。常総市さん、下館河川事務所をはじめ、協議会の関係機関も、学識者の先生方も、この若宮戸地区が安全な地区になるように、引き続き、住民の皆様と取り組んでまいりたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

参考資料 3-2-5

第 2 回若宮戸地区マイ・タイムライン検討会 スライド

携帯電話やスマートフォンをお持ちの方は、
会場内では**マナーモード**に切り替え、
通話はお控えください。

お手元の**名札**に名前を書いてください。

机の上にノートの**34ページ**と**40ページ**が
置いてありますので、**差し替えてください**。

差し替えたページは、そのまま机の上に
置いといてください。

検討会終了後、スタッフが片付けます。

～みんなでタイムラインプロジェクト～
第2回 マイ・タイムライン検討会
若宮戸地区

平成29年2月5日
常総市立玉小学校

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

開 会

須藤 一徳

常総市市民生活部長

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

本日の進め方

1. 開会
2. 本日の進め方
3. 前回のおさらい
4. 洪水時に得られる情報と読み解き方について
休憩
5. タイムラインの考え方について
6. 洪水時の自らの行動を想定について
意見交換
全体発表
休憩
7. マイ・タイムラインの作成
意見交換
全体発表
8. とりまとめ
9. 閉会

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

前回のおさらい

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

第1回検討会で実施した内容

第1回検討会で実施した内容

各段階のテーマ	項目	ページ
【STEP1】 ・自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る	はじめに	1
	1.地区の特性	2~3
	2.過去の洪水から学ぶ	4~5
	3.地形の特徴から学ぶ	6~9
	4.最近の雨の降り方と傾向	10~11
【STEP2】 ・洪水時に得られる情報を知る ・タイムラインの考え方を知る	5.「想定最大規模の雨」で鬼怒川が氾濫したら	12~21
	6.洪水時に得られる情報と読み解き方	22~25
	7.タイムラインの考え方	26~29
【STEP3】 ・マイ・タイムラインの作成	8.洪水時の自らの行動を想定	30~37
	9.マイ・タイムラインの作成	38~40

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

ノートの修正のお願い（4ページ）

2.過去の洪水から学ぶ

STEP1

知る

キーワード

堤防決壊

氾濫

■鬼怒川・小貝川で堤防が決壊した場所
平成27年9月関東・東北豪雨以前にも堤防が決壊しています。
同時に複数の地点で決壊することもあります。

鬼怒川	小貝川
常総市 高野 昭和13年7月	つくばみらい市 神砂 昭和2年9月
さくら市 大中 昭和13年9月	龍ヶ崎市 大留町 昭和10年9月
真岡市 大湫泉 昭和24年9月	下館市 柳原 昭和13年7月
さくら市 大中 昭和24年9月	龍ヶ崎市 小通幸谷町 昭和16年7月
宇都宮市 下小倉町 昭和24年9月	取手市 大留 昭和25年9月
	龍ヶ崎市 大留町 昭和56年8月
	筑西市 赤浜 昭和61年8月
	常総市 本豊田 昭和61年8月



■平成27年9月 関東・東北豪雨の浸水範囲
常総市上三坂地先の堤防決壊や若宮戸地先の溢水等により、常総市の約1/3の面積に相当する約40km²が浸水しました。



みんなでタイムラインプロジェクト

4

×下館市

○下妻市

つくばみらい市 神砂	昭和2年9月
龍ヶ崎市 大留町	昭和10年9月
下館市 柳原	昭和13年7月
龍ヶ崎市 小通幸谷町	昭和16年7月
取手市 大留	昭和25年9月
龍ヶ崎市 大留町	昭和56年8月
筑西市 赤浜	昭和61年8月
常総市 本豊田	昭和61年8月

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

ノートの修正のお願い（10ページ）

4.最近の雨の降り方と傾向

STEP 1

知る

キーワード

線状降水帯

集中豪雨

■洪水をもたらす線状降水帯

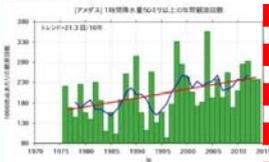
平成27年9月の関東・東北豪雨では、鬼怒川流域上に線状降水帯が発生し、洪水をもたらしました。



出典：「平成27年9月関東・東北豪雨」に係る洪水被害及び復旧状況等について

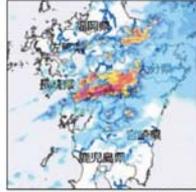
■頻発する集中豪雨

1時間降水量50mm以上の発生回数は年々増加しています。



■梅雨前線による大雨（熊本）

平成28年6月19日から23日にかけての大雨は、熊本県佐用町で1時間に150mmの雨を降らせました。



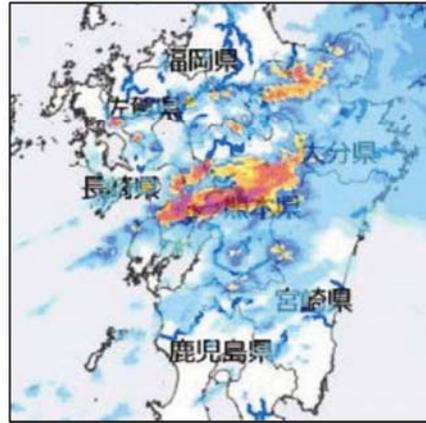
みんなでタイムラインプロジェクト

10

× 佐用町
○ 甲佐町

■梅雨前線による大雨（熊本）

平成28年6月19日から23日にかけての大雨は、熊本県佐用町で1時間に150mmの雨を降らせました。



15

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

洪水時に得られる情報と読み解き方

お手元の

「マイ・タイムラインノート」を

ご覧ください

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

タイムラインの考え方

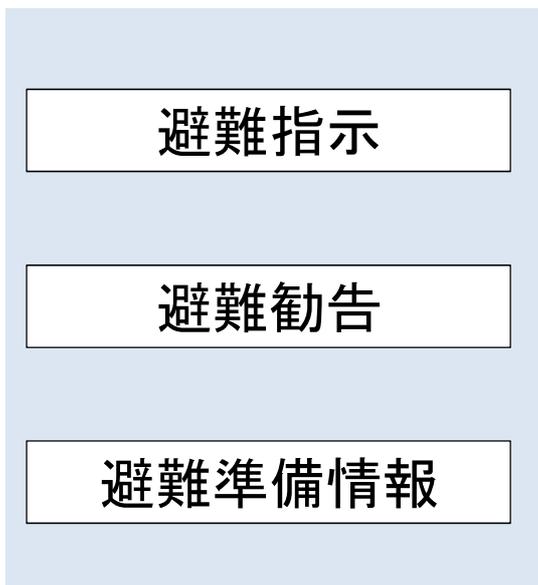
お手元の

「マイ・タイムラインノート」をご覧ください

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

タイムラインの考え方

(変更前)



(変更後)



鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

休憩(5分)

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

洪水時の自らの行動を想定

お手元の

「マイ・タイムラインノート」をご覧

ください

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

ビデオ放映

スクリーンをご覧ください

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

意見交換

全体発表

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

講 評

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

休憩(10分)

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

マイ・タイムラインの作成

お手元の

「マイ・タイムラインノート」を

ご覧ください

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

避難の方法



避難の方法と必要となる準備を記入してみましょう。早めの避難の完了を目指しましょう。

避難の方法	場所 又は 住所	手段	① 避難を完了 したい時刻	② 移動に 要する時間	要する準備
(例1) 指定の避難所	〇〇小学校	徒歩	3時間前	30分	持ち出し品 戸締り
(例2) 遠くの親戚	△△市	自家用車	4時間前	60分	祖父の薬 戸締り
自宅					
指定 避難所					
市内の高台					
遠くの 親戚					
その他 (職場など)					

気づく

みんなでタイムラインプロジェクト

避難のタイミングの整理



34ページで書いた時間を参考に整理していきましょう。一番下の①から時間をさかのぼってかいてみましょう。

(例1) 避難の場所 〇〇小学校

要する準備

- 持ち出し品
- 戸締り

③ 避難場所へ移動を開始する時刻 4 時間前 (①+②)

② 要する時間 30 分

① 避難を完了したい時刻 3 時間前

(例2) 避難の場所 △△市(遠くの親戚)

要する準備

- 祖父の薬
- 戸締り

③ 避難場所へ移動を開始する時刻 5 時間前 (①+②)

② 要する時間 60 分

① 避難を完了したい時刻 4 時間前

避難の場所

要する準備

③ 避難場所へ移動を開始する時刻 [] 時間前 (①+②)

② 要する時間 (移動時間) [] 分

① 避難を完了したい時刻 [] 時間前

避難の場所

要する準備

③ 避難場所へ移動を開始する時刻 [] 時間前 (①+②)

② 要する時間 (移動時間) [] 分

① 避難を完了したい時刻 [] 時間前



(例1) 〇〇小学校

戸締りの確認
(倉庫も忘れずに！！)

〇〇小学校への避難開始
(倉庫も忘れずに！！)

〇〇小学校への避難完了

(例2) 遠くの親戚

戸締りの確認
(倉庫も忘れずに！！)

遠くの親戚への避難開始

遠くの親戚への避難完了

意見交換

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

全体発表

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

講 評

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

とりまとめ

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

アンケートへのご協力をお願いします。

回収ボックスを受付に準備しておりますので、記入後のアンケート用紙を入れてください。

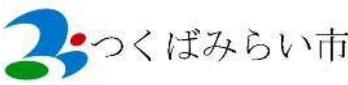
貸出ししている**筆記用具、名札**も合わせて返却をお願いします。

『マイ・タイムラインノート』の送付
(2月12日まで)にご協力をお願いいたします。

参考資料 4-1-1

第1回根新田地区マイ・タイムライン検討会

記者発表資料



国土交通省関東地方整備局
気象庁・国土地理院
茨城県 龍ヶ崎市
下妻市 常総市
取手市 つくば市
守谷市 筑西市
つくばみらい市 八千代町

記者発表資料

みんなでタイムラインプロジェクトが本格始動

～ モデル地区の常総市根新田地区において第1回目の検討会を開催します ～

市町、県、国で構成する鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会が、逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確かな避難行動に向けて準備を進めてきた「みんなでタイムラインプロジェクト」が本格始動します。

今年度モデル地区として選定した常総市根新田地区において、**地区の住民が参画して一人ひとりの環境にあったマイ・タイムラインを自ら検討・作成**する「第1回 常総市マイ・タイムライン検討会（根新田地区）」を開催します。

1. 対象地区

常総市根新田地区

2. 開催日時

平成28年11月20日(日) 10:00～12:00

3. 開催場所

茨城県常総市中妻町 根新田会館

開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線中妻駅 徒歩10分（別添地図参照）

4. 議事（予定）

自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る

5. 公開等

- ・検討会は、報道機関を通じて公開いたします。
- ・カメラ撮り等は可能です。
- ・その他、取材に関する詳細は、別添資料をご覧ください。

※ もう一つのモデル地区（若宮戸地区）では27日に開催予定です。後日、あらためてお知らせします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、
栃木県政記者クラブ、筑西市記者クラブ、宇都宮市政記者クラブ、取手記者会
筑波研究学園都市記者会、龍ヶ崎記者会、つくば市記者会

問い合わせ先

常総市 市民生活部 安全安心課

斎藤課長、溝上危機管理監（TEL：0297-23-2111）

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所

須藤副所長（TEL：0296-25-2161）、伊藤調査課長（TEL：0296-25-2171）

第1回 常総市マイ・タイムライン検討会（根新田地区）の 開催について（報道の方へ）

標記検討会について下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

記

1. 開催日時

平成28年11月20日（日） 10:00～12:00（予定）

2. 開催場所

茨城県常総市中妻町 根新田会館

開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線中妻駅 徒歩10分（別添地図参照）

3. 会議の公開

- 会議は、報道機関を通じて公開いたします。
- カメラ撮り等は可能です。

4. 報道関係者の受付

- 受付日時 平成28年11月20日（日） 9:30～10:00まで
- 受付場所 茨城県常総市中妻町 根新田会館前
- 事前の登録が必要です。別添登録様式にご記入の上、平成28年11月17日（木）12:00までに、様式の送付先に送ってください。
- 当日、受付にて必要事項を記入の後、係員の指示により会場へ入場をお願いします。
- スペースが限られているため、机や椅子が不足する事態もあり得ますが、ご理解ください。
- 当日は、受付にて「受付証」をお渡ししますので着用をお願いします。なお、お帰りの際に係員へ返却下さい。

5. 取材に当たっての注意事項

取材に当たっては、以下の注意事項をご確認いただき、その遵守へのご協力をお願いします。

- 事務局の指定した場所以外での撮影、取材は、ご遠慮ください。
- 傍聴席でのPC等の使用は、議事や他の傍聴者の迷惑にならない限り可能です。
- 取材に必要な電源は、各社（各自）にてご用意下さい。
- 携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切り下さい。
- 会場では、発言、私語、談論、拍手等を行わないで下さい。
- プラカードを掲げたり、はちまき、腕章の類を付けたり、ビラ等の配布を行わないで下さい。
- 会場での飲食及び喫煙はご遠慮下さい。
- 事故防止の観点から、取材に当たっては節度ある行動をお願いします。
- 手荷物・貴重品等の管理は各自にてお願いします。
- 会議の円滑な進行のため、係員の誘導、指示に従って下さい。
- 上記の他、会議の進行を妨げたり、会場の秩序を乱す行為をしないで下さい。

■茨城県常総市中妻町 根新田会館

最寄り駅：関東鉄道常総線中妻駅 徒歩10分です。

※駐車場の台数には限りがありますので、来場の際はできるだけ公共交通機関をご利用下さい。



YAHOO! JAPAN 地図 <http://map.yahoo.co.jp/> より

案内図

事前登録書

平成28年11月20日（日）の「第1回 常総市マイ・タイムライン検討会（根新田地区）」につきまして、取材を希望される報道機関におかれましては、事前に登録をお願いします。

開催場所は、一般的な自治区の会館となります。駐車台数が非常に少なく限りがあるため、見学をご遠慮いただく場合があります。来場の際はできるだけ公共交通機関をご利用下さい。

FAX送信期限：平成28年11月17日（木）12：00まで

1. 報道機関名 _____

2. 氏名等

ご氏名 (代表者のみ)	連絡先 (電話番号)	メールアドレス	人数 (代表者含む)	車台数

3. 送付先 FAX：0296-25-3019

4. 事前登録に関する問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所 調査課長 伊藤 克雄

TEL：0296-25-2171

参考資料 4-1-2

第1回根新田地区マイ・タイムライン検討会

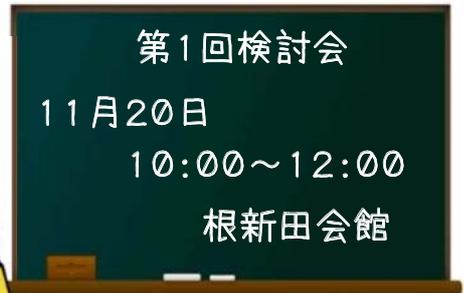
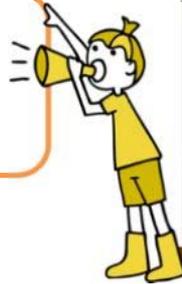
会議配布資料

本日のスケジュール

資料1

1. 開会
2. 趣旨説明
3. 各機関の取り組み紹介
4. 鬼怒川緊急対策プロジェクトについて

逃げおくれのない
地区にしよう！！



休 憩

5. 根新田地区の取り組みについて(ビデオ放映)
6. 検討会の進め方について
7. 自分たちの住んでいる地区について

意見交換

8. 洪水のリスクについて
- 意見交換

みんなで意識を高め、
鬼怒川の洪水に
そなえましょう。



9. とりまとめ
10. 閉会

「水防災意識社会」の再構築を目指します。

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

みんなでタイムラインプロジェクト

第1回マイ・タイムライン検討会 根新田地区検討会 参加者

資料2

機関名	部名・課名	役職	氏名	備考
根新田地区	根新田	自治区	住民	自治区長 鈴木孝八郎
学識者	筑波大学システム情報系社会工学域	教授	川島宏一	(学生2名)
	茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科	教授	伊藤哲司	
	筑波大学システム情報系構造エネルギー工学域	准教授	白川直樹	
常総市	市長		神達 岳志	
	市民生活部	部長	須藤 一徳	
	市民生活部安全安心課	課長	斎藤 健司	
	市民生活部安全安心課	防災・危機管理室長	溝上 博	
	市民生活部安全安心課	課長補佐	小林 弘	
	都市建設部建設課	課長	石塚 茂彦	
常総警察署	警備課	課長	清水 健吾	
常総地方広域市町村圏事務組合消防本部	水海道消防署	副署長	山田 修	
茨城県	生活環境部 防災・危機管理局 防災・危機管理課	係長	小林 毅史	
	土木部 河川課鬼怒川流域緊急対策推進室	室長代理	栗林 俊一	
水戸気象台		水害対策気象官	金内 正文	
国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所		所長	里村 真吾	
		副所長	須藤 純一	
	調査課	調査課長	伊藤 克雄	
		専門員	平出 亮輔	

常総市マイ・タイムライン検討会規約（案）

（名称）

第1条 この会議は、「常総市 マイ・タイムライン検討会」（以下「検討会」という。）と称する。

（目的）

第2条 検討会は、常総市において、住民一人ひとりが 自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、いわば「自分の逃げ方」を手に入れることを目的として、市役所のサポートの下でそれぞれの環境に合ったマイ・タイムラインを自ら検討する場として設置する。

（検討会の構成）

第3条 検討会は、別表1をもって構成する。

2 検討会の運営、進行及び招集は事務局が行う。

3 検討会は、住民一人ひとりが参画し、それぞれの環境に合ったマイ・タイムラインを自ら検討する。

（運営会議の構成）

第4条 検討会に運営会議を置く。

2 運営会議は、別表2をもって構成する。

3 運営会議の運営、進行及び招集は事務局が行う。

4 運営会議は、検討会の円滑な運営のために必要な諸事項等を調整・決定することを目的とする。

（公開・傍聴）

第5条 検討会は、原則として報道機関を通じて公開とする。ただし、内容によっては、運営会議に諮り、非公開とすることができる。

2 運営会議は、原則非公開とする。なお、運営会議の調整の結果を検討会の資料として使用することで公開と見なす。

3 傍聴に関しては、必要な事項を別途定めるものとする。

（検討会資料等の公表）

第6条 検討会で使用した資料等については速やかに公表するものとする。ただし、個人情報等で公表することが適切でない資料等については公表しないものとする。

（事務局）

第7条 検討会及び運営会議の庶務を行うため、事務局を置く。

2 事務局は、常総市、関東地方整備局下館河川事務所で行う。

(モデル地区)

第8条 平成28年度は、モデル地区を若宮戸地区、根新田地区の2箇所とする。

(雑則)

第9条 この規約に定めるもののほか、検討会の議事の手続きその他運営に関し必要な事項については、運営会議で定めるものとする。

(附則)

第10条 本規約は、平成28年11月13日から施行する。

別表 1

住民

若宮戸地区、根新田地区の住民

関係機関

常総市

常総警察署

茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部 下妻消防署 石下分署

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部 水海道消防署

茨城県 生活環境部

茨城県 土木部

気象庁 水戸地方气象台

関東地方整備局 下館河川事務所

学識者

筑波大学システム情報系社会工学域 川島宏一 教授

茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科 伊藤哲司 教授

筑波大学院システム情報系構造エネルギー工学域 白川直樹 准教授

別表 2

住民

若宮戸地区 自治区長

根新田地区 自治区長

関係機関

常総市 市民生活部

常総市 都市建設部

常総市 保健福祉部

常総警察署

茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部 下妻消防署 石下分署

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部 水海道消防署

茨城県 生活環境部 防災・危機管理課

茨城県 土木部 河川課

気象庁 水戸地方气象台

関東地方整備局 下館河川事務所

学識者

筑波大学システム情報系社会工学域 川島宏一 教授

茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科 伊藤哲司 教授

筑波大学院システム情報系構造エネルギー工学域 白川直樹 准教授

学識者のプロフィール

川島宏一

筑波大学システム情報系社会工学域教授

●専門分野

自治体経営、データによる地域課題の解決

●経歴

- 1984.4 国土交通省（建築基準、宅地開発、公共施設整備）（-2003.6）
- 1991.8 インドネシア共和国住宅担当国務大臣府（アドバイザー）（-1992.8）
- 1994.9 北九州市（都市計画局開発部長）（-1997.7）
- 1998.6 世界銀行（上席都市専門官など）（-2006.3）
- 2006.3 佐賀県（最高情報統括監（CIO））（-2011.3）
- 2012.8 （株）公共イノベーション（代表取締役）（-2015.3）
- 2015.4 筑波大学大学院システム情報工学系教授

●委員会等経歴（現在就任中のものから抜粋）

- 2016.2 水戸市都市計画審議会会長
- 2016.4 国土交通省 G空間基本計画に関する官民勉強会委員
- 2016.10 内閣官房 データ流通環境整備検討会オープンデータ WG 構成員

●常総市との関わり

- 2015 常総市復興ビジョン懇話会委員
- 2015 常総市水害対策検証委員会委員長
- 2016 常総市復興計画策定委員会委員

●検討会に向けてひとこと

2015.9 関東・東北豪雨で甚大な被害を受けた鬼怒川・小貝川地域から「みんなでタイムラインプロジェクト」という日本のこれからの防災活動をリードする取り組みがスタートすることを大変嬉しく思います。関係する地域にお住いの皆様との議論が実り多いものとなるよう貢献したいと考えております。

伊藤哲司

茨城大学 人文学部人文コミュニケーション学科 教授
地球変動適応科学研究機関 機関長

●専門分野

社会心理学、サステナビリティ学

●経歴

1993. 4 茨城大学人文学部講師

1995 博士（心理学）取得（名古屋大学）

1996. 4 茨城大学人文学部助教授

1998. 5～1999. 2 文部省在外研究員としてベトナム・ハノイ滞在

2006. 4 茨城大学人文学部教授 現在に至る

2014. 9 茨城大学地球変動適応科学研究機関機関長 現在に至る

●委員会等経歴

2016. 3 守谷市まちづくり検討委員会委員

●常総市との関わり

2015 常総市復興ビジョン懇話会アドバイザー

2015 常総市水害対策検証委員会委員

2016 常総市復興計画策定委員会アドバイザー

2015年9月に発生した水害以前は、常総市とはほとんど関わりがありませんでした。この水害の直後に茨城大学で調査団を立ち上げ、自ら団長になり、また学生にも働きかけてボランティア活動を促してきました。2016年9月1日には、常総市の小中学校12校に20名の学生を派遣し、防災ゲーム「クロスロード」を実施し好評を得ました。この災害がきっかけとなった常総市の方たちとの縁を、これからも大事にしていきたいと思っています。

●検討会に向けてひとこと

もともと災害研究の専門家ではないのですが、インド洋大津波、東日本大震災、熊本地震などの被災地を歩いてきました。被災の経験はみな個別的ですが、ということは、これから予想される災害で、個々人の状況に合わせた備えをしておくことはとても重要であります。今回のプロジェクトが画期的なものになるよう、微力ではありますが前向きに取り組ませていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

白川直樹

筑波大学システム情報系（構造エネルギー工学域）准教授

●専門分野

河川工学

●経歴

1998.4 東京大学工学部助手

2003.9 筑波大学機能工学系講師

2010.4 筑波大学システム情報系准教授

●委員会等経歴

2004 国土交通省 河川水辺の国勢調査アドバイザーグループ委員

2005 環境省 公共事業と環境政策のあり方に関する懇談会委員

2009 アジア河川・流域再生ネットワーク技術委員

2013 つくば市上下水道審議会委員

2015 国土交通省 関東地方河川技術懇談会委員

●常総市との関わり

2015 常総市復興ビジョン懇話会委員

2015 常総市水害対策検証委員会委員

2016 常総市復興計画策定委員会委員

●検討会に向けてひとこと

災害発生時に自分の身を守り周りの人を助けるには、ふだんから相手を知ることが重要です。相手とは災害（洪水なら川）であり、助ける人（家族や隣人）であり、自分自身でもあります。たいへんな水害を経験された皆様だからこそ、その貴重な体験に基づいた日本最先端の災害対策を考えることができます。少しでも地域の安全を高めるお手伝いできれば幸いです。

各機関の取り組み紹介

水戸地方気象台について

みんなでタイムラインプロジェクト

水戸地方気象台

かねうち まさふみ

水害対策気象官 金内 正文

水戸市金町1-4-6

029-224-1106

kaneuchi@met.kishou.go.jp

気象庁「防災情報」のページ

防災情報

気象

- ▶ [気象警報・注意報](#)
- ▶ [気象情報](#)
- ▶ [台風情報](#)
- ▶ [指定河川洪水予報](#)
- ▶ [土砂災害警戒情報](#)
- ▶ [土砂災害警戒判定メッシュ情報](#)
- ▶ [竜巻注意情報](#)
- ▶ [レーダー・ナウキャスト\(降水・雷・竜巻\)](#)
- ▶ [高解像度降水ナウキャスト](#)
- ▶ [解析雨量・降水短時間予報](#)

地震・津波

- ▶ [津波警報・注意報、津波情報、津波予報](#)
- ▶ [地震情報](#)
- ▶ [推計震度分布図](#)
- ▶ [長周期地震動に関する観測情報](#)
- ▶ [東海地震関連情報](#)

火山

- ▶ [噴火警報・予報 表/図](#)
- ▶ [火山の状況に関する解説情報](#)
- ▶ [噴火速報](#)
- ▶ [降灰予報](#)
- ▶ [火山現象に関する海上警報](#)
- ▶ [火山ガス予報](#)

海洋

- ▶ [海上警報](#)
- ▶ [海上予報/地方海上分布予報](#)
- ▶ [沿岸波浪 実況図/予想図](#)
- ▶ [潮位観測情報](#)
- ▶ [波浪観測情報](#)

天気予報など

- ▶ [天気予報/分布予報/時系列予報](#)
- ▶ [天気図\(実況・予想\)](#)
- ▶ [週間天気予報](#)
- ▶ [異常天候早期警戒情報](#)
- ▶ [季節予報](#)

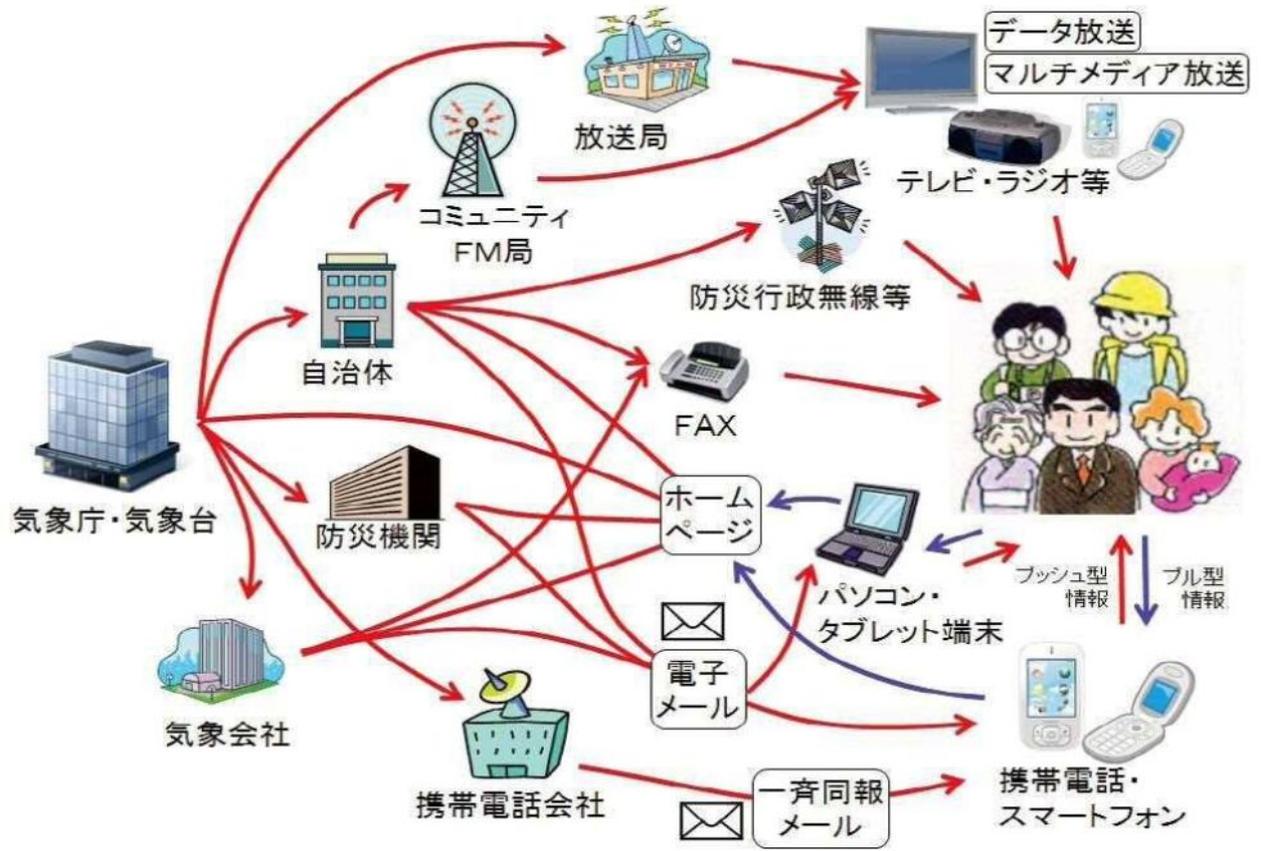
気象に関する観測情報

- ▶ [気象衛星 30分ごと/2.5分ごと](#)
- ▶ [アメダス 地図形式/表形式](#)
- ▶ [推計気象分布](#)
- ▶ [空港の気象](#)
- ▶ [ウィンドプロファイラ\(上空の風\)](#)

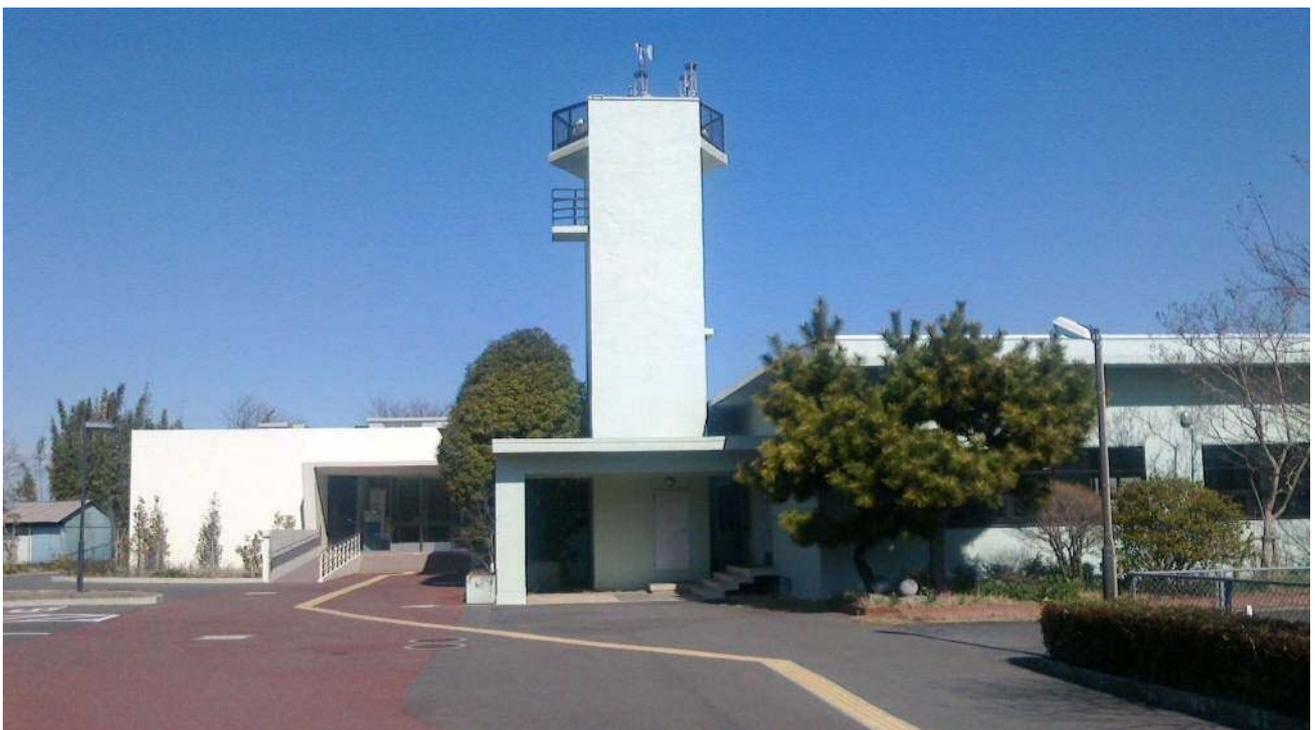
生活に役立つ情報

- ▶ [黄砂情報 実況図/予測図](#)
- ▶ [紫外線情報](#)

・ [気象情報サイトマップ\(更新頻度別\)](#)



住民への防災気象情報の伝達手段の例



水戸地方気象台

入場無料

お天気フェア2016

きょうだい
气象台ってどんなところ？

天気予報を作るところを
見てみよう！

電巻発生の実験
をやってみよう！

日時：平成28年8月6日（土）
10時から16時まで
(受付：～15時30分)

場所：水戸地方气象台
(水戸市金町1-4-6)

○气象台への交通
徒歩・・・水戸駅（北口）から約25分
バス・・・南町3丁目下車約7分
※公共交通機関をご利用下さい。

問い合わせ先：水戸地方气象台
(TEL: 029-224-1107)

主催：水戸地方气象台 共催：地磁気観測所
協力：日立市天気相談所、一般社団法人 日本気象予報士会
後援：一般財団法人 日本気象協会





出前講座（防災講演会）

（平成28年6月24日 日立市坂下地区コミュニティ推進会）



出前講座（避難訓練）

平成27年9月3日 城里町立七会小学校



出前講座（夏休み気象講座）

（平成28年8月2日～3日 ひたちなか市立中央図書館）

第1回マイ・タイムライン検討会に関するアンケートへのご協力をお願い

今後の取組みの参考とさせていただくため、皆様のご意見をお聞かせください。

1. 今回の検討会の内容は理解できましたか。

【地区の特性】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

【過去の洪水から学ぶ】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

【地形の特徴から学ぶ】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

【最近の雨の降り方と傾向】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

【「想定最大規模の雨」で鬼怒川が氾濫したら】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

2. 1. の質問で「分かりにくかった」、「全然分からなかった」と回答した方にお聞きします。特に分からなかった部分に対して、自由なご意見をお聞かせください。

→

3. 本日の検討会に参加して分かったことや気づいたこと、今後どのように役立ちそうか、自由にご意見をお聞かせください。

→

*ご自身のことをお尋ねします。差支えない範囲で、以下についてご回答ください

- お名前 () ■お住まい (地区 自治会)
- ご年齢 (10代未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上)
- ご職業 ()
- 家族構成 ()人 ※ペットを含まない人数を記入願います。
- 曾祖父・曾祖母 祖父・祖母 父・母 子供(中学生以上)
- 子供(中学生未満) 乳幼児 ペット ()
- 車の有無 有 ()台 無

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

根新田居住者の避難行動アンケート

本アンケートは、鬼怒川水害の際、根新田地区にいらした皆様が、どのような行動をとったかを把握し、今後のより効果的な防災対策に役立てるためのものです。お忙しい中恐縮でございますが、ご協力のほど、どうぞ宜しくお願い致します。

筑波大学システム情報系社会工学域 教授 川島 宏一

【問い合わせ先】筑波大学システム情報系社会工学域 鈴木大志

Email: s1311269@sk.tsukuba.ac.jp Tel: 080-5156-7113

問1 水害の際、あなたは、自力で避難をしましたか？ もしくは、他人に救助を求めましたか？

当てはまるものに数字に丸をつけてください。

1. 自力で避難（自宅2階退避し救助を求めなかった場合を含む）をした
2. 他人に救助（ヘリコプター、救命ボートなどによる救助を含む）を求めた

問2 各種メールサービス（ショートメッセージ、自治体配信、エリアメールを含む）の利用について伺います。

あなたは水害時に各種メールサービスを利用していましたか？当てはまるものに丸をつけてください。

1. はい
2. いいえ

問3 根新田地区において、あなたは日常で各種メールサービスをどの程度、利用されていますか？

最もあてはまる数字に丸をつけてください。

頻繁に利用する	多少利用する	どちらでもない	あまり利用しない	利用しない
5	4	3	2	1

問4 根新田地区において、あなたにとって、日常の各種メールサービスはどの程度、役に立っていますか？

あてはまる数字に丸をつけてください。

とても役に立っている	多少役に立っている	どちらでもない	あまり役に立ってない	役に立っていない
5	4	3	2	1

問5 水害時、各種メールサービスの内容には、“防災無線放送による避難勧告・指示”、“より安全な場所の位置やそこへの経路”を示唆する文面が伝達されましたが、これらの情報があなたの避難開始のきっかけとなりましたか？あてはまる数字に丸をつけてください。

なった	少しなった	どちらでもない	あまりなっていない	なっていない
5	4	3	2	1

問6 水害時、最も役に立った情報媒体は以下のうちどれですか？1つに丸をつけてください。

1. 各種メールサービス
2. ホームページ
3. テレビ
4. ラジオ
5. 近所の人や知人からの連絡
6. SNS (twitter, LINE, Facebook 等)
7. 防災無線の屋外スピーカー
8. 市や消防の広報車
9. インターネット上の川の水位情報
10. 川の様子を直接見に行った
11. 水防団、消防団からの声かけ
12. 行政からの電話、FAX
13. その他

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

◆第2回検討会

日 時： 1月29日（日） AM10:00～12:00

場 所： 常総市役所

◆第3回検討会

日 時： 2月19日（日） AM10:00～12:00

場 所： 常総市役所

マイ・タイムライン ノート

名前

河川名	鬼 怒 川
地区名	
自治会名	
続柄	名 前

家族全員を記入しましょう。



みんなでタイムラインプロジェクト

目次

各段階のテーマ	項目	ページ
【STEP 1】 ・自分たちの住んでいる 地区の洪水リスクを知る	はじめに	1
	1.地区の特性	2~3
	2.過去の洪水から学ぶ	4~5
	3.地形の特徴から学ぶ	6~9
	4.最近の雨の降り方と傾向	10~11
	5.「想定最大規模の雨」で 鬼怒川が氾濫したら	12~21
【STEP 2】 ・洪水時に得られる 情報を知る ・タイムラインの 考え方を知る	6.洪水時に得られる情報と読み 解き方	22~25
	7.タイムラインの考え方	26~29
	8.洪水時の自らの行動を想定	30~37
【STEP 3】 ・マイ・タイムラインの作成	9.マイ・タイムラインの作成	38~40

はじめに

STEP 1

■平成27年9月関東・東北豪雨の振り返り



あなたの行動を振り返っておきましょう。

①避難しましたか？

- 避難した
- 避難しようとしたが、できなかった
- 避難しなかった

②どこに避難しましたか？

③避難場所へ到着したのはいつですか？

また、家から避難所までどのくらいの時間がかかりました？

9月__日__時頃 かった時間_____分

④避難の準備を開始してから家を出るまでどのくらいの時間がかかりましたか？

_____時間_____分

⑤避難のきっかけは？

⑥避難に関して、平成27年9月関東・東北豪雨を経験して、覚えておきたいこと、学んだことや工夫したことがあれば、メモしておきましょう。

家財について・・・

1. 地区の特性

知る

■人口・高齢者の割合

メモ

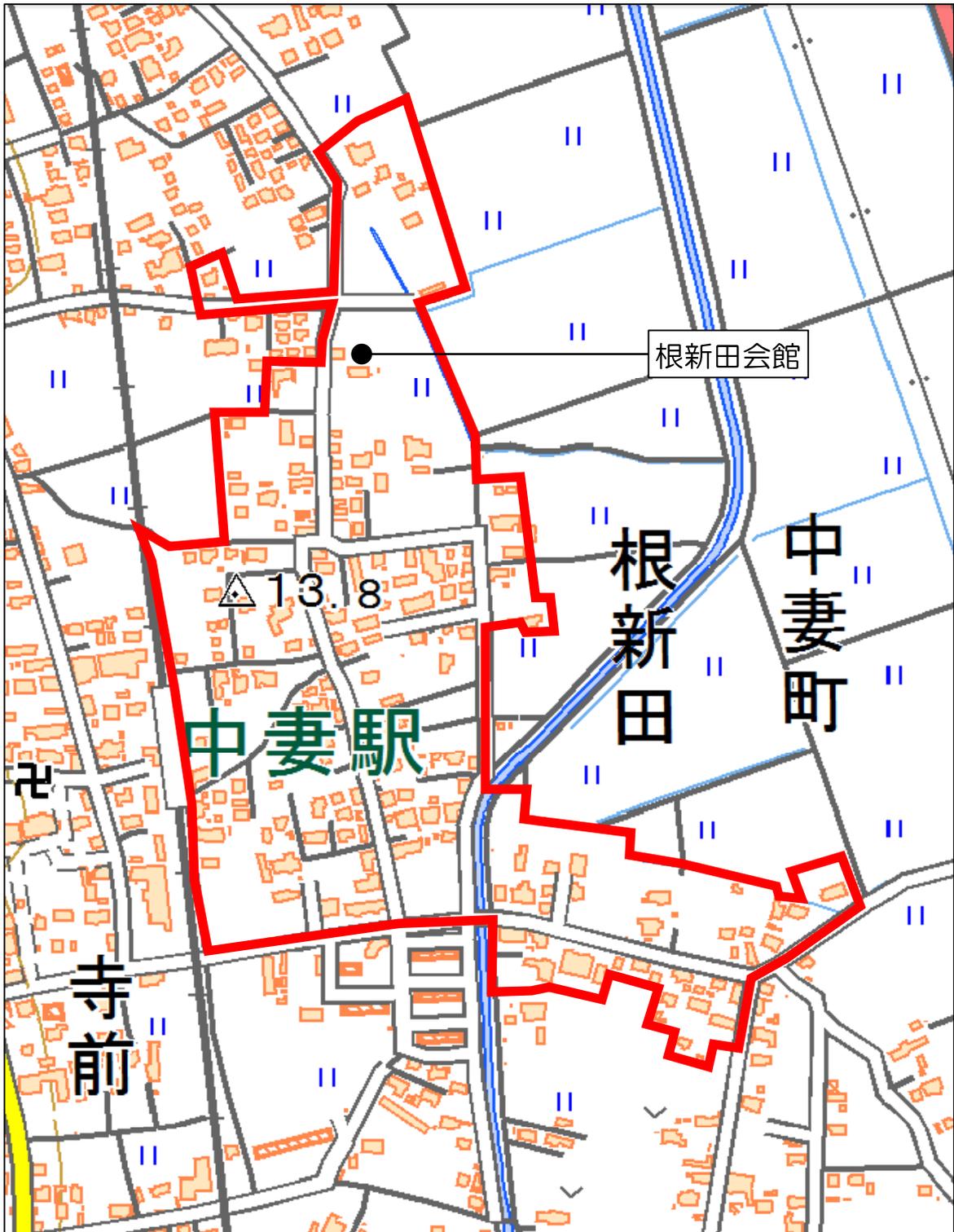
常総市の人口：	世帯数：
常総市の65歳以上人口の割合：	%
常総市の外国人人口の割合	：
	%
地区の人口：	世帯数：
地区の65歳以上人口の割合：	%
地区の外国人人口の割合	：
	%

■地区の位置・自宅の位置

図面1で、自宅の位置に○印を付けましょう。



気づく



出典：地理院地図 <https://maps.gsi.go.jp>

2.過去の洪水から学ぶ

知る

キーワード

堤防決壊

いっすい
溢水

■ 鬼怒川・小貝川で堤防が決壊した場所

平成27年9月関東・東北豪雨以前にも堤防が決壊しています。
同時に複数の地点で決壊することもあります。

鬼怒川	常総市 高野	昭和13年7月
	さくら市 大中	昭和13年9月
	真岡市 大道泉	昭和24年9月
	さくら市 大中	昭和24年9月
	宇都宮市 下小倉町	昭和24年9月

小貝川	つくばみらい市 押砂	昭和2年9月
	龍ヶ崎市 大留町	昭和10年9月
	下妻市 柳原	昭和13年7月
	龍ヶ崎市 小通幸谷町	昭和16年7月
	取手市 大留	昭和25年9月
	龍ヶ崎市 大留町	昭和56年8月
	筑西市 赤浜	昭和61年8月
	常総市 本豊田	昭和61年8月



(市町村は、現在の市町村名で表示しています)

■ 平成27年9月 関東・東北豪雨の浸水範囲

常総市上三坂地先の堤防決壊や若宮戸地先の溢水等により、常総市の約1/3の面積に相当する約40km²が浸水しました。



みんなでタイムラインプロジェクト

STEP 1

◇過去の洪水について他に知っていることがあれば、メモしておきましょう。

メモ

気づく

3.地形の特徴から学ぶ

知る

キーワード

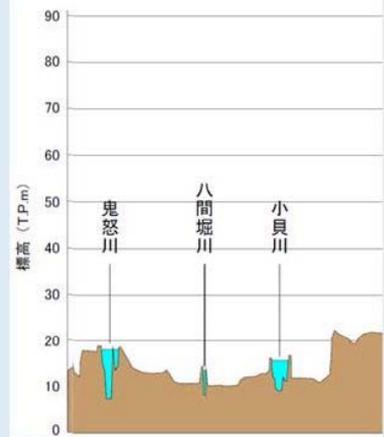
低い土地

旧河道

■ 鬼怒川と小貝川が流れる常総市



利根川との合流点から13km付近



江戸時代初期に、鬼怒川と小貝川を分離する事業がありました。川の流れを変えたことで、今では川のあったところはわかりにくくなりましたが、もともと自然に水が流れていた場所なので、土地が低く、水が集まりやすいことがわかります。

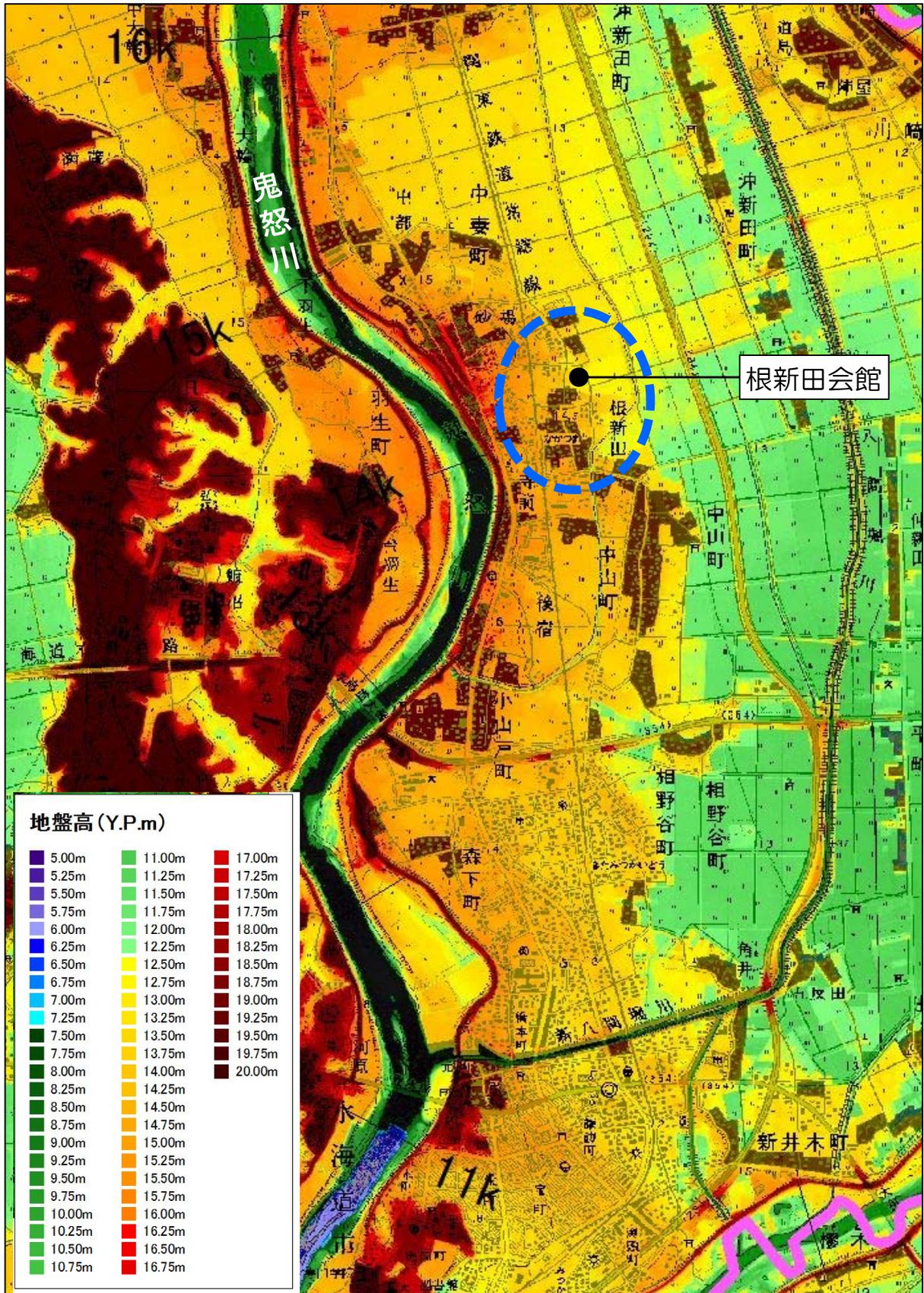
■ 地形（標高図）

周辺と比べて標高の低い場所は、水が集まりやすく、氾濫した場合、水位が高くなったり、流速が早くなりやすい場所です。

水は高いところから低いところへ流れます。
図面2で確認しましょう。



メモ



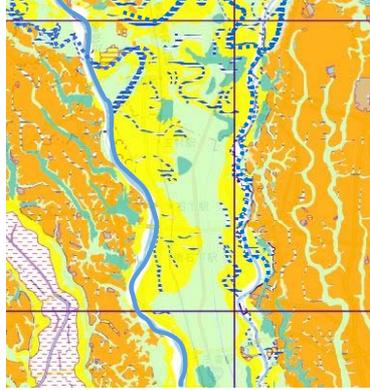
STEP 1



もっと詳しく知りたい

■地形（治水地形分類図） 出典：地理院地図（<https://maps.gsi.go.jp>）

昔、川が流れていた場所（旧河道）は、土地が低く、水が集まりやすいため注意が必要です。



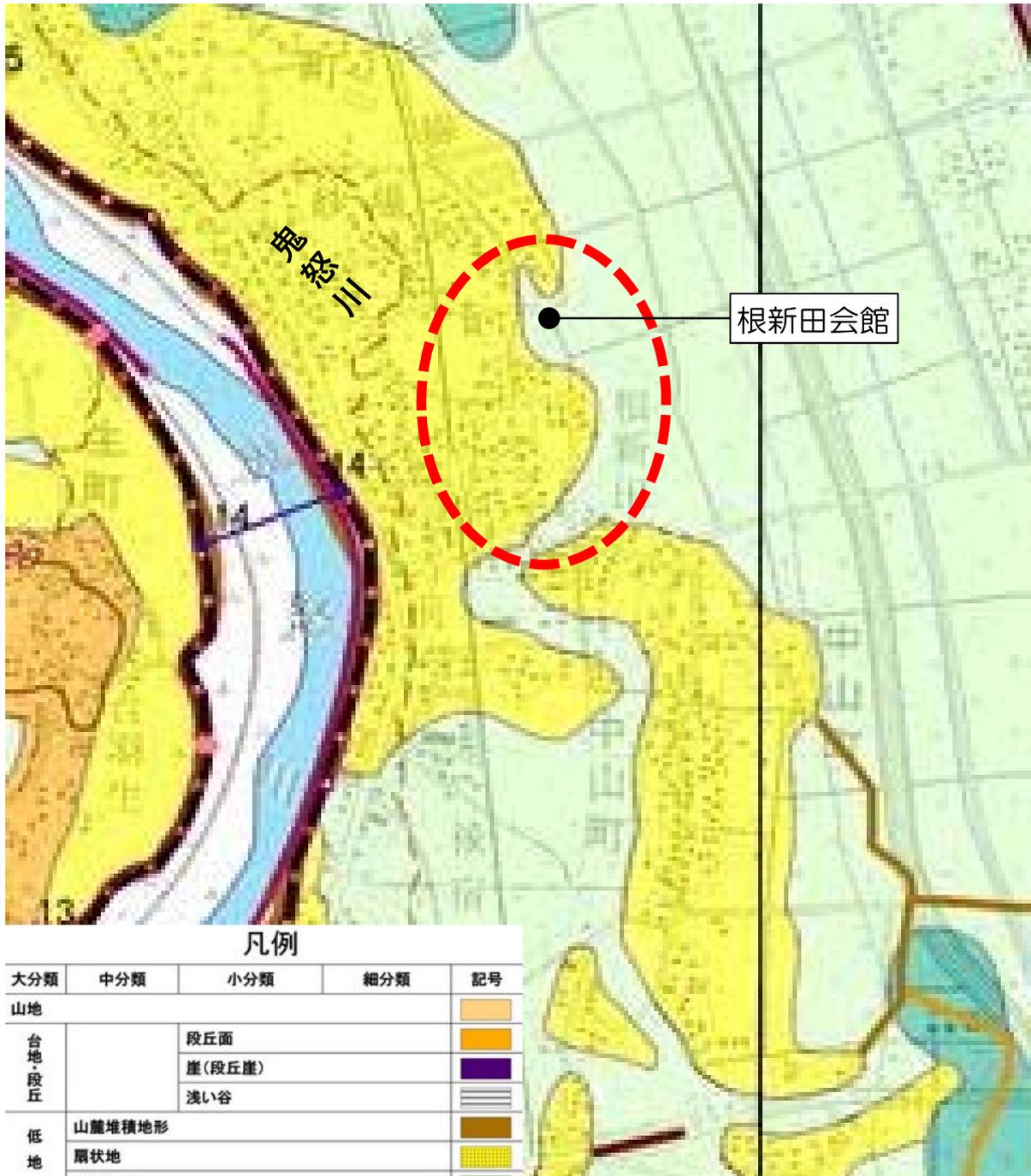
凡例

大分類	中分類	小分類	細分類	記号
山地				
台地・段丘		段丘面		
		崖（段丘崖）		
		浅い谷		
低地	山麓堆積地形			
		扇状地		
		氾濫平野		
		氾濫平野	後背湿地	
		扇状地	微高地（自然堤防）	
		氾濫平野	旧河道	
			旧河道（明瞭）	
			旧河道（不明瞭）	
			落堀	
		砂州・砂丘		



図面3で確認しましょう。

気づく



凡例

大分類	中分類	小分類	細分類	記号	
山地					
台地・段丘		段丘面			
		崖(段丘崖)			
		浅い谷			
低地	山麓堆積地形				
	扇状地				
	氾濫平野				
	氾濫平野	後背湿地			
	扇状地、 氾濫平野	微高地(自然堤防)			
		旧河道	旧河道(明瞭)		
	旧河道(不明瞭)				
		落堀			
	砂州・砂丘				

出典：地理院地図 <https://maps.gsi.go.jp>

4.最近の雨の降り方と傾向

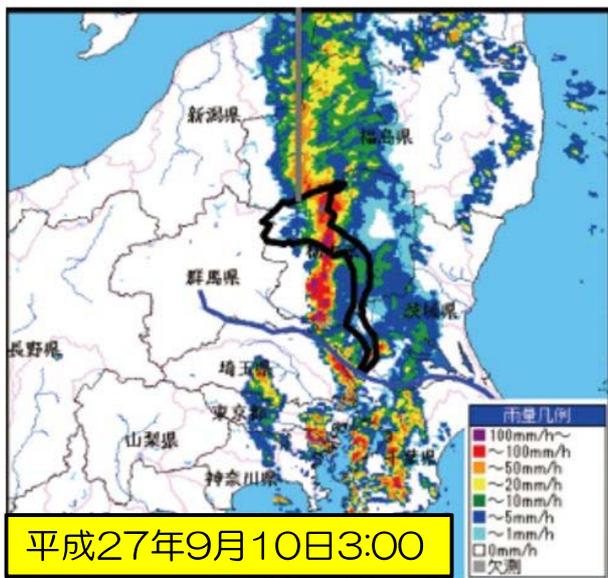
STEP 1

知る

キーワード 線状降水帯 集中豪雨

■洪水をもたらす線状降水帯

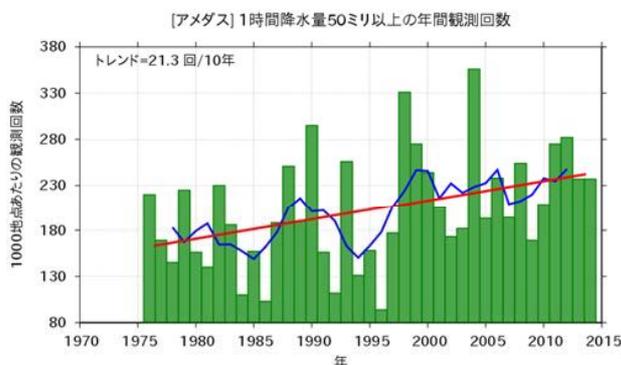
平成27年9月の関東・東北豪雨では、鬼怒川流域上に線状降水帯が発生し、洪水をもたらしました。



出典：「平成27年9月関東・東北豪雨」に係る洪水被害及び復旧状況等について

■頻発する集中豪雨

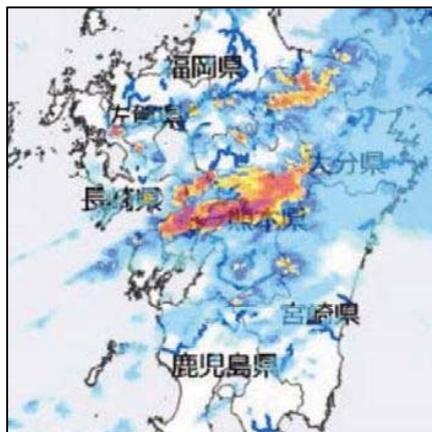
1時間降水量50mm以上の発生回数は年々増加しています。



出典：気象庁資料

■梅雨前線による大雨（熊本）

平成28年6月19日から23日にかけての大雨は、熊本県甲佐町で1時間に150mmの雨を降らせました。



出典：川の防災情報



もっと詳しく知りたい

■ 雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	人の受ける イメージ	人への影響	車に 乗っていて
10以上20未満 やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね 返りで足元がぬ れる	
20以上30未満 強い雨	どしゃ降り	傘をさしてい てもぬれる	ワイパーを早く しても見づらい
30以上50未満 激しい雨	バケツをひっくり 返した様に降る		高速走行時 車輪と路面の間 に水膜が生じて ブレーキが効か なくなる
50以上80未満 非常に 激しい雨	滝のように降る (ゴーゴーと降り 続く)	傘は全く役に立 たなくなる。	車の運転は危険
80以上 猛烈な雨	息苦しくなるよう な圧迫感がある。 恐怖を感じる		

出典：気象庁リーフレット「雨と風（雨と風の階級表）」を加工して作成

メモ

気づく

5. 「想定最大規模の雨」で鬼怒川が氾濫したら

知る

キーワード

浸水深

浸水継続時間

流速

家屋倒壊

到達時間

■ 想定最大規模の雨とは？

考えられる最大規模の雨です。鬼怒川では石井地点流域に、72時間総雨量669mmの雨を想定しています。

■ 洪水浸水想定区域図

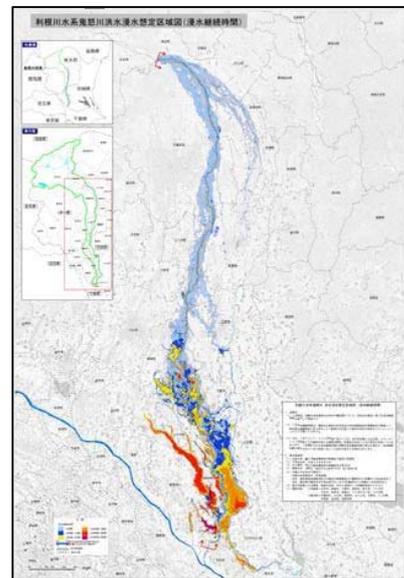
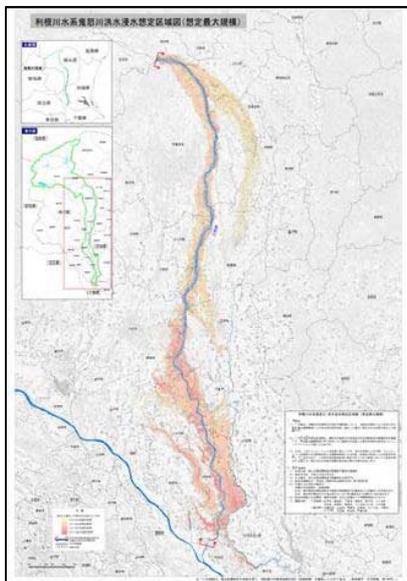
想定最大規模の雨が降って、堤防が決壊した場合の、氾濫水が広がる範囲や浸水深、浸水継続時間等をシミュレーションにより想定した図です。

○ 浸水範囲及び浸水深

どこまで水が広がるか、またその時の最大の深さを示した図です。

○ 浸水継続時間

氾濫してきた水が引くまでに、どのくらいの時間がかかるかを示した図です。



◆ 浸水深と建物の高さの関係



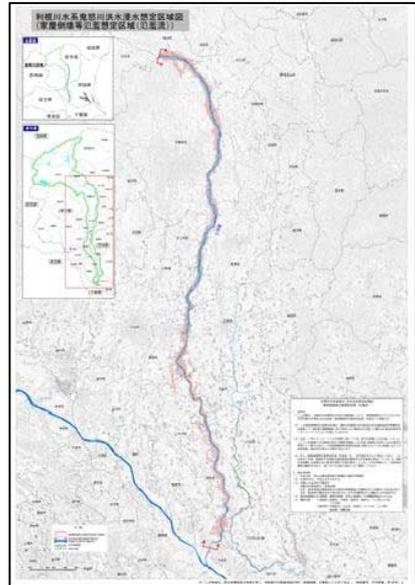
出典：下館河川事務所HP
(<http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate00003.html>)

○家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）

氾濫した水が、家などの建物を壊したりする可能性のある範囲を示した図です。

この区域では、立ち退き避難の判断が必要になります。

出典：下館河川事務所HP
<http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate00003.html>



図面4～6で確認しましょう。

◇あなたの住んでいる場所の浸水深は？

_____（図面4で確認しましょう）

◇あなたの住んでいる場所の浸水継続時間は？

_____（図面5で確認しましょう）

◇あなたの住んでいる場所は家屋倒壊等氾濫想定区域ですか？

はい いいえ （図面6で確認しましょう）



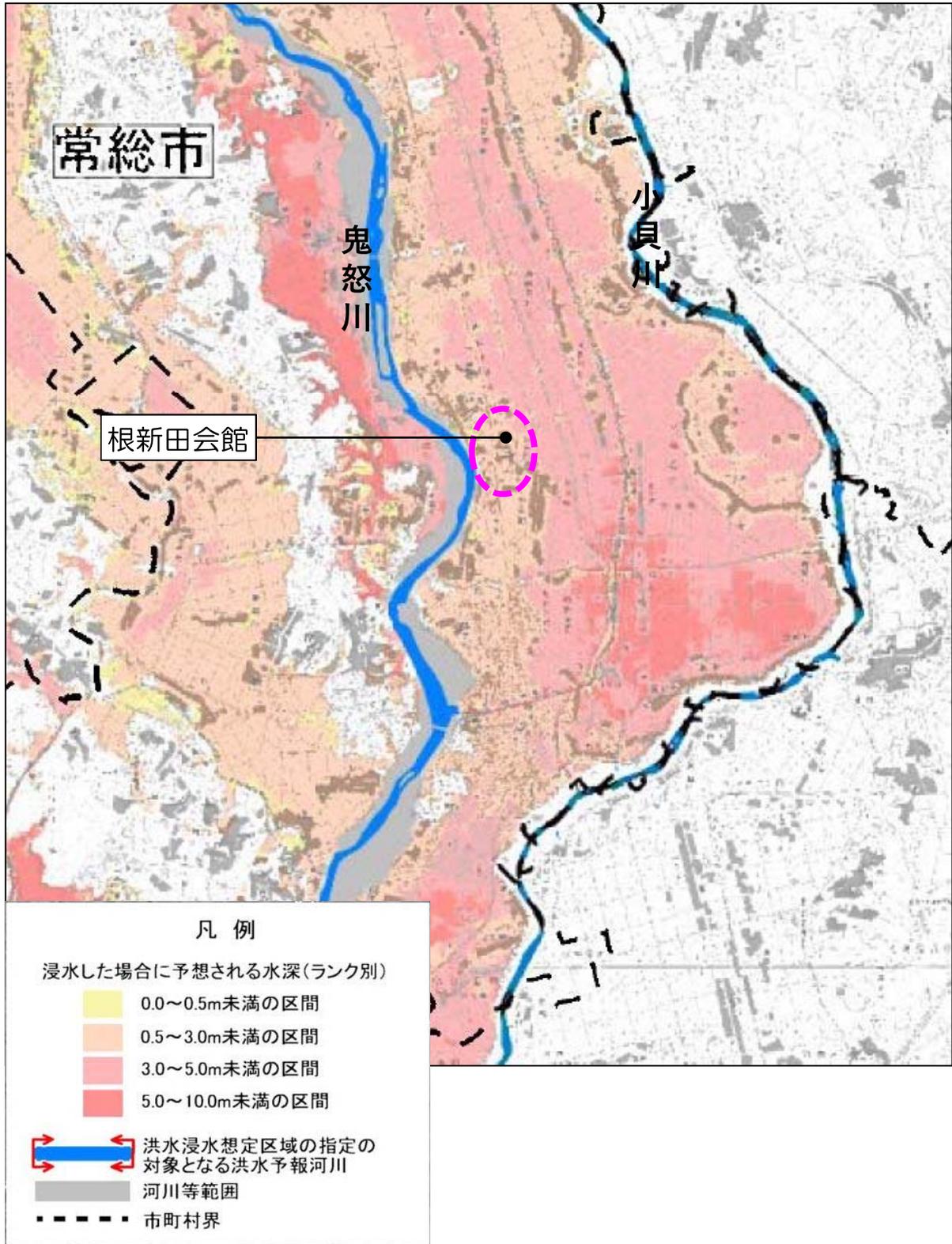
もっと詳しく知りたい

■流速

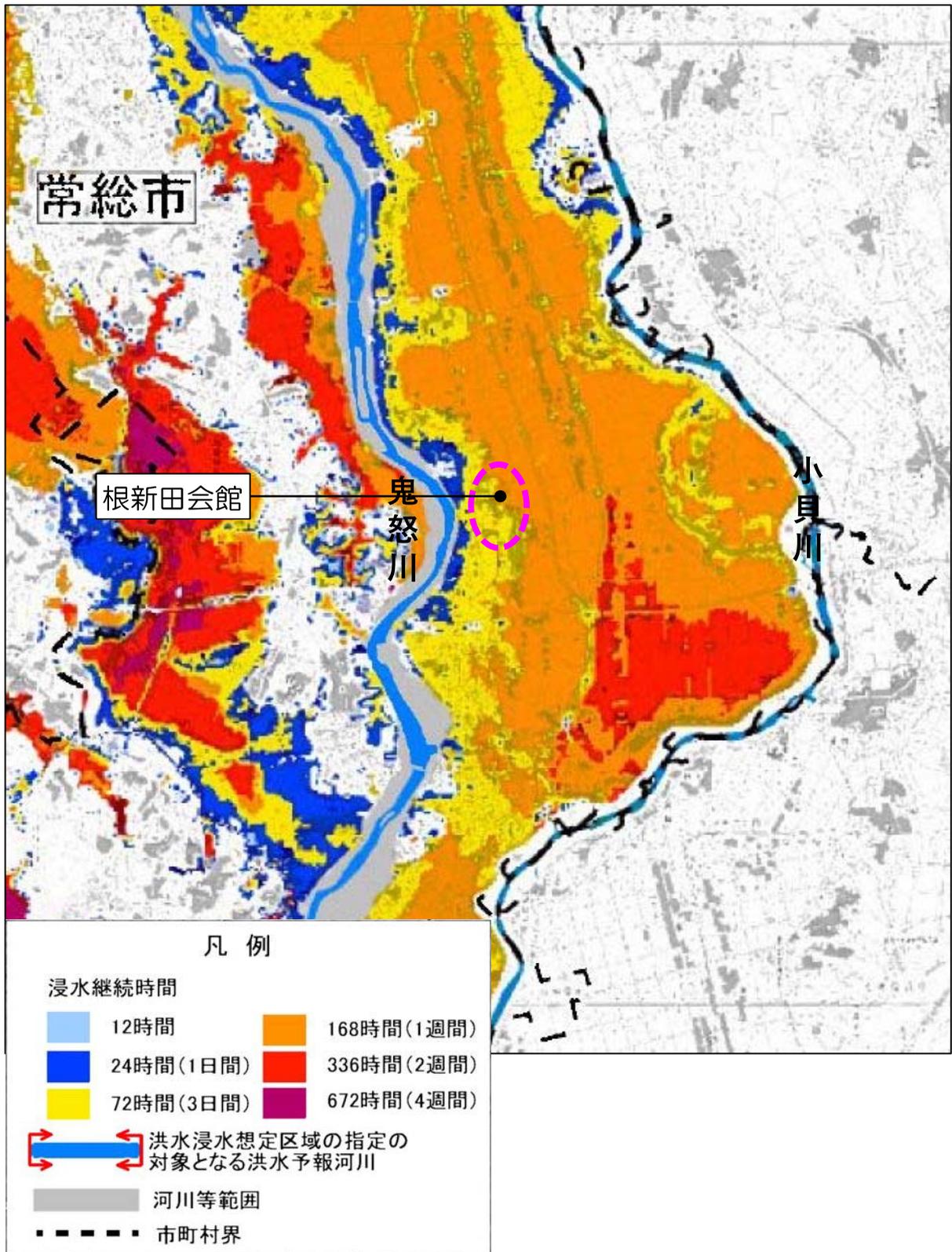
氾濫水が非常に強い流れで押し寄せてきます。



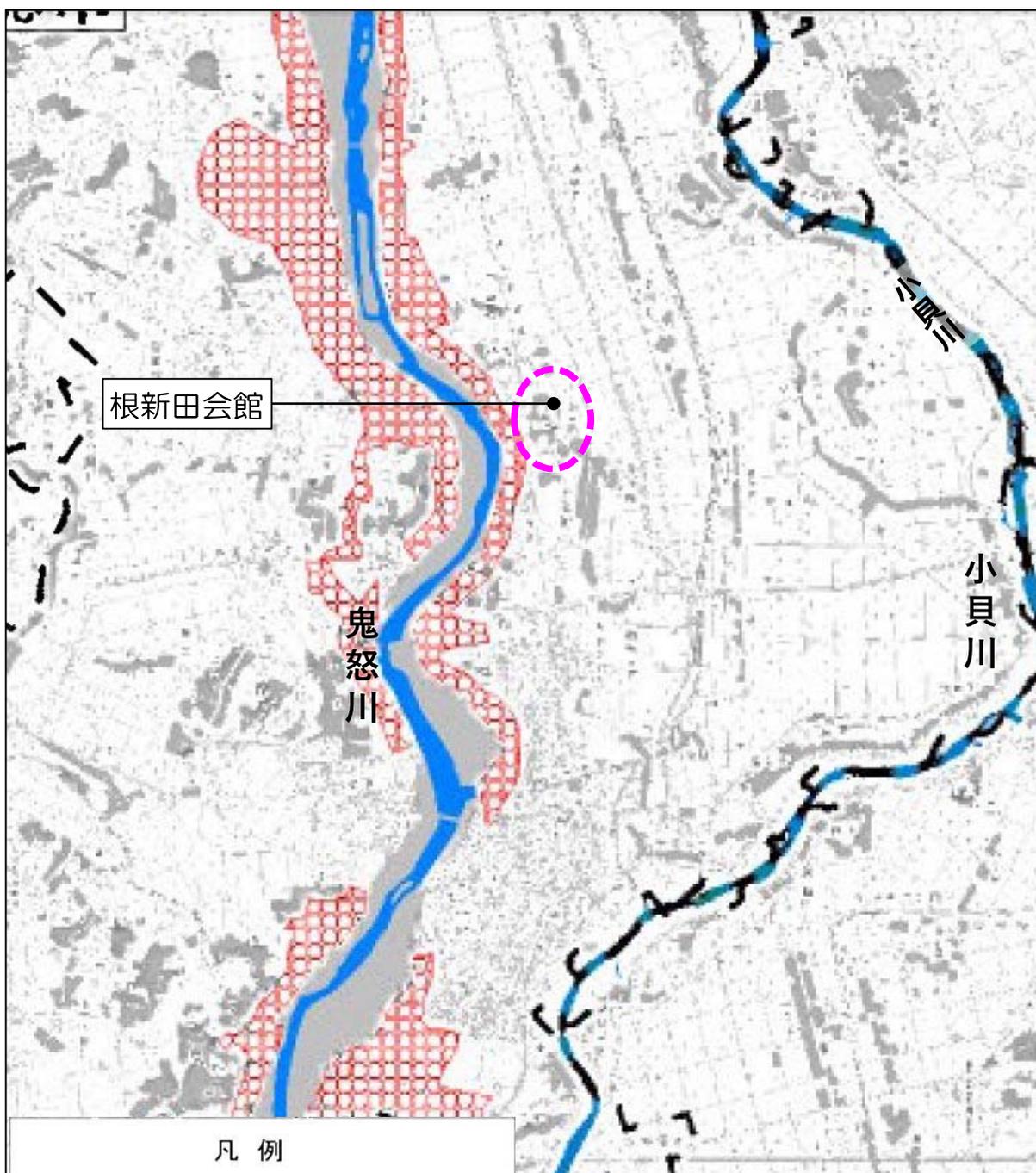
提供：鬼怒川堤防調査委員会
 （近隣住民の方から提供）



出典：下館河川事務所HP http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index010.html



出典：下館河川事務所HP http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index010.html



出典：下館河川事務所HP http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index010.html



もっと詳しく知りたい

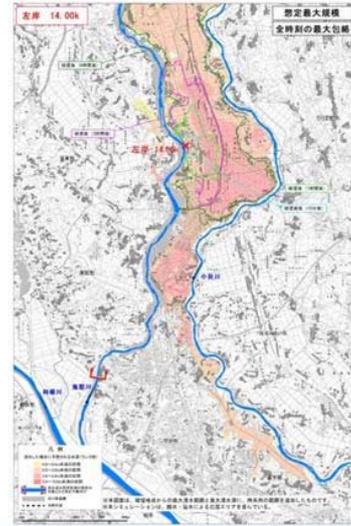
■ 氾濫水の到達時間（氾濫シミュレーション）

<http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate00241.html>

パソコンで、[下館河川事務所HP](#)にアクセスすると、想定破堤点毎の氾濫シミュレーションの結果を見ることができます。



任意の
地点を
クリック



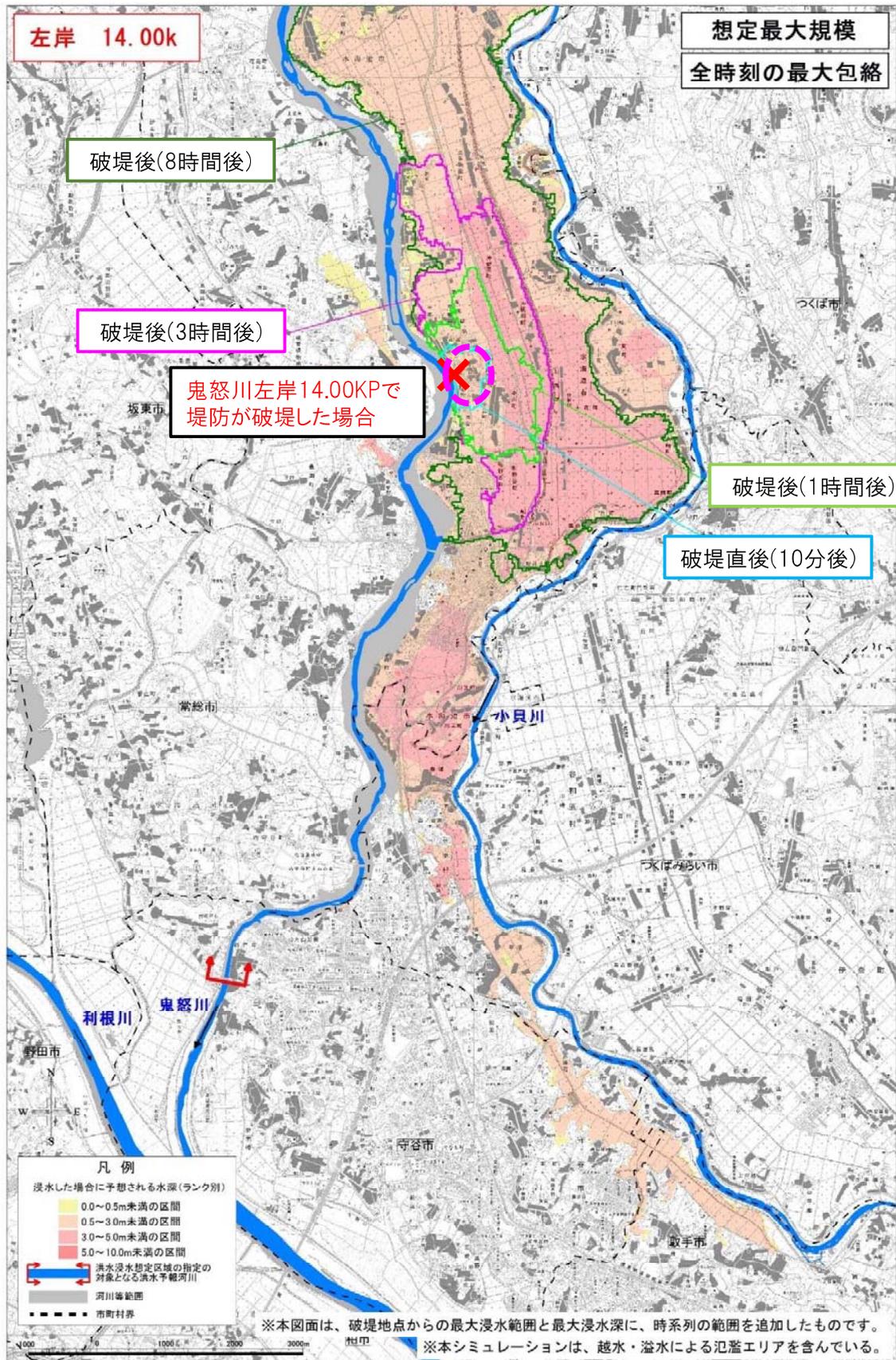
自宅の近くの堤防が決壊すると、氾濫水がただちに到達します。自宅から離れた場所で決壊しても、氾濫水は街の中を流れて到達する場合があります。図面7～9で到達時間を確認しましょう。

メモ

当該地区の近傍で堤防決壊したときの到達時間

根新田地区

【図面7】

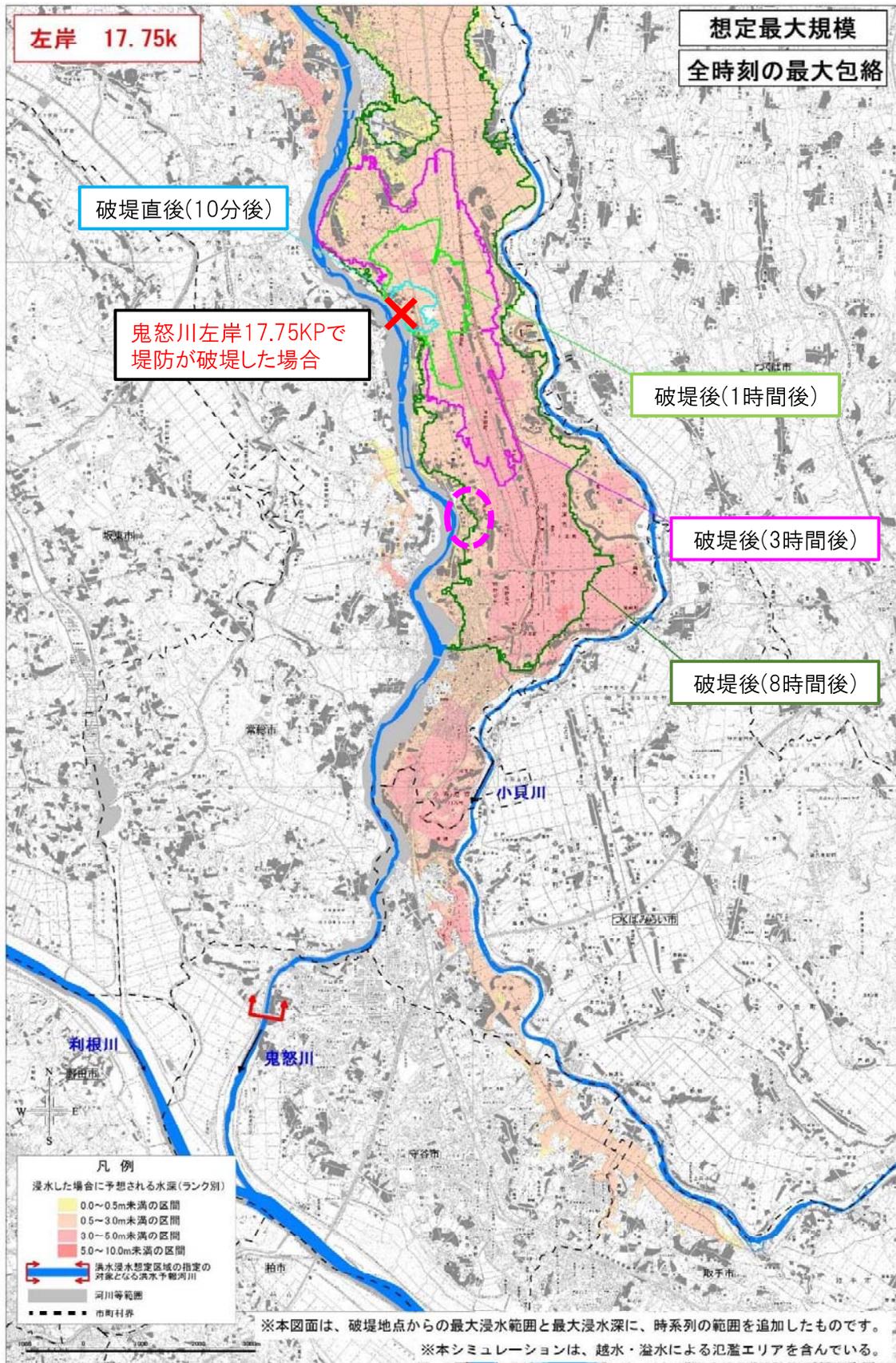


みんなでタイムラインプロジェクト

当該地区の上流で堤防決壊したときの到達時間

根新田地区

【図面8】

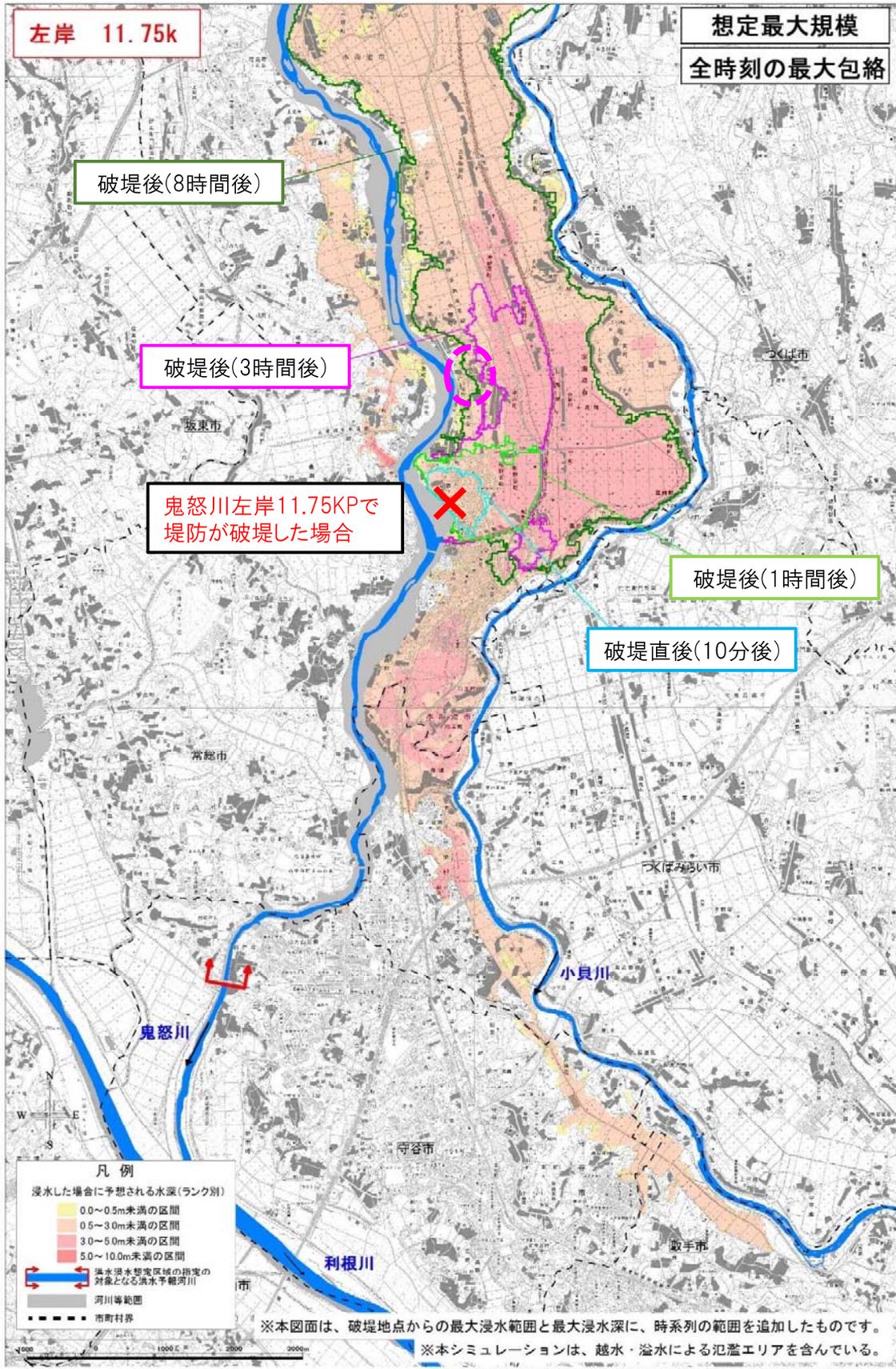


みんなでタイムラインプロジェクト

当該地区の下流で堤防決壊したときの到達時間

根新田地区

【図面9】



みんなでタイムラインプロジェクト

6.洪水時に得られる情報と読み解き方

知る

キーワード

台風の情報

雨量

川の水位

避難情報

■避難行動を判断する時に有効な情報

洪水時に得られる情報は、台風、雨、川、避難と様々です。これらは、時々刻々と変化します。洪水時は、最新の情報を集めて的確に判断しましょう。

	情報	気をつけるポイント
台風発生	台風に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・台風の大きさ ・台風の強さ ・台風の進路
	雨に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・雨量 ・雨の降っている地域(川の上流) ・今後の見通し
水位上昇	川に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの川の水位 ・上流の川の水位(今後の見通し) ・はん濫の発生
	避難に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急) ・避難所の開設情報
緊急時		<ul style="list-style-type: none"> ・交通の状況

■情報を知る手段

洪水時は、テレビ、パソコン、スマートフォン、携帯電話など様々な手段で情報を収集することができます。

	情報	情報を知る主な手段
台風発生	台風に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビの天気予報 ・気象庁のホームページ
	雨に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビの天気予報 ・気象庁のホームページ
水位上昇	川に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビのデータ放送 ・河川事務所のホームページ、SNS
	避難に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページ、SNS ・市の防災メール配信サービス
緊急時		<ul style="list-style-type: none"> ・県のホームページ、SNS ・交通機関のホームページ、SNS

ホームページは普段から見て、慣れておきましょう。



みんなでタイムラインプロジェクト



もっと詳しく知りたい

■台風に関する情報

気象庁ホームページ	http://www.jma.go.jp/jp/typh/
-----------	---

テレビの天気予報や、パソコン、スマートフォン・携帯電話で、気象庁のホームページにアクセスすれば、**台風の位置や強さ、今後の台風の進路や暴風域等**を確認できます。

■雨に関する情報

川の防災情報ホームページ	http://www.river.go.jp/
気象庁ホームページ	http://www.jma.go.jp/
下館河川事務所ホームページ	http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index001.html
雨量・水位情報 テレフォンサービス	電話：0296(25)2180

パソコン、スマートフォン・携帯電話で、**川の防災情報ホームページ、気象庁ホームページ**にアクセスするか、**NHK総合テレビのデータ放送**を見ると、雨量観測所のリアルタイム情報、レーダ雨量(XRAIN)情報を見ることができます。雨量観測所のリアルタイム情報は、**下館河川事務所ホームページ**でも確認できます。

雨量・水位情報テレフォンサービスでは、雨量観測所の過去1時間の雨量・累計雨量を確認できます。

■気象に関する警報・注意報

気象庁ホームページ	http://www.jma.go.jp/jp/warn/
-----------	---

気象庁ホームページにアクセスすれば、警報・注意報の発表状況や、注意警戒すべき期間、ピーク時間、雨量の予想などを確認できます。

「大雨特別警報」は台風や集中豪雨により数十年に一度の降水量となる大雨が予想される場合などに発表します。「大雨特別警報」が発表されたら、ただちに地元市町村の避難情報を確認の上、適切な行動をとってください。

メモ



もっと詳しく知りたい

■川に関する状況

川の防災情報ホームページ	http://www.river.go.jp/
下館河川事務所ホームページ	http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index001.html
雨量・水位情報 テレフォンサービス	電話：0296(25)2180

パソコン、スマートフォン・携帯電話で、川の防災情報ホームページ、下館河川事務所ホームページにアクセスすると、水位観測所のリアルタイム情報、河川の洪水予報を確認できます。NHK総合テレビのデータ放送、雨量・水位情報テレフォンサービスでも、水位観測所のリアルタイム情報を確認できます。

パソコン、スマートフォン・携帯電話で、下館河川事務所ホームページにアクセスすると、鬼怒川のライブ映像を見ることができます。

川が危険な状態ときは、緊急速報メールが配信されます。
詳しくは、こちら。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000913.html



URL : <http://www.river.go.jp/>

水位	内容
氾濫危険水位	河川が氾濫する恐れのある水位
避難判断水位	避難情報発表の目安となる水位
氾濫注意水位	河川の氾濫の発生を注意する水位
水防団待機水位	水防団が待機する目安となる水位

水位観測所では、避難行動の参考となる様々な基準水位が定められています。



URL : http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate_index017.html



もっと詳しく知りたい

■避難に関する情報

常総市ホームページ	http://www.city.joso.lg.jp/
茨城県ホームページ	http://www.pref.ibaraki.jp/
日本道路交通情報センターホームページ	http://www.jartic.or.jp/

常総市からの避難情報（避難準備情報、避難勧告、避難指示）は、**防災行政無線、市防災メール、広報車**で発信されます。

パソコン、スマートフォン・携帯電話で、**常総市ホームページ・ツイッター・フェイスブック、茨城県ホームページ**にアクセスしても確認できます。

パソコン、スマートフォン・携帯電話で、**常総市ホームページ、茨城県ホームページ、日本道路交通情報センターホームページ**にアクセスすると交通情報が確認できます。



出典：日本道路交通情報センター

メモ

気づく

7. タイムラインの考え方

知る

キーワード

タイムライン

川の水位

■ タイムラインとは

防災行動の「何時」「何を」「誰が」が明確になります。

○次何をするか ○今何をすべきか ○誰の動きにつながるか

3日前



半日前



5時間前



3時間前



はん濫発生

※写真はイメージです

行動の例

テレビの天気予報を注意。

1週間分の薬を病院に受け取りに行く。



ハザードマップで避難場所、避難手段を確認

川の水位をインターネットで確認

通行止め情報がないかインターネットで確認



川の水位をインターネットで確認

テレビで洪水予報の確認

市内の指定避難所への開始を判断

市内の指定避難所への避難を完了

足下気をつけて

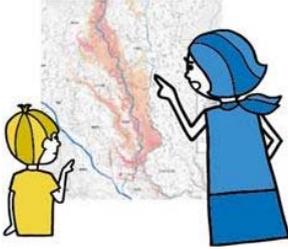


■平常時の役割

- 現状が明確になり、課題を抽出できます
- 地域をつなぐコミュニケーションツールになります

！リスクを認識できる

- ・自分の家が浸水してしまう
- ・避難所まで遠い など



！逃げるタイミングがわかる

- ・いつ逃げる？
- ・誰と逃げる？
- ・危険な場所をさけて逃げるには？



！コミュニケーションの輪が広がる

- ・検討会での意見交換などで、知り合いになれる
- ・ご近所とのつながりが強く、太くなる



■災害時の役割

- 災害時の防災行動のチェックリストになり、対応の漏れを防止できます

！行動をチェック

- ・避難に必要なものを確認できる
- ・安全な避難経路を確認できる

あれももって
いかなきゃ



！判断をサポート

- ・落ち着いて冷静な行動がとれる

おちついて



実践や訓練で検証し、継続的に見直すことでタイムラインが進化します。
継続的にタイムラインを見直していくことにより、防災力が向上します。

気づく



もっと詳しく知りたい

■タイムライン使用時の心得

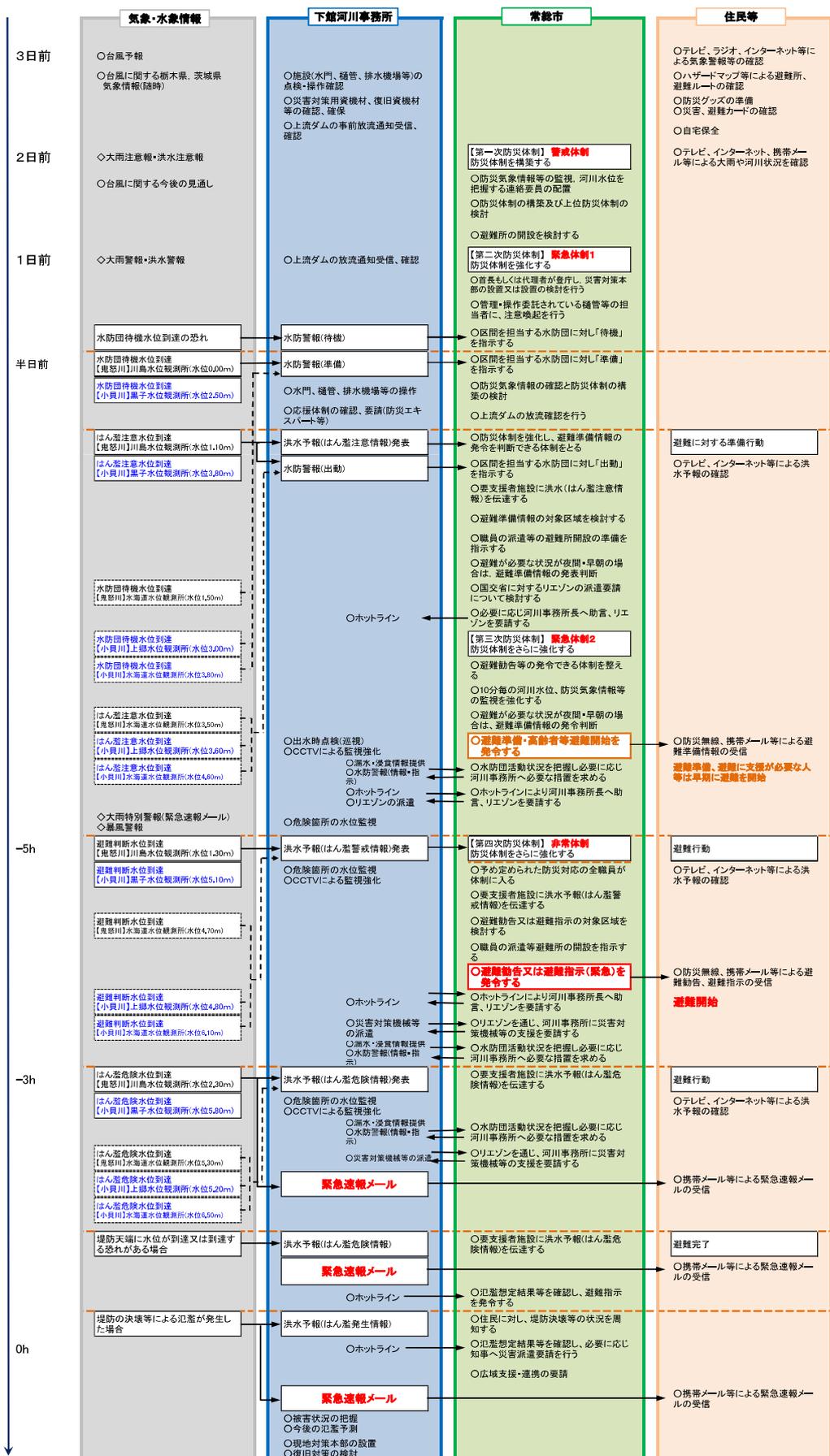
マイ・タイムラインを作成すると、自分と家族がとるべき防災行動の「何時」が明確になりますが、次の点に注意しておく必要があります。

- 注意1：台風が進み方、雨の降り方、川の水位の上がり方は洪水毎に異なります。マイ・タイムラインで想定したとおりに進行するわけではありません。
- 注意2：同様に、氾濫した際の浸水深や浸水継続時間も洪水毎に異なります。マイ・タイムラインの検討に当たって想定したとおりに氾濫するわけではありません。
- 注意3：気象警報、洪水予報、避難情報等は実際の気象や河川の状況に応じて発表・発令されるため、マイ・タイムライン上の時間と一致しないことがあります。
- 注意4：マイ・タイムライン上の時間は、時計のように進むわけではありません。例えば、タイムライン上で氾濫発生のおよ3時間前となっても、水防団（消防団）の水防活動等によって進行を遅らせることができ、結果として3時間経っても氾濫に至らない場合も想定されます。

そのため、実際の洪水においてマイ・タイムラインを使用する際には、次の心得を踏まえて行動してください。

- 心得1：マイ・タイムラインで定めた「何時」は、あくまで行動の目安として認識する。
- 心得2：洪水時はテレビやパソコンなどで、台風の進路、降雨の状況、河川の水位、気象警報や避難情報等をこまめに収集・確認する。
- 心得3：収集・確認した情報をもとに、マイ・タイムラインを参考にして、臨機応変に防災行動の実行を判断する。

台風による洪水を対象とした避難勧告発令等に着目したタイムライン(防災行動計画)(H28年6月版)
常総市(鬼怒川・小貝川)



※今後の出水や訓練等を通じて見直しを行っていく
※本資料は、常総市タイムライン(H28年6月版)に一部情報を追加しています。

8.洪水時の自らの行動を想定

知る

キーワード

避難の方法

屋内安全確保

指定避難所

高台へ移動

広域避難



避難行動を想定する前に、家族のことを整理しましょう。

名前	年齢	必需品	昼の居場所	備考
例)防災太郎		血圧を下げる薬	デイサービス	足をけがしている

- ・自動車の有無 : 有()
- ・親戚など避難を受け入れてくれる場所の有無: 有()
- ・ペットの有無 : 有()

■避難の方法

避難の方法	概要	留意点
自宅に残る (屋内安全確保)	自宅などその場にとどまり、安全を確保すること	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅が平屋の場合は、浸水深が50cm(床上浸水)を越えないこと ・自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域内ではないこと ・浸水継続時間が長い場合は、食料、水、常用薬等の準備をしておくこと
市の指定避難所へ移動	市が指定する近傍の避難所へ移動し、安全を確保すること	<ul style="list-style-type: none"> ・指定避難所が平屋の場合は、浸水深が50cm(床上浸水)を越えないこと ・指定避難所が家屋倒壊等氾濫想定区域内ではないこと ・浸水継続時間が長い場合は、常用薬等の必需品を準備しておくこと (事前に洪水ハザードマップで指定避難所の場所を確認)
市内の高台へ移動	市内の浸水想定区域外などへ移動し、安全を確保すること	<ul style="list-style-type: none"> ・避難経路の浸水深を確認すること ・移動手段と移動経路を確認し、適切な行動をとること ・食料、水、常用薬等の必需品を準備しておくこと (高台へ移動する前に通行止め状況や渋滞状況を確認)
隣接市町へ移動 (広域避難)	隣接市町の浸水想定区域外などへ移動し、安全を確保すること	<ul style="list-style-type: none"> ・避難経路の浸水深を確認すること ・移動手段と移動経路を確認し、適切な行動をとること ・食料、水、常用薬等の必需品を準備しておくこと (隣接市町村のハザードマップで避難場所を確認)



一言で避難と言っても、いろいろな方法があります。留意点を理解し、いざと言うときに最適な方法を判断できるようにしましょう。

みんなでタイムラインプロジェクト

知る

キーワード

避難場所

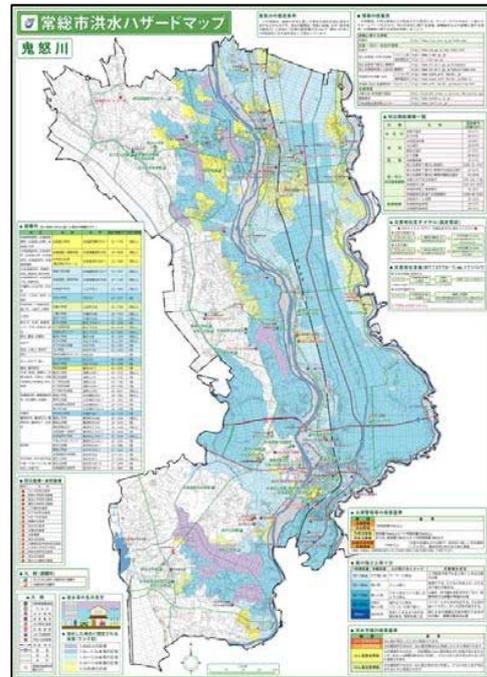
隣接市町村のハザードマップ

■我が街の 洪水ハザードマップ

市町村が配布した洪水ハザードマップを見ると、地区毎の避難所を確認できます。



図面10で確認しましょう。



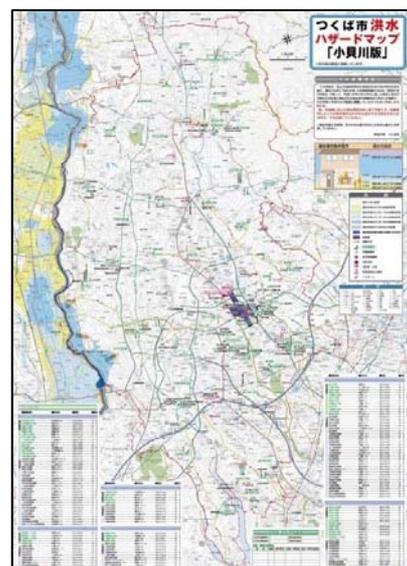
もっと詳しく知りたい

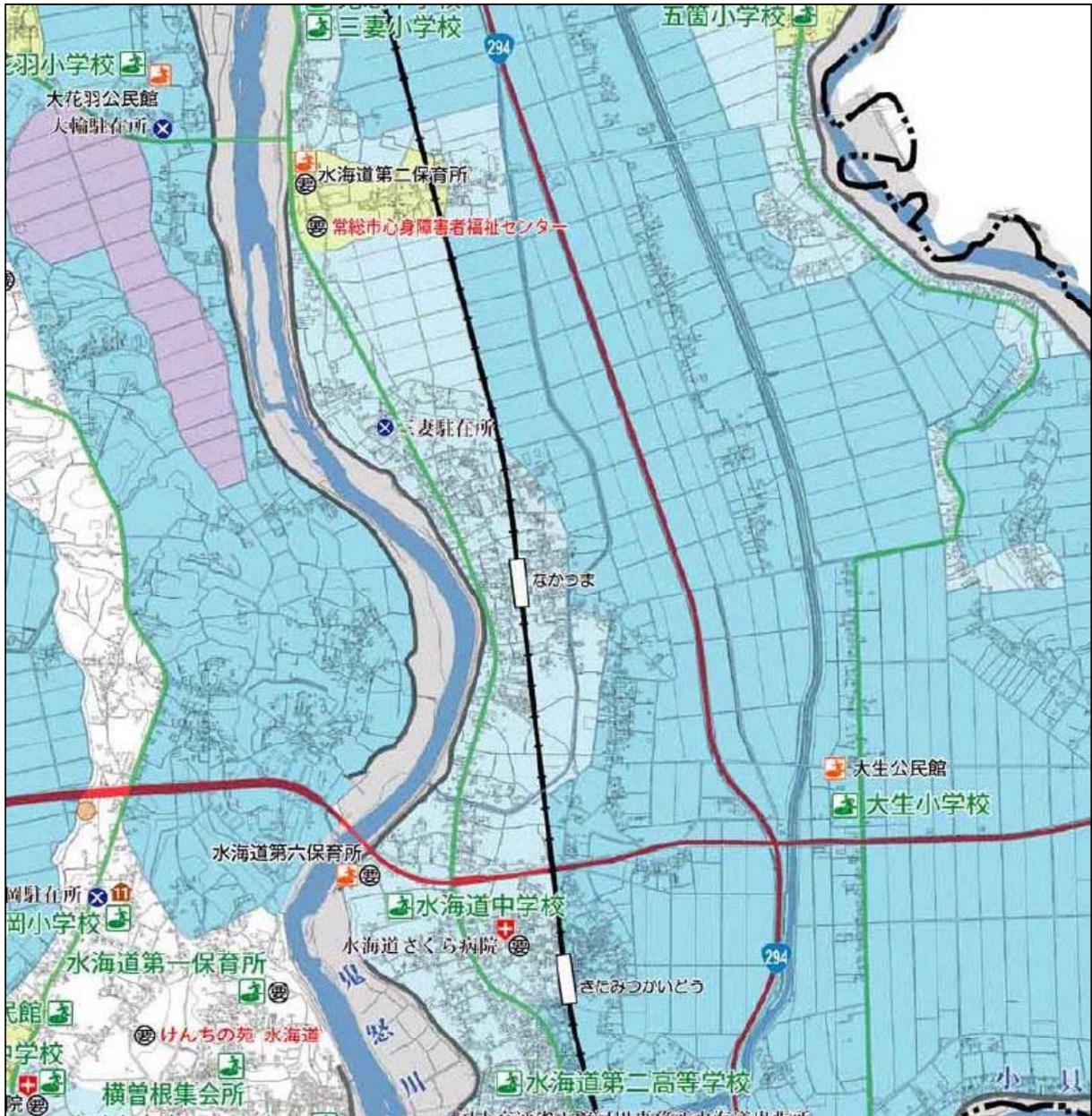
■隣接市町村の 洪水ハザードマップ

近くに、適切な避難場所が無い場合は、隣接する市町村の避難所も確認してみましょう。



図面11で確認しましょう。





出典：常総市HP
<http://www.city.joso.lg.jp/jumin/anzen/bosai/1419917075752.html>

みんなでタイムラインプロジェクト



出典：つくば市HP <http://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/14210/14221/007878.html>

みんなでタイムラインプロジェクト

■避難の方法



避難の方法と必要となる準備を記入してみましょう。早めの避難の完了を目指しましょう。

避難の方法	場所 又は 住所	手段	① 避難を完了 したい時刻	② 移動に 要する時間	要する準備
(例1) 指定の避難所	〇〇小学校	徒歩	3時間前	30分	持ち出し品 戸締り ・ ・
(例2) 遠くの親戚	△△市	自家用車	4時間前	60分	祖父の薬 戸締り ・ ・
自宅					
指定 避難所					
市内の高台					
遠くの 親戚					
その他 (職場など)					

気づく

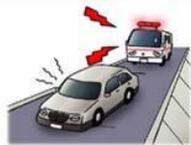
みんなでタイムラインプロジェクト



もっと詳しく知りたい

■避難所への移動手段

洪水時の移動手段の原則は、徒歩

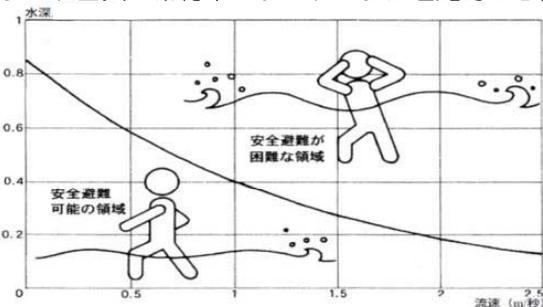
移動手段 参考速度	長 所	短 所
徒歩 成人:4km/h 高齢者3km/h	<ul style="list-style-type: none"> • 車が入れない場所でも移動できる • 緊急時の対処が他の手段に比べ対応しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> • 避難所まで遠い場合や雨の中を歩くのは、高齢者や子供が大変 
自家用車 40km/h	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者や子供を連れて避難する場合に有効 • 徒歩に比べて、移動速度が速い • 雨に濡れずに避難ができる 	<ul style="list-style-type: none"> • 水に浸かると動かなる恐れがある • 渋滞にはまる恐れがある • 避難所に駐車場がない場合がある • 緊急車両の通行の妨げになる恐れがある 
公共交通機関 電車：80km/h バス：40km/h	<ul style="list-style-type: none"> • 一度に多くの人を輸送できる 	<ul style="list-style-type: none"> • 決まった運行場所・運行時間のため、各自の避難したいタイミングなどと折り合わない恐れがある • 避難所に直接たどり着けない

■洪水時の避難の危険性

【実験データ】

浸水深が0.5m（大人の膝）程度で、氾濫流速が0.7m/s程度でも避難は困難となります。

イラスト出典：常総市ハザードマップ避難時の心得



出典：水害ハザードマップ作成の手引き

【洪水氾濫時の移動困難事例】

平成24年7月九州北部豪雨での沖端川の堤防決壊で氾濫流により移動が困難となっている。

水深は、ガードレールとほぼ同じ高さに氾濫水の水面があることから0.5m～0.6mと推算される。



出典：水害ハザードマップ作成の手引き



もっと詳しく知りたい

■洪水時の避難の危険性

【氾濫水は濁っている】

氾濫水は、茶色く濁っており、水路と道路の境や、ふたが開いているマンホールの穴は、見えません。

やむを得ず水の中を移動するときは、棒で足下を確認しながら移動しましょう。



出典：水害ハザードマップ作成の手引き

【平成27年9月関東・東北豪雨時の氾濫流の流速】

鬼怒川決壊地点近傍では、非常に速い流速が発生していました。



提供：鬼怒川堤防調査委員会
(近隣住民の方から提供)

メモ

9. マイタイムラインの作成

知る

キーワード

情報収集

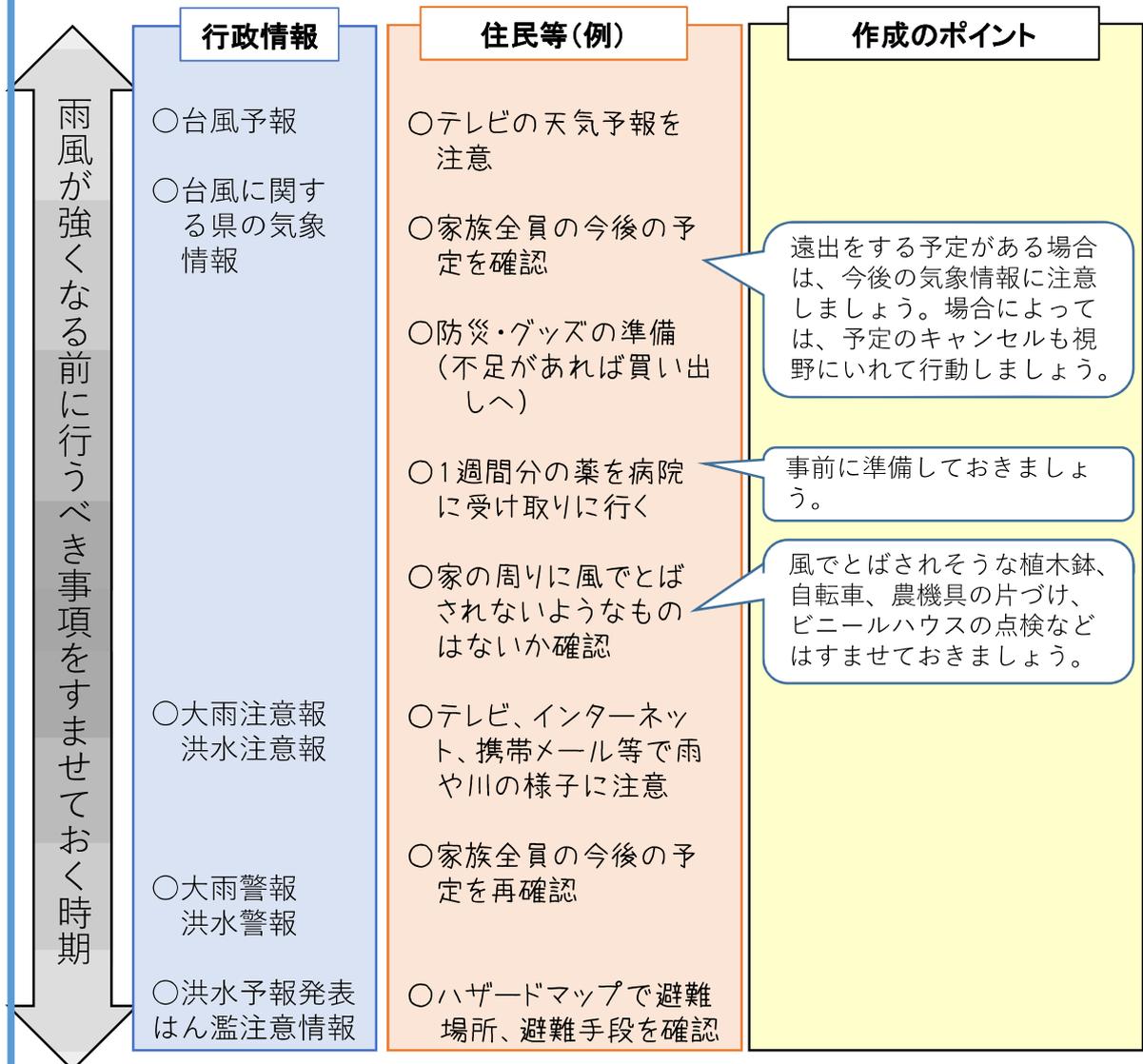
家族との連絡

避難場所

避難方法

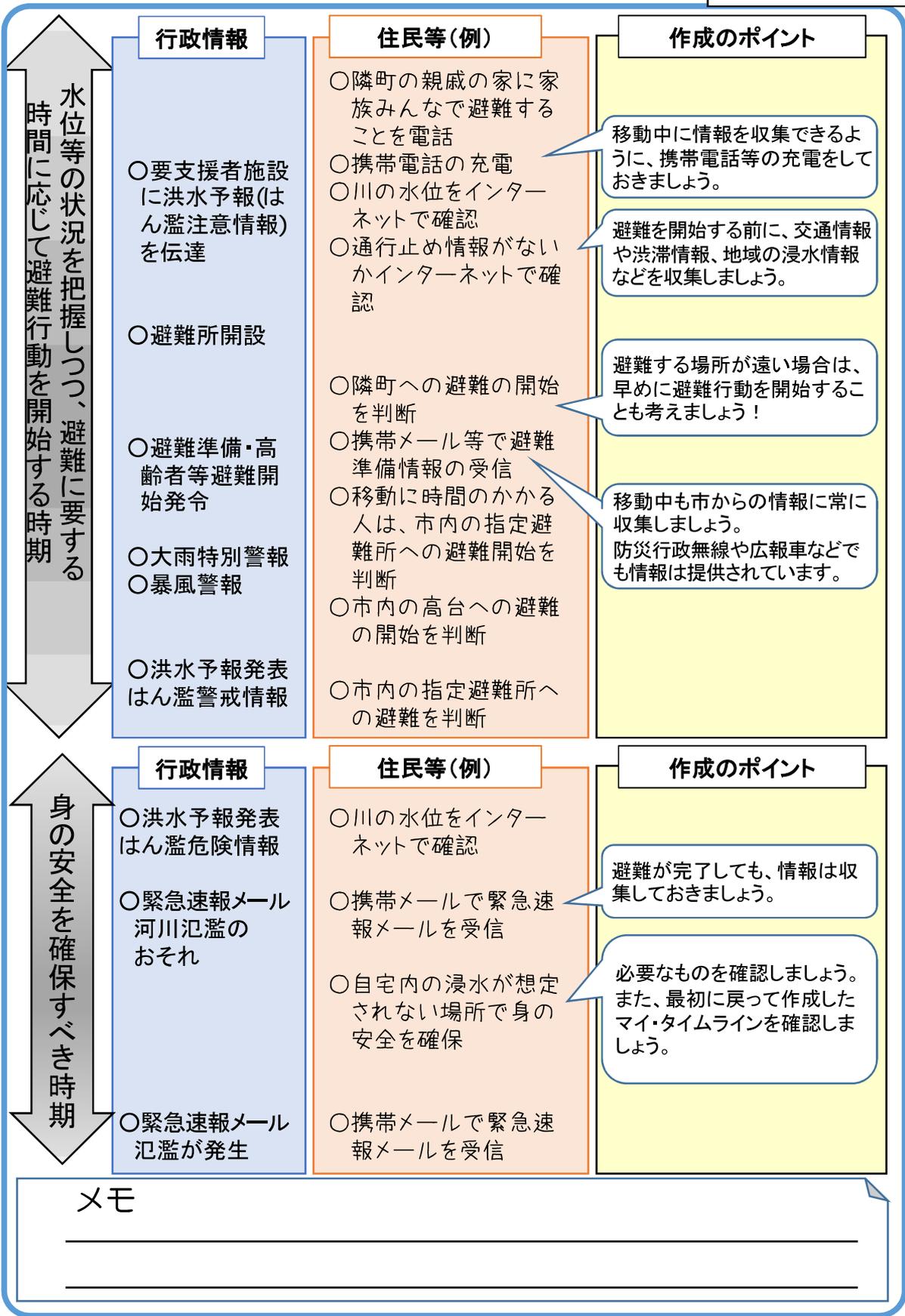
■ マイ・タイムライン作成のポイント

以下のポイントに留意して、あなたのマイ・タイムラインを作成しましょう。



メモ

STEP3



避難のタイミングの整理



34ページで書いた時間を参考に整理していきましょう。
一番下の①から時間をさかしてみましょう。

避難の場所 要する準備	③ 避難場所へ移動を開始する時刻 時間前 (①+②) ② 要する時間 (移動時間) ① 避難を完了したい時刻 時間前
避難の場所 要する準備	③ 避難場所へ移動を開始する時刻 時間前 (①+②) ② 要する時間 (移動時間) ① 避難を完了したい時刻 時間前
避難の場所 要する準備	③ 避難場所へ移動を開始する時刻 時間前 (①+②) ② 要する時間 (移動時間) ① 避難を完了したい時刻 時間前

マイ・タイムラインについて

- ① **マイ・タイムラインとは**
 「マイ・タイムライン」は住民一人ひとりのタイムラインであり、台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるものです。
 時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また判断のサポートツールとして、効果を発揮するものと考えています。
 しかしながら洪水は自然現象であるため、マイ・タイムラインがあれば常に安全ということではなく、その都度、台風・降雨・河川の状況等を考慮して判断しなければならぬことにも留意しておく必要があります。マイ・タイムラインに盛り込まれたどの防災行動で台風・降雨・河川の状況等が把握できるのかを知っておくことも重要です。
 このたび、まずは常総市の若宮戸地区と根新田地区をモデル地区として、一人ひとりの住民に参加いただく「常総市マイ・タイムライン検討会」を設置し、鬼怒川の水位上昇を対象にマイ・タイムラインの検討を進めます。検討の過程で、住民一人ひとりが、自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、マイ・タイムライン作成時には、いわば「自分の逃げ方」を手に入れられるように取り組んでいくこととしています。
 - ② **マイ・タイムラインノートとは**
 マイ・タイムラインの検討は、住民一人ひとりに配付する「マイ・タイムライン ノート」に沿って行います。ノートは、地形の特徴や過去の洪水といった自宅周辺のリスク、洪水発生時に得られる情報などのマイ・タイムラインの検討に当たって抑えておくべき情報を「知る」ことから始め、そこから「気づく」ことや自分自身に置き換えて「考える」ことを記入していくことで、洪水発生時に自分自身がとるべき防災行動を整理する形で編集していきます。そして、整理した防災行動を時系列的にとりまとめることによって、最終的に一人ひとりのマイ・タイムラインが作成できることとなります。
 ノートは以下の3つの考え方で構成しています。
- I. 「知る」：マイ・タイムラインの検討に当たって抑えておくべき情報を記載しており、検討会で解説します。メモ欄には、初めて知ったことや驚いたこと、大切だと思ったことを記入してください。
 - II. 「気づく」：「知る」を通じて得られた知識やメモした事柄を踏まえ、感じたことを記入してください。検討会での意見交換により、理解を深めます。
 - III. 「考える」：「知る」や「気づく」を踏まえ、自分自身の自宅の状況や家族の構成に置き換えて、安全に避難するために必要と考えることを記入してください。
- ③ **マイ・タイムラインノートの作成後**
 今回検討するマイ・タイムラインは基礎的なものであり、例えば、洪水が発生する時間帯によってはさらに早めの避難が必要になるなど、実際の洪水時を想定した応用動作が想定されます。今後、家族や地域で話し合うなどし、防災行動を追加していくことも考えられます。またマイ・タイムラインは、一度作ったらおしまいというものではなく、自分自身の置かれている環境の変化に応じて変更していくことが望ましいと考えられます。例えば、家族が増えたとき、勤務先や学校が変わったときなど、あらためてノートを見直して、必要な防災行動を整理していくことが望ましいと考えられます。
 来たるべき洪水に備えて、マイ・タイムラインを活用し、逃げ遅れゼロに向けてさらなる地域の取り組みが積み重ねられることを期待しています。

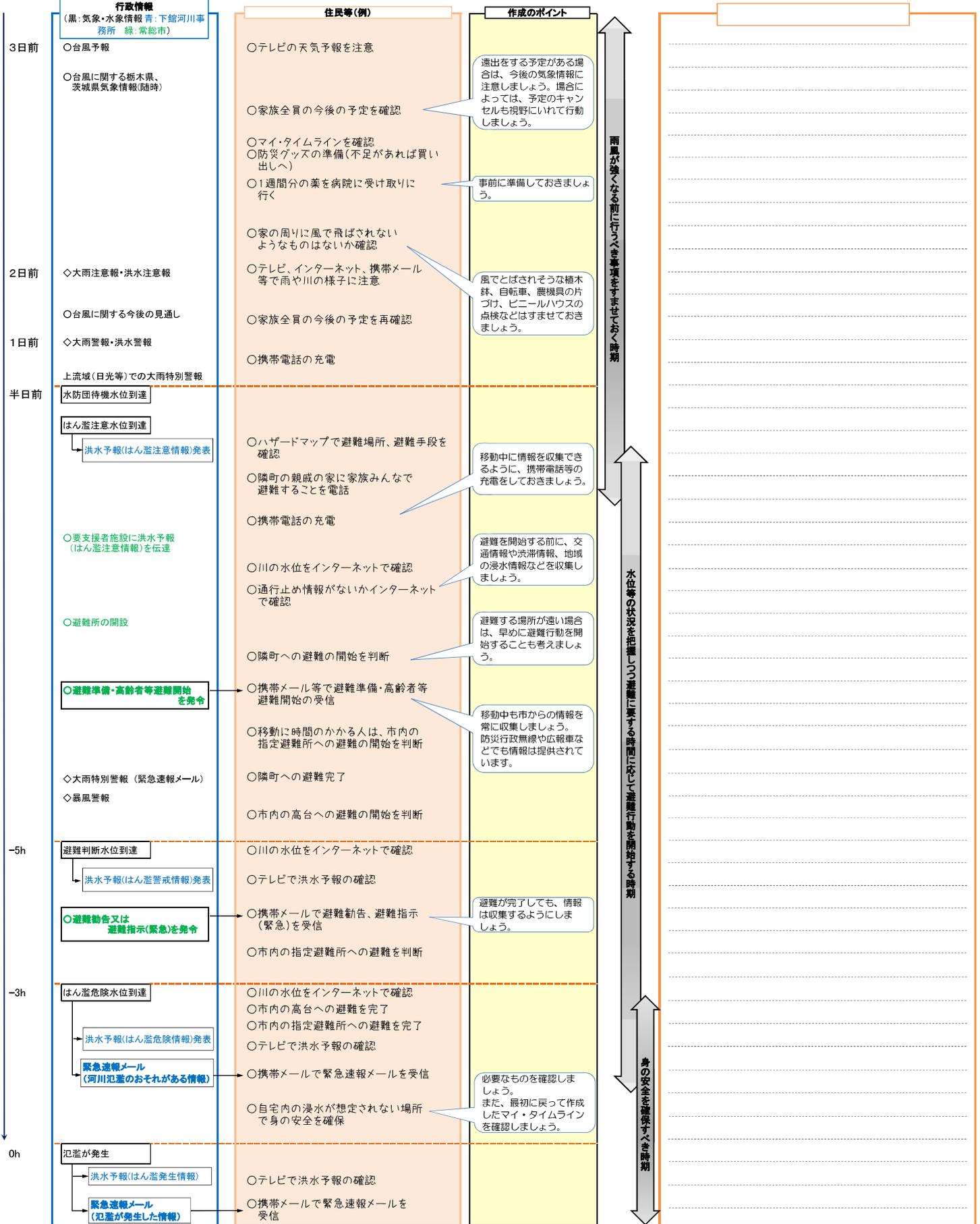
平成28年11月13日

常総市マイ・タイムライン検討会 運営会議

平成28年11月

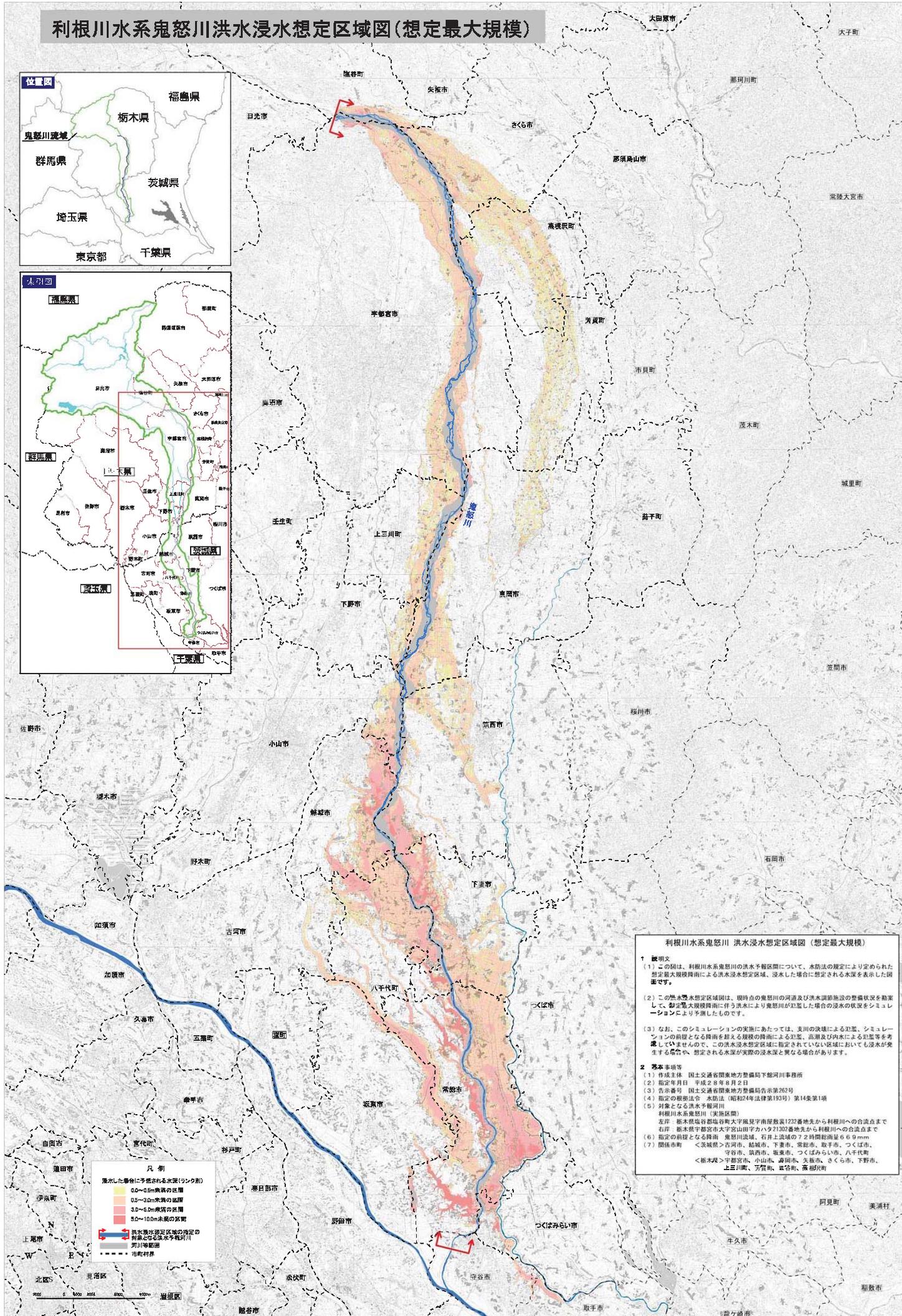
常総市マイ・タイムライン検討会 運営会議

みんなでタイムラインプロジェクト



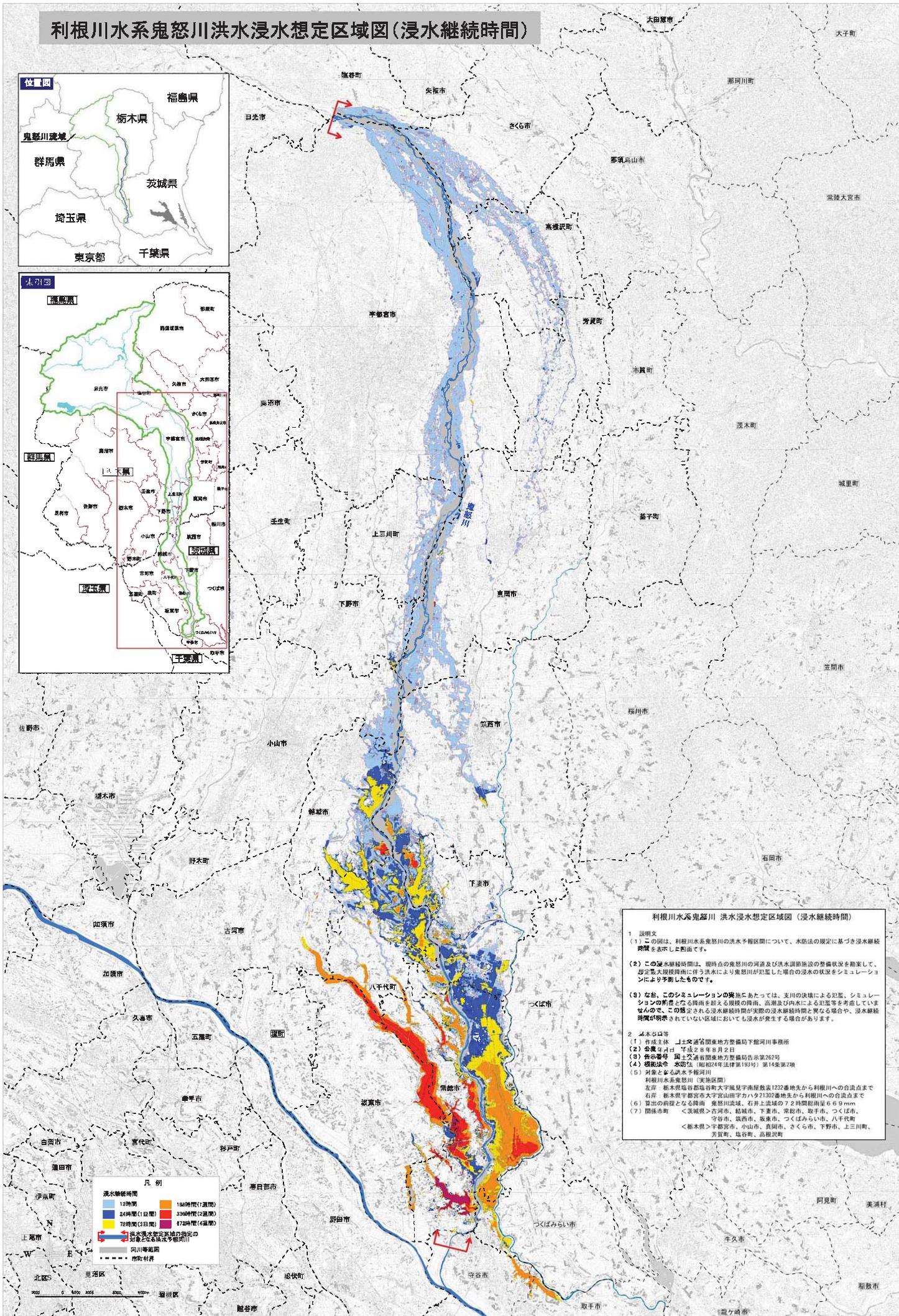
參考資料

利根川水系鬼怒川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



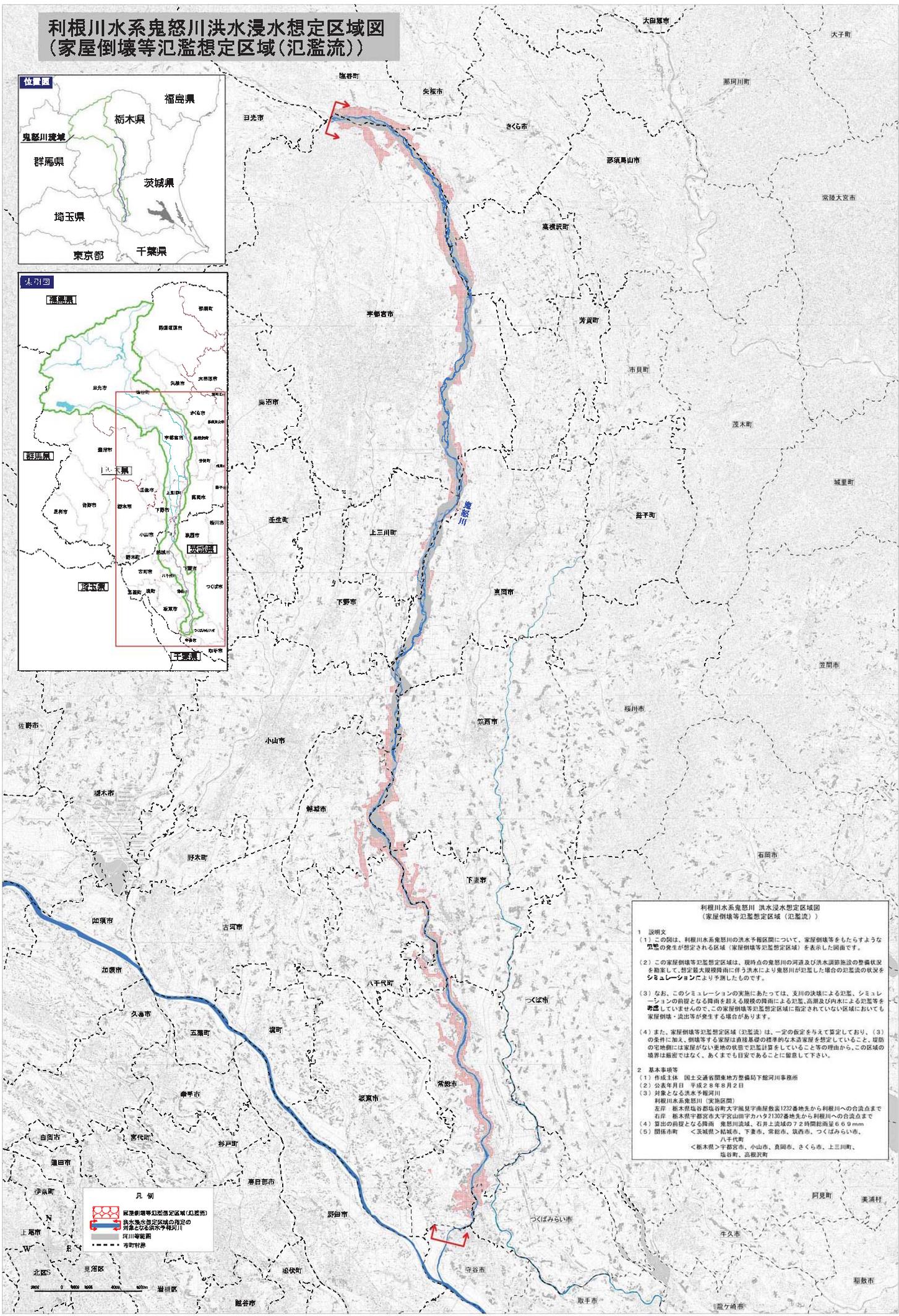
※「この地図は、国土地理院長の承認を得て、民間発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平28情保、第189号)」

利根川水系鬼怒川洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)



※「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平28情概、第169号)」

利根川水系鬼怒川洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))



利根川水系鬼怒川 洪水浸水想定区域図
(家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))

1 説明文

- (1) この図は、利根川水系鬼怒川の洪水予報区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
- (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、現時点の鬼怒川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により鬼怒川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実態にあつては、支川の状況による氾濫、シミュレーションの前段となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
- (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)は、一定の仮定をたてて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない状態での氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。

2 基本事項等

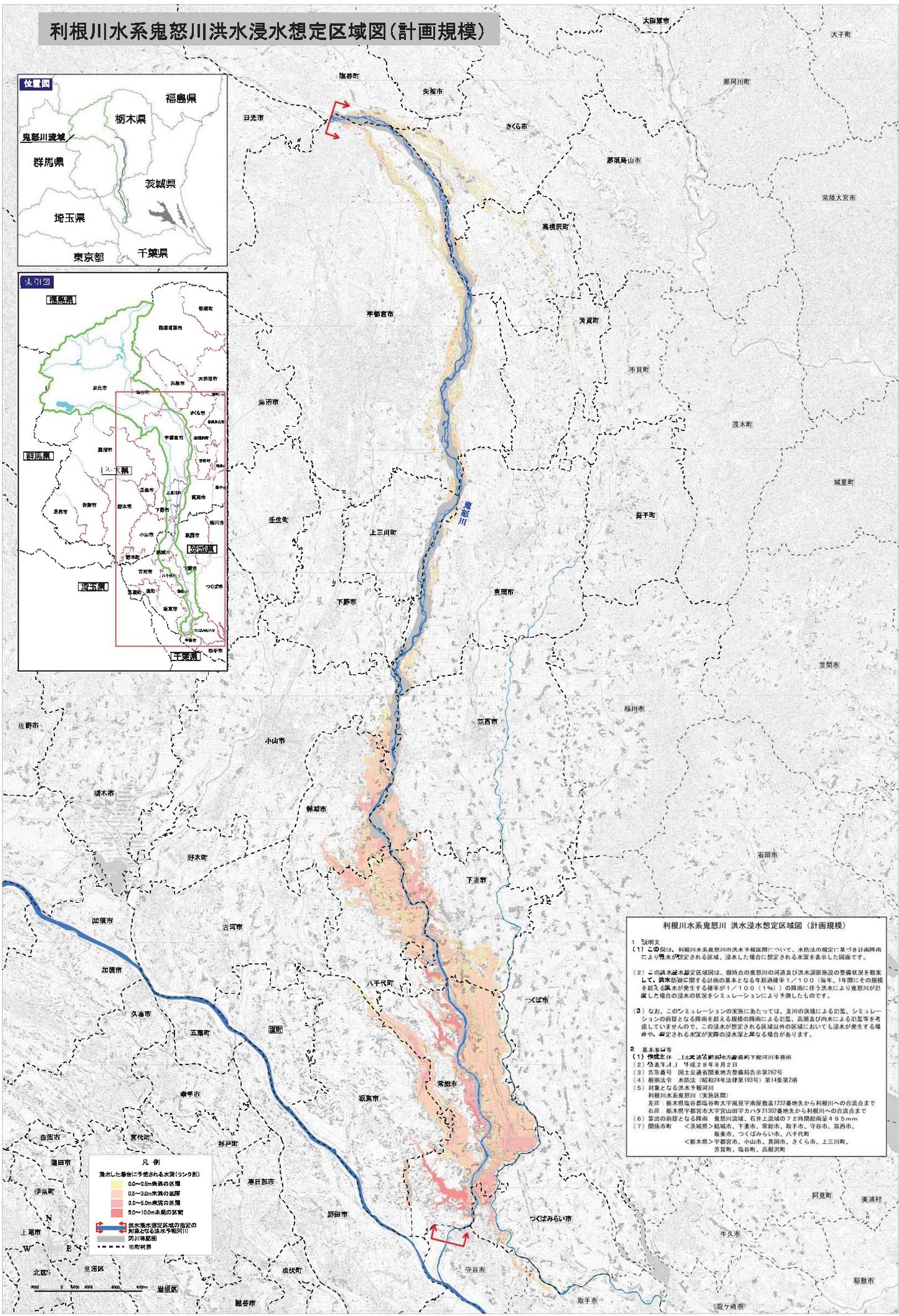
- (1) 作成主体 国土交通省関東地方整備局下野河川事務所
- (2) 公表年月日 平成28年8月2日
- (3) 対象となる洪水予報河川
利根川水系鬼怒川(実施区間)
左岸 栃木県塩谷郡塩谷町大字鬼怒見字南屋敷表1232番地先から利根川への合流点まで
右岸 栃木県宇都宮市大字宮山字力カハタ21302番地先から利根川への合流点まで
- (4) 算出の前段となる降雨 鬼怒川流域、右岸上流域の72時間総雨量66.9mm
- (5) 関係市町 <茨城県> 稲城市、下妻市、常総市、取手市、つくばみらい市、
<栃木県> 宇都宮市、小山市、真岡市、さくら市、上三川町、
塩谷町、高根沢町

凡 例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 利根川水系鬼怒川
- 利根川水系鬼怒川(実施区間)
- 河川等範囲
- 市町村界

※「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図2500C(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平28情保、第189号)」

利根川水系鬼怒川洪水浸水想定区域図(計画規模)



利根川水系鬼怒川 洪水浸水想定区域図 (計画規模)

1 説明文
 (1) この図は、利根川水系鬼怒川の洪水予報区域について、水防法の規定に基づき計画降雨により洪水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 (2) この洪水浸水想定区域図は、現時点の鬼怒川の河床及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防備に関する計画の基本となる年間超過降雨率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水により鬼怒川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等
 (1) 作成主体 「国土交通省関東地方整備局下総河川事務所」
 (2) 発表年月日 「平成28年9月2日」
 (3) 告示番号 国土交通省関東地方整備局告示第262号
 (4) 根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
 (5) 対象となる洪水予報河川 利根川水系鬼怒川(実施区域)
 左岸: 栃木県佐野市大字鬼怒宇南屋敷1223番地先から利根川への合流点まで
 右岸: 栃木県宇都宮市大字宮山田字カハタ21302番地先から利根川への合流点まで
 (6) 算出の前提となる降雨 鬼怒川流域、石井上流域の72時間総雨量49.5mm
 (7) 関係市町 <茨城県> 結城市、下田市、常総市、取手市、守谷市、茨西市、
 <栃木県> 宇都宮市、小山市、真田市、さくら市、上三川町、
 芳賀町、塩谷町、高槻沢町

凡例

浸水した場合に予想される水深(ランク別)

- 0.0~0.9m未満の浸水
- 1.0~2.9m未満の浸水
- 3.0~5.9m未満の浸水
- 6.0~10.0m未満の浸水

※浸水浸水想定区域の指定の河川(利根川水系鬼怒川)
 市町境界

※「この地図は、国土地理院の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図図像)を複製したものである。(承認番号 平28信標 第169号)」

常総市洪水ハザードマップ

鬼怒川

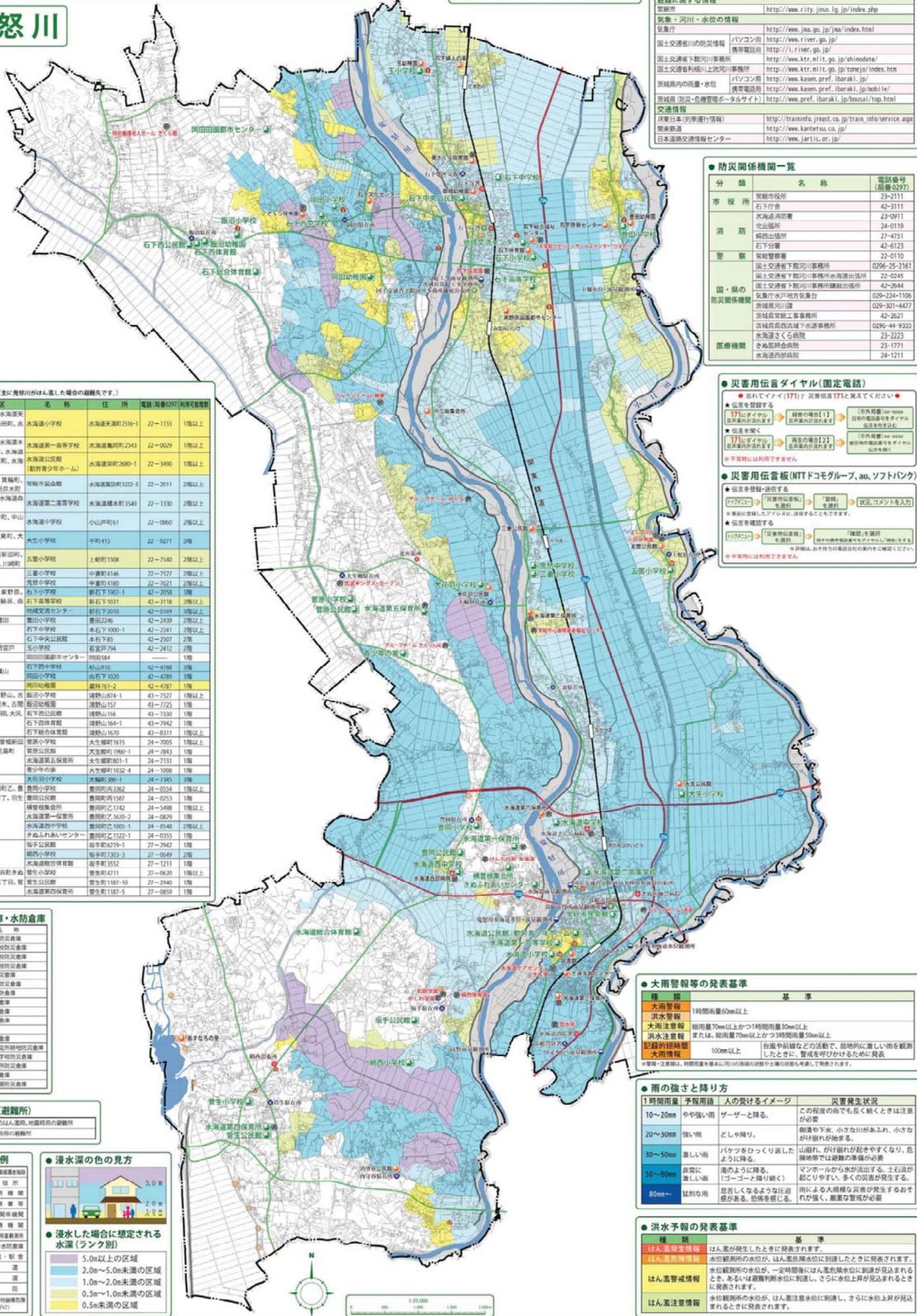
鬼怒川の想定条件

この地図は、鬼怒川が氾濫した場合の浸水区域と浸水の深さを示すものです。浸水の範囲は、鬼怒川流域、石井（船木橋平都宮市）上流域に3日間の総雨量が402mmで、概ね100年に1回程度起こる大雨を想定して設定しています。

情報の収集先

大雨警報、大雨注意報などが発表された場合には、テレビ・ラジオのほか、下表に示すホームページなどから、河川の水位に関する情報、避難勧告などの避難に関する情報、交通機関に関する情報を収集しましょう。

避難に関する情報	URL
常総市	http://www.city.joso.lg.jp/index.php
気象庁 - 河川・水位の情報	http://www.jma.go.jp/jma/index.html
気象庁 - 大雨警報	http://www.jma.go.jp/jma/index.html
国土交通省河川の防災情報	http://www.river.go.jp/
国土交通省下流河川事務所	http://www.ktr.nit.go.jp/shinodate/
国土交通省河川川上流河川事務所	http://www.ktr.nit.go.jp/tonojo/index.htm
茨城県内の雨量・水位	http://www.kasen.pref.ibaraki.jp/ncb/ie/
茨城県防災・危機管理ポータルサイト	http://www.pref.ibaraki.jp/bousai/top.html
交通情報	
関東日本(列車運行情報)	http://traininfo.jrast.co.jp/train_info/service.asp
関東鉄道	http://www.kantetsu.co.jp/
日本道路交通情報センター	http://www.jartic.or.jp/



避難所 (先に鬼怒川が氾濫した場合の避難先です。)

地区	名称	住所	電話(局番0297)利用可能数
水海道高野町、水海道満町、水海道山田町、水海道川又町	水海道小学校	水海道満町2516-1	22-1155 1階以上
水海道高野町、水海道本町、水海道光町、水海道栄町、水海道宝町、水海道運動場	水海道第一高等学校	水海道満町2543	22-0029 1階以上
水海道長谷町、箕輪町、石井、長谷町、新井本町	水海道公民館 (動物少年ホーム)	水海道満町2600-1	22-3450 1階以上
水海道長谷町、箕輪町、石井、長谷町、新井本町、相野分町	常総市民会館	水海道満町3202-3	22-2011 2階以上
中倉町、小山戸町、中山町	水海道第二高等学校	水海道本町3549	22-1330 2階以上
平町、十花町、東町、大越町	水海道小学校	小山戸町61	22-0860 2階以上
三坂町	水海道小学校	中倉町4166	22-7527 2階以上
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道小学校	新石下1907-1	42-2065 3階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道第一高等学校	新石下3031	42-3118 2階以上
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道第二高等学校	新石下2010	42-0969 3階以上
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	新石下1000-1	42-2341 2階以上
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	本石下85	42-2507 2階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	若菜町794	42-2412 2階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	同田584	1階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	同田970	42-4786 3階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	同田1020	42-4789 3階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	同田761-2	42-4787 3階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	清野山264-1	43-7527 1階以上
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	清野山157	43-7725 1階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	清野山156	43-7330 1階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	清野山164-1	43-7942 1階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	清野山1670	43-8311 1階以上
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	大生郷町1615	24-7005 1階以上
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	大生郷町1900-1	24-7843 1階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	大生郷町803-1	24-7131 1階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	大生郷町1032-4	24-1009 1階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	大輪町88-1	24-2345 3階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	豊田町3362	24-0524 1階以上
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	豊田町1589	24-0253 1階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	豊田町21242	24-5498 1階以上
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	豊田町21630-2	24-0829 1階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	豊田町21605-1	24-0548 1階以上
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	豊田町21522-1	24-0355 1階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	坂手町6219-1	27-2942 1階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	坂手町2303-3	27-0649 2階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	坂手町3552	27-1211 1階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	豊生小学校	27-0630 1階以上
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	豊生公民館	27-2940 1階
新石下、大原、新野山、山口、早川、岩崎、山田	水海道公民館	豊生町1387-5	27-0859 1階

防災関係機関一覧

分類	名称	電話番号(局番0297)
市役所	常総市役所	23-2111
	石下庁舎	42-3111
	水海道消防署	23-0911
	北出派出所	24-0119
消防	南西出張所	27-4751
	石下分署	42-6123
警察	常総警察署	22-0110
	国土交通省下流河川事務所	0296-25-2161
国・県の防災関係機関	国土交通省下流河川事務所水海道出張所	22-0245
	国土交通省下流河川事務所清野山出張所	42-2644
	気象庁水戸地方気象台	029-324-1106
	茨城県河川課	029-301-4477
医療機関	茨城県常総市事務所	42-2621
	茨城県常総市水産事務所	0296-44-9235
	水海道さくら病院	23-3223
	水海道市民病院	23-1771
	水海道西病院	24-1211

災害用伝言ダイヤル(固定電話)

● 忘れてダイヤル(177) 災害用伝言ダイヤルと覚えてください ●

★ 伝言を受ける

177にダイヤル → 留守の時に伝言を受けたい → (市外発信) 00-9999 1000の電話番号をダイヤルして発信してください

★ 伝言を受ける

177にダイヤル → 留守の時に伝言を受けたい → (市外発信) 00-9999 1000の電話番号をダイヤルして発信してください

※ 伝言機能は利用できません

災害用伝言板(NTTドコモグループ、au、ソフトバンク)

★ 伝言を送る

177722 → 「災害用伝言板」を選択 → 「送信」を選択 → 伝言コマンドを入力

★ 伝言を受ける

177722 → 「災害用伝言板」を選択 → 「受信」を選択 → 伝言コマンドを入力

※ 伝言機能は利用できません

防災倉庫・水防倉庫

番号	名称
1	水海道第一倉庫
2	水海道第二倉庫
3	水海道第三倉庫
4	水海道第四倉庫
5	水海道第五倉庫
6	水海道第六倉庫
7	水海道第七倉庫
8	水海道第八倉庫
9	水海道第九倉庫
10	水海道第十倉庫
11	水海道第十一倉庫
12	水海道第十二倉庫
13	水海道第十三倉庫
14	水海道第十四倉庫
15	水海道第十五倉庫
16	水海道第十六倉庫
17	水海道第十七倉庫
18	水海道第十八倉庫
19	水海道第十九倉庫
20	水海道第二十倉庫

凡例 (避難所)

○	河川のはん、避難、地震時の避難所
○	地震時の避難所

凡例

○	気象庁発表の大雨警報
○	気象庁発表の大雨注意報
○	国土交通省発表の洪水警報
○	国土交通省発表の洪水注意報
○	国土交通省発表の記録的短時間大雨情報
○	国土交通省発表の大雨警報
○	国土交通省発表の大雨注意報
○	国土交通省発表の洪水警報
○	国土交通省発表の洪水注意報
○	国土交通省発表の記録的短時間大雨情報
○	国土交通省発表の大雨警報
○	国土交通省発表の大雨注意報
○	国土交通省発表の洪水警報
○	国土交通省発表の洪水注意報
○	国土交通省発表の記録的短時間大雨情報

浸水深の色の見方

● 浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 5.0m以上の区域
- 2.0m～5.0m未満の区域
- 1.0m～2.0m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

大雨警報等の発表基準

種類	基準
大雨警報	1時間雨量60mm以上
洪水警報	総雨量70mm以上かつ1時間雨量30mm以上
大雨注意報	総雨量70mm以上かつ1時間雨量30mm以上
洪水注意報	総雨量70mm以上かつ3時間雨量50mm以上
記録的短時間大雨情報	100mm以上

※ 発表基準は、時間雨量を本県上流の河川の観測地点の上流から観測し、発表されます。

雨の強さと降り方

1時間雨量	予想降り方	人の受けるイメージ	災害発生状況
10～20mm	やや強い雨	ザーザーと降る。	この程度の雨でも長く続くときは注意が必要
20～30mm	強い雨	どしゃ降り。	側溝や下水、小さな川が溢れ、小さながけ崩れが始まる。
30～50mm	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要
50～80mm	非常に激しい雨	溝のように降る。(ゴロゴロと降り続く)	マンホールから水が流出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80mm～	猛烈な雨	思わしくなるような注ぎ感がある。恐怖を感じる。	雨による大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要

洪水予報の発表基準

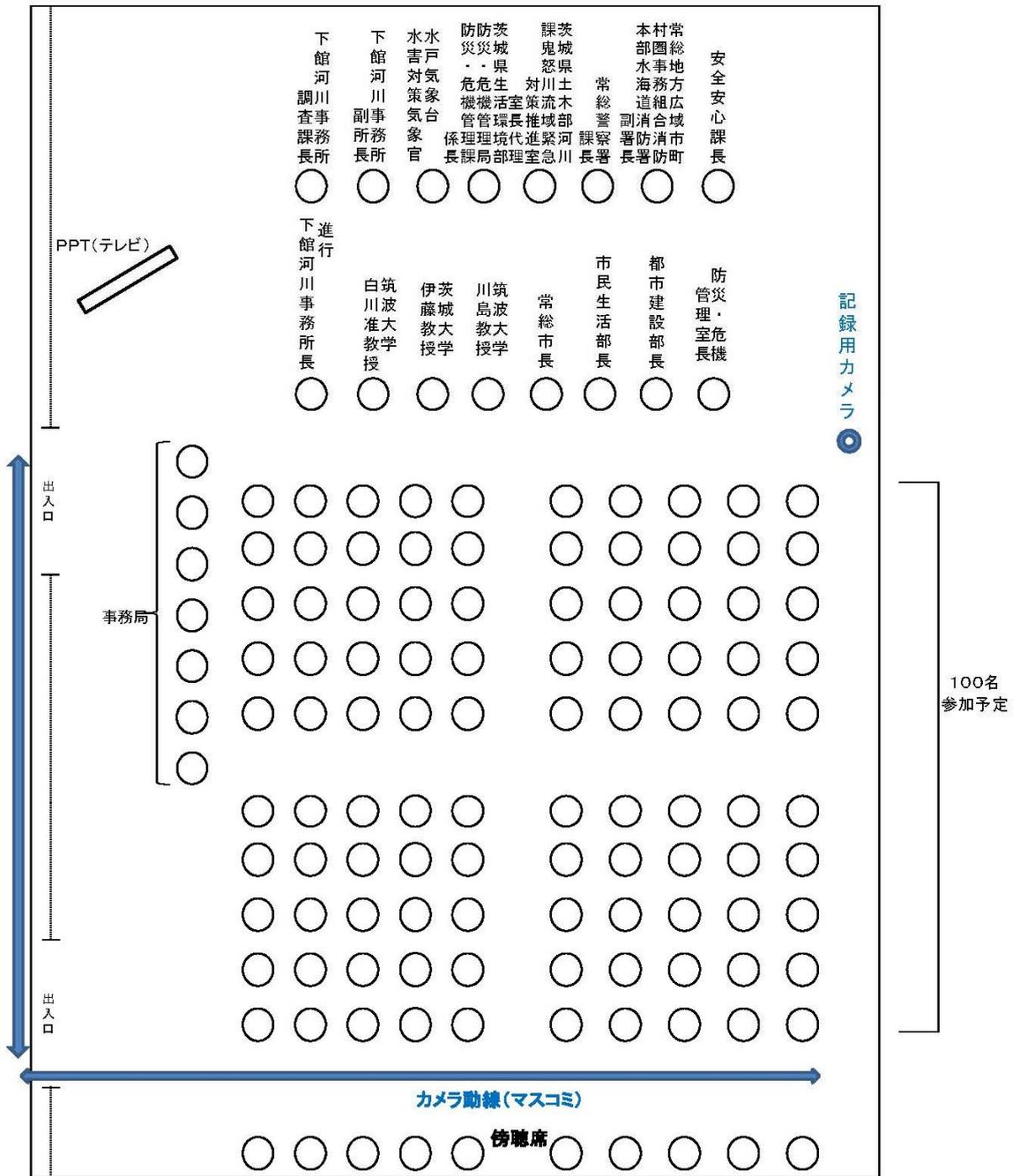
種類	基準
はん水発生情報	はん水が発生したときに発表されます。
はん水警戒情報	水位観測所の水位が、はん水警戒水位に到達したときに発表されます。
はん水警戒解除情報	水位観測所の水位が、一定時間にははん水警戒水位に到達が止まるとともに、あるいは避難判断水位に到達し、さらに水位上昇が見込まれるときに発表されます。
はん水注意情報	水位観測所の水位が、はん水注意水位に到達し、さらに水位上昇が見込まれるときに発表されます。

参考資料 4-1-3

第1回根新田地区マイ・タイムライン検討会

使用した機材・備品及び配席図

■配席図：



■使用した機材および備品：

映像・音響機材			
音響機器一式	プロジェクター	ノートパソコン	マイク
延長コード			
備品			
ボールペン	サインペン	名札（4種類）	下敷き
三角プレート	椅子	レーザーポインター	ポップスタンド

参考資料 4-1-4

第1回根新田地区マイ・タイムライン検討会 進行表

■ 進行表

<第1回根新田地区マイ・タイムライン検討会>

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:00	1. 開会	里村事務所長	スライド2 会議名表示	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、定刻になりましたので、ただいまより、常総市マイ・タイムライン検討会（根新田地区）第一回検討会を始めます。 • 進行を務めます、国土交通省下館河川事務所長の里村です。よろしくお願ひします。 • 開会に先立ちまして、神達岳志・常総市長より、ご挨拶をお願いします。
10:02	市長挨拶	神達 常総市長	スライド3 常総市長名	<ul style="list-style-type: none"> • ご挨拶
	議事進行	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> • ありがとうございます。神達市長におかれましては、次のご予定の関係では、ここで退席されます。 • 今回、初回ですので出席者の自己紹介を行いたいところですが、後ほど「取り組み紹介」の時間を設けておりますので、今はお配りしております名簿に代えさせていただきます。 • それでは、早速、検討会を進めてまいりたいと思います。初めに、趣旨説明を、常総市の須藤・市民生活部長からお願ひします。
10:05	2. 趣旨説明	須藤 市民生活部長	スライド4～6 常総市 タイムライン マイタイムライン 検討会	<ul style="list-style-type: none"> • みんなでタイムラインプロジェクトについて • タイムラインとは、台風が来る3日前からカウントダウンをし、洪水に先手を打って対応するため • のツール。常総市では今年の梅雨前に作成。（常総市のタイムラインをスライドに投影） • これまで、国土交通省や県などの関係機関と訓練を行うなどして情報共有や連携を確認してきましたが、 • 行政間の連携と、避難のための情報伝達が主な部分であった。 • このたび、「マイ・タイムライン」ということで、住民の皆様一人ひとりの部分を具体的に検討して • いただくこととした。（「マイ・タイムラインとは」スライド投影） • (先ほど、市長の挨拶にもあったとおり、全国初の取り組み。市内また全国へと広げてモデルにして • いきたい。) • このマイ・タイムラインの検討の過程では、住民の方々の洪水時のリスクの認識や、逃げるタイムミ • ングがわかり、さらにみなさんでの意見交換により、地域のコミュニケーションの輪が広がると期 • 待している。 • 今回の、マイ・タイムラインの検討では、若宮戸地区と根新田地区の2地区をモデル地区として、 • 学識者や関係する機関の方々に参加していただき、①洪水のリスクを知る②タイムラインの考え方 • を知る③マイ・タイムラインの作成 という3つのステップでマイ・タイムラインを作成するもの。 • (「マイ・タイムライン検討会」スライド投影) • この根新田地区では、今日を含め今年度中に3回の検討会を開催する予定。 • 次に洪水が起こった時には逃げ遅れゼロにできるよう、この検討会を通じて「自分の逃げ方」を得 • ていただきたいと考えている。 • 今回の検討会で行ったことは、他のモデルになる。そのため、アンケートなどにもご協力をいた • だく。よろしくお願ひしたい。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
	2. 趣旨説明	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・ただいまの趣旨に沿って進めてまいりたいと思いますが、ご質問はございますでしょうか？ >>> 質疑；確認<<<
10：05	2. 趣旨説明	里村事務所長	スライド6 検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。そのあたり、検討会を進める過程で具体的な話も出てくると思います ・よろしいでしょうか。ありがとうございます。 ・「三十六計逃げるに如かず」ということでもあります。 ・今、須藤部長からありましたとおり、この3回の検討会を通じて「自分の逃げ方」を会得することを目指します。 ・「マイ・タイムライン」ということで、台風が来る3日前から、自分の家では、うちの家族は、どんな準備をして待ち構えるのか、どんなタイミングで逃げるのか、それを皆さんお一人お一人の家族構成や避難所までの距離など、それぞれの状況に応じて整理をしていきたいと考えています。 ・3回の検討会を過ごせば、皆さんが避難のプロになっている、そんな根拠を作っていきたいと考えています。 ・それでは、次の各機関の取り組み紹介に移ります。 ・検討会に参加している各機関と学識者の先生方から、取り組みを紹介していただきます。 ・日頃の活動と洪水時の活動（例えば、昨年の洪水時に行ったことなど）について、簡単にご紹介をお願いします。 ・それでは、常総市、茨城県、警察、消防、気象台、下館河川事務所の順でいき、その後、川島先生、伊藤先生、白川先生の順で、ご専門と研究テーマ、常総市とのかわりなどをご紹介いただきます。 ・恐縮ですが、それぞれ1～2分程度で協力いただきますようお願いいたします。 >>> 質疑；確認<<<
10：10	3. 各機関の取り組み紹介	里村事務所長	スライド7～15 名前スライド ※気象庁の説明時には専用スライド	<ul style="list-style-type: none"> （取り組み紹介）※各2分程度 ・常総市（危機管理室長） ・茨城県土木部 河川課 鬼怒川流域緊急対策推進室（栗林室長代理） ・常総警察署 ・常総市広域市町村圏事務組合消防本部水海道消防署 ・気象庁水戸気象台 ・下館河川事務所（須藤副所長）（学識者） ・川島先生 ・伊藤先生 ・白川先生
		各自		<ul style="list-style-type: none"> ※下館河川事務所分 ・下館河川事務所の副所長の須藤です。よろしく申し上げます。 ・当事務所の取り組みを紹介させていただきます。 ・事務所で管理している河川は、鬼怒川と小貝川の2河川になります。こちらの図をご覧ください。 ・こちらの2河川となり、常総市はこのあたりになります。 ・事務所では工事とソフト対策を進めておりますが、工事の関係はこのあと鬼怒川緊急対策プロジェクトでお話します。ここでは洪水時の体制のお話をさせていただきます。 ・こちらの写真をご覧ください。洪水時には、筑西市にある事務所内の「防災対策室」に職員が集まり、鬼怒川と小貝川の河川の状況を確認します。洪水警報等の発信もこちらから行っております。 ・その他、水位が高くなれば、排水機場や水門の操作を行ったり、河川の状況把握を24時間行ったりしております。なお、状況把握は1時間程度で回れる延長ごとにグループを作り、昼夜問わず異常がないか確認します。 ・概要となりますが、洪水時の取り組みとしては以上となります。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
				<p>・・・時間があれば・・・参考資料の水防災意識社会取り組み（常総市）を紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なお、常総市において行っているイベントの紹介をさせていただきます。 ・現在、当事務所と関係機関で減災対策協議会というものを行っています。今回の検討会と同様に、河川の水防災への意識を、住民と一緒に強化していく等の様々な取り組みを行うものです。 ・こちらの写真をご覧ください。写真のフラインズマスダにおいて、9月にパネル展示を実施しました。同じ時期に市役所会議棟や石下庁舎でも実施しております。みなさんの中でもご覧になっている方もいるかとおもいます。 ・その他、9月に常総市と洪水時情報伝達演習を実施したり、出前講座で玉小学校や石下中学校において説明会を実施する等の取り組みをしております。 ・常総市では多くのイベントを開催させていただいております。ご協力、ありがとうございます。 ・ありがとうございます。 ・誰が何をしているのか、洪水の時は何をするのかなど、イメージできましたでしょうか？ ・この検討会では、このメンバーで皆さんのマイ・タイムライン作りを支援したいと思えます。 ・今の各機関・先生のご紹介について、ご質問あるいは、もっと知りたいということがございましたらお願いします。 <p>>>>質疑；確認<<<<</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、前半の最後になります。 ・下館河川事務所から、昨年の関東・東北豪雨の振り返りと現在実施している鬼怒川緊急対策プロジェクトについて、報告してください。
10:30 ～ 10:45		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・パンフとビデオで実施！ ・大きな雨。鬼怒川は高い水位が続き、満身創痍。4,300名の方が救助された。 ・ハード・ソフトを一体的に進める鬼怒川緊急対策プロジェクトが開始。 ・これまでに決壊した上三坂の堤防は完成。大規模溢水の若宮戸では昨年のは洪水の水位+50cmの盛土が完了。その他も順次、用地買収をしながら実施中。 ・堤防整備と河道掘削で平成32年度までに再度災害防止を図る。
10:45 ～ 10:50	4. 鬼怒川緊急対策プロジェクトの報告	須藤副所長	スライド16 お手元のパンフを ご覧ください	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。何かご質問はございますでしょうか？ >>>質疑；確認<<<< ・よろしければ、これからいよいよマイ・タイムラインづくりに入るわけですが、その前に休憩を入れましょう。 ・この時計で11時（当日の状況により変更あり）までの休憩とします。11時には再開しますのでよろしく願います。 ・茨城大学の伊藤先生におかれましては、ご都合により、ここで退席されます。先生、ありがとうございます。
10:50 ～	(休憩) (10分間)	里村事務所長	スライド17 休憩	
11:00 ～ 11:10	5. 根新田地区の取り組み (紹介)	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、5. 根新田地区の取り組みということで自治区長の鈴木さまより地区での取り組みをご紹介します。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
11:10 ～ 11:15	6. 検討会の進め方について	根新田地区 自治区長 里村事務所長	ビデオ映像 スライド 18～21 お手元のノート マイタイムライン について	<ul style="list-style-type: none"> 放映されるビデオの説明（1分程度） ビデオ（7分）放映 それでは、再開します。 はじめに、検討会の進め方を説明します。 ノートをめくって頂き、目次をご覧ください。マイ・タイムラインの検討は3つのSTEPで行います。 ここ根新田では、1回の検討会で1STEP進むことを想定しています。 STEP1は「自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る」です。 その後、年明けになります。STEP2「洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る」、STEP3「マイ・タイムラインの作成」へと進んでまいります。 このマイ・タイムラインの検討は、お手元のクリアファイル「マイ・タイムライン ノート」に沿って行います。 ノートの最後のページ41ページをお開きください。「マイ・タイムラインについて」というページがあります。ここでは、マイ・タイムラインの取扱説明書のようなことが書かれています。②の「ノートとは」のところに、3つの考え方を書いてあります。ノートという名のとおり、皆さんご自身で書き込んでいただきますが、3つのポイントに沿って書き込んでいただきます。 I「知る」・・・ II「気づく」・・・ III「考える」・・・ 8ページや10ページには、「もっと詳しく知りたい」となっています。マイ・タイムラインを作成することで参考となる情報ですが、難しければ読み飛ばしていただいても構いません。 STEP3で、マイ・タイムラインの作成をしていただきます。今後のマニュアル作りの参考にさせていただきますために、いったん回収させていただきます。その後、事務局から郵送にてお返しする形をとらせていただきます。
		里村事務所長	スライド22 お手元のノート	<ul style="list-style-type: none"> ここまで、検討の進め方（3STEP）と、ノートの構成についてお話ししました。 ご質問はございますか？ >>>質疑；確認<<<
		里村事務所長	PDFノート 拡大して投影	<ul style="list-style-type: none"> ありがとうございます。 それでは、最初のページに自分のお名前とご家族のお名前をご記入ください。
		里村事務所長	PDFノート 拡大して投影	<ul style="list-style-type: none"> それでは、具体的にSTEP1へ進んでまいります。 先ほども申し上げたとおり、STEP1は「自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る」です。今日の残りの時間で、根新田地区の洪水リスクを知っていただきます。 孫子曰く「彼を知り己を知れば、百戦して殆うからず」敵を知り自分を知るならば、絶対に負ける心配はない～と。まずは、己を知っていただきます。
11:15 ～ 11:25	7. 自分たちの住んでいる地区について はじめに ～地区の特性	里村事務所長	PDFノート 拡大して投影	<ul style="list-style-type: none"> ではまず、ノートの目次で言いますと「はじめに」と「地区の特性」。ノートの3ページまでになります。 常総市の溝上防災・危機管理室長にお願いします。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
		溝上室長	PDFノート 拡大して投影	<ul style="list-style-type: none"> まず、1 ページから進めます。昨年の洪水のときのご自身の行動をふりかえりましょう。 ①～⑥まで思い出しながら記入してみてください。 ①避難しましたか？ 昨年、避難したか、しようとしたけどできなかったか、しなかったか、選んでください。 ②どこに避難しましたか？ 避難された場所を書いてください。 ③避難場所へ到着したのはいつですか？また、家から避難場所までのくらの時間がかかりましたか？それぞれご記入ください。 ④避難の準備を開始してから家を出るまでのくらの時間がかかりましたか？ ⑤避難のきっかけは何でしたか？ ⑥避難に関して、覚えておきたいこと、学んだこと、工夫したことなどがあればメモしておいてください。そして、ここまでは「命を守る」を念頭に「身体の避難」を考えてきましたが、家財について、何か覚えておきたいことなどあれば、メモしておいてください。 続いて、2 ページの「地区の特性」へ移ります。常総市全体や根新田地区の人口などについてお話しします。書き込んでください。 常総市の人口は・・・世帯数は・・・、根新田地区の人口は・・・世帯数は・・・(順に紹介) そして、3 ページの図面に、ご自宅の場所を○で書き込んでください。おおよそで構いません。 また、図面の下に「平成 27 年 9 月関東・東北豪雨で避難したのは、」と書いておられます。「振り返る」でも書いていただきましたが、昨年避難された場所をご記入ください。 ここまで、地区の特性、ご自宅の場所などを見てまいりました。 2 ページに「気づく」というオレンジの色の枠があります。感想や気づいたことなど、書き込んでみましょう。 ありがとうございます。 地区のことはご存知のことばかりでしたでしょうか？再認識されたことはありますか？ そしてここで、もう一つご記入いただきたいと思います。クリップの中に資料 8 がございます。これは、川島先生からいただいたアンケートになります。先生からご説明をお願いします。 アンケートの説明(内容、集計して結果を次回検討会で報告する予定であること) ありがとうございます。ぜひ、ご協力をお願いします。 では、ここまで「はじめに」、「地区の特性」と進めてまいりましたが、お気づきの点など、ご発言をお願いしますと思います。 むしろ、「昔から住んでいてこんなこと知っている」ということがあればご紹介いただければと思います。 では続きまして、洪水について話を進めてまいりましょう。 ノートの目次で言いますと「過去の洪水から学ぶ」から「想定最大規模の雨」で鬼怒川が氾濫した「ら」までです。 伊藤調査課長お願いします。
11:25 ～ 11:35	(意見交換)	里村事務所長 川島先生 里村事務所長		
11:35 ～ 11:45	8. 洪水のリスクについて	里村事務所長	スライド 2 3 お手元ノート PDF ノート 拡大して投影	

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
11:45 ～ 11:50	質問	伊藤課長 里村事務所長 白川先生	PDFノート 拡大して投影	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートに沿って説明 ・ありがとうございます。 ・過去の洪水、地形、最近の雨の降り方そして想定される最大規模というお話でした。 ・少し難しい部分もあったかと思いますが、ご質問はございますか？ ・白川先生、ご専門の立場から、なにか補足がございましたら、お願いします。 ・ノートの見方、ポイント等の補足 ・これは、再認識されたことも多いのではないのでしょうか？ ・どなたか感想をお願いしたいのですが。びびくりしたことなども結構です。メモされたことを少しご紹介いただければ。 >>> 質疑；確認<<< ・休憩前に鬼怒川緊急対策プロジェクトの話がありました。あれで堤防ができればもう安心と思っ てらっしゃいませんか？今年、熊本では150ミリ降っています。去年より大きな雨が降らな いとは言えない状況です。 >>> 質疑；確認<<< ・先生方から何かございますでしょうか？ ・関係機関から何かございますでしょうか？ >>> 質疑；確認<<< ・ありがとうございます。 ・それでは、時間も近づいてきましたので、とりまとめに入りたいと思います。 ・今日は、
11:50 ～ 12:10	(意見交換)	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ①須藤部長から趣旨説明 ②各機関の取り組み紹介（こんなご質問もありました） ③関東・東北豪雨の振り返りと鬼怒川緊急対策プロジェクト ・休憩をはさんで、具体的なマイ・タイムラインの検討を開始しました。 ①溝上危機管理室長から地区の特徴など（こんなご意見もありました） ②事務所から洪水のリスク等について（こんなご意見もありました） ・全体を通じて、何かございますか？ ・先生方から一言ずつお願いします？ ・これで「己を知ること」ができたと思います。 ・次回は、「彼を知ること」すなわち、迫ってくる台風や雨、水位を知る予定です。 ・それまでの間にご疑問が出てきた場合には、市役所や下館河川事務所にご遠慮なくお尋ねください。 ・それでは、これで第一回の検討会を終わりますが、自治区長さま何かありますか？ ・みなさま、長い時間ありがとうございました。 ・次回は、1月29日、2月19日に常総市役所で行う予定であります。詳しくは、年明けにご案内差上げます。 ・今後の検討に役立てたいので、ノートの1ページと3ページを写真撮影させていただきたくので、ご協力をお願いいたします。お手数ですが、受付をしたところで写真撮影をさせていただきます、そちらで併せてアンケートを回収させていただきます。ご協力をお願いします。
12:10 ～ 12:15	9. とりまとめ	里村事務所長	スライド24 とりまとめ	
	10. 閉会	里村事務所長	スライド27 今後の予定 スライド28 アンケートの協力	

参考資料 4-1-5

第1回根新田地区マイ・タイムライン検討会 スライド

携帯電話やスマートフォンをお持ちの方は、

会場内ではマナーモードに切り替え、

通話はお控えください。

～みんなでタイムラインプロジェクト～

第1回 マイ・タイムライン検討会

根新田地区

平成28年11月20日

根新田会館

開 会

神達 岳志 常総市長

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

趣旨説明

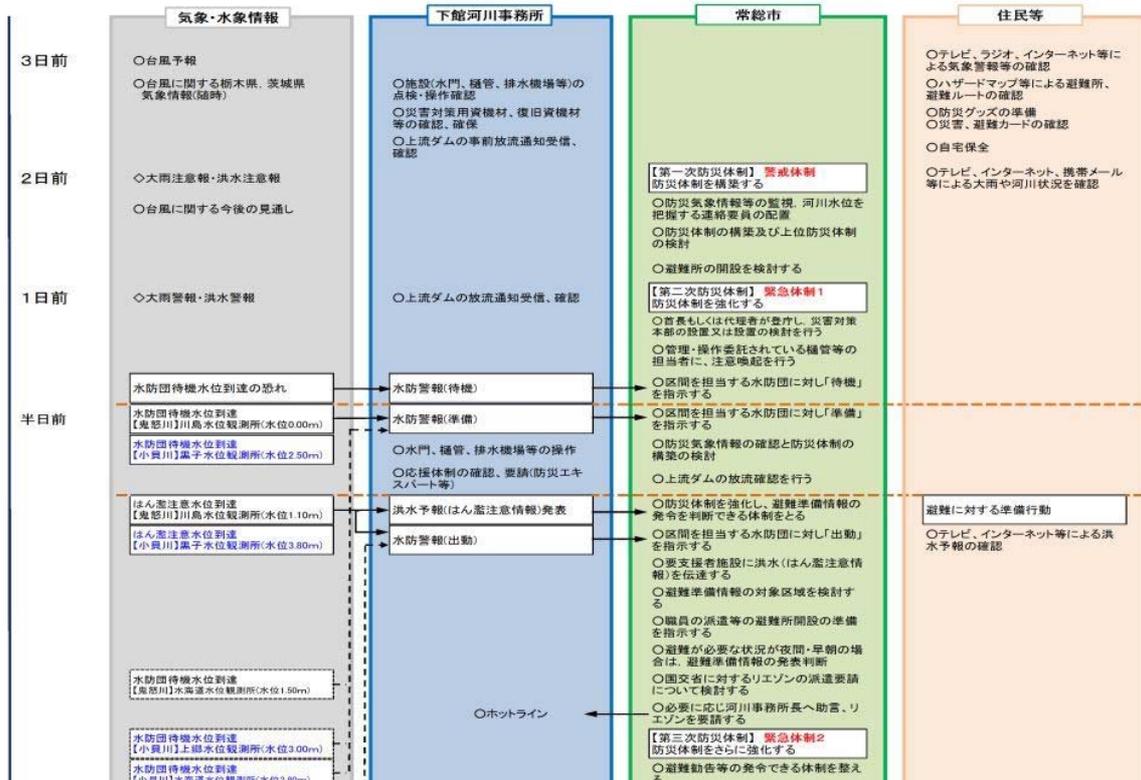
須藤 一徳

常総市 市民生活部長

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

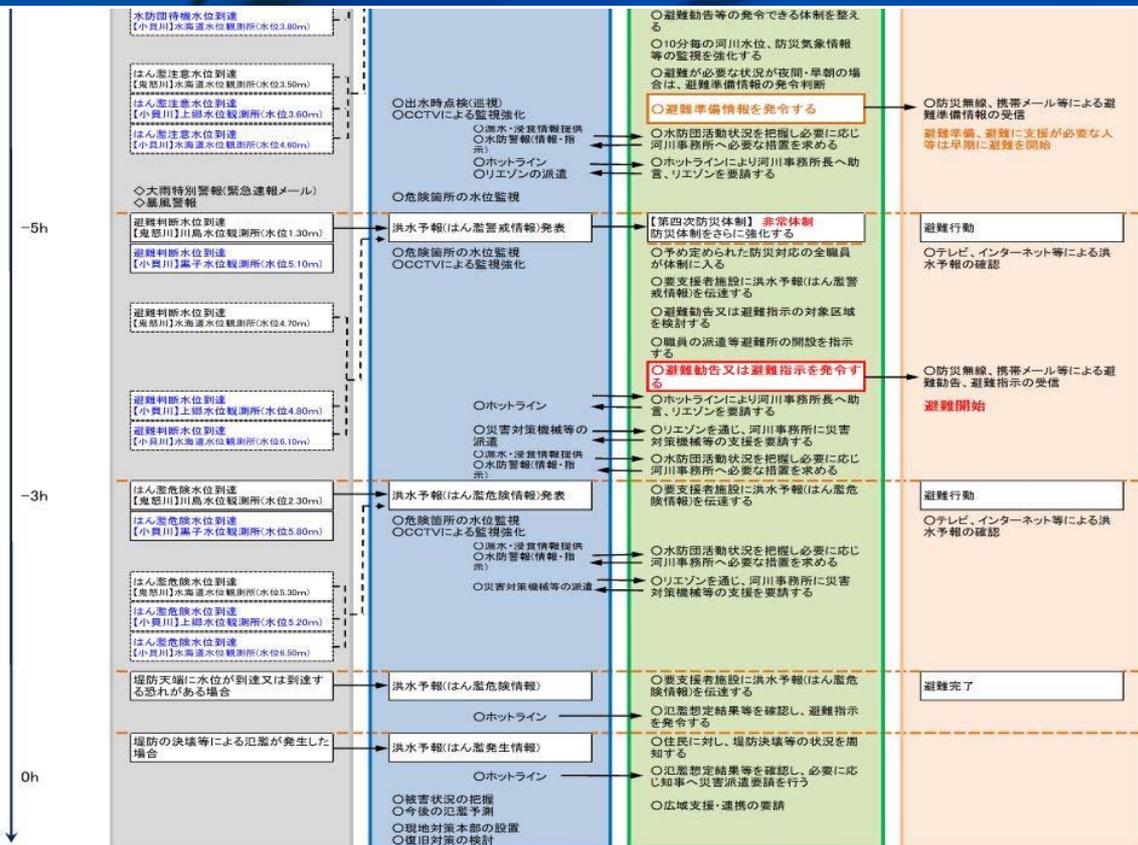
常総市 タイムライン

台風による洪水を対象とした避難勧告発令等に着目したタイムライン(防災行動計画)(H28年6月版)
常総市(鬼怒川・小貝川)



鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

常総市 タイムライン



※今後の出水や訓練等を通じて見直しを行っていく

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

マイ・タイムラインとは…

一人ひとりのマイ・タイムライン(イメージ)



マイ・タイムラインの検討の過程で…

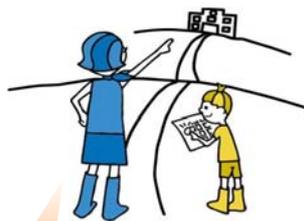
❗ リスクを知る

- ・自分の家が浸水してしまう
- ・避難所まで遠い など



❗ 逃げタイミングを知る

- ・いつ逃げる？
- ・誰と逃げる？
- ・危険な場所をよけて逃げるには？



❗ モーニングの準備が広がる

- ・検討会での意見交換などで、知り合いになれる
- ・ご近所とのつながりが強く、太くなる



マイ・タイムラインができると…

- ❗ 災害発生時、家族や近所の人と助けあえる
- ❗ 災害発生時、避難所を早く知る

逃げ遅れゼロ

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 『水防災意識社会』の再構築を目指します。

常総市のモデル地区におけるマイ・タイムライン検討会

モデル地区の住民、常総市、警察署、消防署、茨城県、気象庁、国土交通省下館河川事務所に加え、各分野の学識者で構成される『マイ・タイムライン検討会』を設置し、住民一人ひとりがそれぞれの環境に合ったタイムラインを自ら検討する取り組みを進めます。

検討会の進め方

ステップ1 自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る

- ・過去の洪水を知る
- ・地形の特徴を知る
- ・水害リスクを知る



ステップ2 洪水時に得られる情報を知り、タイムラインの考え方を知る

- ・洪水時に得られる情報とその読み解き方を知る
- ・タイムラインの考え方を知る
- ・洪水時の自らの行動を想定



ステップ3 マイ・タイムラインの作成

- ・一人ひとりのタイムラインを作成



これで、逃げるタイミングがわかったわ!

モデル地区

今年度は、**若宮戸地区**、**根新田地区**をモデル地区として、検討会を進めます。



学識者

- ・筑波大学システム情報系社会工学域 川島宏一 教授
- ・茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科 地球変動適応科学研究機関 伊藤哲司 教授・機関長
- ・筑波大学院システム情報系構造エネルギー工学域 白川直樹 准教授

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 『水防災意識社会』の再構築を目指します。

各機関の取り組み紹介

常総市

溝上 博

防災・危機管理室長

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

各機関の取り組み紹介

茨城県 土木部河川課
鬼怒川流域緊急対策推進室

栗林 俊一
室長代理

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

各機関の取り組み紹介

常総警察署 警備課

清水 健吾

課長

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

各機関の取り組み紹介

常総地方広域市町村圏
事務組合消防本部 水海道消防署

山田 修

副署長

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

各機関の取り組み紹介

水戸気象台

金内 正文

水害対策気象官

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

各機関の取り組み紹介

下館河川事務所

須藤 純一

副所長

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

各機関の取り組み紹介

筑波大学

システム情報系社会工学域

川島 宏一

教授

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

各機関の取り組み紹介

茨城大学

人文学部人文コミュニケーション学科

伊藤 哲司

教授

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

各機関の取り組み紹介

筑波大学

システム情報系構造エネルギー工学域

白川 直樹

准教授

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

鬼怒川緊急対策プロジェクトの報告

お手元の

「鬼怒川緊急対策プロジェクト」の
パンフレットとチラシをご覧ください

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

休憩

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

検討会の進め方について

お手元の

「マイ・タイムラインノート」をご覧

ください

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

マイ・タイムラインノートについて

▶ マイ・タイムラインとは

「マイ・タイムライン」は住民一人ひとりのタイムラインであり、台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるものです。

時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また判断のサポートツールとして、効果を発揮するものと考えています。

しかしながら洪水は自然現象であるため、マイ・タイムラインがあれば常に安全ということではなく、その都度、台風・降雨・河川の状況等を考慮して判断しなければならないことにも留意しておく必要があります。マイ・タイムラインに盛り込まれたどの防災行動で台風・降雨・河川の状況等が把握できるのかを知っておくことも重要です。

このたび、まずは常総市の若宮戸地区と根新田地区をモデル地区として、一人ひとりの住民に参加いただく「常総市マイ・タイムライン検討会」を設置し、鬼怒川の水位上昇を対象にマイ・タイムラインの検討を進めます。検討の過程で、住民一人ひとりが、自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、マイ・タイムライン作成時には、いわば「自分の逃げ方」を手に入れられるように取り組んでいくこととしています。

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

マイ・タイムラインノートについて

▶ マイ・タイムラインノートについて

マイ・タイムラインの検討は、住民一人ひとりに配付する「マイ・タイムライン ノート」に沿って行います。ノートは、地形の特徴や過去の洪水といった自宅周辺のリスク、洪水発生時に得られる情報などのマイ・タイムラインの検討に当たって抑えておくべき情報を「知る」ことから始め、そこから「気づく」ことや自分自身に置き換えて「考える」ことを記入していくことで、洪水発生時に自分自身がとるべき防災行動を整理する形で編集しています。そして、整理した防災行動を時系列的にとりまとめることによって、最終的に一人ひとりのマイ・タイムラインが作成できることとなります。

ノートは以下の3つの考え方で構成しています。

知る

マイ・タイムラインの検討に当たって抑えておくべき情報を記載しており、検討会で解説します。メモ欄には、初めて知ったことや驚いたこと、大切だと思ったことを記入してください。

気づく

「知る」を通じて得られた知識やメモした事柄を踏まえ、感じたことを記入してください。検討会での意見交換により、理解を深めます。

考える

「知る」や「気づく」を踏まえ、自分自身の自宅の状況や家族の構成に置き換えて、安全に避難するために必要と考えることを記入してください。

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

マイ・タイムラインノートについて

▶ マイ・タイムラインノートの作成後

今回検討するマイ・タイムラインは基礎的なものであり、例えば、洪水が発生する時間帯によってはさらに早めの避難が必要になるなど、実際の洪水時を想定した応用動作が想定されます。今後、家族や地域で話し合うなどし、防災行動を追加していくことも考えられます。

またマイ・タイムラインは、一度作ったらおしまいというものではなく、自分自身の置かれている環境の変化に応じて変更していくことが望ましいと考えられます。例えば、家族が増えたとき、勤務先や学校が変わったときなど、あらためてノートを見直して、必要な防災行動を整理していくことが望ましいと考えられます。

来たるべき洪水に備えて、マイ・タイムラインを活用し、逃げ遅れゼロに向けてさらなる地域の取り組みが積み重ねられることを期待しています。

平成28年11月13日

常総市マイ・タイムライン検討会 運営会議

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

自分たちの住んでいる地区について

お手元の

「マイ・タイムラインノート」を

ご覧ください

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

お手元の

「マイ・タイムラインノート」をご覧

ください

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

とりまとめ

今後の予定

◆第2回検討会

日時： 1月29日（日）AM10:00～12:00

場所：常総市役所

◆第3回検討会

日時： 2月19日（日）AM10:00～12:00

場所：常総市役所

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

ノートとアンケートの写真撮影にお手数ですがご協力お願いいたします。

写真撮影後、アンケートは回収させていただきます。

ノートは、次回検討会にお持ち下さい。

参考資料 4-2-1

第2回根新田地区マイ・タイムライン検討会

記者発表資料

記者発表資料

みんなでタイムラインプロジェクトが前進

～ 常総市根新田地区において、住民が自分自身の避難行動を自ら検討 ～

市町、県、国で構成する鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会では、「みんなでタイムラインプロジェクト」を進めています。

このたび、モデル地区の一つである常総市根新田地区において、第2回マイ・タイムライン検討会を開催します。この検討会では、いよいよ、地区の住民一人ひとりが、**自分自身の避難行動を自ら検討**します。

1. 対象地区

常総市根新田地区

2. 開催日時

平成29年1月29日(日) 10:00～12:00

3. 開催場所

茨城県常総市水海道諏訪町3222-3 常総市役所 議会棟2階 大会議室
 開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線水海道駅 徒歩10分(別添地図参照)

4. 議事(予定)

・「洪水時の自らの行動を想定」など

5. 公開等

- ・検討会は、報道機関を通じて公開いたします。
- ・カメラ撮り等は可能です。
- ・その他、取材に関する詳細は、別添資料をご覧ください。

※ もう一つのモデル地区(若宮戸地区)では2月5日に開催予定です。後日、あらためてお知らせします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、
 栃木県政記者クラブ、筑西市記者クラブ、宇都宮市政記者クラブ、取手記者会
 筑波研究学園都市記者会、龍ヶ崎記者会、つくば市記者会

問い合わせ先

常総市 市民生活部 安全安心課
 斎藤課長、溝上危機管理監 (TEL: 0297-23-2111)
 国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所
 須藤副所長 (TEL: 0296-25-2161)、伊藤調査課長 (TEL: 0296-25-2171)

第2回 常総市マイ・タイムライン検討会（根新田地区）の 開催について（報道の方へ）

標記検討会について下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

記

1. 開催日時

平成29年1月29日（日） 10:00～12:00（予定）

2. 開催場所

茨城県常総市水海道諏訪町3222-3 常総市役所 議会棟2階 大会議室
開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線水海道駅 徒歩10分（別添地図参照）

3. 検討会の公開

- 検討会は、報道機関を通じて公開いたします。
- カメラ撮り等は可能です。

4. 報道関係者の受付

- 受付日時 平成29年1月29日（日） 9:30～10:00まで
- 受付場所 茨城県常総市水海道諏訪町3222-3 常総市役所 議会棟2階 大会議室
- 事前の登録が必要です。別添登録様式にご記入の上、
平成29年1月26日（木）12:00までに、様式の送付先に送ってください。
- 当日、受付にて必要事項を記入の後、係員の指示により会場へ入場をお願いします。
- スペースが限られているため、机や椅子が不足する事態もあり得ますが、ご理解ください。
- 当日は、受付にて「受付証」をお渡ししますので着用をお願いします。なお、お帰りの際に係員へ返却下さい。

5. 取材に当たっての注意事項

取材に当たっては、以下の注意事項をご確認いただき、その遵守へのご協力をお願いします。

- 事務局の指定した場所以外での撮影、取材は、ご遠慮ください。
- 傍聴席でのPC等の使用は、議事や他の傍聴者の迷惑にならない限り可能です。
- 取材に必要な電源は、各社（各自）にてご用意下さい。
- 携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切り下さい。
- 会場では、発言、私語、談論、拍手等を行わないで下さい。
- プラカードを掲げたり、はちまき、腕章の類を付けたり、ビラ等の配布を行わないで下さい。
- 会場での飲食及び喫煙はご遠慮下さい。
- 事故防止の観点から、取材に当たっては節度ある行動をお願いします。
- 手荷物・貴重品等の管理は各自にてお願いします。
- 会議の円滑な進行のため、係員の誘導、指示に従って下さい。
- 上記の他、会議の進行を妨げたり、会場の秩序を乱す行為をしないで下さい。

■茨城県常総市水海道諏訪町3222-3 常総市役所 議会棟2階 大会議室

最寄り駅：関東鉄道常総線水海道駅 徒歩10分です。



案内図

事前登録書

平成29年1月29日（日）の「第2回 常総市マイ・タイムライン検討会（根新田地区）」につきまして、取材を希望される報道機関におかれましては、事前に登録をお願いします。

FAX送信期限：平成29年1月26日（木）12：00まで

1. 報道機関名 _____

2. 氏名等

ご氏名 (代表者のみ)	連絡先 (電話番号)	メールアドレス	人数 (代表者含む)	車台数

3. 送付先 FAX：0296-25-3019

4. 事前登録に関する問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所 調査課長 伊藤 克雄

TEL：0296-25-2171

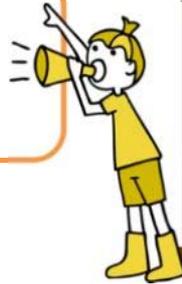
参考資料 4-2-2

第2回根新田地区マイ・タイムライン検討会

会議配布資料

1. 開会
2. 本日の進め方
3. 前回のおさらい
4. 洪水時に得られる情報と読み解き方について
5. タイムラインの考え方について

逃げおくれのない
地区にしよう！！



第2回検討会
1月29日
10:00~12:00
常総市役所

休 憩

6. 洪水時の自らの行動を想定について

意見交換

全体発表

7. とりまとめ
8. 閉会

みんなで意識を高
め、鬼怒川の洪水
にそなえましょう。



「水防災意識社会」の再構築を目指します。

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

みんなでタイムラインプロジェクト

第2回マイ・タイムライン検討会 根新田地区検討会 参加者

資料2

機関名	部名・課名	役職	氏名	備考
根新田地区	根新田	自治区	住民	自治区長 鈴木孝八郎
学識者	筑波大学システム情報系社会工学域	教授	川島宏一	学生(1人)
	茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科	教授	伊藤哲司	
	筑波大学システム情報系構造エネルギー工学域	准教授	白川直樹	学生(3人)
常総市	市長		神達 岳志	
	市民生活部	部長	須藤 一徳	
	市民生活部安全安心課	課長	斎藤 健司	
	市民生活部安全安心課	防災・危機管理室長	溝上 博	
	市民生活部安全安心課	課長補佐	小林 弘	
	市民生活部安全安心課	主査兼係長	安田 洋行	
	市民生活部安全安心課	主事	石塚健一	
常総警察署	警備課	課長	清水 健吾	
常総地方広域市町村圏事務組合消防本部	水海道消防署	副署長	山田 修	
	水海道消防署絹西出張所	所長	五木田 敬	
茨城県	生活環境部 防災・危機管理局 防災・危機管理課	副参事	飛田 聡志	
	土木部 河川課鬼怒川流域緊急対策推進室	係長	皆藤 開平	
水戸气象台		水害対策気象官	金内 正文	
国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所		所長	里村 真吾	
		副所長	須藤 純一	
	調査課	調査課長	伊藤 克雄	
		専門員	平出 亮輔	

第2回マイ・タイムライン検討会に関するアンケートへのご協力をお願い

今後の取組みの参考とさせていただくため、皆様のご意見をお聞かせください。

1. 今回の検討会の内容は理解できましたか。

【洪水時に得られる情報と読み解き方】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

【タイムラインの考え方】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

【洪水時の自らの行動を想定】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

2. 1. の質問で「分かりにくかった」、「全然分からなかった」と回答した方にお聞きします。特に分からなかった部分に対して、自由なご意見をお聞かせください。

→ { }

3. 本日の検討会に参加して分かったことや気づいたこと、今後どのように役立ちそうか、自由にご意見をお聞かせください。

→ { }

4. 第1回検討会に参加された方にお聞きします。

前回の検討会後におこなったことをお聞かせください。(複数回答有り)

自宅でノートを見返した 家族で話し合った 近所の方と話し合った

ノートに記載されている参考資料等をパソコン等で自ら確認した

市役所または河川事務所に問い合わせた その他

→ { }

5. 第1回検討会に参加された方にお聞きします。

配布されたノート以外で、欲しい資料や情報等がありましたら、お聞かせください

→ { }

*ご自身のことをお尋ねします。差支えない範囲で、以下についてご回答ください

■お名前 () ■お住まい (地区 自治会)

■ご年齢 (10代未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上)

■ご職業 ()

■家族構成 ()人 ※ペットを含まない人数を記入願います。

曾祖父・曾祖母 祖父・祖母 父・母 子供(中学生以上)

子供(中学生未満) 乳幼児 ペット ()

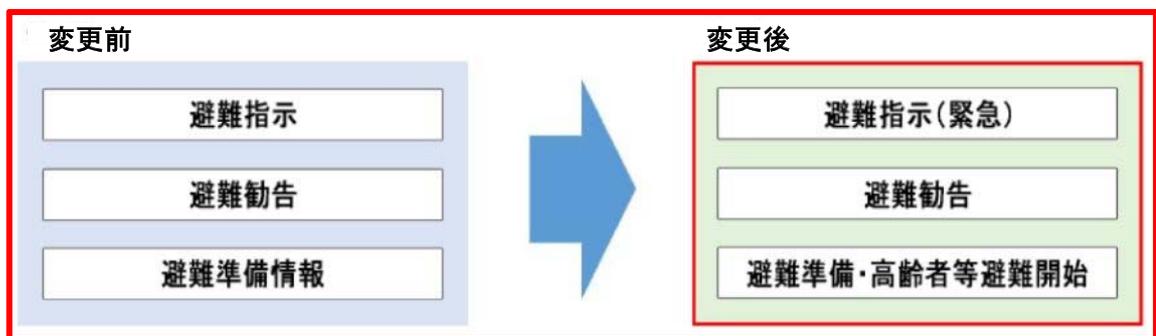
■車の有無 有 ()台 無

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

平成29年1月29日

避難準備情報等の名称変更に伴うノートの修正のお願い

平成28年12月26日に内閣府より、避難準備情報等の名称変更が以下のように公表されました。



本検討会で使用されていますマイ・タイムラインノートにつきましても、修正が必要な箇所がありますので、お手数ですが、修正をお願いいたします。

<修正が必要な箇所>

- ① 22 ページ
- ② 29 ページ
- ③ 39 ページ
- ④最後のページ（A3折り込み）のマイ・タイムライン

※次頁以降に修正が必要な箇所を赤枠で示していますので、参考にしてください。

STEP 2

6.洪水時に得られる情報と読み解き方

知る

キーワード

台風の情報

雨量

川の水位

避難情報

■避難行動を判断する時に有効な情報

洪水時に得られる情報は、台風、雨、川、避難と様々です。これらは、時々刻々と変化します。洪水時は、最新の情報を集めて的確に判断しましょう。

	情報	気をつけるポイント
台風発生	台風に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・台風の大きさ ・台風の強さ ・台風の進路
水位上昇	雨に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・雨量 ・雨の降っている地域（川の上流） ・今後の見通し
	川に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの川の水位 ・上流の川の水位（今後の見通し） ・はん濫の発生
緊急時	避難に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・避難準備情報、避難勧告、避難指示 ・避難所の開設情報 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の状況

■情報を知る手段

洪水時は、テレビ、パソコン、スマートフォン、携帯電話など様々な手段で情報を収集することができます。

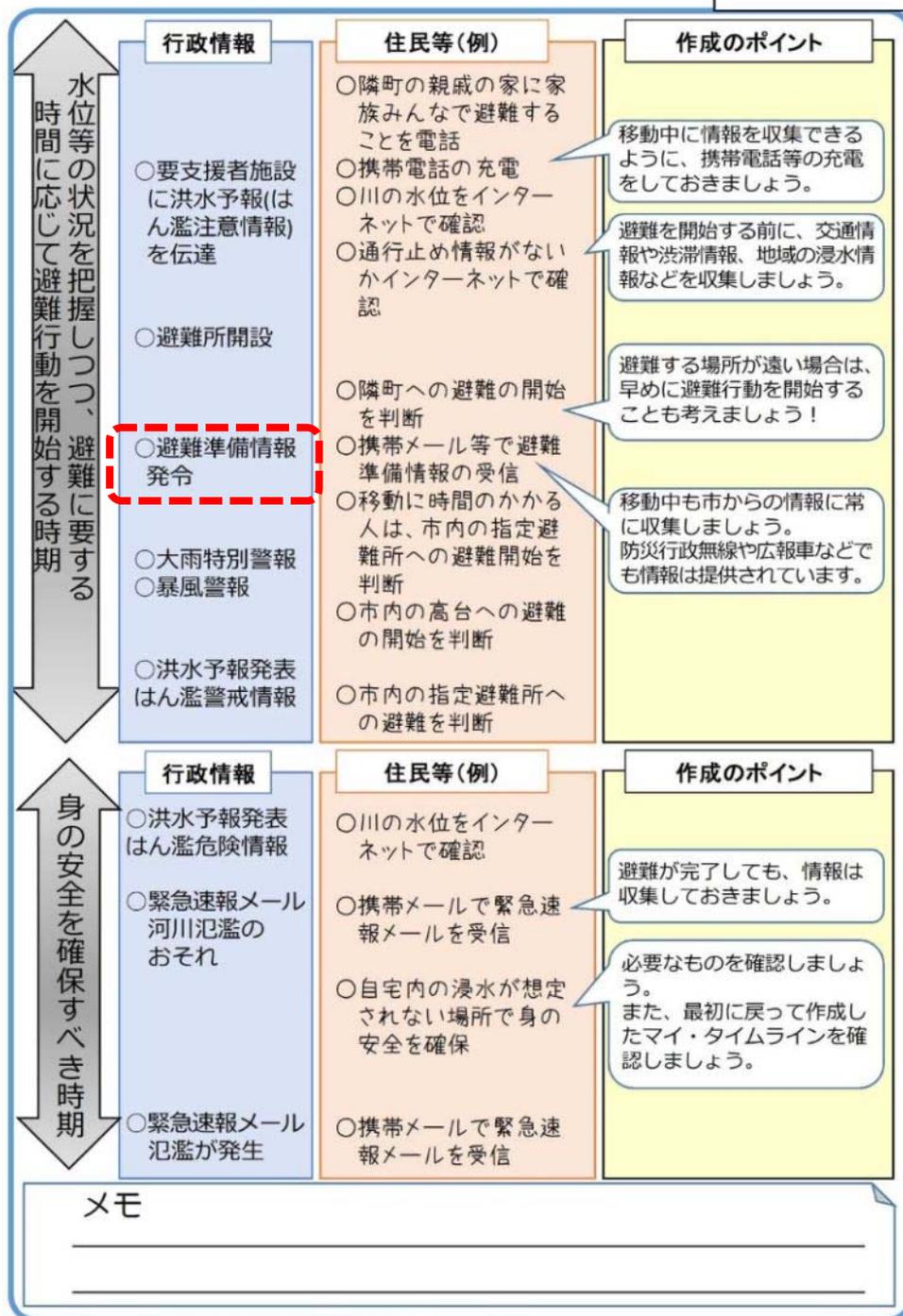
	情報	情報を知る主な手段
台風発生	台風に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビの天気予報 ・気象庁のホームページ
水位上昇	雨に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビの天気予報 ・気象庁のホームページ
	川に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビのデータ放送 ・河川事務所のホームページ、SNS
緊急時	避難に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ・市のホームページ、SNS ・市の防災メール配信サービス <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・県のホームページ、SNS ・交通機関のホームページ、SNS

ホームページは普段から見て、慣れておきましょう。

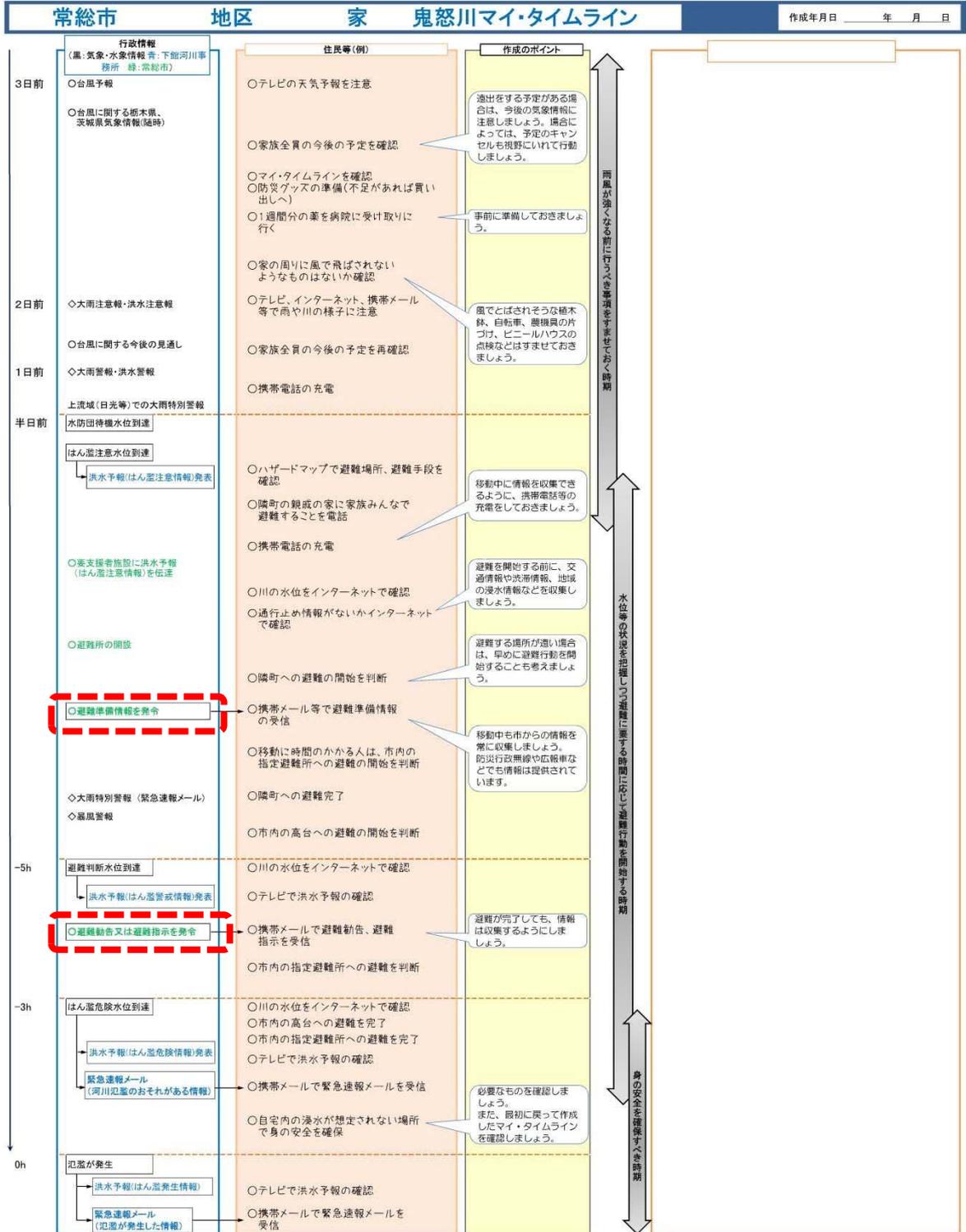


みんなでタイムラインプロジェクト

STEP 3



④最後のページ（A3折り込み）のマイ・タイムライン



◆第3回検討会

日時：2月19日（日）AM10:00～12:00

場所：常総市役所

■ 避難の方法



避難の方法と必要となる準備を記入してみましょう。早めの避難の完了を目指しましょう。

避難の方法	場 所 又は 住 所	手段	① 避難を完了 したい時刻	② 移動に 要する時間	要する準備
(例1) 指定の避難所	〇〇小学校	徒歩	3時間前	30分	持ち出し品 戸締り ・ ・
(例2) 遠くの親戚	△△市	自家用車	4時間前	60分	祖父の薬 戸締り ・ ・
自宅					
指定 避難所					
市内の高台					
遠くの 親戚					
その他 (職場など)					

気づく


 もっと詳しく知りたい

■ 避難所への移動手段

洪水時の移動手段の原則は、徒歩

移動手段 参考速度	長 所	短 所
徒歩 成人:4km/h 高齢者3km/h	<ul style="list-style-type: none"> • 車が入れない場所でも移動できる • 緊急時の対処が他の手段に比べ対応しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> • 避難所まで遠い場合や雨の中を歩くのは、高齢者や子供が大変 
自家用車 40km/h	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者や子供を連れて避難する場合に有効 • 徒歩に比べて、移動速度が速い • 雨に濡れずに避難ができる 	<ul style="list-style-type: none"> • 水に浸かると動かなる恐れがある • 渋滞にはまる恐れがある • 避難所に駐車場がない場合がある • 緊急車両の通行の妨げになる恐れがある 
公共交通機関 電車：80km/h バス：40km/h	<ul style="list-style-type: none"> • 一度に多くの人を輸送できる 	<ul style="list-style-type: none"> • 決まった運行場所・運行時間のため、各自の避難したいタイミングなどと折り合わない恐れがある • 避難所に直接たどり着けない

■ 洪水時の避難の危険性

【実験データ】

浸水深が0.5m（大人の膝）程度で、氾濫流速が0.7m/s程度でも避難は困難となります。

イラスト出典：常総市ハザードマップ避難時の心得



出典：水害ハザードマップ作成の手引き

【洪水氾濫時の移動困難事例】

平成24年7月九州北部豪雨での沖端川の堤防決壊で氾濫流により移動が困難となっている。

水深は、ガードレールとほぼ同じ高さに氾濫水の水面があることから0.5m～0.6mと推算される。



出典：水害ハザードマップ作成の手引き

■避難のタイミングの整理



34ページで書いた時間を参考に整理していきましょう。
一番下の①から時間をさかのぼってかいてみましょう。

(例1) 避難の場所

要する準備

- ・持ち出し品
- ・戸締まり
- ・
- ・

③ 避難場所へ移動を開始する時刻 時間前 (①+②)

↑

② 要する時間 (移動時間) 分

① 避難を完了したい時刻 時間前

(例2) 避難の場所

要する準備

- ・祖父の薬
- ・戸締まり
- ・
- ・

③ 避難場所へ移動を開始する時刻 時間前 (①+②)

↑

② 要する時間 (移動時間) 分

① 避難を完了したい時刻 時間前

避難の場所

要する準備

- ・
- ・
- ・
- ・

③ 避難場所へ移動を開始する時刻 時間前 (①+②)

↑

② 要する時間 (移動時間) 分

① 避難を完了したい時刻 時間前

避難の場所

要する準備

- ・
- ・
- ・
- ・

③ 避難場所へ移動を開始する時刻 時間前 (①+②)

↑

② 要する時間 (移動時間) 分

① 避難を完了したい時刻 時間前

■避難のタイミングの整理



34ページで書いた時間を参考に整理していきましょう。
一番下の①から時間をさかのぼってかいてみましょう。

避難の場所 <input type="text"/>	
要する準備	
<ul style="list-style-type: none"> • • • • 	
③ 避難場所へ移動 を開始する時刻	<input type="text"/> 時間前 (①+②)
↑	② 要する時間 (移動時間) <input type="text"/> 分
① 避難を完了 したい時刻	<input type="text"/> 時間前

避難の場所 <input type="text"/>	
要する準備	
<ul style="list-style-type: none"> • • • • 	
③ 避難場所へ移動 を開始する時刻	<input type="text"/> 時間前 (①+②)
↑	② 要する時間 (移動時間) <input type="text"/> 分
① 避難を完了 したい時刻	<input type="text"/> 時間前

避難の場所 <input type="text"/>	
要する準備	
<ul style="list-style-type: none"> • • • • 	
③ 避難場所へ移動 を開始する時刻	<input type="text"/> 時間前 (①+②)
↑	② 要する時間 (移動時間) <input type="text"/> 分
① 避難を完了 したい時刻	<input type="text"/> 時間前

避難の場所 <input type="text"/>	
要する準備	
<ul style="list-style-type: none"> • • • • 	
③ 避難場所へ移動 を開始する時刻	<input type="text"/> 時間前 (①+②)
↑	② 要する時間 (移動時間) <input type="text"/> 分
① 避難を完了 したい時刻	<input type="text"/> 時間前

マイ・タイムラインについて

① マイ・タイムラインとは

「マイ・タイムライン」は住民一人ひとりのタイムラインであり、台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるものです。

時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また判断のサポートツールとして、効果を発揮するものと考えています。

しかしながら洪水は自然現象であるため、マイ・タイムラインがあれば常に安全ということではなく、その都度、台風・降雨・河川の状況等を考慮して判断しなければならないことにも留意しておく必要があります。マイ・タイムラインに盛り込まれたどの防災行動で台風・降雨・河川の状況等が把握できるのかを知っておくことも重要です。

このたび、まずは常総市の若宮戸地区と根新田地区をモデル地区として、一人ひとりの住民に参加いただく「常総市マイ・タイムライン検討会」を設置し、鬼怒川の水位上昇を対象にマイ・タイムラインの検討を進めます。検討の過程で、住民一人ひとりが、自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、マイ・タイムライン作成時には、いわば「自分の逃げ方」を手に入れられるように取り組んでいくこととしています。

② マイ・タイムラインノートとは

マイ・タイムラインの検討は、住民一人ひとりに配付する「マイ・タイムライン ノート」に沿って行います。ノートは、地形の特徴や過去の洪水といった自宅周辺のリスク、洪水発生時に得られる情報などのマイ・タイムラインの検討に当たって抑えておくべき情報を「知る」ことから始め、そこから「気づく」ことや自分自身に置き換えて「考える」ことを記入していくことで、洪水発生時に自分自身がとるべき防災行動を整理する形で編集しています。そして、整理した防災行動を時系列的にとりまとめることによって、最終的に一人ひとりのマイ・タイムラインが作成できることとなります。

ノートは以下の3つの考え方で構成しています。

- I. 「知る」：マイ・タイムラインの検討に当たって抑えておくべき情報を記載しており、検討会で解説します。メモ欄には、初めて知ったことや驚いたこと、大切だと思ったことを記入してください。
- II. 「気づく」：「知る」を通じて得られた知識やメモした事柄を踏まえ、感じたことを記入してください。検討会での意見交換により、理解を深めます。
- III. 「考える」：「知る」や「気づく」を踏まえ、自分自身の自宅の状況や家族の構成に置き換えて、安全に避難するために必要と考えることを記入してください。

③ マイ・タイムラインノートの作成後

今回検討するマイ・タイムラインは基礎的なものであり、例えば、洪水が発生する時間帯によってはさらに早めの避難が必要になるなど、実際の洪水時を想定した応用動作が想定されます。今後、家族や地域で話し合うなどし、防災行動を追加していくことも考えられます。

またマイ・タイムラインは、一度作ったらおしまいというものではなく、自分自身の置かれている環境の変化に応じて変更していくことが望ましいと考えられます。例えば、家族が増えたとき、勤務先や学校が変わったときなど、あらためてノートを見直して、必要な防災行動を整理していくことが望ましいと考えられます。

来たるべき洪水に備えて、マイ・タイムラインを活用し、逃げ遅れゼロに向けてさらなる地域の取り組みが積み重ねられることを期待しています。

平成28年11月13日

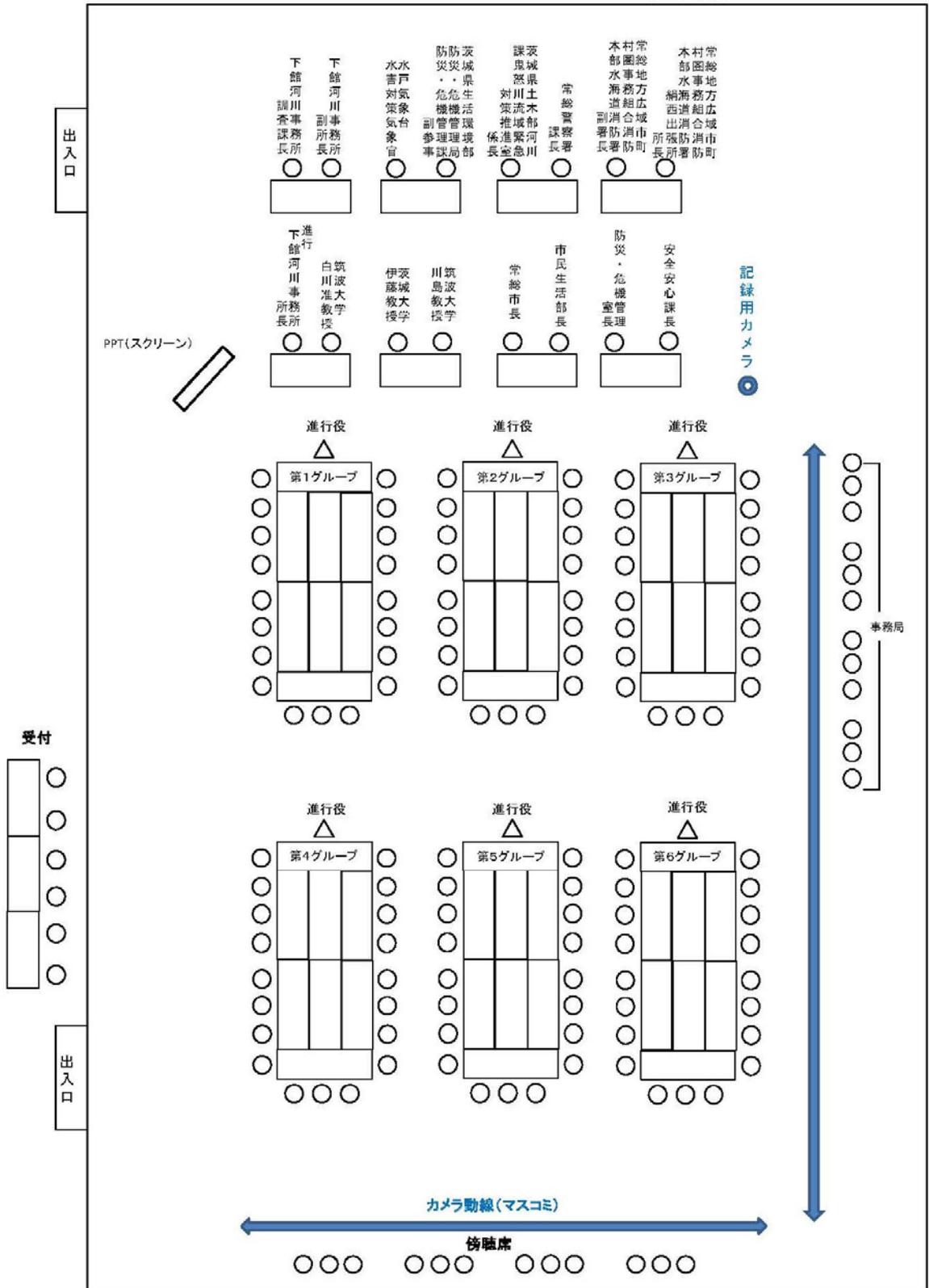
常総市マイ・タイムライン検討会 運営会議

参考資料 4-2-3

第2回根新田地区マイ・タイムライン検討会

使用した機材・備品及び配席図

■配席図：



■使用した機材および備品：

映像・音響機材			
音響機器一式	スクリーン	プロジェクター	ノートパソコン
マイク	延長コード		
備品			
ボールペン	サインペン	名札（4種類）	机・椅子
三角プレート	指し棒	レーザーポインター	ポップスタンド
ホワイトボード			

参考資料 4-2-4

第 2 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 進行表

■進行表

<第2回根新田地区マイ・タイムライン検討会>

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:00	1. 開会	里村事務所長	スライド2 会議名表示	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、定刻になりましたので、ただいまより、常総市マイ・タイムライン検討会（根新田地区）第2回検討会を始めます。 • 進行を務めます、国土交通省下館河川事務所長の里村です。よろしくお願ひします。 • お配りしている「本日のスケジュール」に沿って進めてまいります。 • まず、1. 開会ということで、常総市の須藤部長にご挨拶をお願ひします。 • ご挨拶 • 続きまして、自治区長さんからもご挨拶を頂戴します。 • ご挨拶
10:05	議事進行	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> • ありがとうございます。 • それでは、本日の進め方をご説明いたします。 • もう一度、「本日のスケジュール」をご覧ください。現在、「2. 本日の進め方」です。 • このあと、「3. 前回の皆さまへ」に進んでまいります。前回11月20日から少し間が空いています（し、本日はじめて参加された方もおられます）ので、ざっとおさらいをしたいと思います。 • その後、マイ・タイムラインノートに沿って、「洪水時に得られる情報と読み解き方」、「タイムラインの考え方」と前回同様に進めていく予定です。 • そして、休憩を挟んで、今日のメインになります。皆さんに「洪水時の自らの行動を想定」していただきます。 • 本日は、お近くにお住まいの方が同じグループになるように、6つのグループに分かれて座っていただきます。ここでは、グループごとに意見交換をしていただき、理解を深めていただく予定です。 • その後、各グループの様子を共有する「全体発表」、最後に、本日の流れを振り返って、お開きの予定です。 • よろしいでしょうか。それでは、早速、「前回の皆さまへ」に進みたいと思います。常総市 溝上さん、お願ひします。
10:10 ～ 10:12	2. 本日の進め方	里村事務所長		
10:10 ～ 10:12	3. 前回の皆さまへ	常総市		<ul style="list-style-type: none"> • よろしくお願ひします。 • ノートの目次を開いてください。 • 前回は、STEP1を進めてまいりました。 • 「はじめに」では、昨年の洪水時の行動を振り返っていただきました。 • 「地区の特性」では、常総市全体とこの根新田地区の人口構成や世帯数などを皆さんで共有しました。 • 「過去の洪水から学ぶ」では、常総市が鬼怒川・小貝川による洪水の常襲地帯であることを、「地形の特徴から学ぶ」では、鬼怒川と小貝川の水面の高さと常総市の地盤の低さ、治水地形分類図でこの地域の地質的な成り立ちを確認していただきました。 • そして、「最近の雨の降り方と傾向」で、近年、雨の降り方が激しくなってきたことを知っていただきました。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:10 ～ 10:12	3. 前回の おさらい	常総市		<ul style="list-style-type: none"> 最後に、「想定最大規模の雨で鬼怒川が氾濫したら」ということで、浸水想定区域図、深さだけでなく、水が引くまでの時間や家屋倒壊の可能性がある箇所などいろいろな図がありました。この浸水想定区域図を見てくださいました。また、氾濫シミュレーションの結果から、ご自身の近くの堤防が決壊した場合はもちろん、上流や下流で氾濫しても、水が回り込んでくることを知っていただきました。 前回検討会ではアンケートにご協力いただきました。ありがとうございます。アンケート結果では、ご参加いただいた方の多くにご理解いただけただけですが、「早口で分かりにくい」等のご指摘もいただきましたので、今回は、そのあたりも気をつけてまいります。 最後に、前回お配りしたノートにミスプリントがありました。2箇所修正をお願いします。前の画面で修正箇所を表示します。 まずは、4ページです。鬼怒川・小貝川で堤防が決壊した場所で、右側の表の上から3番目に下館市と記載してありますが、下妻市の間違いです。修正をお願いします。もう一点、10ページの右下に熊本の大雷雨の文章があります。ここに熊本県佐用町と記載してありますが、甲佐町（こうさまち）の間違いです。失礼しました。お手数ですが、修正をお願いします。 ありがとうございます。 私からも一つご報告です。前回検討会の「過去の洪水から学ぶ」のところ、昭和13年に三坂の白畑（しらはた）地区が決壊があったと聞いているというお話がありました。茨城県水害誌や北海道市史などの文献を調べてみましたところ、昭和13年は7月、それから8月～10月まで茨城県内で浸水被害や暴雨災害が頻発した年であることは確認できましたが、具体的に白畑という地名まで記載されている文献はみつかりませんでした。 文献に載っていないことも共有できるといいこと、まさに検討会の意義だと思えます。 貴重なご意見ありがとうございます。 次に、前回の検討会で皆様にご協力をお願いしていた、筑波大学川島先生のアンケートについて、その結果を共有していただきます。 よろしくお願いたします。
10:13 ～ 10:18	根新田居住者の避難行動アンケート結果	川島先生		<ul style="list-style-type: none"> アンケートの集計結果を共有 ありがとうございます。 ここまで、前回のおさらいです。皆様から何かございますでしょうか？ 前回参加された際の感想でも結構です。いかがでしょうか？ ありがとうございます。よろしいですか。 前回申し上げました。古の中国の兵法家である孫子曰く「彼を知り己を知れば、百戦して殆うからず」敵を知り自分を知るならば、絶対には負ける心配はない〜と。前回の検討会で己を知っていたただきました。いよいよステップ2です。彼・敵を知る〜今回の敵は台風であり、雨であり、川の水位です。これらから逃げ切るために、どのような情報を、どうやって得ればよいのでしょうか？そのあたりを見ていきたいと思えます。 それでは、伊藤課長、お願いします。
10:18 ～ 10:20		里村事務所長		

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:20 ～ 10:25	4. 洪水時に得られる情報と読み解き方	伊藤課長	ノート P22	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしくお願ひします。 ・それでは、ノートの22ページをご覧ください。6. 洪水時に得られる情報と読み解き方です。 ・前回同様、初めて知ったことや大切だと思ったことは、ノートに○をつけたり、メモ欄、ここでは、少し小さいですが、23ページの下です。にメモをしておいてください。 ・さて、ここでは、洪水時にどのような情報が得られるのか、どのようにして知ることができるのか、どのように役に立つのか、確認していきたいと思ひます。 ・22ページには、同じような表が上下2つ書いてあります。 ・まず上段からですが、この表には「避難するためにはどんな情報を知ればいいのか?」、「時々刻々と変化する中で何を気にすればいいのか?」を時間軸に沿ってまとめてあります。 ・イメージしていただくと、台風が遠く太平洋で発生しまして、その後近づくにつれて雨が降り出し、その雨が集まって川の水位が上がります、その順、つまり、台風、雨、川、避難の順に情報をとっていきなりですが、端的に申し上げます。表ではそれを縦に並べています。そして、右側にその際のポイント、だくのがいいということです。表ではそれを縦に並べています。そして、右側にその際のポイント、その際特に出すポイント、例えば、ここ常総のお天気だけじゃなく、上流の宇都宮や日光のお天気も気にしてほしいといったことをまとめてあります。 ・そして、下段の表には、その情報をどこで得られるか、主な手段を紹介しています。 ・また、次ページ以降の「もっと詳しく知りたい」のところにホームページのアドレスなど、より具体的な入手先を、まとめてあります。 ・今日、ご自宅に戻られたあとにでも、どの情報が見やすいか一度ご覧いただければよいと思ひます。平常時に確認しておくことで、いざというときにすぐにチェックできると思ひます。知りたい雨量が、知りたい水位が、画面のどこに表示されているのか、ここに書いてあるのはあくまで最初の画面です。常総のデータはどこか、日光のデータはどうか、普段から慣れ親しんでおくことが重要です。 ・なお、根新田地区では、付近の雨や川の状況がわかるライブカメラを整備されていますし、前回の検討会でも鈴木区長さんからご紹介があったスマートフォンメールは、関東・東北豪雨でも活躍しました。が、まさに避難情報の一つです。 ・ここで紹介したもの以外にも情報の入手は可能です。 ・ここまでで感じたこと、感想などがあれば、25ページの気づく欄に記入をお願いします。
10:25 ～ 10:30	質問	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。洪水時に得られる情報と読み解き方でした。 ・本日は、画面の見方など、詳しくできればよいのですが、実際のもので、ご覧いただいた方がよいと思ひますので、ご自宅に帰られてから、ぜひ、ご覧ください。そして、見方がわからないなどがあるれば、河川事務所や市役所にお聞きいただいてもよいですが、地区の中で教ええうといったことも大切かもしれません。 ・何かご質問やここが分からなかったなどありますでしょうか? <ul style="list-style-type: none"> >>> 質疑; 確認<<< ・さあ、これで「彼を知る」方法も知っていただけました。あとは、この「彼」と「己」を知る情報をうまく使えば、「百戦して殆うからず」の状態になります。 ・それでは、先に進めてまいります。溝上さん説明をお願いします。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:30 ～ 10:35	5. タイムラインの考え方	常総市	ノート P26	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて、ノートの26ページをご覧下さい。7. タイムラインの考え方は、 ・「タイムライン」は聞きなれない言葉かもしれませんが、日本語では時間軸とでも訳せばよろしいでしょうか。その言葉どおり、洪水の発生に備えて、時系列的に防災行動を整理したものを言います。 ・26ページにイメージを示しました。一番下が氾濫の発生時点です。ここをゼロ時として、そこから上に、3時間前、5時間前と上に行くほど時間がさかのぼります。氾濫発生の前、どんな時間どんな準備をするのか、時系列で整理をしたものです。 ・ここには写真も貼ってありますので、イメージしながらご覧ください。例えば、3日前。台風が発生して関東地方に向かってくるぞ～というときには天気予報を注意し、時間が進んで、いよいよ明日上陸～や関東・東北豪雨の時のような大雨が降り出した～というときには半日前です。ハザードマップの再確認をしたり、さきほどのインターネットを見て情報収集したりします。そして、いよいよ川の水位が上がりがり、あと3時間であふれるぐらいいままで高くなる時には、避難を完了しておく～といった具合です。
			ノート P27	<ul style="list-style-type: none"> ・27ページに移ります。 ・タイムラインには平常時と災害時、2つの役割があります。 ・平常時の役割としては、この検討会を通じて皆さんがまさに体験されていることです。 ・まずは、自分たちの住んでいる地域のリスクを認識できます。STEP1で皆さんにもやっていただきました。 ・また、人によって避難の速さや距離が異なりますが、自分の逃げるタイミングがわかります。 ・そして、このあと皆さんにやっていただきたいのですが、意見交換をすることで、ご近所の輪がより強く、太くなります。 ・一方、災害時には、作成したタイムラインがチェックリストになり、対応の漏れを防ぐことができず。また、今この行動に踏み切っているのか？と迷ったときには、判断をサポートする心強いツールにもなります。 ・タイムラインは最初から完璧なものを作ることは難しいと思います。むしろ、作ってみて、それを実際の洪水時に利用したり、訓練で使用したりして、どんどん追加・改訂し、強化していくものだと考えています。そして、それが防災力向上につながります。
			ノート P28	<ul style="list-style-type: none"> ・このようなタイムラインですが、注意しなければいけない点もあります。 ・次の28ページには、タイムライン使用時の注意点と心得を記載しています。 ・まず、注意ですが、茶色の文字で4点記載しています。いろいろ書いてはありますが、要は、「洪水は自然現象なので、タイムラインに記載された事項が、タイムラインで想定したとおりに進行するとは限らない」ということを書いておきます。 ・皆さん「当たり前のことだ」と思われるかもしれませんが、これをつかりと認識しておくことにより、より的確な防災行動が実施できます。 ・次に、青字でタイムラインを使う上での心得として3項目を書いております。あくまで行動の目安であるということ、こまめな情報収集が必要ということ、そして、その情報をもとに臨機応変な対応をするということです。 ・大事なポイントですので、ご自宅へ帰られてから、もう一度確認しておいてください。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:30 ～ 10:35	5. タイムライ ンの考え方	常総市	ノート P29	<ul style="list-style-type: none"> • 最後になりますが、29ページに、現在、常総市で使っているタイムラインを掲載しています。 • このタイムラインで緑色の常総市の欄ですが、-5hの少し上に茶色で「避難準備情報を発令する」とあります。昨年の水害を受けて、この「避難準備情報」は「避難準備・高齢者等避難開始」に昨年未改称されました。また、-3hの少し上に赤字で「避難勧告又は避難指示を発令する」となっていますが、この「避難指示」は「避難指示（緊急）」に改称されています。本日は、資料4に修正内容と修正箇所を示していますので、ご自宅で確認して修正してください。 • 以上で説明を終わります。 • ありがとうございます。 • タイムラインについて、イメージできましたでしょうか？長所も多いですが、短所もあるというところですね。そして、その短所を把握したうえでうまく活用することが大切です。 • ご質問等がありましたら、お願いします。
10:35 ～ 10:40		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> >>> 質疑；確認<<< • そして、いよいよ洪水発生時のご自身の行動を想定していただきますが、ここで休憩を入れます。10時45分から再開しますので、ご協力をお願いします。
10:40 ～ 10:45	(休憩) 5分間			
10:45 ～ 10:59	6. 洪水時の自 らの行動を 想定	里村事務所長	ノート P30	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、ノートの30ページの「洪水時の自らの行動を想定」にはいります。ここでは、最初に資料の説明を行い、その後グループで意見交換をしながら進めていきたいと思います。 • まずは、説明です。溝上さん、お願いいたします。 • それでは、ノートの30ページです。「8. 洪水時の自らの行動を想定」ということで、いざというときにご自身が、ご家族が、どのような行動をとるべきなのか、また、それにはどんな準備が必要なのか、考えていきたいと思えます。 • まずは、上の表です。ご家族のそれぞれで避難時にポイントとなることを整理したいと思います。後ほど、グループワークで記入の時間をとりますので、まずは説明させていただきます。 • 左から、お名前、年齢とあり、次に「必需品」という欄があります。避難所などでは水や食料などは手に入ると思いますが、ただし、例えば、ここに例として書いている「血圧の薬」なんかは毎日飲まれると思いますが、避難所では手に入りません。毎日使っておられるもの、避難所ですぐに困るものなんかを記入してください。 • 次に、「昼の居場所」欄ですが、例に書いている「デイサービス」や、職場・学校など、ご自宅以外で長くおられる場所を記入してください。 • その他、注意すべき点などがあれば、備考に記入してください。 • そして、表の下ですが、車をお持ちの方は「有」にチェックし、隣のカッコに台数や乗れる人数などをメモしておきましょう。また、水害時の避難先として受け入れてくれる場所があるか、ペットの有無などもメモしておきましょう。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:45 ～ 10:49	6. 洪水時の自らの行動を想定	常総市	ノート P30～P33	<ul style="list-style-type: none"> このページの下端には避難の方法をまとめています。一口に「避難」と言っても実はいろいろなパターンが考えられます。 一つ目は、自宅などその場にとどまって安全を確保する方法です。これを「屋内安全確保」と呼びます。家の2階などで洪水をやり過ごすということですね。この方法をとる場合の留意点は、ご自宅付近の浸水深を見て、浸水しない場所があるか、また、倒壊が想定される区域ではないか、確認しておく必要があります。そして、浸水継続時間をチェックし、それに堪えられる食料や水、常備薬などを蓄えておく必要があります。 ここで、常備薬となっていていますが、常備薬の間違いです。訂正をお願いします。 二つ目は、市の指定している近傍の避難所へ移動して安全を確保する方法です。根新田では、水道中学校になりますね。ここでも、避難所について、一つ目のご自宅で確認したことと同じ項目、浸水深や倒壊、継続時間などを確認しておく必要があります。また、事前にハザードマップで避難所の場所や避難経路を確認しておくことも重要です。 三つ目は、市内の高台など浸水想定区域外へ移動する方法です。7ページの標高図を見てみると、根新田の近くでは、有料橋を渡って対岸の豊岡のあたりへ行くのが一番近いでしょうか。この方法をとる場合の留意点は、そこまでの避難経路の浸水深を確認しておくことが必要です。また、移動する手段と経路を事前に決めておくことが必要です。移動中に通行止めが発生したり、渋滞の恐れもあるので、リアルタイムで状況を確認できるようにすることも大切です。なお、指定の避難所ではありませんで、その場所に移動してからも、食料や水が無いことも考えられます。自分で準備する必要があります。 最後、四つ目は、隣接市町の浸水想定区域外への避難です。こちらも、避難経路や手段を確認し、事前に決めておく必要があります。移動中の通行止めや渋滞に注意することや、食料・水についても同様です。隣接市町のハザードマップも確認しておきたいですね。
10:49 ～ 10:54		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> 次のページから、常総市と、隣接するつくば市のハザードマップを載せています。 ありがとうございます。ここで一旦切りましょう。 避難にも4つのパターンがあるということです。それぞれ、特徴がありますね。 ここまですべてご質問等がありましたら、お願いします。 >>> 質疑；確認<<< それでは、続きを進めてまいります。先ほどの4パターンの避難を、ご自身にあてはめてみましょう。 溝上さん、お願いいたします。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:54 ～ 10:59	6. 洪水時の自らの行動を想定	常総市	ノート P34	<ul style="list-style-type: none"> ・34 ページに移ります。これは、今回、差し替えとなっております。本日お配りした 34 ページをご覧ください。「避難の方法」となっています。 ・4 パターンそれぞれに特徴がありました。その特徴を踏まえうえで、避難所へ逃げるときにはどうすべきか、遠くへ逃げるときにはどうか、考えていきたいと思えます。 ・表に例が 2 つ書いてあります。 ・まず、上の例 1 は「指定の避難所」へ逃げるパターンです。 ・左から順に見ていきますと、「場所または住所」に〇〇小学校となっております。根新田では水海道中学校です。 ・「手段」は移動手段です。例では徒歩となっております。 ・そして、「①避難を完了したい時刻」です。これは、避難場所へたどり着いておきたい、言い換えると逃げ切っておきたい時刻です。例では 3 時間前となっております。氾濫発生のは、安全な所へたどり着いておきたい～ということですが、 ・次の「②移動に要する時間」は、自宅から避難場所まで移動するのにかかる時間です。例では 30 分となっております。〇〇小学校まで歩いて 30 分～ということですが。 ・最後に「要する準備」ですが、例では、持ち出しと戸締まりが書いてあります。必要な準備を忘れると、避難開始のタイミミングが遅れることにもなります。必要な準備を書き出しておく欄です。 ・さあ、イメージできましたでしょうか？ 同様に、二つ目の例を見ていきます。 ・二つ目の例 2 は「遠くの親戚」を頼る想定です。△△市に住んでいる親戚の家が高台なので、そこから逃げる～というイメージです。手段は自家用車、余裕をもって行動したい～ということですが、4 時間前には完了したいとなります。移動時間は 60 分となっておりますね。 ・それでは、皆さんにも同じように考えていただくことになっていきますが、その前に、もう少し、避難に関する参考情報をみておきたいと思えます。
			P35～36 ビデオ放映	<ul style="list-style-type: none"> ・まず 35 ページの上段です。避難所への移動手段として、徒歩、自家用車、公共交通機関のそれぞれについて、長所と短所をまとめています。 ・次に下段ですが、氾濫が発生してからの避難が危険であることを示しています。大人の膝ぐらいの深さで浸水しますと、歩行が困難になります。また、車もエンジンがストップするなど危険です。また、次のページでは、氾濫の水が濁っているため、側溝などに足をとられる場合があります。やむを得ず移動する場合は、棒などで足下を確認しながら移動しましょう。 ・ここで、関東・東北豪雨の時の三坂での様子が撮影されたビデオをご覧ください。上三坂の住民の方からご提供いただいたものです。 ・2.5 秒間のビデオ放映
			ノート P36	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ決壊していない状態ですが、こんなに水が流れています。この状態で歩いて逃げるのは危険です。 ・決壊した後は水かさも増します。 ・これは決壊箇所のすぐ近くですが、氾濫後の移動が危険だということはわかりたいだけだと思います。そのため、氾濫が始まる前に、避難を完了させておくことが大切です。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:59 ～ 11:05	6. 洪水時の自らの行動を想定	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。映像もすごかったですね。説明でもありませんが、氾濫が始まる前に避難を完了させておくことが大切ですね。そのために、このマイ・タイムラインで自身の避難のタイミングへ氾濫が発生した道で棒をつけて歩かなくても良いように、先手先手で避難できるようなタイミングを見つけてみましょう。 ・ここまでは、何かご質問はございますでしょうか？ >>>質疑；確認<<< ・それでは、この30ページ、34ページへの記入から、グループワークとします。 ・30ページは、必需品でしたね。 ・34ページは、逃げ方です。もう一度見ておくと、 ・左から <ul style="list-style-type: none"> 「場所または住所」は逃げる先、 「手段」は移動手段、 ・「①避難を完了したい時刻」は、逃げ切っておきたい時刻、さきほど映像でみていただいた、道に水が流れている状態になるどのくらい前に、安全なところへたどりついておきたいか？ということ ・「②移動に要する時間」は、自宅からその場所まで移動するのにかかる時間で、最後の「要する準備」は、逃げるのに必要な準備を書き出す欄です。 ・なお、この記入は、例えば、昼か夜か、休日か平日か、などによって考え方が変わってくる場合もあるかと思えます。まずは、もつとも逃げやすい、シンプルなこと、例えば、明るいときにご自宅からどう逃げるかを想定していただきたいと思えます。その上で、逃げにくい条件になった時には、それにあわせて逃げ方を修正し、別の段に記載していただければと思います。追加で用紙が必要なのは、スタッフにおっしゃってください。 ・各グループには、事前に鈴木区長さんと相談して、進行役のグループリーダーを一人ずつお願ひしております。また、各グループにはスタッフも混ぜています。お気軽にお声がけをいただき、進めていただければと思います。私と学識者の先生方は、適宜、周りをまわっていますので、ご相談いただいても結構です。 ・時間は、11時35分までを予定しています。 ・それでは、初めください。グループリーダーの皆さん、お願ひします。
11:05 ～ 11:35	意見交換	グループリーダー		<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換 ・11時30分メドで、里村事務所長から「あと5分である」旨を周知。
11:35 ～ 11:55	全体発表	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・11時35分になりましたので、グループワークを終了します。ありがとうございます。 ・それでは、各グループの状況を共有していただきたいと思えます。各グループ内で、「30ページの必需品」と「34ページの避難行動」という2回の意見交換を行っていただいたと思います。 ・各グループの「代表必需品」と「代表避難行動」をグループリーダーに紹介していただきます。代表の事柄は、大切だと思つたもの、おもしろいと思つたもの、一番多かつたもの、どんなものでも結構です。グループリーダーの独断と偏見で決めていただいたいて結構です。それでは、●グループからお願ひします。 <<<各グループ発表>> ・ありがとうございます。他にも何かございますか？ どうしてもこれは共有しておきたいというも

のがあれば、手を上げていただきたいと思います。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
11:35 ～ 11:55	全体発表	里村事務所長 白川先生 伊藤先生 川島先生		<p><<意見発表・質疑等>> 各機関で何かご意見やご感想はありますか？それでは、学識者の先生方から講評をいただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講評 ・ありがとうございます。 ・それでは、最後の議題「とりまとめ」に移ります。 ・お配りした資料の中に資料3「アンケート」がございます。 ・記入いただきながら、お聞きいただければと思います。 ・今日は、まず最初に <ul style="list-style-type: none"> ①溝上危機管理室長から前回のおさらいと ②川島先生からのアンケート結果のご報告、次に、 ③事務所から洪水時に得られる情報と読み解き方、そして ④溝上危機管理室長からタイムラインの考え方について 説明をいただいた後に、休憩をはさんで、グループに分かれて、 ⑤洪水時の自らの行動を想定について、意見交換をしていただきます。 ・ということで、今日は、逃げ方を考えることができました。あとは、これをどのタイミングで、どんな時に、実行するのか、これがまさにタイムラインになるわけですが、最後、次回の検討会では、それを考えたいと思います。 ・それでは、これで第2回の検討会を終わりますが、自治区長さま何かありますか？ ・みなさま、長い時間ありがとうございました。 ・ノートは、お持ち帰りいただき、ご家族でもう一度話しあっていたらいいと思います。次回 のマイ・タイムライン作成時にその結果も踏まえて、作成していただきたいと思います。 ・次回は、2月19日にまた、この常総市役所で行う予定でおります。
11:55 ～ 12:00	7. とりまとめ	里村事務所長		
	閉会	里村事務所長		

参考資料 4-2-4

第 2 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 進行表

携帯電話やスマートフォンをお持ちの方は、
会場内では**マナーモード**に切り替え、
通話はお控えください。

お手元の**名札**に名前を書いてください。

机の上にノートの**34ページ**と**40ページ**が
置いてありますので、**差し替えてください**。

差し替えたページは、そのまま机の上に
置きといてください。

検討会終了後、スタッフが片付けます。

～みんなでタイムラインプロジェクト～

第2回 マイ・タイムライン検討会

根新田地区

平成29年1月29日

常総市役所

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

開 会

須藤 一徳

常総市市民生活部長

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

開 会

鈴木 孝八郎 自治区長

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

本日の進め方

1. 開会
2. 本日の進め方
3. 前回のおさらい
4. 洪水時に得られる情報と読み解き方について
5. タイムラインの考え方について
休 憩
6. 洪水時の自らの行動を想定について
意見交換
全体発表
7. とりまとめ
8. 閉会

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

前回のおさらい

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

第1回検討会で実施した内容

第1回検討会で実施した内容

各段階のテーマ	項目	ページ
【STEP1】 ・自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る	はじめに	1
	1.地区の特性	2~3
	2.過去の洪水から学ぶ	4~5
	3.地形の特徴から学ぶ	6~9
	4.最近の雨の降り方と傾向	10~11
【STEP2】 ・洪水時に得られる情報を知る ・タイムラインの考え方を知る	5.「想定最大規模の雨」で鬼怒川が氾濫したら	12~21
	6.洪水時に得られる情報と読み解き方	22~25
	7.タイムラインの考え方	26~29
【STEP3】 ・マイ・タイムラインの作成	8.洪水時の自らの行動を想定	30~37
	9.マイ・タイムラインの作成	38~40

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

ノートの修正のお願い（4ページ）

2.過去の洪水から学ぶ

STEP1

知る

キーワード

堤防決壊

溢水

■鬼怒川・小貝川で堤防が決壊した場所
平成27年9月関東・東北豪雨以前にも堤防が決壊しています。同時に複数の地点で決壊することもあります。

鬼怒川	堤防決壊	年月
常総市 高野		昭和13年7月
さくら市 大中		昭和13年9月
真田市 大逢来		昭和24年9月
さくら市 大中		昭和24年9月
宇都宮市 下小倉町		昭和24年9月

小貝川	堤防決壊	年月
つくばみらい市 押砂		昭和2年9月
龍ヶ崎市 大留町		昭和10年9月
下館市 柳原		昭和13年7月
龍ヶ崎市 小通幸谷町		昭和16年7月
取手市 大留		昭和25年9月
龍ヶ崎市 大留町		昭和56年8月
筑西市 赤浜		昭和61年8月
常総市 本豊田		昭和61年8月



(市町村は、現在の市町村名で表示しています)

■平成27年9月 関東・東北豪雨の浸水範囲
常総市上三坂地先の堤防決壊や若宮戸地先の溢水等により、常総市の約1/3の面積に相当する約4.0km²が浸水しました。



みんなでタイムラインプロジェクト

4

×下館市

○下妻市

つくばみらい市 押砂	昭和2年9月
龍ヶ崎市 大留町	昭和10年9月
下館市 柳原	昭和13年7月
龍ヶ崎市 小通幸谷町	昭和16年7月
取手市 大留	昭和25年9月
龍ヶ崎市 大留町	昭和56年8月
筑西市 赤浜	昭和61年8月
常総市 本豊田	昭和61年8月

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

ノートの修正のお願い（10ページ）

4.最近の雨の降り方と傾向

STEP1

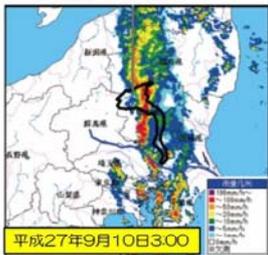
知る

キーワード

線状降水帯

集中豪雨

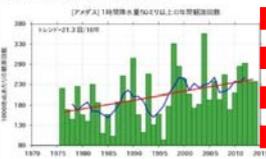
■洪水をもたらす線状降水帯
平成27年9月の関東・東北豪雨では、鬼怒川流域上に線状降水帯が発生し、洪水をもたらしました。



出典：「平成27年9月関東・東北豪雨」に係る洪水被害及び復旧状況等について

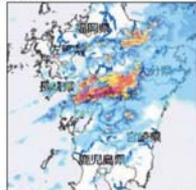
■頻発する集中豪雨

1時間降水量50mm以上の発生回数は年々増加しています。



出典：気象庁資料

■梅雨前線による大雨（熊本）
平成28年6月19日から23日にかけての大雨は、熊本県佐用町で1時間に150mmの雨を降らせました。

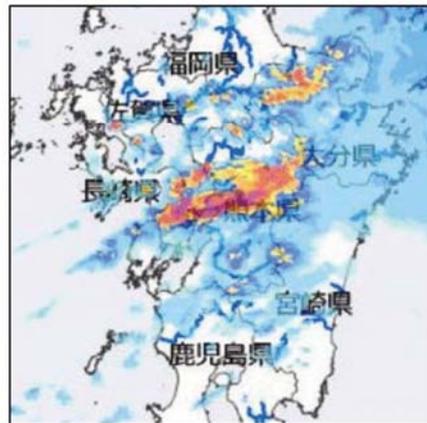


出典：川の防災情報

×佐用町

○甲佐町

■梅雨前線による大雨（熊本）
平成28年6月19日から23日にかけての大雨は、熊本県佐用町で1時間に150mmの雨を降らせました。



出典：川の防災情報

みんなでタイムラインプロジェクト

10

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

根新田地区居住者の
避難行動アンケート結果の報告

筑波大学 システム情報系社会工学域

川島 宏一
教授

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

洪水時に得られる情報と読み解き方

お手元の

「マイ・タイムラインノート」をご覧

ください

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

タイムラインの考え方

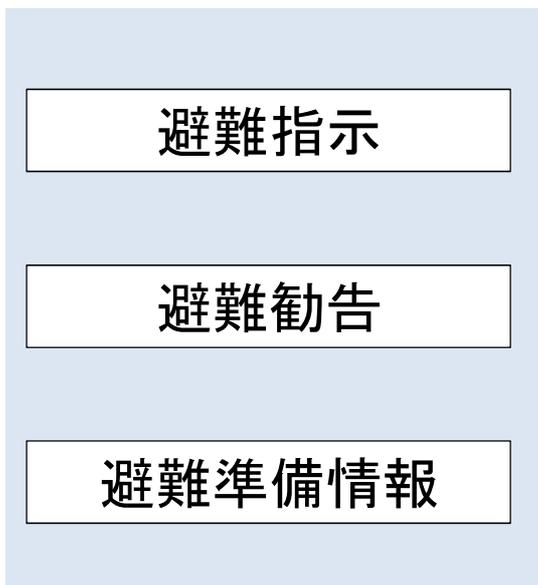
お手元の

「マイ・タイムラインノート」をご覧ください

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

タイムラインの考え方

(変更前)



(変更後)



鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

休憩(5分)

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

洪水時の自らの行動を想定

お手元の

「マイ・タイムラインノート」を

ご覧ください

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

ビデオ放映

スクリーンをご覧ください

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

意見交換

全体発表

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

講評

筑波大学

システム情報系構造エネルギー工学域

白川 直樹

准教授

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

講評

茨城大学
人文学部 人文コミュニケーション学科

伊藤 哲司
教授

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

講評

筑波大学
システム情報系 社会工学域

川島 宏一
教授

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

とりまとめ

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

今後の予定

◆第3回検討会

日時：2月19日（日）AM10:00～12:00

場所：常総市役所

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

アンケートへのご協力をお願いします。

回収ボックスを受付に準備しておりますので、記入後のアンケート用紙を入れてください。

貸出ししている筆記用具、名札も合わせて返却をお願いします。

『マイ・タイムラインノート』は、次回検討会にお持ち下さい。

参考資料 4-3-1

第3回根新田地区マイ・タイムライン検討会

記者発表資料

記者発表資料

みんなでタイムラインプロジェクト 自治会の共助が盛り込まれたタイムラインが完成 ～ 常総市根新田地区において第3回検討会を開催します ～

市町、県、国で構成する鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会では、「みんなでタイムラインプロジェクト」を進めています。

このたび、モデル地区の一つである常総市根新田地区において、第3回マイ・タイムライン検討会を開催します。この検討会では、先日の若宮戸地区に引き続き、根新田地区においても**マイ・タイムラインが完成**します。

根新田地区のマイ・タイムラインは、平成27年 関東・東北豪雨 でも効果を発揮した**自治会の共助が盛り込まれた、実践的なタイムライン**となる見込みです。

1. 対象地区

常総市根新田地区

2. 開催日時

平成29年2月19日(日) 10:00～12:00

3. 開催場所

茨城県常総市水海道諏訪町3222-3 常総市役所 議会棟2階 大会議室
 開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線水海道駅 徒歩10分(別添地図参照)

4. 議事(予定)

・「マイ・タイムラインの作成」

5. 公開等

- ・検討会は、報道機関を通じて公開いたします。
- ・カメラ撮り等は可能です。
- ・その他、取材に関する詳細は、別添資料をご覧ください。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、
 栃木県政記者クラブ、筑西市記者クラブ、宇都宮市政記者クラブ、取手記者会
 筑波研究学園都市記者会、龍ヶ崎記者会、つくば市記者会

問い合わせ先

常総市 市民生活部 安全安心課
 斎藤課長、溝上危機管理監 (TEL: 0297-23-2111)
 国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所
 須藤副所長 (TEL: 0296-25-2161)、伊藤調査課長 (TEL: 0296-25-2171)

第3回 常総市マイ・タイムライン検討会（根新田地区）の 開催について（報道の方へ）

標記検討会について下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

記

1. 開催日時

平成29年2月19日（日） 10:00～12:00（予定）

2. 開催場所

茨城県常総市水海道諏訪町3222-3 常総市役所 議会棟2階 大会議室
開催場所の最寄り駅：関東鉄道常総線水海道駅 徒歩10分（別添地図参照）

3. 検討会の公開

- 検討会は、報道機関を通じて公開いたします。
- カメラ撮り等は可能です。

4. 報道関係者の受付

- 受付日時 平成29年2月19日（日） 9:30～10:00まで
- 受付場所 茨城県常総市水海道諏訪町3222-3 常総市役所 議会棟2階 大会議室
- 事前の登録が必要です。別添登録様式にご記入の上、
平成29年2月16日（木）12:00までに、様式の送付先に送ってください。
- 当日、受付にて必要事項を記入の後、係員の指示により会場へ入場をお願いします。
- スペースが限られているため、机や椅子が不足する事態もあり得ますが、ご理解ください。
- 当日は、受付にて「受付証」をお渡ししますので着用をお願いします。なお、お帰りの際に係員へ返却下さい。

5. 取材に当たっての注意事項

取材に当たっては、以下の注意事項をご確認いただき、その遵守へのご協力をお願いします。

- 事務局の指定した場所以外での撮影、取材は、ご遠慮ください。
- 傍聴席でのPC等の使用は、議事や他の傍聴者の迷惑にならない限り可能です。
- 取材に必要な電源は、各社（各自）にてご用意下さい。
- 携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切り下さい。
- 会場では、発言、私語、談論、拍手等を行わないで下さい。
- プラカードを掲げたり、はちまき、腕章の類を付けたり、ビラ等の配布を行わないで下さい。
- 会場での飲食及び喫煙はご遠慮下さい。
- 事故防止の観点から、取材に当たっては節度ある行動をお願いします。
- 手荷物・貴重品等の管理は各自にてお願いします。
- 会議の円滑な進行のため、係員の誘導、指示に従って下さい。
- 上記の他、会議の進行を妨げたり、会場の秩序を乱す行為をしないで下さい。

■茨城県常総市水海道諏訪町3222-3 常総市役所 議会棟2階 大会議室

最寄り駅：関東鉄道常総線水海道駅 徒歩10分です。



案内図

事前登録書

平成29年2月19日（日）の「第3回 常総市マイ・タイムライン検討会（根新田地区）」につきまして、取材を希望される報道機関におかれましては、事前に登録をお願いします。

FAX送信期限：平成29年2月16日（木）12：00まで

1. 報道機関名 _____

2. 氏名等

ご氏名 (代表者のみ)	連絡先 (電話番号)	メールアドレス	人数 (代表者含む)	車台数

3. 送付先 FAX：0296-25-3019

4. 事前登録に関する問合せ先

国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所 調査課長 伊藤 克雄

TEL：0296-25-2171

参考資料 4-3-2

第3回根新田地区マイ・タイムライン検討会

会議配布資料

本日のスケジュール

資料1

1. 開会

逃げおくれのない
地区にしよう！！



第3回検討会
2月19日
10:00~12:00
常総市役所

2. 本日の進め方

3. これまでのおさらい

4. マイ・タイムラインの作成

意見交換

休憩

意見交換

5. 全体発表

みんなで意識を高め、
鬼怒川の洪水に
そなえましょう。

6. とりまとめ

7. 閉会



「水防災意識社会」の再構築を目指します。

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

みんなでタイムラインプロジェクト

第3回マイ・タイムライン検討会 根新田地区検討会 参加者

資料2

機関名	部名・課名	役職	氏名	備考
根新田地区	根新田	自治区	住民	自治区長 鈴木孝八郎
学識者	筑波大学システム情報系社会工学域	教授	川島宏一	学生(1人)
	茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科	教授	伊藤哲司	欠席: 学生(1人)
	筑波大学システム情報系構造エネルギー工学域	准教授	白川直樹	学生(3人)
常総市	市長		神達 岳志	
	市民生活部	部長	須藤 一徳	
	市民生活部安全安心課	防災・危機管理室長	溝上 博	
	市民生活部安全安心課	課長補佐	小林 弘	
	市民生活部安全安心課	主査兼係長	安田 洋行	
	市民生活部安全安心課	主事	石塚 健一	
常総警察署	警備課	課長	清水 健吾	
常総地方広域市町村圏事務組合消防本部	水海道消防署	副署長	山田 修	
	水海道消防署 絹西出張所	所長	五木田 敬	
茨城県	生活環境部 防災・危機管理局 防災・危機管理課	副参事	飛田 聡志	
	土木部 河川課鬼怒川流域緊急対策推進室	係長	皆藤 開平	
水戸気象台		防災管理官	渡辺 徹	
国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所		所長	里村 真吾	
		副所長	須藤 純一	
	調査課	調査課長	伊藤 克雄	
		専門員	平出 亮輔	

第3回マイ・タイムライン検討会に関するアンケートへのご協力をお願い

今後の取組みの参考とさせていただくため、皆様のご意見をお聞かせください。

1. 今回の検討会の内容は理解できましたか。

【マイ・タイムラインの作成】

理解できた 概ね理解できた 分かりにくかった 全然分からなかった

2. 1. の質問で「分かりにくかった」、「全然分からなかった」と回答した方にお聞きします。特に分からなかった部分に対して、自由なご意見をお聞かせください。

→

3. 本日の検討会に参加して分かったことや気づいたこと、今後どのように役立ちそうか、自由にご意見をお聞かせください。

→

4. 第2回検討会に参加された方にお聞きします。

前回の検討会後におこなったことをお聞かせください。(複数回答有り)

自宅でノートを見返した 家族で話し合った 近所の方と話し合った

ノートに記載されている参考資料等をパソコン等で自ら確認した

市役所または河川事務所に問い合わせた その他

→

5. 第2回検討会に参加された方にお聞きします。

配布されたノート以外で、欲しい資料や情報等がありましたら、お聞かせください

→

6. 3回の検討会を通してのご感想をお聞かせ下さい。

- 今後の役に立つ内容だった 少し難しかったが、参考になった
 役に立つ内容ではなかった

その他、感想を自由にご記載ください。

→ {

7. この検討会を通じて感じた気持ちに近いものを選んでください（ちょうどよいと思われた場合はチェック不要）（複数回答有り）

- 検討会の回数が多すぎる 検討会の回数が少なすぎる
 検討会の時間が長すぎる 検討会の時間が短すぎる
 検討会の説明が難しすぎる 検討会の説明が易しすぎる
 グループ討議の人数が多すぎる グループ討議の人数が少なすぎる
 ノートの内容が多すぎる ノートの内容が少なすぎる
 ノートの内容が難しすぎる ノートの内容が易しすぎる
 自分で記載する項目が多すぎる 自分で記載する項目が少なすぎる
 もう洪水について考えたくない これからも洪水について考えていきたい。

その他、感想を自由にご記載ください。

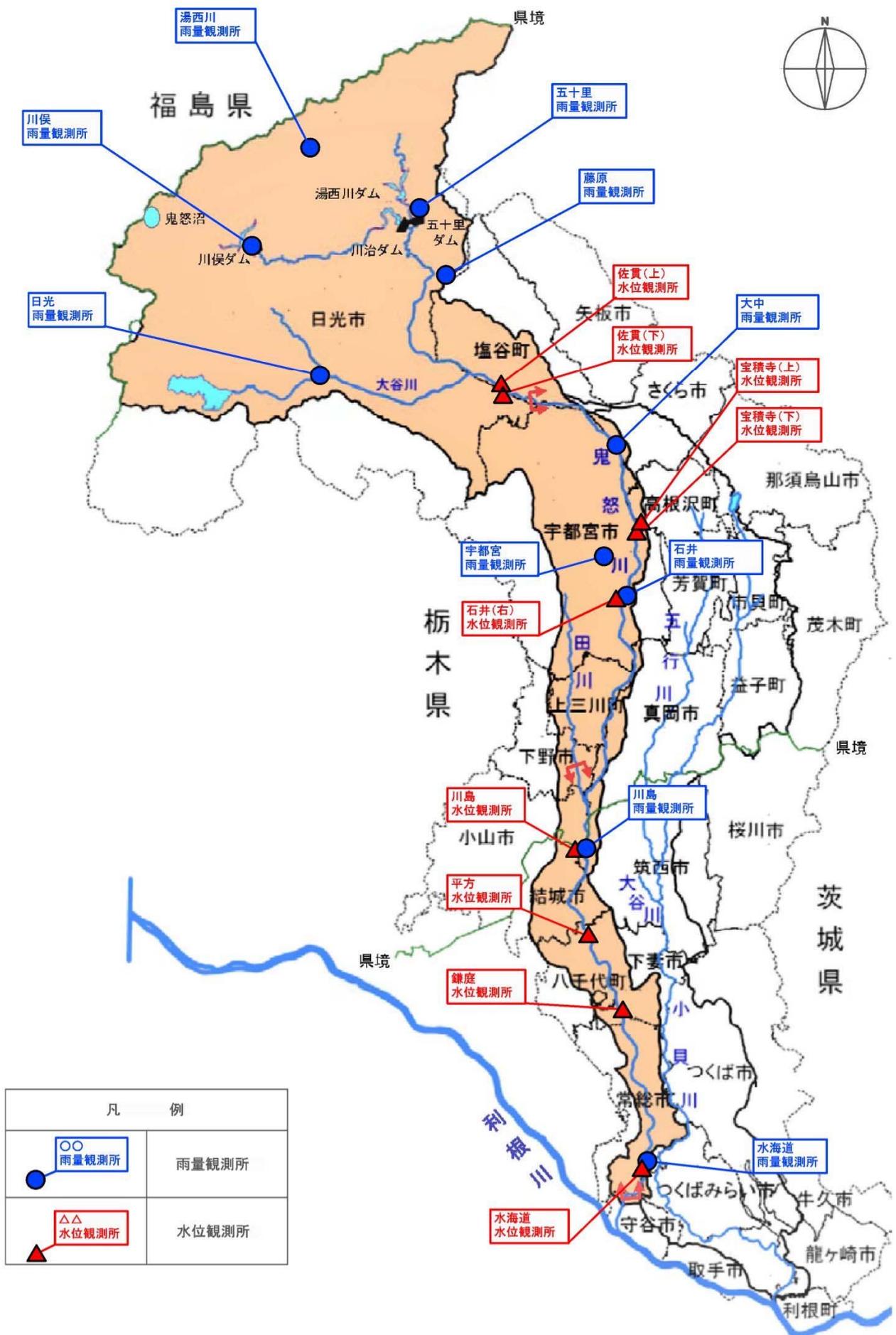
→ {

* ご自身のことをお尋ねします。差支えない範囲で、以下についてご回答ください

- お名前 () ■ お住まい (地区 自治会)
■ ご年齢 (10代未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上)
■ ご職業 ()
■ 家族構成 () 人 ※ペットを含まない人数を記入願います。
 曾祖父・曾祖母 祖父・祖父母 父・母 子供 (中学生以上)
 子供 (中学生未満) 乳幼児 ペット ()
■ 車の有無 有 () 台 無

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

鬼怒川流域 水位観測所 雨量観測所 位置図



	行政情報 (黒: 気象・水象情報 青: 下館河川事務所 緑: 常総市)	住民等(例)	作成のポイント	
3日前	<ul style="list-style-type: none"> ○台風予報 ○台風に関する栃木県、茨城県気象情報(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ○テレビの天気予報を注意 ○家族全員の今後の予定を確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○防災グッズの準備(不足があれば買い出しへ) ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風で飛ばされないようなものはないか確認 ○テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員の今後の予定を再確認 ○携帯電話の充電 	<ul style="list-style-type: none"> 遺出をする予定がある場合は、今後の気象情報に注意しましょう。場合によっては、予定のキャンセルも視野にいれて行動しましょう。 事前に準備しておきましょう。 風でとばされそうな植木鉢、自転車、農機具の片づけ、ビニールハウスの点検などはずませておきましょう。 	
2日前	<ul style="list-style-type: none"> ◇大雨注意報・洪水注意報 ○台風に関する今後の見通し 	<ul style="list-style-type: none"> ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○隣の親戚の家に家族みんなで避難することを電話 ○携帯電話の充電 ○川の水位をインターネットで確認 ○通行止め情報がないかインターネットで確認 ○隣の町への避難の開始を判断 ○携帯メール等で避難準備・高齢者等避難開始の受信 ○移動に時間のかかる人は、市内の指定避難所への避難の開始を判断 ○隣の町への避難完了 ○市内の高台への避難の開始を判断 	<ul style="list-style-type: none"> 移動中に情報を収集できるように、携帯電話等の充電をしておきましょう。 避難を開始する前に、交通情報や渋滞情報、地域の浸水情報などを収集しましょう。 避難する場所が遠い場合は、早めに避難行動を開始することも考えましょう。 移動中も市からの情報を常に収集しましょう。防災行政無線や広報車などでも情報は提供されています。 	
1日前	<ul style="list-style-type: none"> ◇大雨警報・洪水警報 上流域(日光等)での大雨特別警報 	<ul style="list-style-type: none"> ○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断 	<ul style="list-style-type: none"> 避難が完了しても、情報は収集するようにしましょう。 	
半日前	<ul style="list-style-type: none"> 水防回待機水位到達 はん濫注意水位到達 洪水予報(はん濫注意情報)発表 ○要支援者施設に洪水予報(はん濫注意情報)を伝達 ○避難所の開設 ○避難準備・高齢者等避難開始を発令 ◇大雨特別警報(緊急速報メール) ◇暴風警報 	<ul style="list-style-type: none"> ○川の水位をインターネットで確認 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで避難勧告、避難指示(緊急)を受信 ○市内の指定避難所への避難を判断 	<ul style="list-style-type: none"> 必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。 	
-5h	<ul style="list-style-type: none"> 避難判断水位到達 洪水予報(はん濫警戒情報)発表 ○避難勧告又は避難指示(緊急)を発令 	<ul style="list-style-type: none"> ○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保 	<ul style="list-style-type: none"> 必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。 	
-3h	<ul style="list-style-type: none"> はん濫危険水位到達 洪水予報(はん濫危険情報)発表 緊急速報メール(河川氾濫のおそれがある情報) 	<ul style="list-style-type: none"> ○川の水位をインターネットで確認 ○市内の高台への避難を完了 ○市内の指定避難所への避難を完了 ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 ○自宅内の浸水が想定されない場所で身の安全を確保 	<ul style="list-style-type: none"> 必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。 	
0h	<ul style="list-style-type: none"> 氾濫が発生 洪水予報(はん濫発生情報) 緊急速報メール(氾濫が発生した情報) 	<ul style="list-style-type: none"> ○テレビで洪水予報の確認 ○携帯メールで緊急速報メールを受信 	<ul style="list-style-type: none"> 必要なものを確認しましょう。また、最初に戻って作成したマイ・タイムラインを確認しましょう。 	

雨風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期

水位等の状況を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期

参考資料 4-3-3

第3回根新田地区マイ・タイムライン検討会

使用した機材・備品及び配席図

■使用した機材および備品：

映像・音響機材			
音響機器一式	スクリーン	プロジェクター	ノートパソコン
マイク	延長コード		
備品			
ボールペン	サインペン	名札（4種類）	机・椅子
三角プレート	指し棒	レーザーポインター	ポップスタンド
ホワイトボード			

参考資料 4-3-4

第 3 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 進行表

■進行表

<第3回根新田地区マイ・タイムライン検討会>

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:00	1. 開会	里村事務所長	スライド2 会議名表示	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、定刻になりましたので、ただいまより、常総市マイ・タイムライン検討会（根新田地区）第3回検討会を始めます。 • 進行を務めます、国土交通省下館河川事務所長の里村です。よろしく申し上げます。 • お配りしている「本日のスケジュール」に沿って進めてまいります。 • まず、1. 開会ということで、常総市長にご挨拶をお願いします。 • ご挨拶
10:02	市長挨拶	神達常総市長	スライド3 常総市長名	<ul style="list-style-type: none"> • ありがとうございます。 • それでは、本日の進め方をご説明いたします。
10:05	議事進行	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> • もう一度、「本日のスケジュール」をご覧ください。現在、「2. 本日の進め方」です。 • このあと、「3. 前回までのおさらい」へ進んでまいります。 • その後、マイ・タイムラインノートの、STEP3「マイ・タイムラインの作成」に進みます。 • ここでは、皆さんが作成している「マイ・タイムライン」について、グループごとに意見交換をしていただき、理解を深めていただく予定です。間で休憩も入れたいと思っています。そして、各グループの様子を共有する「全体発表」を行います。 • 最後に、「とりまとめ」として、本日の流れを振り返ってお開きの予定です。
～ 10:10	2. 本日の進め方	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> • また、一つお願いがございます。 • これまでの検討会でもご説明しましたが、このマイ・タイムライン検討会は、全国でも初めての取組で、この根新田と若宮戸の2地区をモデル地区として行っています。今後、この検討会を市内のみならず流域、さらには全国へ展開していくため、皆様がマイ・タイムラインを作られた後に、皆様のノートを一旦お借りしたいと思います。 • 本日、検討会が終わった後に、ご自宅でマイ・タイムラインを完成させていただき、机の上において茶色の封筒で事務局へお送りいただきたいと思っています。茶色の封筒の中には、もう一つ封筒が入っています。こちらは、事務局からの返信用封筒です。宛名に、ご自宅のご住所を書いて、同封願います。 • お忙しいところを恐縮ですが、2月26日までにポストへ投函していただきたくお願いいたします。 • 皆様のノートを参考に、全国へ広げるための「マニュアル・手引き書」を作りたいと思っております。よい「マニュアル」よい「手引き書」になるように、皆様のご協力をお願いいたします。 • それでは、早速、「前回ののおさらい」に進みたいと思います。常総市 溝上室長、お願いいたします。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:10 ～ 10:15	3. これまでの おさらい	溝上室長	スライド6 検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・ よろしくお願ひします。 ・ ノートの目次を開いてください。 ・ 11月20日の第1回目は、STEP1、自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知っていただきました。 ・ 1月29日の第2回目は、STEP2を進めてまいりました。 ・ 22ページを開いて下さい。「洪水時に得られる情報と読み解き方」では、台風、雨、水位、避難の順に情報をとることや、その情報を知る手段について、知っていただきました。 ・ 26ページを開いて下さい。「タイムラインの考え方」では、タイムラインをイメージしていただくとともに、タイムラインの平常時と災害時の役割として、作成していく過程で地域のコミュニケーションの輪が広がることや、いざというときの防災行動のチェックリストになることなどを知っていただきました。 ・ また、28ページにあるとおり、タイムライン使用時の心得と注意点について確認しました。 ・ 30ページを開いてください。「洪水時の自らの行動を想定」では、はじめにご家族の必需品などについて、記載していただき、各グループで意見交換していただきました。 ・ 必需品として、薬や眼鏡の他に、携帯電話と充電器、赤ちやんが居る世帯ではおむつ、ペットを飼っている世帯ではペットフードといった意見が出ていましたね。 ・ そして、避難には4パターンあるということで、①ご自宅の2階などで身を守る屋内安全確保、②市の指定避難所、③市内の浸水しない高台、④隣接市町へ移動を確認しました。 ・ 最後に、34ページを開いてください。ここでは、ご自身の避難の方法について、記載していただき、34ページの方法別に、①避難を完了したい時刻、②移動に要する時間などを記入していただき、こちらも各グループで意見交換していただきました。 ・ ここでは、指定避難所である水海道中学校の他に、会社にとまるや、つくば市や牛久市の親戚の家へ避難するや、多目的トイレがある豊岡公民館などに避難するなど様々な避難が紹介されました。また、遠くへ避難する方は、渋滞を考慮して早めに避難を完了したいなどの、ポイントも共有されました。 ・ そして、要する準備として、先ほど挙げた必需品の準備の他に、自宅のブレーカーを落としてから避難を開始するなどのご意見もありました。 ・ 前回の検討会を欠席された方など34ページが記入されていない方につきましては、後ほどのグループ単位で検討会を進めて行く中で、事務局メンバーがサポートしますので、お声をおかけください。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:10 ～ 10:15		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・ここまですべてのおさらいです。 ・前回の検討会で、どの雨量観測所を見たらよいかわからなという質問を頂きました。本日、水位、雨量観測所を示した図面を配布させて頂きました。鬼怒川であれば、上流の日光などの雨量を参考にしたいだけだと思います。 ・他に皆様から何かございますでしょうか？ ・前回参加された際の感想でも結構です。いかがでしょうか？ ・ありがとうございます。よろしいですか。 ・それでは、早速ですが、「マイ・タイムラインの作成」にはいります。前回の検討会で実施した「洪水時の自らの行動」を時間軸に沿って整理していきたいと思えます。 ・最初に、避難のタイミングを整理したいと思います。40ページをお開きください。40ページはA3の大判ページになっています。この40ページを引き出し、34ページとあわせて開いてください（やってみせる）。 ・それでは、説明に入っていきます伊藤調査課長お願いします。
10:15 ～ 10:20	4. マイ・タイムラインの作成	伊藤課長	スクリーンにP34とP40を投影	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしくお願います。 ・40ページは、34ページの「洪水時の自らの行動」を、時間軸に沿って整理するためのペーパーになっています。 ・40ページには、4分制で同じ図が書かれています。このうち、上の2つ、黄色く塗ったものは例です。左側の例1は、避難の場所が「〇〇小学校」となっています。これは、34ページの上の例(例1)に対応します。 ・この例1は、34ページの「①避難を完了したい時刻」が3時間前となっています。これは、氾濫が発生する3時間前までは〇〇小学校へたどり着いておきたいということでしたね。この「①避難を完了したい時刻」が、40ページでいう一番下、同じ「①避難を完了したい時刻」の欄に書いてあります。 ・そして、34ページの「②移動に要する時間」の30分は、同様に、下から2番目の「②移動に要する時間」のところに書いてあります。 ・これは、氾濫が発生する3時間前には〇〇小学校へ着いておきたいが、歩いて30分かかるということです。となると、家を出る時刻はいつになるかということで、①と②の時間を足して3時間前となるのですが、少し余裕を見て4時間前と書いています。これが、下から3番目の「③避難場所へ避難を開始する時刻」です。 ・そして、その上に「要する準備」を書き写します。「持ち出し品」と「戸締り」ですね。これで例1の整理ができました。 ・同様に、例2も見てみましょう。 ・例2は遠くの親戚でした。一番下の「①避難を完了したい時刻」が4時間前になっています。 ・そして、「②移動に要する時間」は60分ということで、「③避難場所への避難を開始する時刻」は5時間前となっています。 ・要する準備は、祖父の薬と戸締りですね。 ・このように、40ページでは、34ページに書き出したことを、下から順に、時間をさかのぼって書き込んでいきますように。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:15 ～ 10:20		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・前回出席できなかった方など34ページが記入が終わっていない方は、事務局のサポートメンバーがお手伝いさせていただきます。お声がけください。 ・ただいまの伊藤調査課長の説明でご質問などございましたらお願いします。 <p><質疑></p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、記入してみてください。スタッフやグループの方と相談していただいで結構です。10分間をめにさせていただきます。
10:20 ～ 10:30	40ページ記入時間 (34ページ記入)			<ul style="list-style-type: none"> ・各自記入 事務局サポート
	4. マイ・タイムラインの作成	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・できましたか？それでは、いよいよ、今整理した防災行動とタイムラインをタイムラインに書き込んでいきたいと思えます。今書いていただいた40ページと、本日配布した記入用のマイ・タイムラインをお開きください。 ・それでは、伊藤調査課長、説明をお願いします。 ・まずは、マイ・タイムラインを説明しましょう。 ・ノートの後ろにもついています。本日、線が入ったものをお配りしています。これが、皆さんの避難行動を書き込むマイ・タイムラインです。29ページにあつた、行政のタイムラインを基に作っています。29ページと同じように、上から下へ時間が流れ、一番下が氾濫発生です。29ページでは、台風や雨、川などの自然がグレー、河川事務所が青、市役所が緑と分けて細かく書いています。ですが、ここでは、その全てをまとめて、また、行政内部のやりとりなどは省いて、住民の皆様が触れるものだけに絞って、一番左にまとめています。 ・そして、真ん中に例や作成のポイント、グレーの矢印なんかがあり、一番右に空白の欄があります。この空白の欄に、皆さんの避難行動を書き込んでいくこととなります。 ・それでは、40ページに整理した逃げ方からマイ・タイムラインを作っていきます。例1の「指定の避難所へ逃げる」という逃げ方を使って実際に書き込んでみたいと思います。ここでも下から順番に考えていきます。 ・まず、「①避難を完了したい時刻」を書き込みます。40ページでは3時間前でした。書き込むのは一番右になります。左の時間軸で-3hとなるあたりに、書き込みます。「〇〇小学校への避難完了」と書き込みます。 ・次に、40ページの「③避難場所へ避難を開始する時刻」です。例1では、4時間前でした。左の時間軸で-4hとなりますが、4はありませんので、-5hと-3hの間あたりに、書き込みます。「〇〇小学校への避難開始」と書き込みます。 ・そして大切なのは、その時の左端、行政からの情報です。-5hと-3hの間には「避難勧告又は避難指示」とあります。この避難指示は、今回の名称変更で「避難指示(緊急)」と変わっています。これが、これらは市役所から発令される避難の情報です。そのため、市役所からの情報に注意が必要という事です。
10:30 ～ 10:40		伊藤課長	スクリーンに 記入用タイムラインを投影 P29を投影 P40と記入用タイムラインを投影	

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:30 ～ 10:40	4. マイ・タイムラインの作成	伊藤課長	スクリーンにP40と記入用タイムラインを投影	<ul style="list-style-type: none"> ・25ページにもありましたが、市役所からの避難情報は、防災行政無線、防災メール、広報車で発信されます。また、常総市のホームページやツイッター、フェイスブック、茨城県のホームページでも見ることができます。 ・次に、40ページの「要する準備」ですがここでは2つ書いてあります。「持ち出し品」と「戸締り」ですね。市役所の避難勧告を確認したら、すぐに自宅から避難できるように、これらを済ませておきましょう。例えば、「戸締り」については、逃げだす玄関と周囲の様子を確認するための自分がある部屋の窓以外は、済ませておく方がよいと思います。二階、倉庫や離れの鍵などが考えられます。避難勧告を聞いてからこれらを確認していると10分や15分の時間が過ぎてしまいます。家の大きさなどにもよりますが、例えば、1時間前の-5hには始めておくことが考えられますので、-5hのところに「戸締りの確認（倉庫も忘れずに!）」と書き込んでみます。 ・そして同様に、-5hの時に行政の情報は何か?と左端を見ますと、「避難判断水位到達」と書いてあります。これは、河川事務所のホームページです。この若宮戸地区の鬼怒川は、筑西市にある「川島」という水位観測所をチェックしておくこととなります。 ・この水位観測所のデータを河川事務所のホームページで確認しておき、避難判断水位に到達したら、戸締りの確認を始め、並行して常総市のホームページをチェックし、避難勧告が発令されれば、自宅を出て避難を開始するという流れになります。 ・このように、要する準備のそれぞれについて、後手にならないよう準備できるタイムラインを記入し、その時の行政情報を探してみよう。ぴったりの行政情報がなければ、少し早めに始めるのがよいでしょう。 ・同様に例2も書き込んでみます。 ・例2は遠くの親戚でした。 ・まず、「①避難を完了したい時刻」が4時間前です。先ほど、「〇〇小学校への避難開始」と書いたあたりですね。「遠くの親戚への避難完了」と書き込みます。 ・次に、「③避難場所へ避難を開始する時刻」は、5時間前でした。左の時間軸で-5hとなります。先ほど、「戸締りの確認（倉庫も忘れずに!）」と書いたあたりですね。ここに、「遠くの親戚への避難開始」と書き込みます。行政の情報は、「避難判断水位到達」ですね。 ・そして、「要する準備」ですが、ここでは「祖父の菓」と「戸締り」ですね。「戸締り」から考えますが、例1と同様に考えると1時間前の-6hにしましょう。「戸締りの確認（倉庫も忘れずに!）」ですね。そして、「祖父の菓」ですが、これは、お医者さんで処方箋をもらって、薬局でもらわないといけない。そのため、犯濫発生前〜とか避難開始前〜ではなく、雨風が強くなる前に、お医者さんや薬局も普通に通空いているときに、準備しておく必要があります。3日前と2日前の間ぐらいいに書いておきます。 ・40ページからマイ・タイムラインを作る方法の説明は以上です。

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
10:40 ～ 10:55	マイ・タイムラインの記入			<ul style="list-style-type: none"> ・8分程度経過時点で、声掛け マイ・タイムラインの意見交換
	意見交換	里村事務所長 グループリーダー		<ul style="list-style-type: none"> ・そろそろ、書けましたでしょうか？各グループで意見交換を始められそうでしょうか？それでは、グループリーダーさんよろしく願います。まだ書いている方は書きながら結構です。
10:55 ～ 11:00	休憩（5分）			<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、ここで休憩をとります。11時からもう一度、全体の説明を行いたいと思います。ご協力をお願いします。
11:00 ～ 11:05		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。ここで、もう一度、全体の説明を行いたいと思います。今書き込んでいただいたマイ・タイムラインを充実させる考えです。先ほどの例では、例1は、指定避難所の〇〇小学校へ逃げる逃げ方、例2は、遠くの親戚を頼る逃げ方でした。皆さんは、これらが別々の人を想定したものだと考えられたかもしれません。実は、この例を作るときは、同じ人を想定していました。どうでしょうか？では、伊藤調査課長に説明をお願いします。 ・はい。説明します。 ・先ほど作成した例1は、指定避難所の〇〇小学校ですから、30ページの表でいうと上から2つ目のパターン。同じく例2は、遠くの親戚ですから4つ目、一番下のパターンです。 ・洪水は自然現象なのでタイムラインのとおりに進捗するとは限りません。逃げ道は、一本よりも二本、二本よりも三本の方が、逃げ切れる確率が高くなります。一つ目の逃げ道が閉ざされても、次の逃げ道があれば、逃げ切れるかもしれません。 ・例1と例2で具体的に説明します。ある人が、私は「遠くの親戚を頼る」と例2で整理をしていたとします。しかし、アクシデントで5hの避難開始が遅れてしまったとします。逃げ始めようとしていたら避難勧告が発令してしまい、4hに進んでしまった状態です。このとき、そのまま急いで逃げるのか、それとも、次の逃げ道として、指定避難所の〇〇小学校へ逃げるのか、これは例1に乗り換えるということになります。そんな判断ができるようになります。 ・そう考えると、例1でも例2でも「要する準備」となっていた「戸締り」については、共通です。で、6hの1つだけ書いておくというふうに、書き込んだ防災行動を調整することができます。 ・このように、一度防災行動を並べてみた後に「調整」を行うことで、より防災力が向上します。 ・調整の観点をもう一つ申し上げます。マイ・タイムラインの、今、皆さんに書き込んでいただいた欄の一つ左にグレーの矢印があります。この矢印は3つあり、それぞれ下から、「身の安全を確保すべき時期」、「水位等の状況を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期」、「雨風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期」となっています。ご自身の記入した防災行動が、どのような行動かを確認していただき、調整してみてください。例えば、要する準備が外出を伴うものであれば、一番上の矢印の間に行うことが望ましいですので、もし二つ目の矢印にかかっていた場合は、もう少し早めの時間に移動させるといった形になります。 ・そのほか、マイ・タイムライン作成のポイントをもう一つ左の黄色い欄に吹き出しで書いてあります。これも参考に考えてみましょう。 ・以上です。
		伊藤課長	P30を投影 記入用タイムライン 例1と例2を並べて投影	

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・いかがでしょうか？少し応用編でした。一気にするのは難しいかもしれませんが、ひとつずつやってみましょう。タイムラインの良いところは、続けられ続けるほど、考えれば考えるほど、防災力が向上するところです。今日ですべてをやりたいという必要はありません。 ・また、この根新田地区では、ホットメールなど、自治会としての防災行動もとられています。それを盛り込むことも考えられますね。 ・では、今の説明を踏まえて、マイ・タイムラインを充実させましょう。グループで意見交換もお願いいたします。
11:05 ～ 11:10	マイ・タイムラインの充実			<ul style="list-style-type: none"> ・5分程度経過時点で、声掛け マイ・タイムラインの意見交換
11:10 ～ 11:20		里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・そろそろ、書けましたでしょうか？各グループで意見交換を始められそうでしょうか？それでは、グループリーダーさんよろしくお願いたします。まだ書いている方は書きながら結構です。
	意見交換	グループリーダー		
11:20 ～ 11:55	全体発表	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。それでは、各グループのグループワークを共有したいと思います。各グループからお一人、マイ・タイムラインをお見せいただきたいと思っています。そして、グループリーダーさんから、グループでの意見交換で出てきた意見などを共有していきたいと思えます。それでは、よろしくお願いたします。 <p>(各グループ5分×6グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※まずは、マイ・タイムラインを一つ見せてもらう。それを画面で表示、里村が、それを確認しながら作成者にインタビュ。 ・気にしたポイントはありますか？ ・避難の手段は、車ですか？徒歩ですか？ ・どなたと逃げるおつもりですか？ ・なにか、昨年の関東・東北豪雨の体験を踏まえて工夫したことなどありますか？ <p>※ここまで、2分で。</p> <p>※その後、グループリーダーへバトンタッチし、3分程度で2度の意見交換内容を共有。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。もう一度、皆さんに拍手をお願いします。 ・関係機関からご発言はありますか？ ・それでは、学識者の先生方からお一人ずつ講評をいただきます。 ・講評 <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。マイ・タイムラインできそうですか？ご自身で「とりあえず・・・」と考えるものができれば、一番上に、常総市・根新田地区●●家、そして右側に日付を記入しましょう。そして、そこがスタートです。マイ・タイムラインは訓練や実践で使って、ご家族の状況が変わって、何度も何度も変わります。書き込んで、想像して、調整して、また書き込んで・・・繰り返した分だけ、防災力が向上します。鬼怒川のそばにお住まいのあいだ、是非、続けていただきたいと思っております。
		里村事務所長		
		白川先生 川島先生		
		里村事務所長		

時間	進行概要	担当	ノート スライド	内容
11:55 ～ 12:00	5. とりまとめ	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・長時間お疲れ様でした。最後の議題のとりまとめです。資料3のアンケートを記入しながらお聞きください。 ・今日は、ご自身に合ったマイ・タイムライン作成していただきました。これを機会に、日頃から防災に対する意識を高めていただき、いざというときに困らないような行動と判断を身につけておきましょう。 ・タイムラインの記入用紙が必要な方は、皆さんのテーブルに余分に余分にありますので、お持ち帰りください。不足するようであれば、下館河川事務所HPからダウンロード出来ますし、常総市、下館河川事務所にもお渡しすることもできます。 ・最後にもう一度、ノートをお借りする件について、お願いさせていただきます。 ・これまでの検討会でもご説明しましたが、このマイ・タイムライン検討会は、全国でも初めての取組で、この根新田と若宮戸の2地区をモデル地区として行っています。今後、この検討会を市内のみならず流域、さらには全国へ展開していくため、皆様がマイ・タイムラインを作られた後に、皆様のノートを一旦お借りしたいと思っております。 ・本日、検討会が終わった後に、ご自宅でマイ・タイムラインを完成させていただき、机の上においてある茶色の封筒で事務局へお送りいただきたいと思っております。茶色の封筒の中には、もう一つ封筒が入っています。こちらは、事務局からの返信用封筒です。宛名に、ご自宅のご住所を書いて、同封願います。 ・お忙しいところを恐縮ですが、2月26日までにポストへ投函していただきたくお願いいたします。 ・皆様のノートを参考に、全国へ広げるための「マニュアル・手引き書」を作りたいと思っております。よい「マニュアル」よい「手引き書」になるように、皆様のご協力をお願いいたします。
	閉会	里村事務所長		<ul style="list-style-type: none"> ・3回にわたり、ありがとうございました。 ・でもこれで終わりというわけではありません。常総市さん、下館河川事務所をはじめ、協議会の関係機関も、学識者の先生方も、この根新田地区が安全な地区になるように、引き続き、住民の皆様と取り組んでまいりたいと思います。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。 ・最後に、皆さん一緒に記念撮影をしたいと思います。皆さん正面に集合をお願いします。

参考資料 4-3-5

第 3 回根新田地区マイ・タイムライン検討会 スライド

携帯電話やスマートフォンをお持ちの方は、
会場内では**マナーモード**に切り替え、
通話はお控えください。

お手元の**名札**に名前を書いてください。

～みんなでタイムラインプロジェクト～
第3回 マイ・タイムライン検討会
根新田地区

平成29年2月19日
常総市役所

挨拶

神達 岳志 常総市長

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

開会

鈴木 孝八郎 自治区長

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

本日の進め方

1. 開会
2. 本日の進め方
3. これまでのおさらい
4. マイ・タイムラインの作成
意見交換
休憩
意見交換
5. 全体発表
6. とりまとめ
7. 閉会

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

これまでのおさらい

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

これまでのおさらい

各段階のテーマ	項目	ページ
【STEP1】 ・自分たちの住んでいる地区の洪水リスクを知る	はじめに	1
	1.地区の特性	2～3
	2.過去の洪水から学ぶ	4～5
	3.地形の特徴から学ぶ	6～9
	4.最近の雨の降り方と傾向	10～11
	5.「想定最大規模の雨」で鬼怒川が氾濫したら	12～21
【STEP2】 ・洪水時に得られる情報を知る ・タイムラインの考え方を知る	6.洪水時に得られる情報と読み解き方	22～25
	7.タイムラインの考え方	26～29
	8.洪水時の自らの行動を想定	30～37
【STEP3】 ・マイ・タイムラインの作成	9.マイ・タイムラインの作成	38～40

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

マイ・タイムラインの作成

お手元の

「マイ・タイムラインノート」をご覧ください

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

避難の方法



避難の方法と必要となる準備を記入してみましょう。早めの避難の完了を目指しましょう。

避難の方法	場所 又は 住所	手段	① 避難を完了 したい時刻	② 移動に 要する時間	要する準備
(例1) 指定の避難所	〇〇小学校	徒歩	3時間前	30分	持ち出し品 戸締り
(例2) 遠くの親戚	△△市	自家用車	4時間前	60分	祖父の薬 戸締り
自宅					
指定 避難所					
市内の高台					
遠くの 親戚					
その他 (職場など)					

気づく

みんなでタイムラインプロジェクト

避難のタイミングの整理



34ページで書いた時間を参考に整理していきましょう。一番下の①から時間をさかのぼってかいてみましょう。

(例1) 避難の場所 〇〇小学校

要する準備

- 持ち出し品
- 戸締り

③ 避難場所へ移動を開始する時刻 4 時間前 (①+②)

② 要する時間 30 分

① 避難を完了したい時刻 3 時間前

(例2) 避難の場所 △△市(遠くの親戚)

要する準備

- 祖父の薬
- 戸締り

③ 避難場所へ移動を開始する時刻 5 時間前 (①+②)

② 要する時間 60 分

① 避難を完了したい時刻 4 時間前

避難の場所

要する準備

③ 避難場所へ移動を開始する時刻 [] 時間前 (①+②)

② 要する時間 [] 分

① 避難を完了したい時刻 [] 時間前

避難の場所

要する準備

③ 避難場所へ移動を開始する時刻 [] 時間前 (①+②)

② 要する時間 [] 分

① 避難を完了したい時刻 [] 時間前



(例1) 〇〇小学校

戸締りの確認
(倉庫も忘れずに！！)

〇〇小学校への避難開始
(倉庫も忘れずに！！)

〇〇小学校への避難完了

(例2) 遠くの親戚

戸締りの確認
(倉庫も忘れずに！！)

遠くの親戚への避難開始

遠くの親戚への避難完了

意見交換

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

休憩(5分)

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

意見交換

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

全体発表

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

講 評

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

とりまとめ

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 「水防災意識社会」の再構築を目指します。

アンケートへのご協力をお願いします。

回収ボックスを受付に準備しておりますので、記入後のアンケート用紙を入れてください。

貸出ししている**筆記用具、名札**も合わせて返却をお願いします。

『マイ・タイムラインノート』の送付
(2月26日まで)にご協力をお願いいたします。